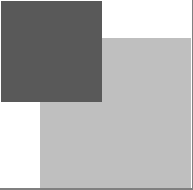


由布市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査

結果報告書

令和 8 年3月

由 布 市



目 次

調査の概要	1
調査の目的	3
調査の方法	3
報告書の留意点	4
介護予防・日常生活圏域二ーズ調査 調査結果	5
回答者本人について	7
問1 あなた自身のことやご家族、生活状況についてうかがいます	10
問2 からだを動かすことについてうかがいます	15
問3 食べることについてうかがいます	25
問4 毎日の生活についてうかがいます	35
問5 地域での活動についてうかがいます	55
問6 就労についてうかがいます	65
問7 たすけあいについてうかがいます	67
問8 健康についてうかがいます	72
問9 熱中症予防についてうかがいます	79
問10 認知症のことについてうかがいます	86
問11 市の高齢者施策や介護サービスについてうかがいます	97
リスク分析について	105
1. 運動機能の低下	106
2. 転倒リスク	108
3. 閉じこもり傾向	110
4. 咀嚼機能の低下	112
5. 口腔機能の低下	114
6. 低栄養の傾向	116
7. 認知機能の低下	118
8. うつ傾向	120
9. I A D L（手段的日常生活動作）の低下	122
圏域別のリスク発生状況	124
地域別のリスク発生状況	127
在宅介護実態調査 調査結果	145
回答者本人について	147
A票 あて名のご本人様についてうかがいます	150
B票 主な介護者の方についてうかがいます	161

調査の概要

調査の目的

令和 9 年度から令和 11 年度を計画期間とする「由布市高齢者保健福祉計画及び第 10 期介護保険事業計画」策定にあたり、65 歳以上の一般高齢者及び要支援 1・2 の高齢者の状況を把握し、介護予防事業の推進と計画策定に向けた基礎資料とするための「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」と、要支援・要介護認定を受けている由布市介護保険第 1 号被保険者と家族の状況を把握し、介護離職防止に資するサービスを検討するための「在宅介護実態調査」を実施しました。

調査の方法

(1)調査対象

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

市内にお住まいの 65 歳以上の方（令和 7 年 11 月 12 日現在）で、要介護 1～5 の認定を受けていない方

②在宅介護実態調査

市内にお住まいの在宅で生活されている方（令和 7 年 11 月 12 日現在）で要介護認定を受けておられる方

(2)調査時期

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：令和 7 年 12 月 12 日～12 月 29 日

②在宅介護実態調査：令和 7 年 12 月 12 日～12 月 29 日

(3)調査方法

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：郵送配付・郵送回収

②在宅介護実態調査：郵送配付・郵送回収

(4)配付・回収状況

	配付数	有効回収数	回収率
①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	9,224 票	5,700 票	61.8%
②在宅介護実態調査	1,261 票	489 票	38.8%

報告書の留意点

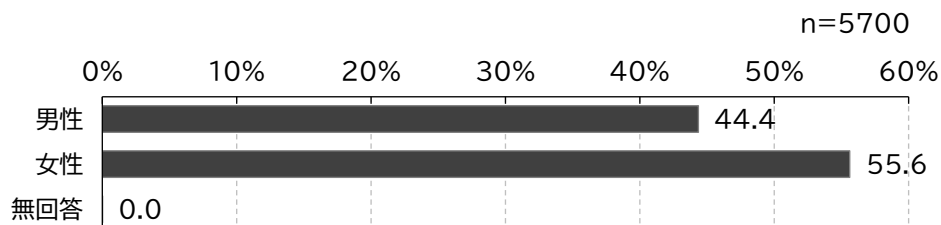
- 「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。そのため、割合の合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では全ての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査結果

回答者本人について

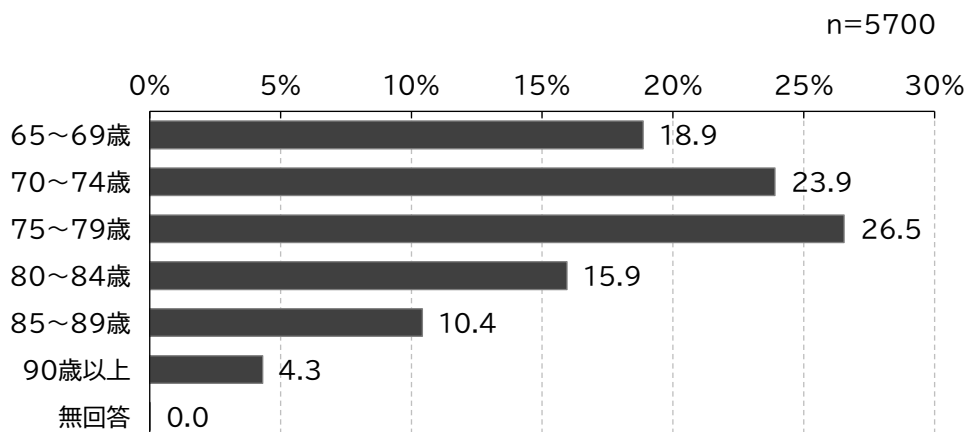
性別

「男性」が44.4%、「女性」が55.6%となっています。



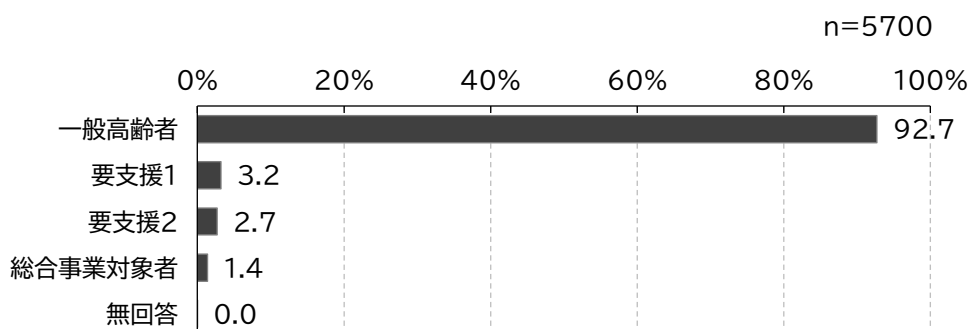
年齢

「75～79 歳」が26.5%と最も多く、次いで「70～74 歳」が23.9%、「65～69 歳」が18.9%、「80～84 歳」が15.9%、「85～89 歳」が10.4%となっています。



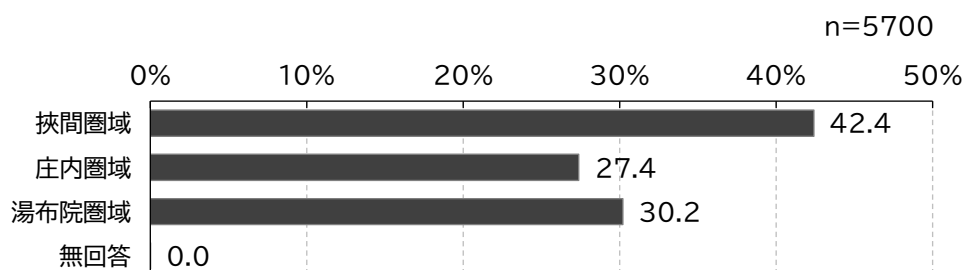
要介護状態区分

「一般高齢者」が92.7%と最も多く、次いで「要支援1」が3.2%、「要支援2」が2.7%、「総合事業対象者」が1.4%となっています。



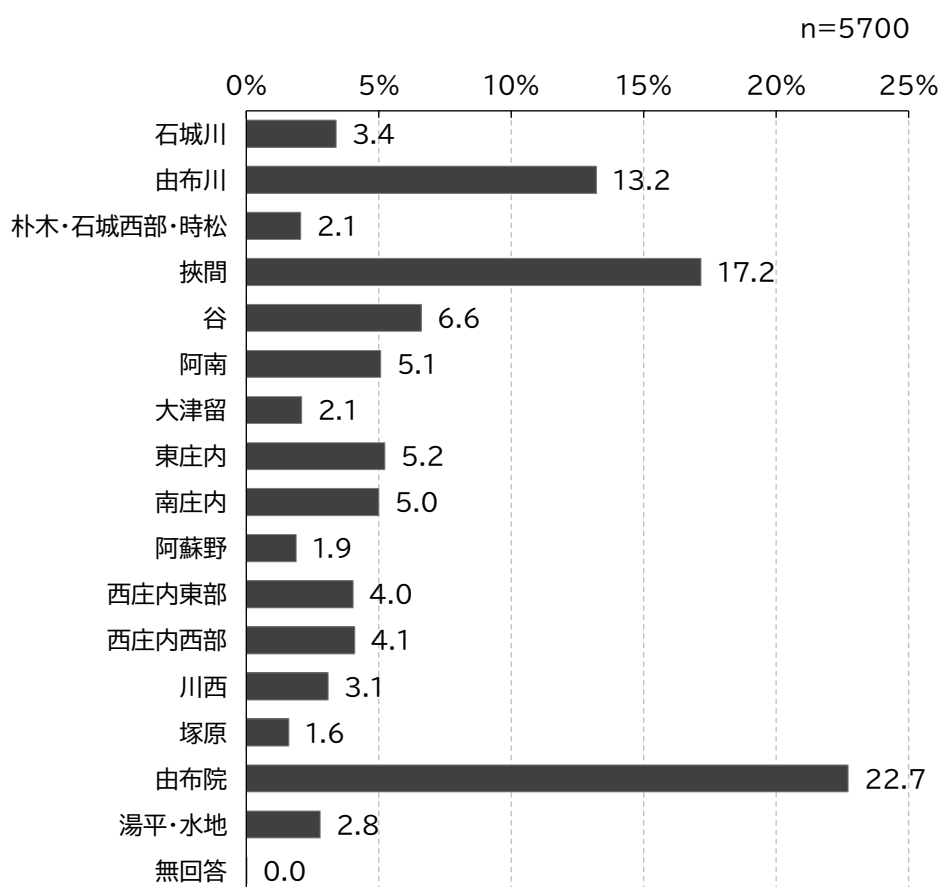
日常生活圏域

「挾間圏域」が42.4%と最も多く、次いで「湯布院圏域」が30.2%、「庄内圏域」が27.4%となっています。



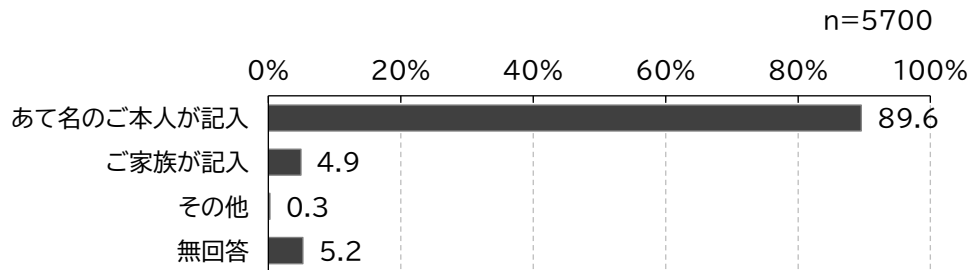
16 地域区分

「由布院」が22.7%と最も多く、次いで「挾間」が17.2%、「由布川」が13.2%、「谷」が6.6%、「東庄内」が5.2%となっています。



調査票を記入されたのはどなたですか

「あて名のご本人が記入」が 89.6%と最も多く、次いで「ご家族が記入」が 4.9%となっています。



「その他」の主な記入内容

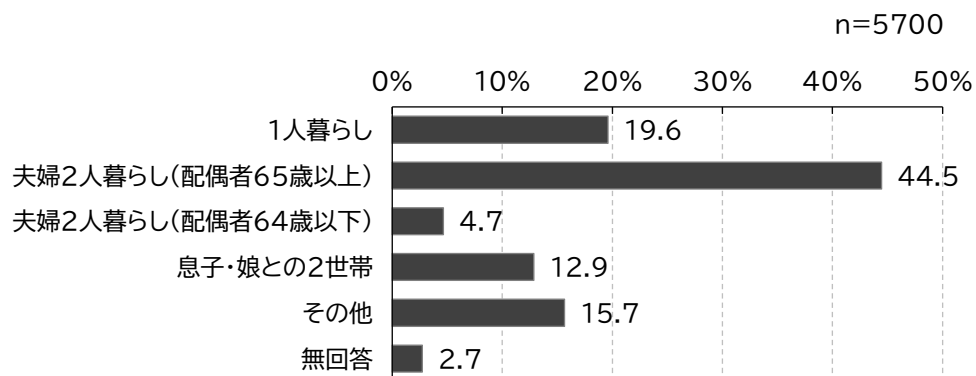
介護施設職員（7）／専門職（訪問看護・成年後見人等）（4）／知人・友人（2）／等

※（ ）内の数字は同等内容の件数(以下同じ)

問1 あなた自身のことやご家族、生活状況についてうかがいます

(1) 家族構成を教えてください

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が44.5%と最も多く、次いで「1人暮らし」が19.6%、「その他」が15.7%、「息子・娘との2世帯」が12.9%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.7%となっています。

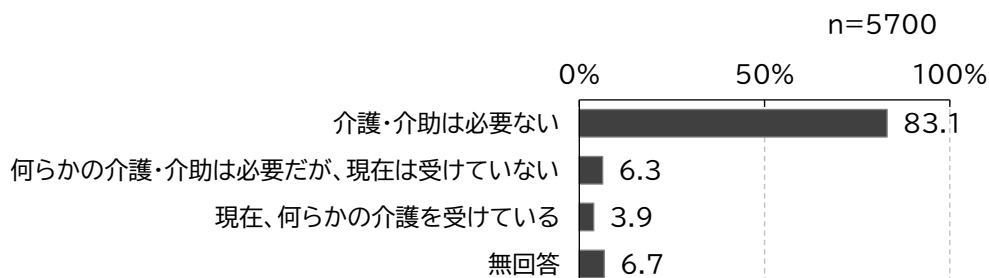


「その他」の主な記入内容

夫婦＋子（同一世帯）（520）／親（母・父・義母等）を含む世帯（夫婦＋親／子＋親 等）（410）／子のみとの同居（親1人＋子／親子世帯）（190）／孫を含む同居（祖父母＋孫／親世代不在・同居）（120）／配偶者不在（死別・入院・施設入所）＋子同居（90）／兄弟姉妹・きょうだい世帯（70）／同居人・友人・事実婚など家族類型外（30）／等

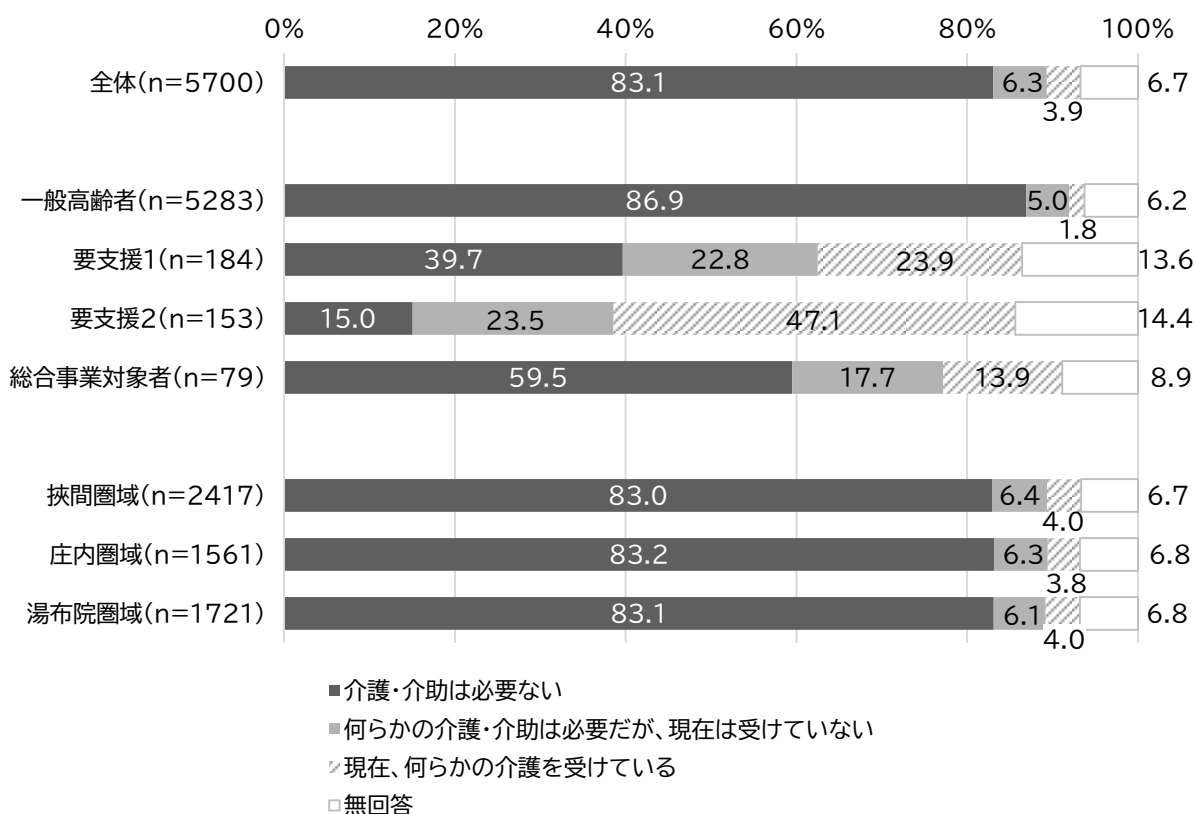
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が83.1%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.9%となっています。



要介護状態区分別・圏域別

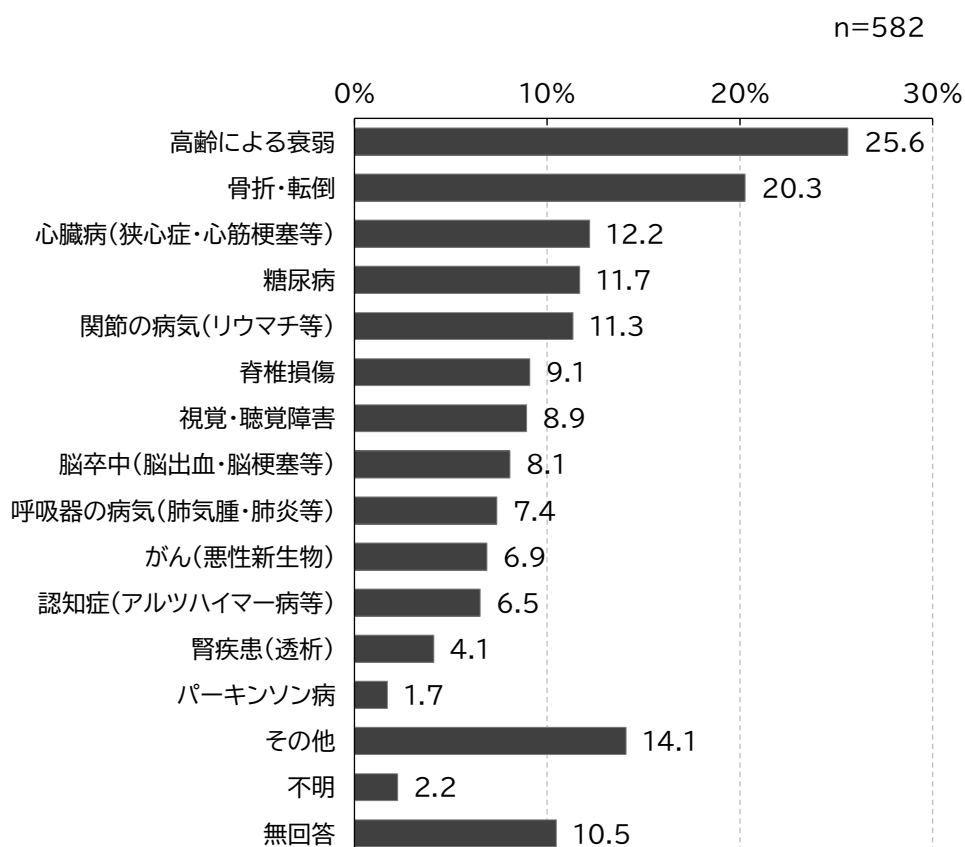
「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は、要介護状態区分別では要支援1と2で2割を超えており、総合事業対象者では17.7%となっています。圏域別ではほとんど違いがありません。



問1(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方

(2)-① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか【複数回答】

「高齢による衰弱」が 25.6%と最も多く、次いで「骨折・転倒」が 20.3%、「その他」が 14.1%、「心臓病（狭心症・心筋梗塞等）」が 12.2%、「糖尿病」が 11.7%となっています。



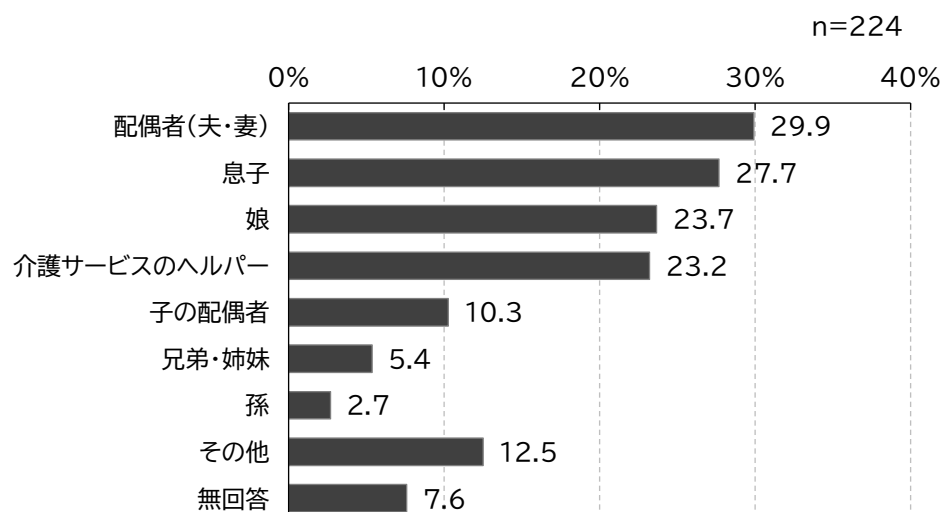
「その他」の主な記入内容

筋ジストロフィー・神経痛・坐骨神経痛・腓骨神経麻痺・電撃傷・脳性麻痺・体幹機能障害等（8）／身体障害・身体障害4級・障害等（4）／排尿・失尿、すぐにトイレにいきたくなる等（4）／精神疾患・統合失調症等（3）／知的障害・言語障害（2）／橋本病・甲状腺の病気（2）／うっ滞性皮膚炎（痛み・かゆみ・微熱）／等

問1(2)で「現在、何らかの介護を受けている」を選択した方

(2)-② 主にどなたの介護、介助を受けていますか【複数回答】

「配偶者(夫・妻)」が29.9%と最も多く、次いで「息子」が27.7%、「娘」が23.7%、「介護サービスのヘルパー」が23.2%、「その他」が12.5%となっています。

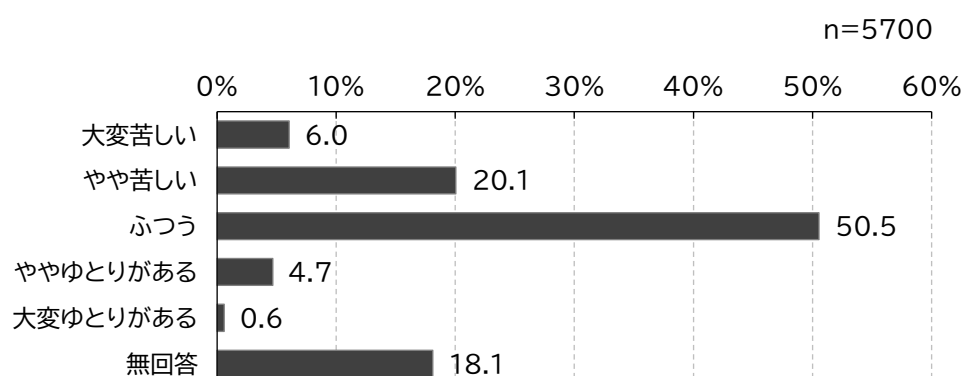


「その他」の主な記入内容

医療・専門職（ケアマネ・医師・看護師等）（9）／施設職員等（8）／デイサービス（7）／通所リハビリ（7）／訪問看護（2）／デイケア（2）／公的健康サービスセンター／近隣住民／親族（姪）／等

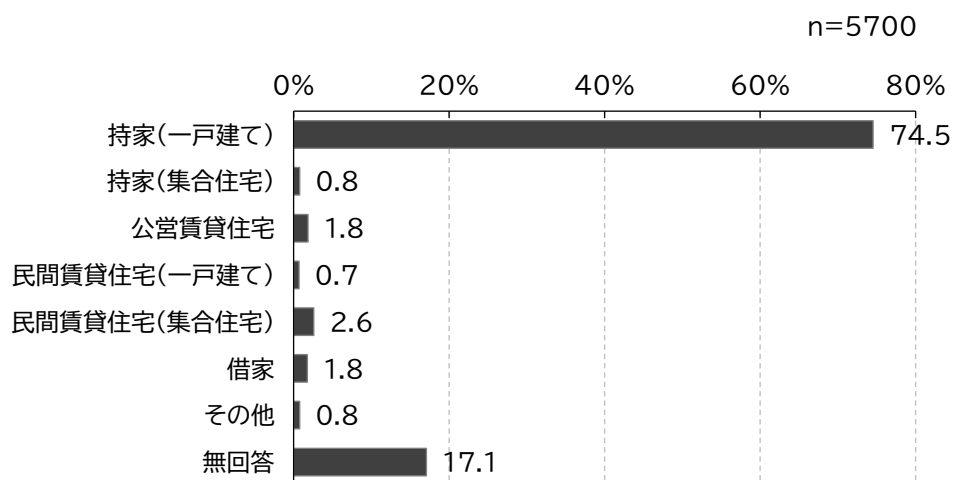
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

「ふつう」が50.5%と最も多く、次いで「やや苦しい」が20.1%、「大変苦しい」が6.0%、「ややゆとりがある」が4.7%となっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

「持家(一戸建て)」が74.5%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」が2.6%、「公営賃貸住宅」及び「借家」が1.8%となっています。



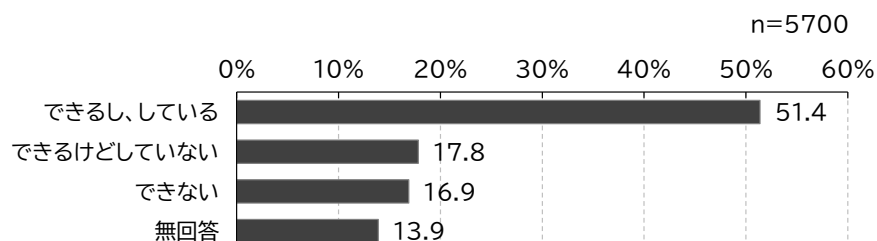
「その他」の主な記入内容

グループホーム（7）／親族の家に同居・身内所有の家（6）／社宅・会社の寮（3）／寺・宗教施設／民宿

問2 からだを動かすことについてうかがいます

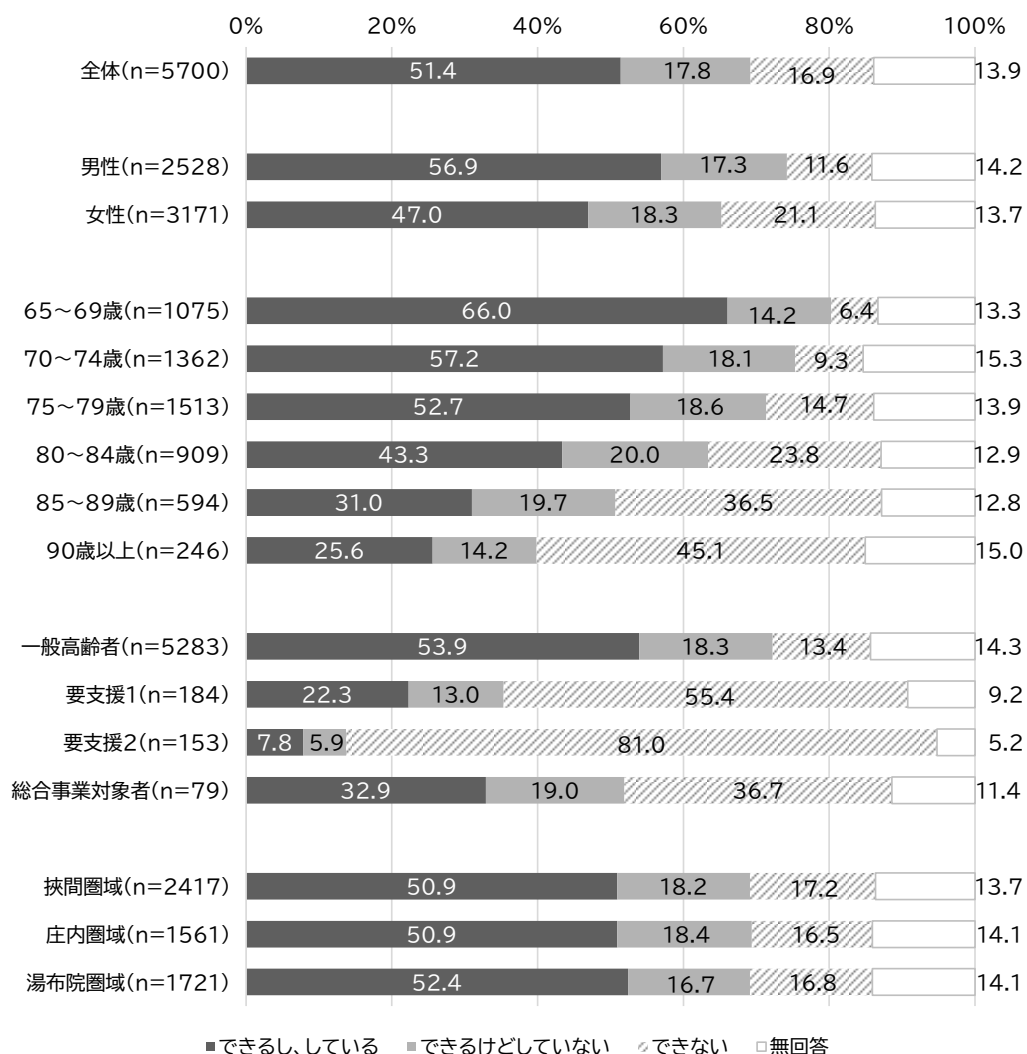
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

「できるし、している」が51.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が17.8%、「できない」が16.9%となっています。



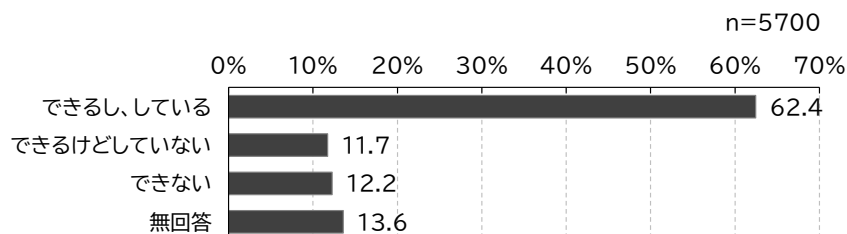
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要支援2が81.0%と最も高くなっています。



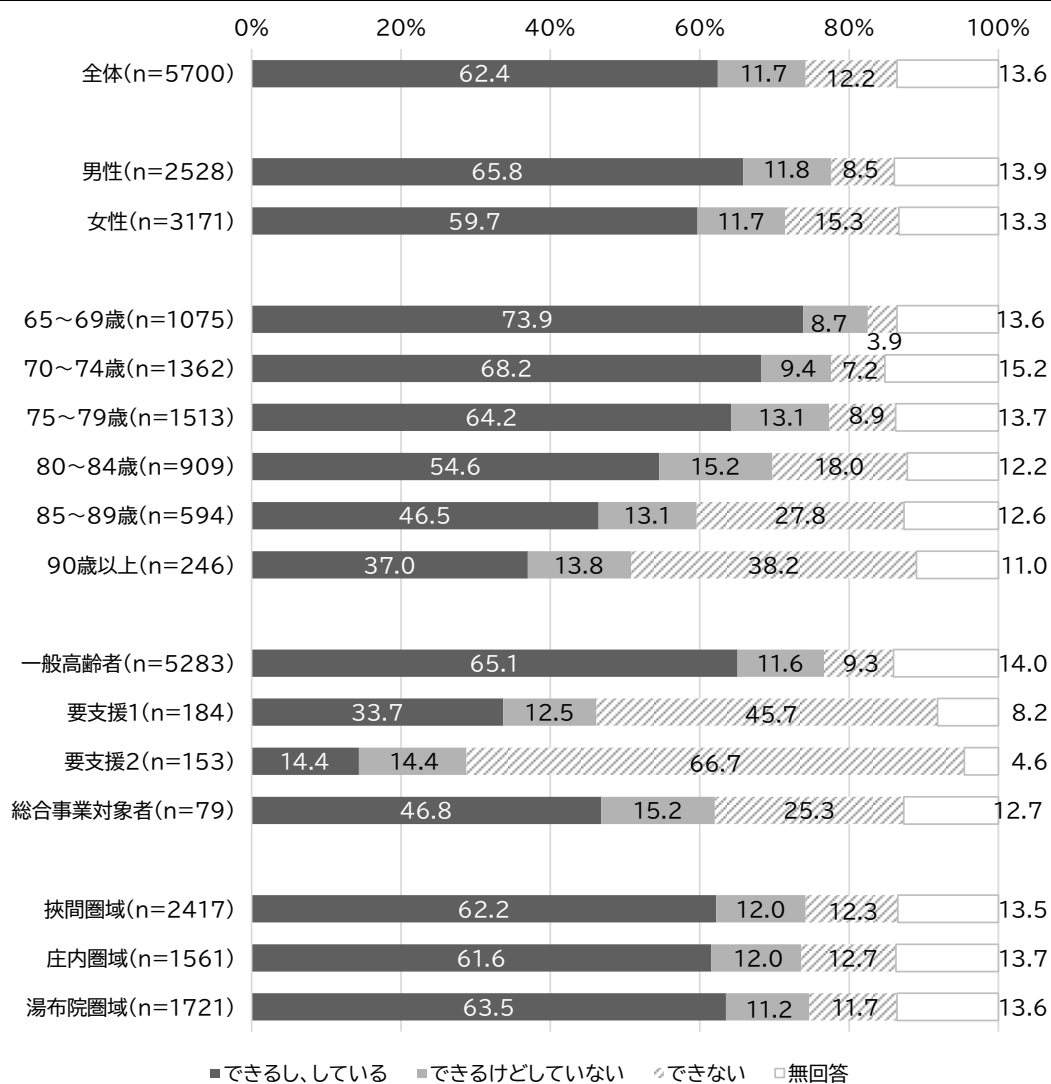
(2) いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

「できるし、している」が62.4%と最も多く、次いで「できない」が12.2%、「できるけどしていない」が11.7%となっています。



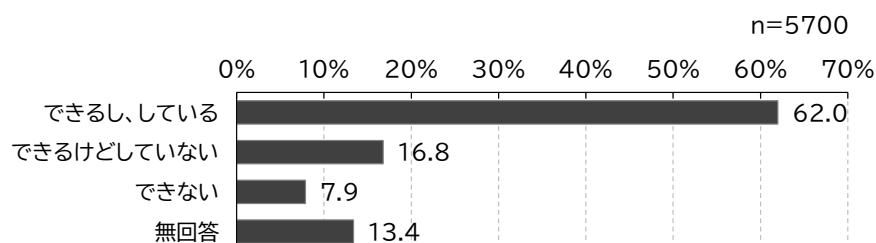
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別ではほとんど差はありませんが、庄内圏域が12.7%とわずかに高くなっています。



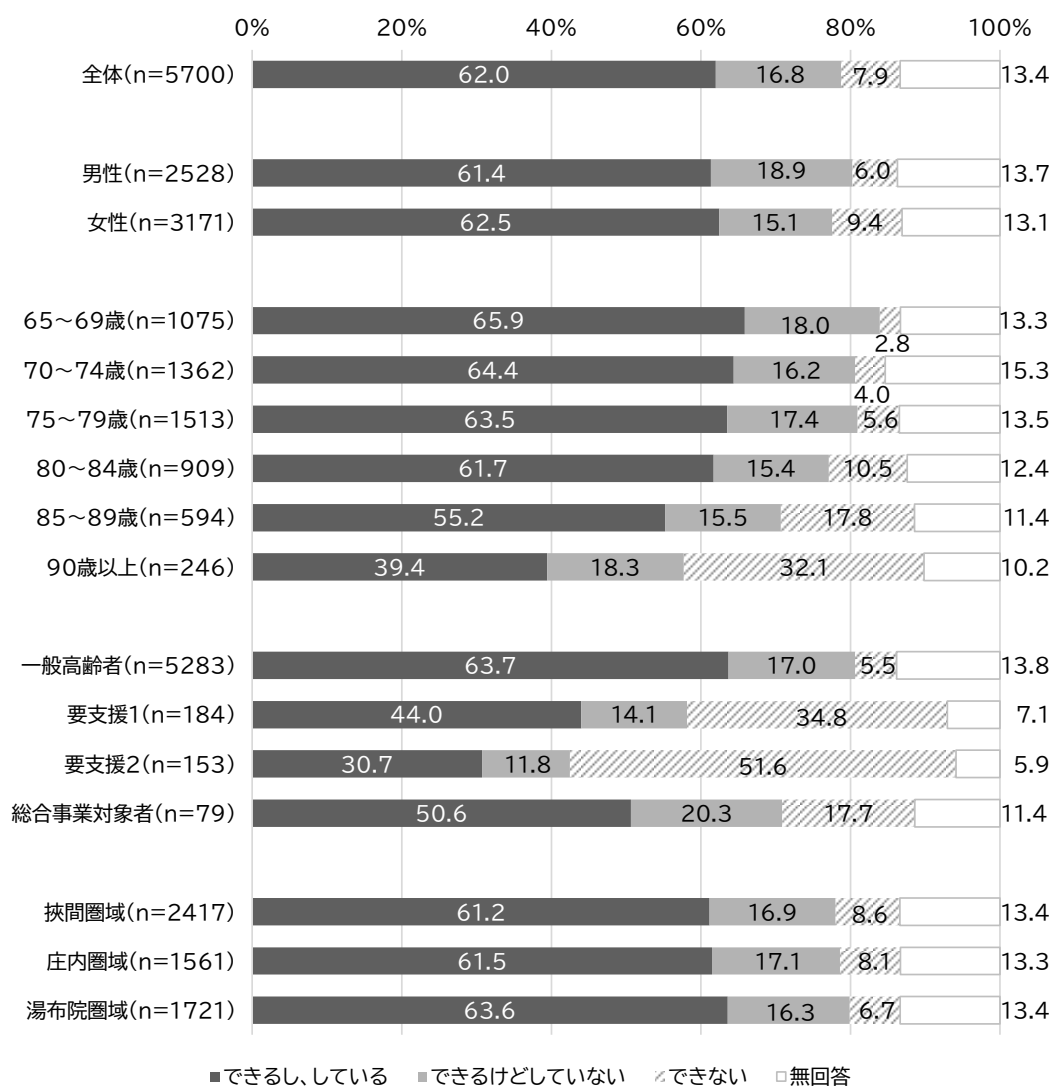
(3) 15 分位続けて歩いていますか

「できるし、している」が62.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.8%、「できない」が7.9%となっています。



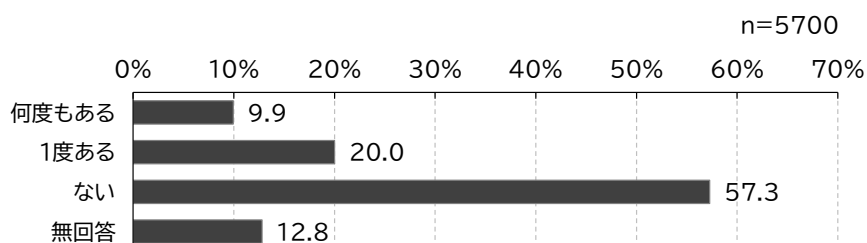
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要支援2が51.6%と最も高く、過半数となっています。



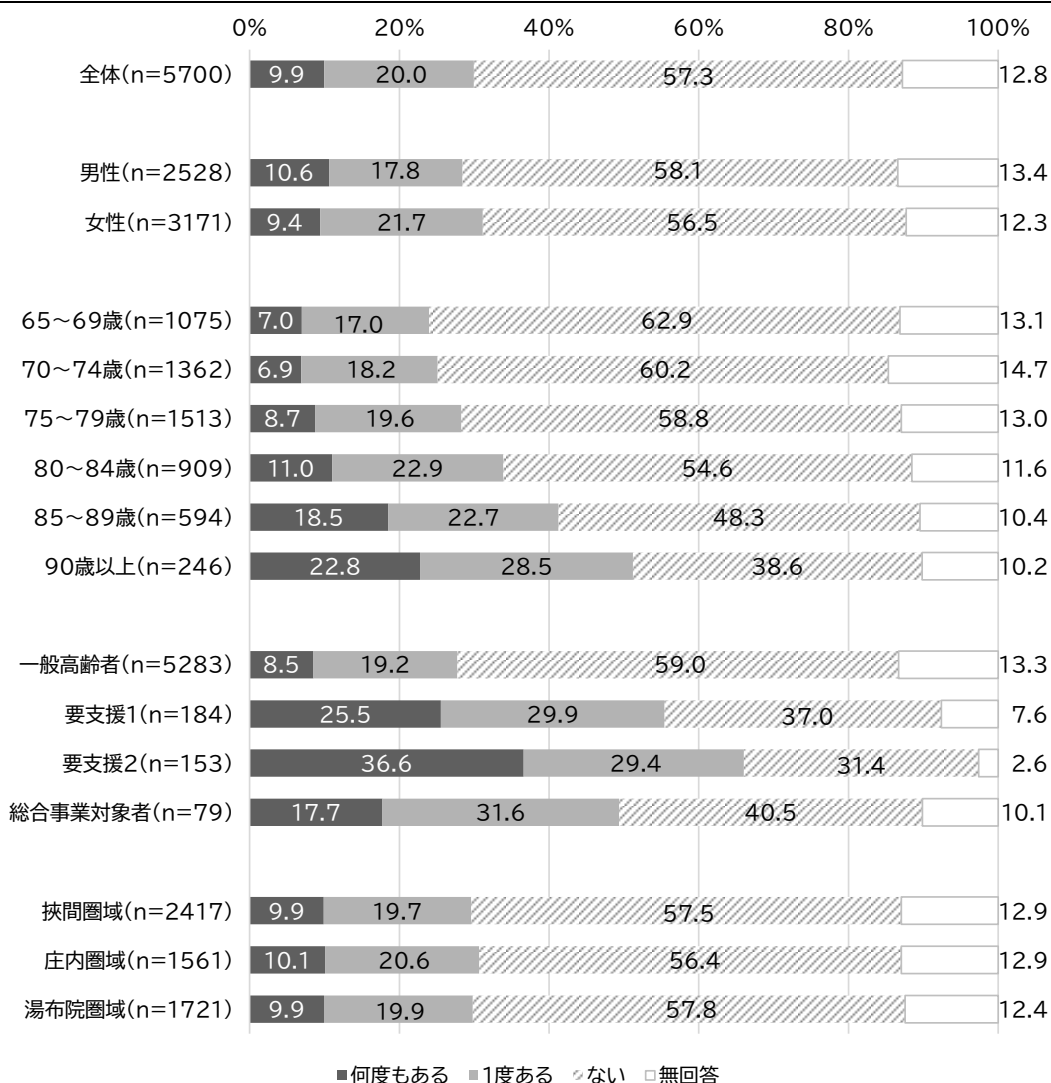
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

「ない」が57.3%と最も多く、次いで「1度ある」が20.0%、「何度もある」が9.9%となっています。



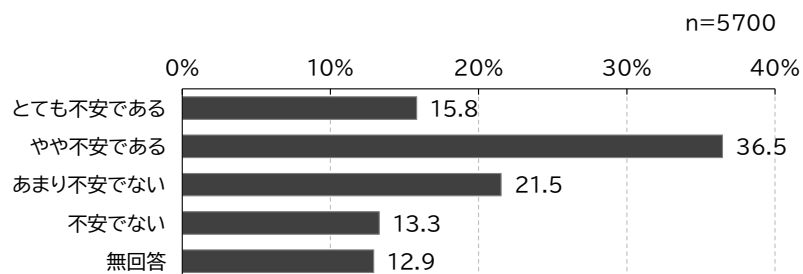
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「何度もある」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別ではおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、85歳を境に増加が大きくなっています。圏域別ではほとんど差はありませんが、庄内圏域が10.1%とわずかに高くなっています。



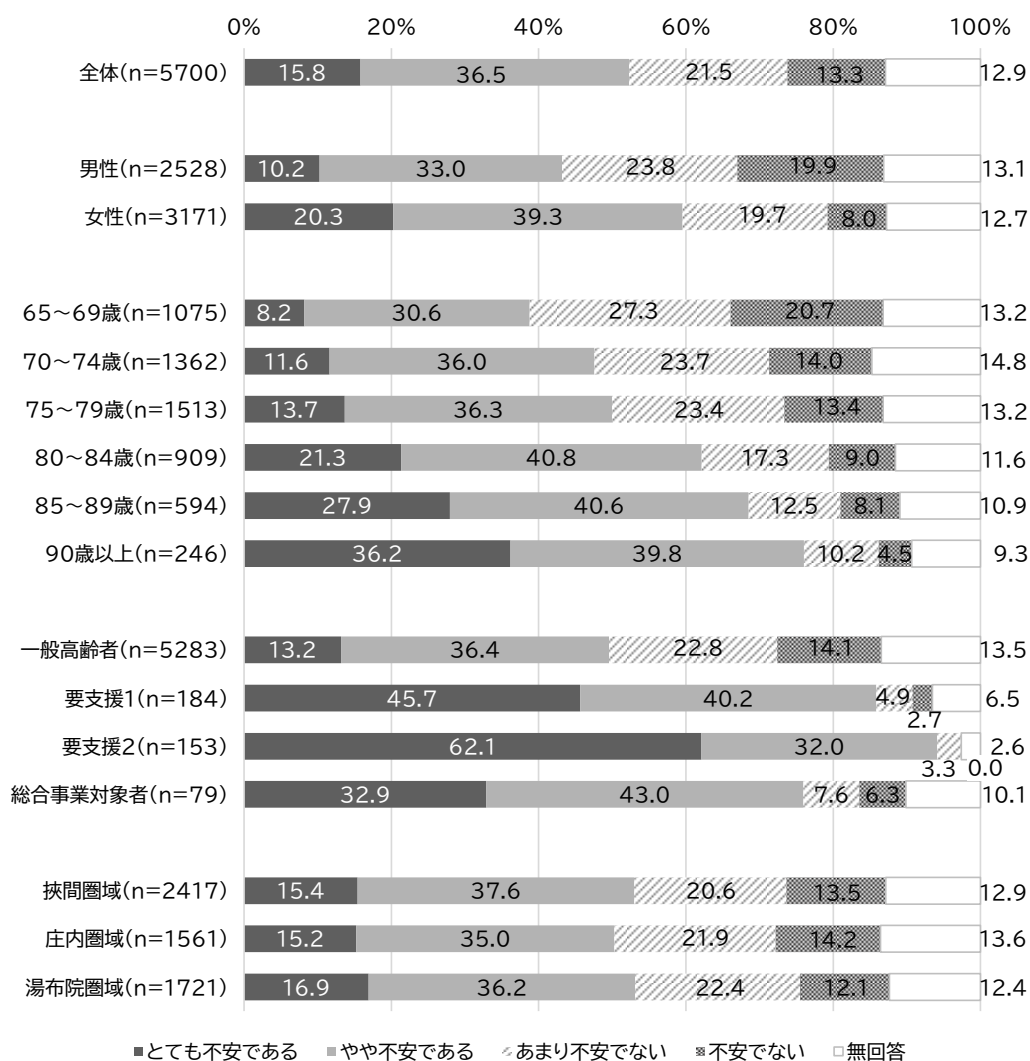
(5) 転倒に対する不安は大きいですか

「やや不安である」が36.5%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が21.5%、「とても不安である」が15.8%、「不安でない」が13.3%となっています。



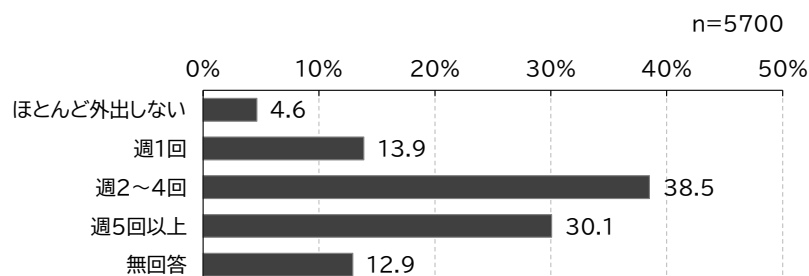
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「とても不安である」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要支援2が62.1%と最も高く過半数となっています。



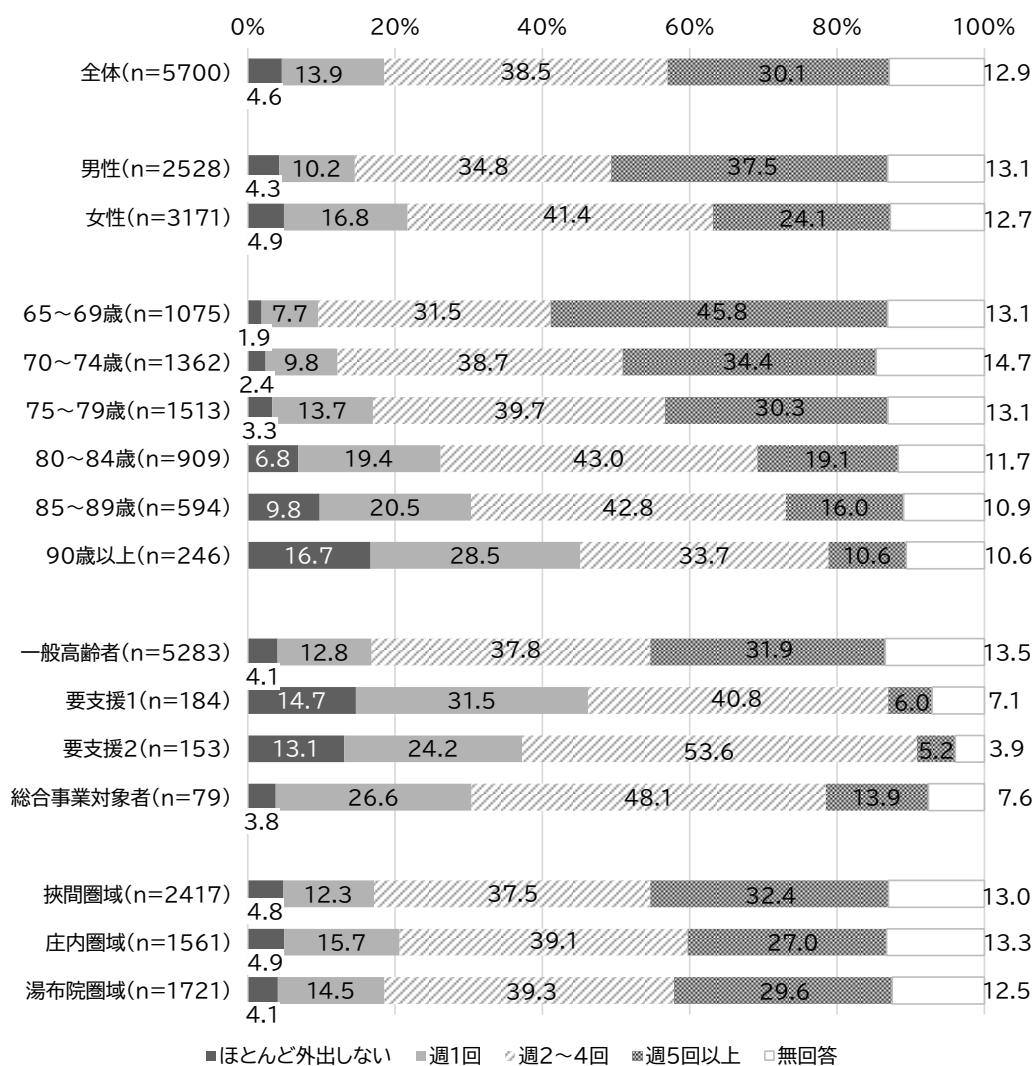
(6) 週に1回以上は外出していますか

「週2～4回」が38.5%と最も多く、次いで「週5回以上」が30.1%、「週1回」が13.9%、「ほとんど外出しない」が4.6%となっています。



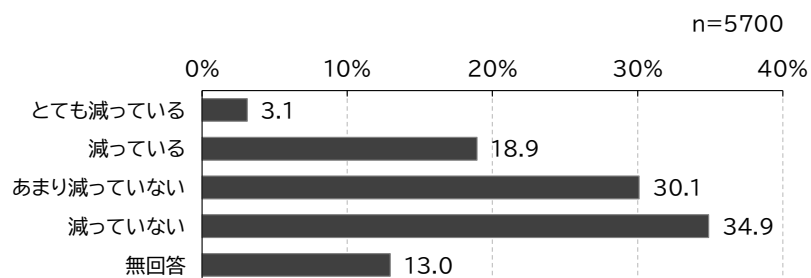
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「ほとんど外出しない」の割合は、性別ではわずかに女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要支援1が14.7%と最も高くなっています。



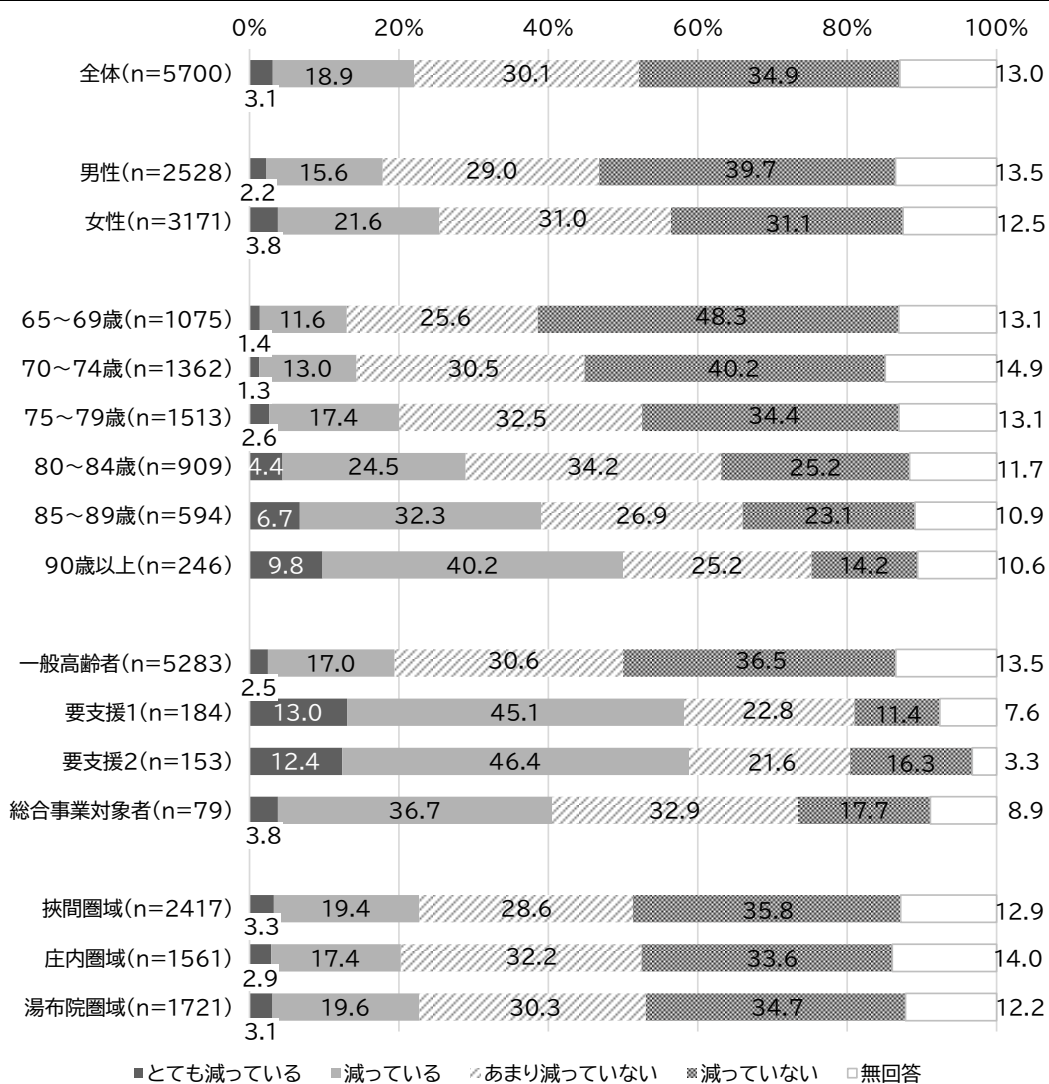
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

「減っていない」が34.9%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が30.1%、「減っている」が18.9%、「とても減っている」が3.1%となっています。



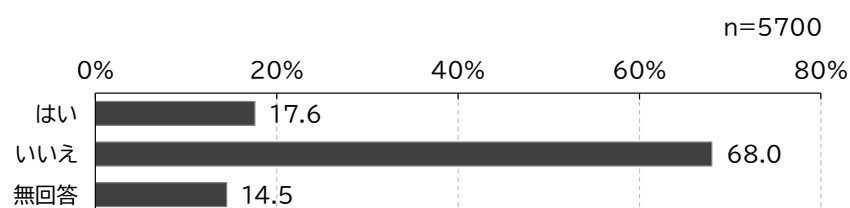
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「とても減っている」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別ではおおむね年齢が上がるにつれて高くなっていますが、全ての年齢において1割未満となっています。圏域別では挟間圏域が3.3%とわずかに高くなっています。



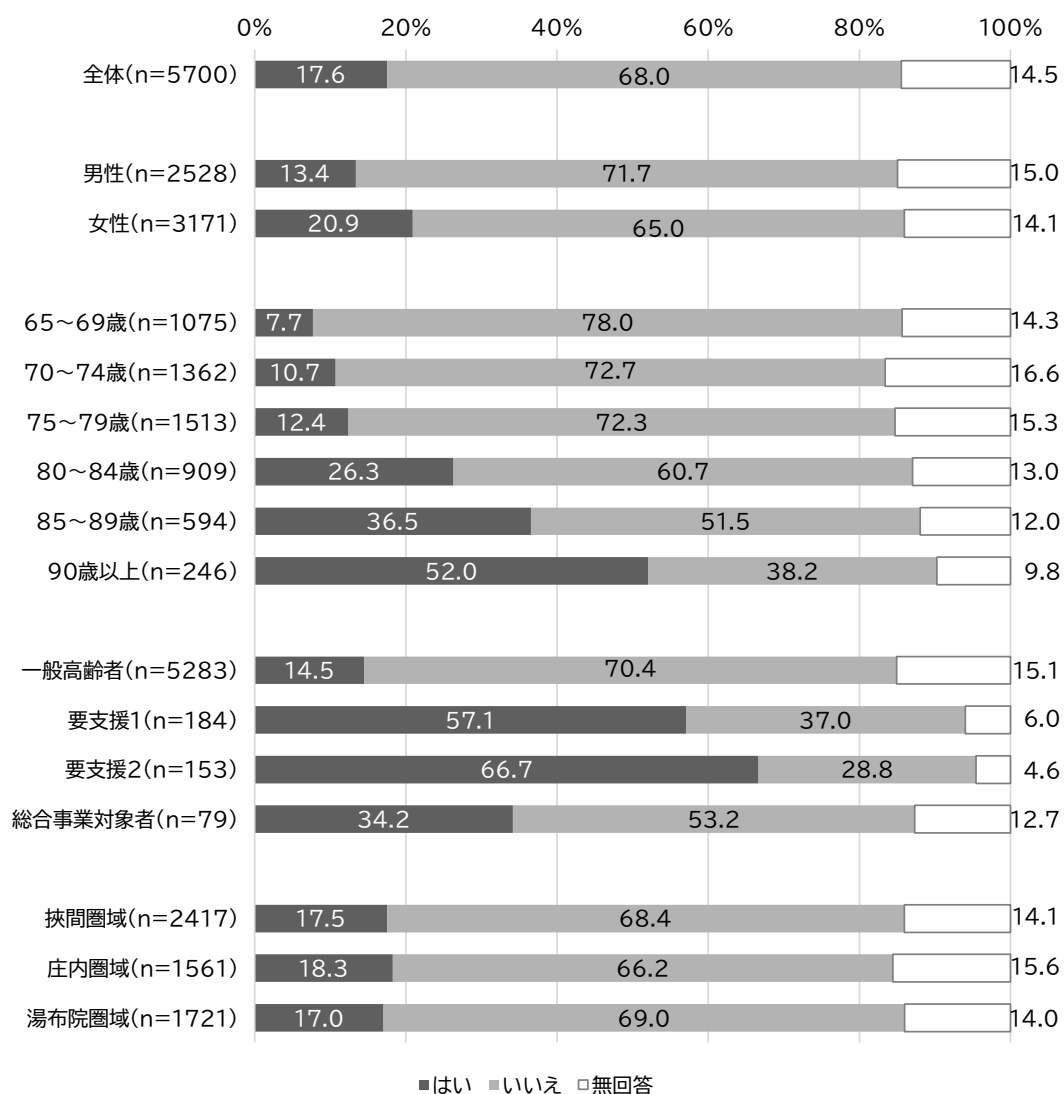
(8) 外出を控えていますか

「はい」が17.6%、「いいえ」が68.0%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

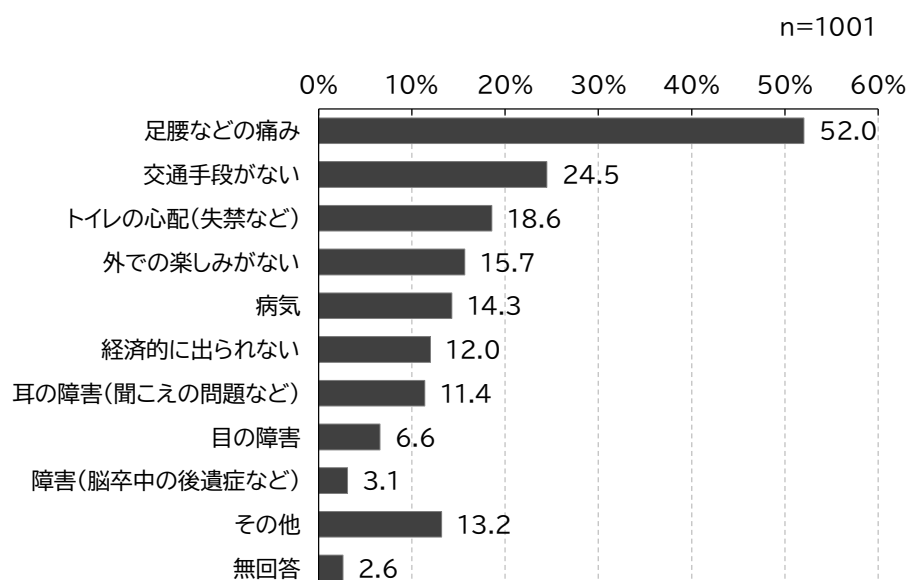
「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要支援2が66.7%と最も高く、次いで要支援1が57.1%でいずれも過半数となっています。圏域別では庄内圏域が18.3%とわずかに高くなっています。



問2(8)で「はい」(外出を控えている)を選択した方

(8)-① 外出を控えている理由は、次のどれですか【複数回答】

「足腰などの痛み」が52.0%と最も多く、次いで「交通手段がない」が24.5%、「トイレの心配(失禁など)」が18.6%、「外での楽しみがない」が15.7%、「病気」が14.3%となっています。

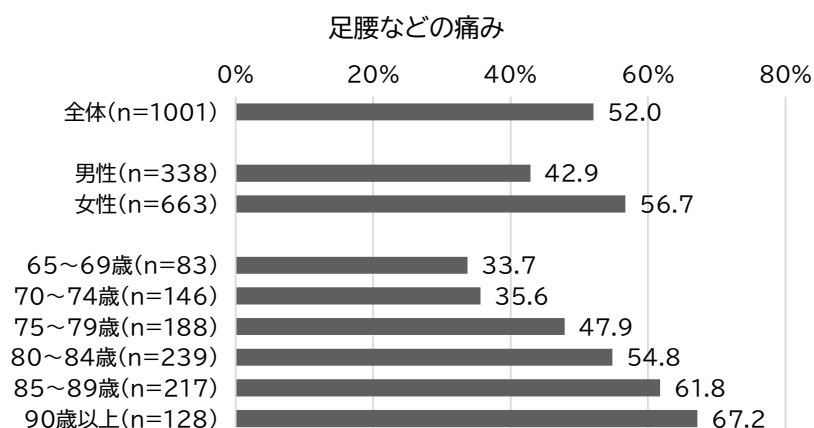


「その他」の主な記入内容

感染症予防・人混み回避 (28) /用事がない・必要時のみ外出 (18) /家族・配偶者の介護・見守りで外出しにくい (13) /事故・転倒への不安 (10) /仕事・家の用事・忙しさ (8) /高齢による不安・気分的理由 (6) /家で過ごしたい・ゆっくりしたい (5) /天候・季節要因 (4) /等

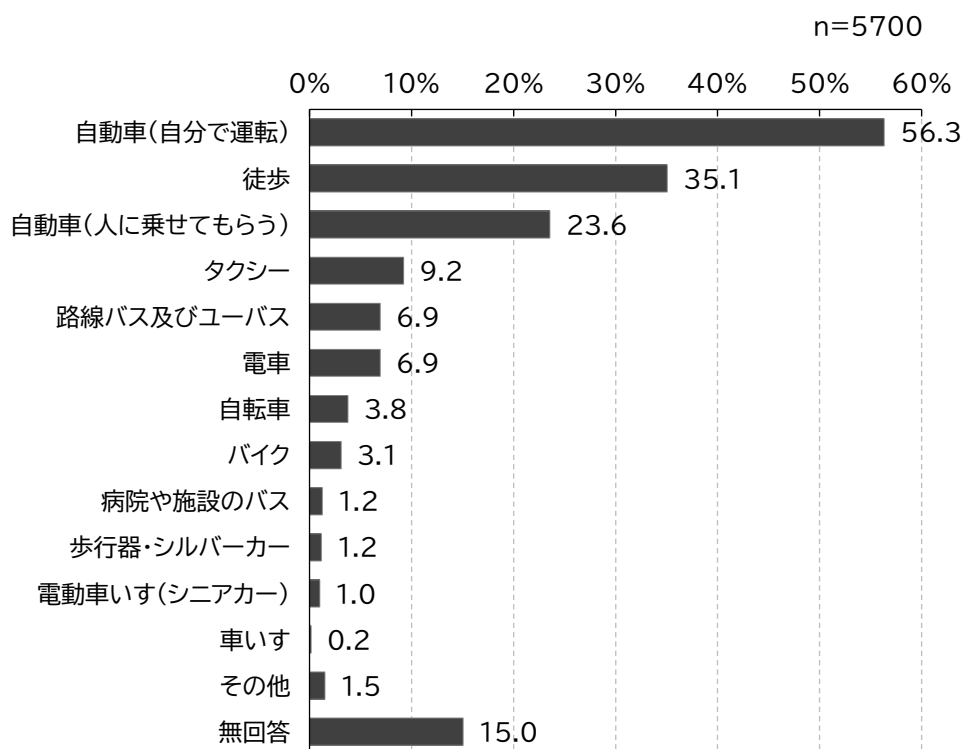
「足腰などの痛み」性別・年齢別

全体で最も多い「足腰などの痛み」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。



(9) 外出する際の移動手段は何ですか【複数回答】

「自動車（自分で運転）」が56.3%と最も多く、次いで「徒歩」が35.1%、「自動車（人に乗せてもらう）」が23.6%、「タクシー」が9.2%、「路線バス及びユーバス」及び「電車」が6.9%となっています。



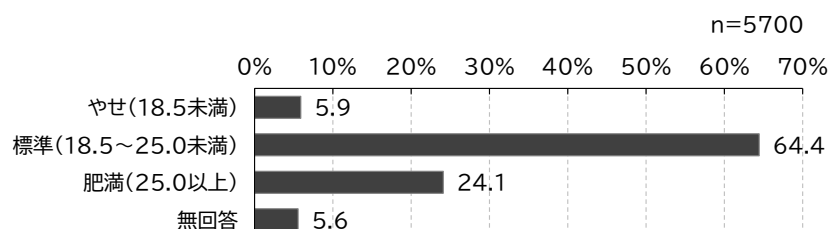
「その他」の主な記入内容

杖・ストック（４）／船・飛行機（２）

問3 食べることにについてうかがいます

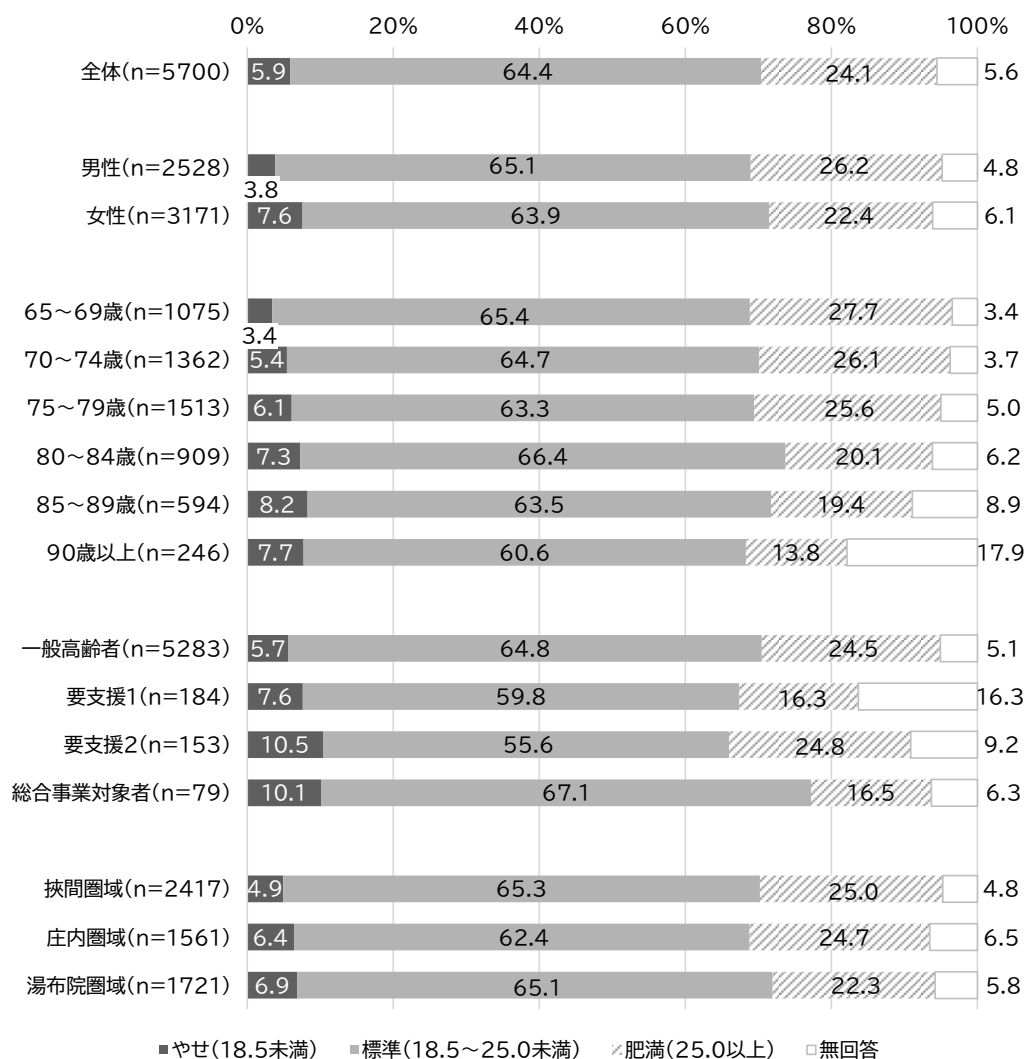
(1) 身長・体重を教えてください

身長・体重から算出した BMI 指数は「標準 (18.5～25.0 未満)」が 64.4%と最も多く、次いで「肥満 (25.0 以上)」が 24.1%、「やせ (18.5 未満)」が 5.9%となっています。



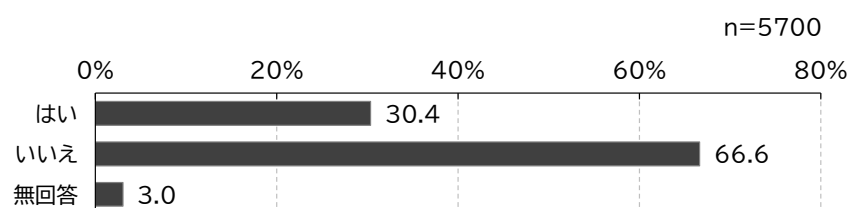
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「やせ (18.5 未満)」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向ですが、全ての年齢において 1 割未満となっています。



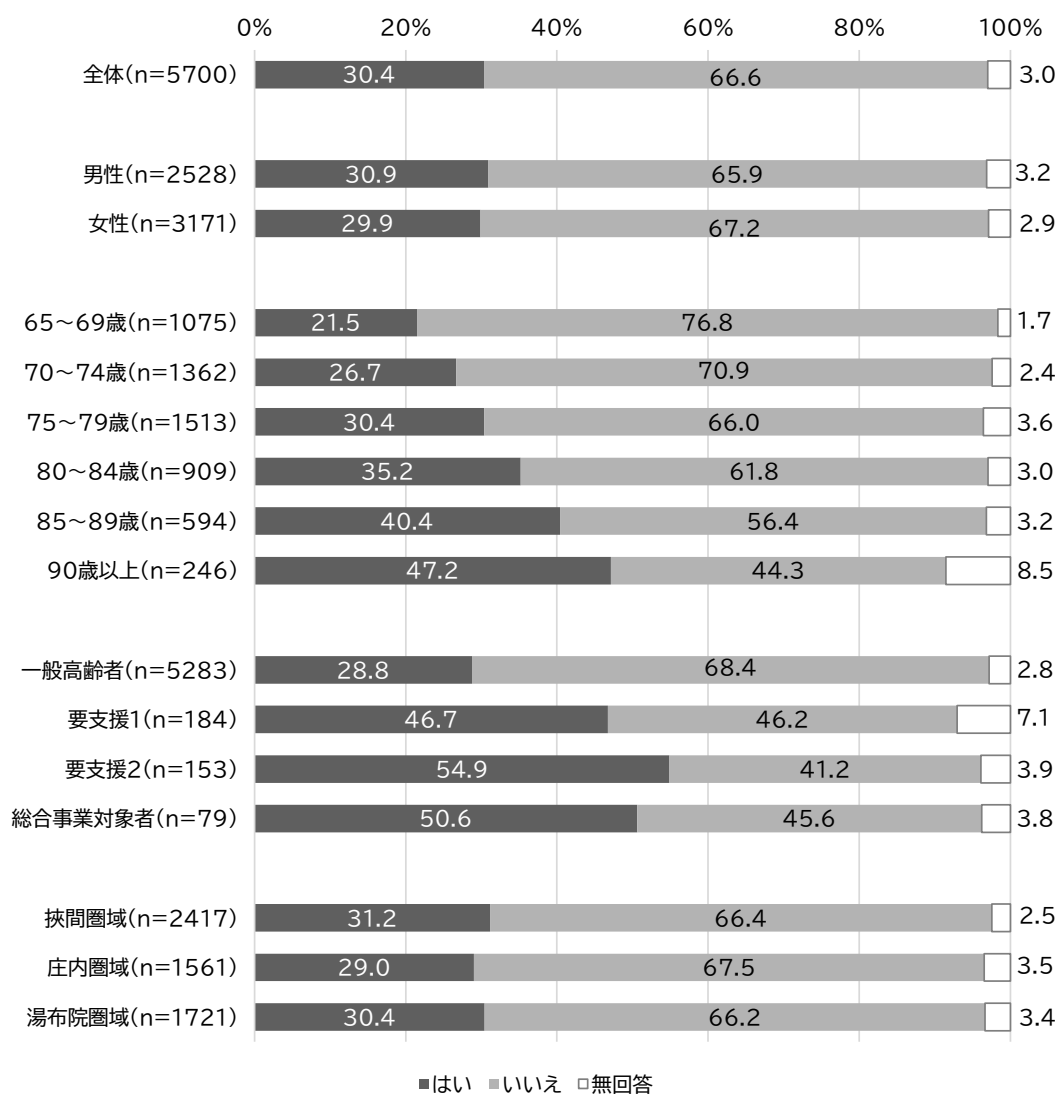
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

「はい」が30.4%、「いいえ」が66.6%となっています。



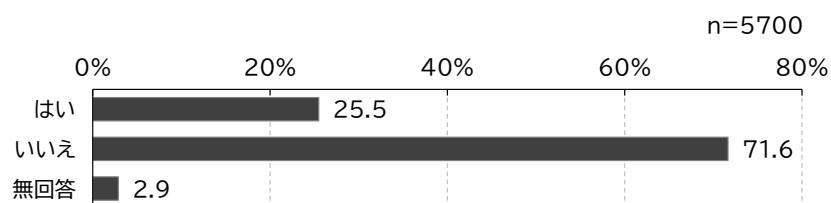
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要支援2が54.9%と最も高く、次いで総合事業対象者が50.6%といずれも過半数となっています。



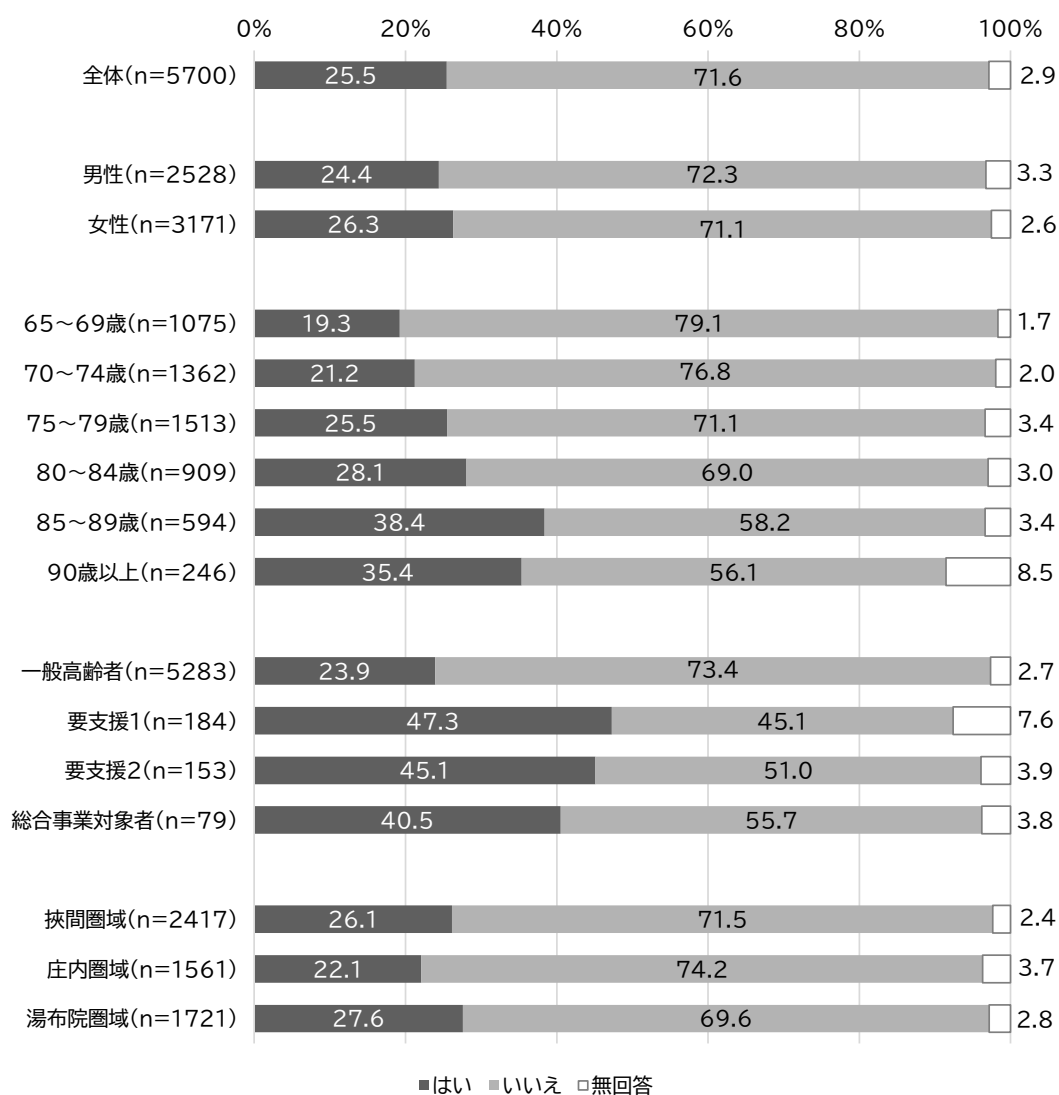
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

「はい」が25.5%、「いいえ」が71.6%となっています。



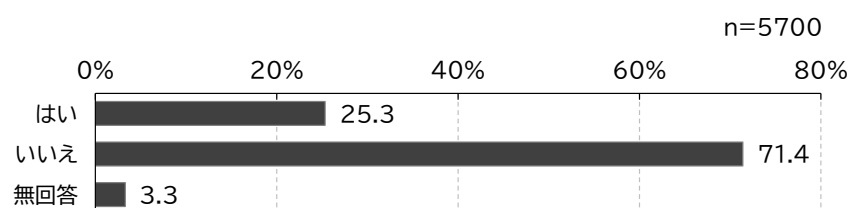
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要介護状態区分別では要支援1が47.3%と最も高くなっています。



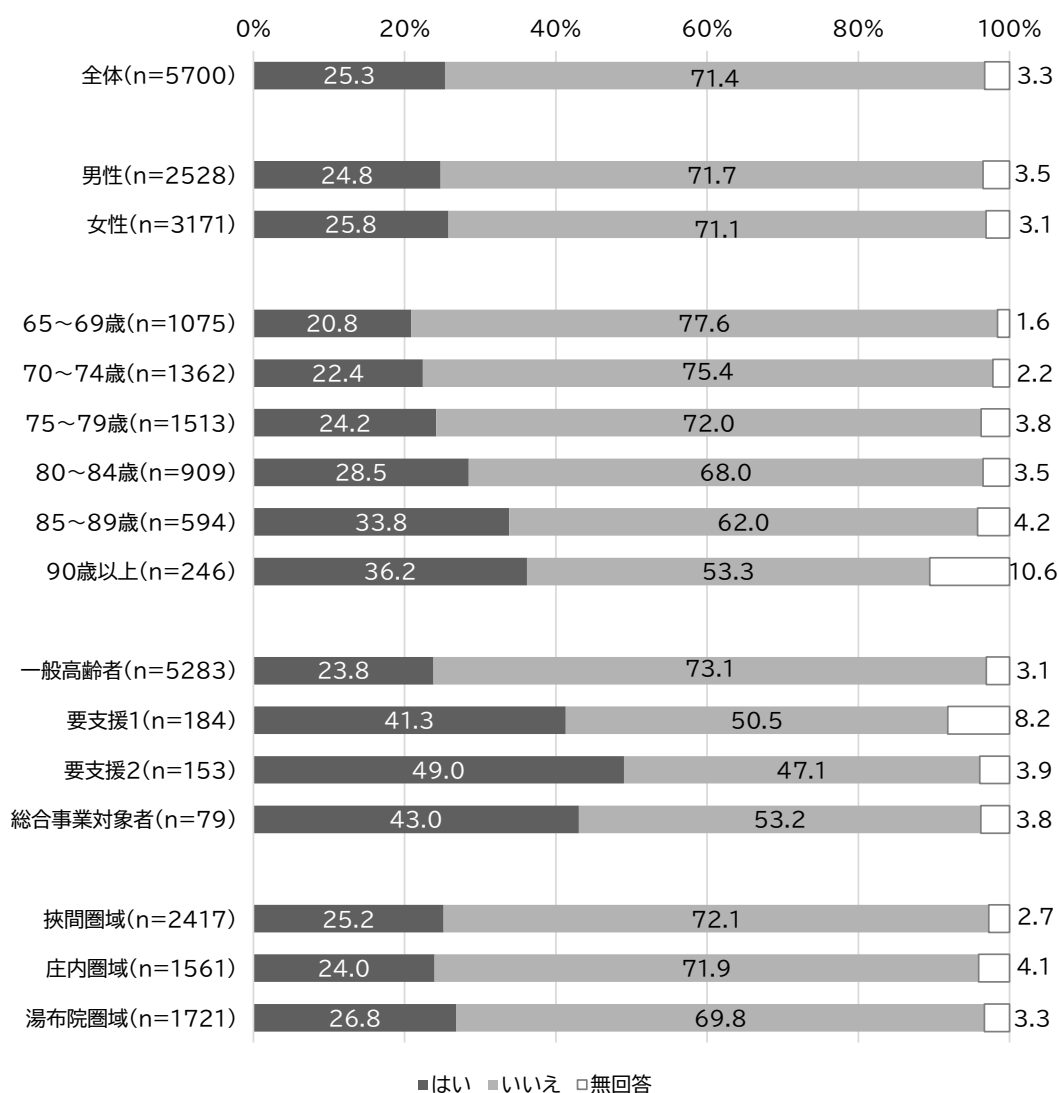
(4) 口の渇きが気になりますか

「はい」が25.3%、「いいえ」が71.4%となっています。



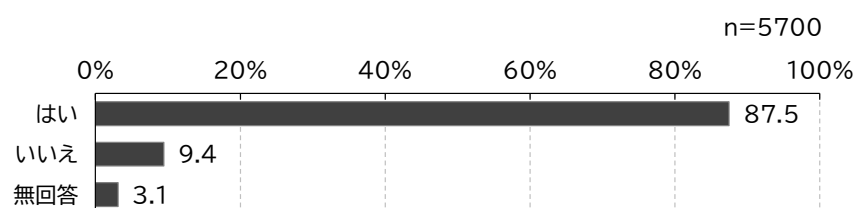
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別では女性の方がわずかに高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別ではおおむね要介護度が上がるほど高くなっています。



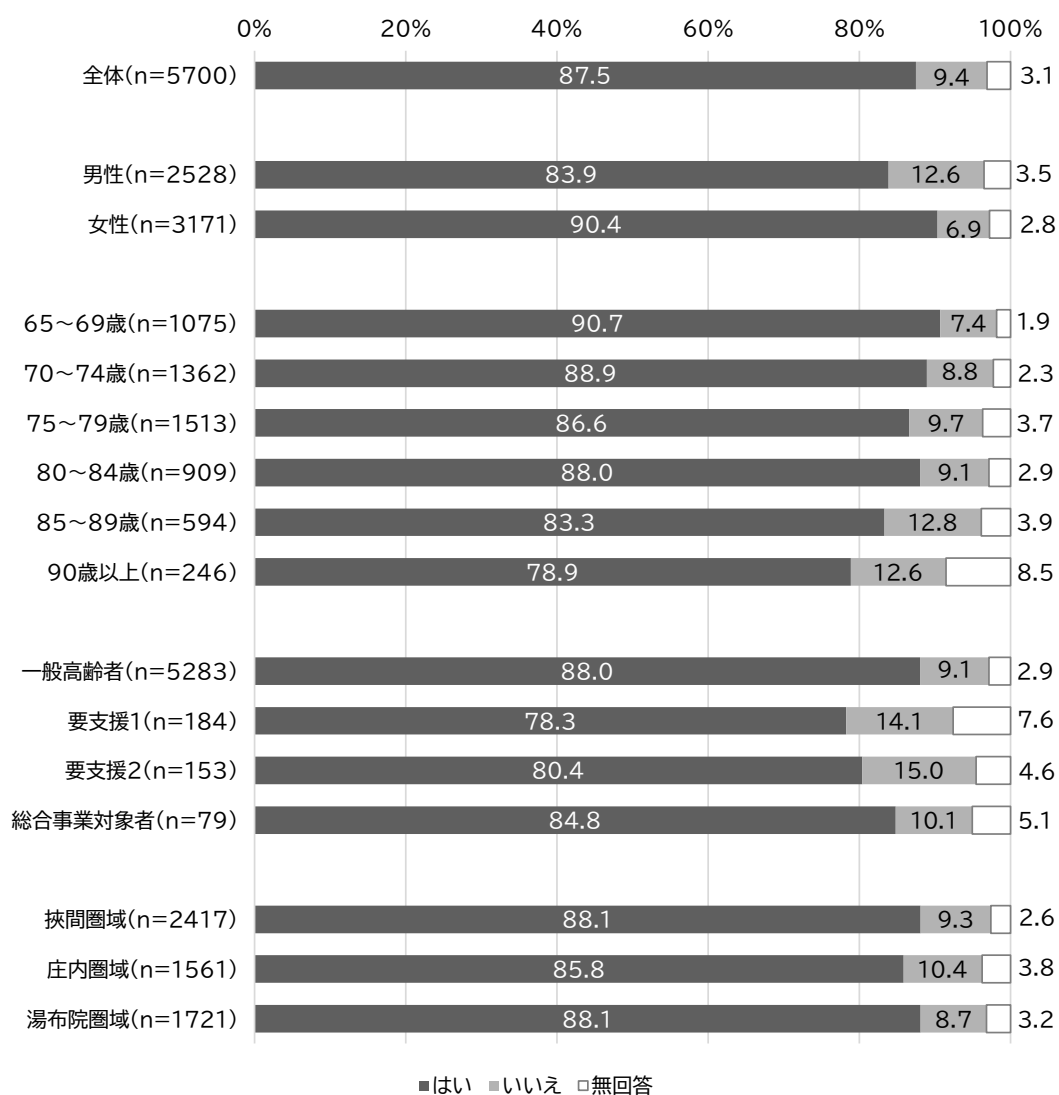
(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか

「はい」が87.5%、「いいえ」が9.4%となっています。



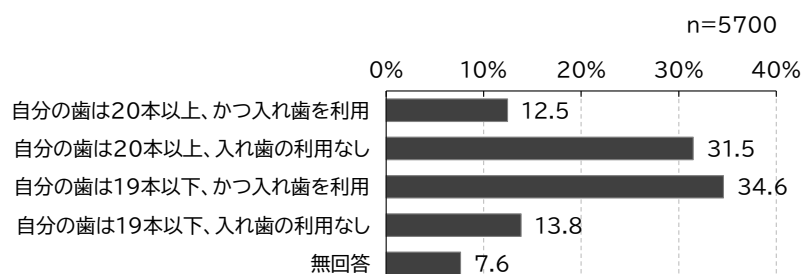
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



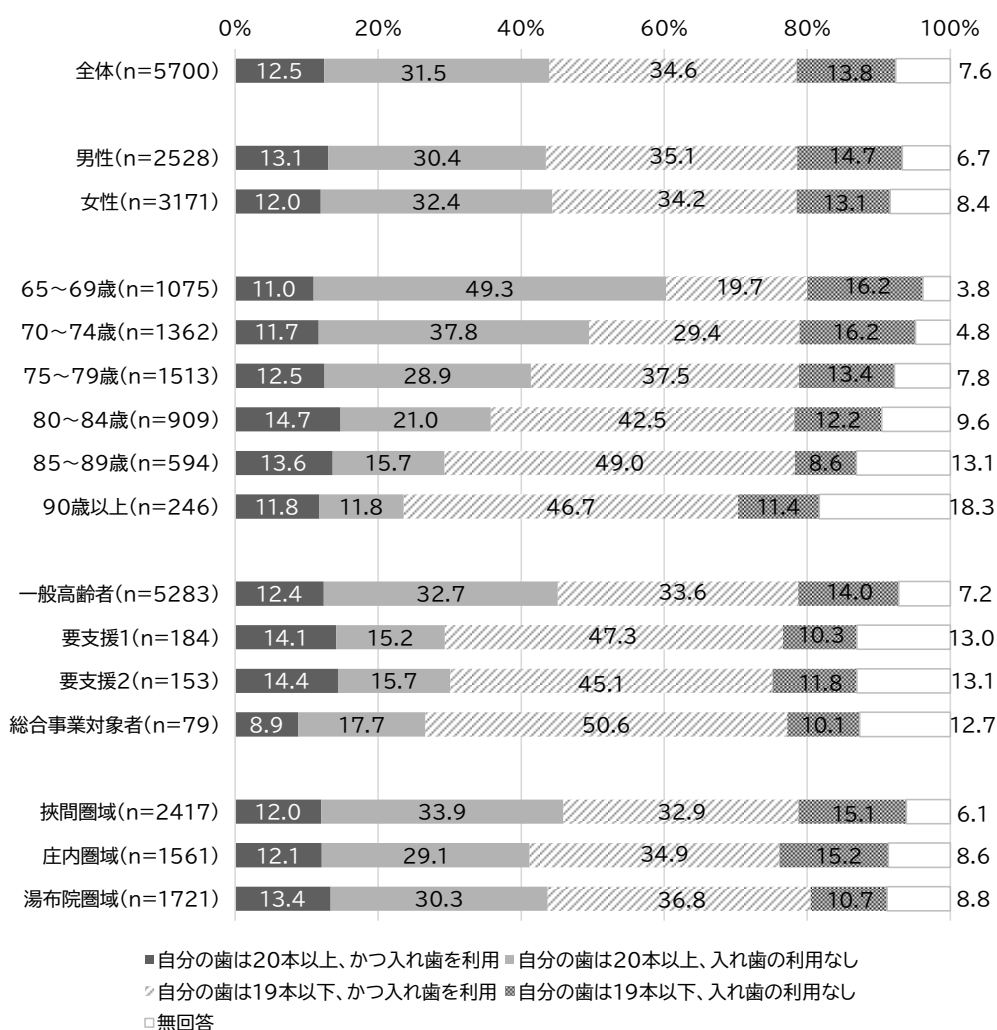
(6) 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.6%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 31.5%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 13.8%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 12.5%となっています。



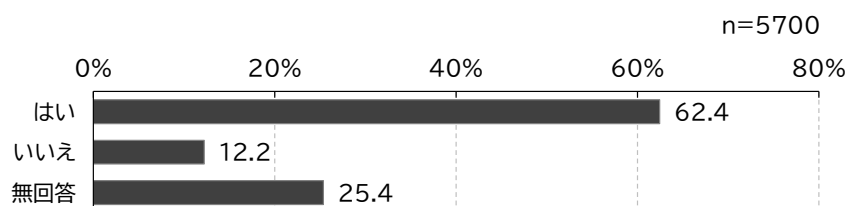
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなる傾向です。要介護状態区分別では一般高齢者が 14.0%と最も高くなっています。



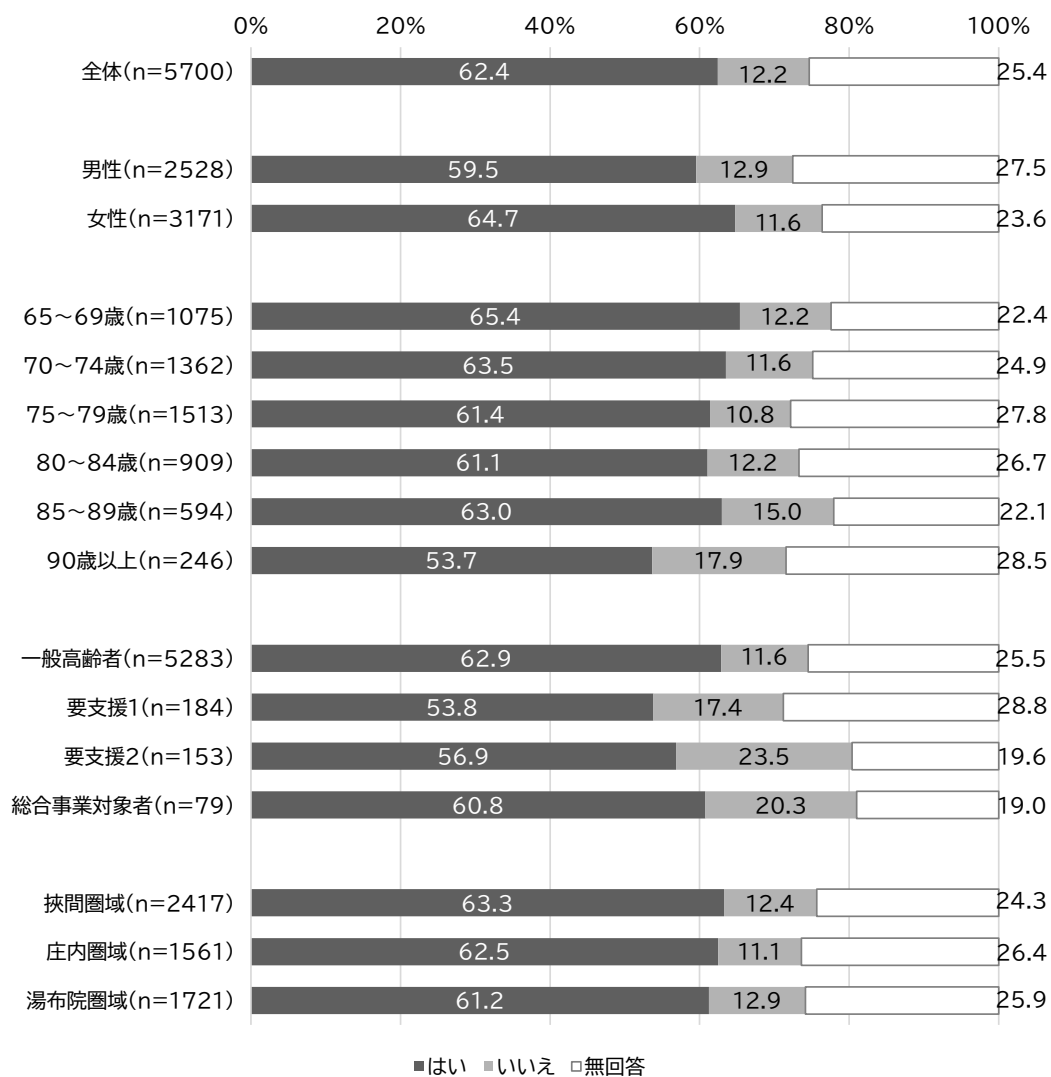
(6)-① 噛み合わせは良いですか

「はい」が62.4%、「いいえ」が12.2%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

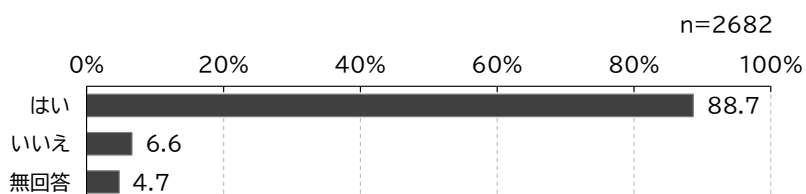
「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では65～79歳までは年齢が上がるにつれて低くなっていますが、80歳以上では年齢が上がるにつれて高くなっています。



問3(6)で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」を選択した方(入れ歯をご利用の方)

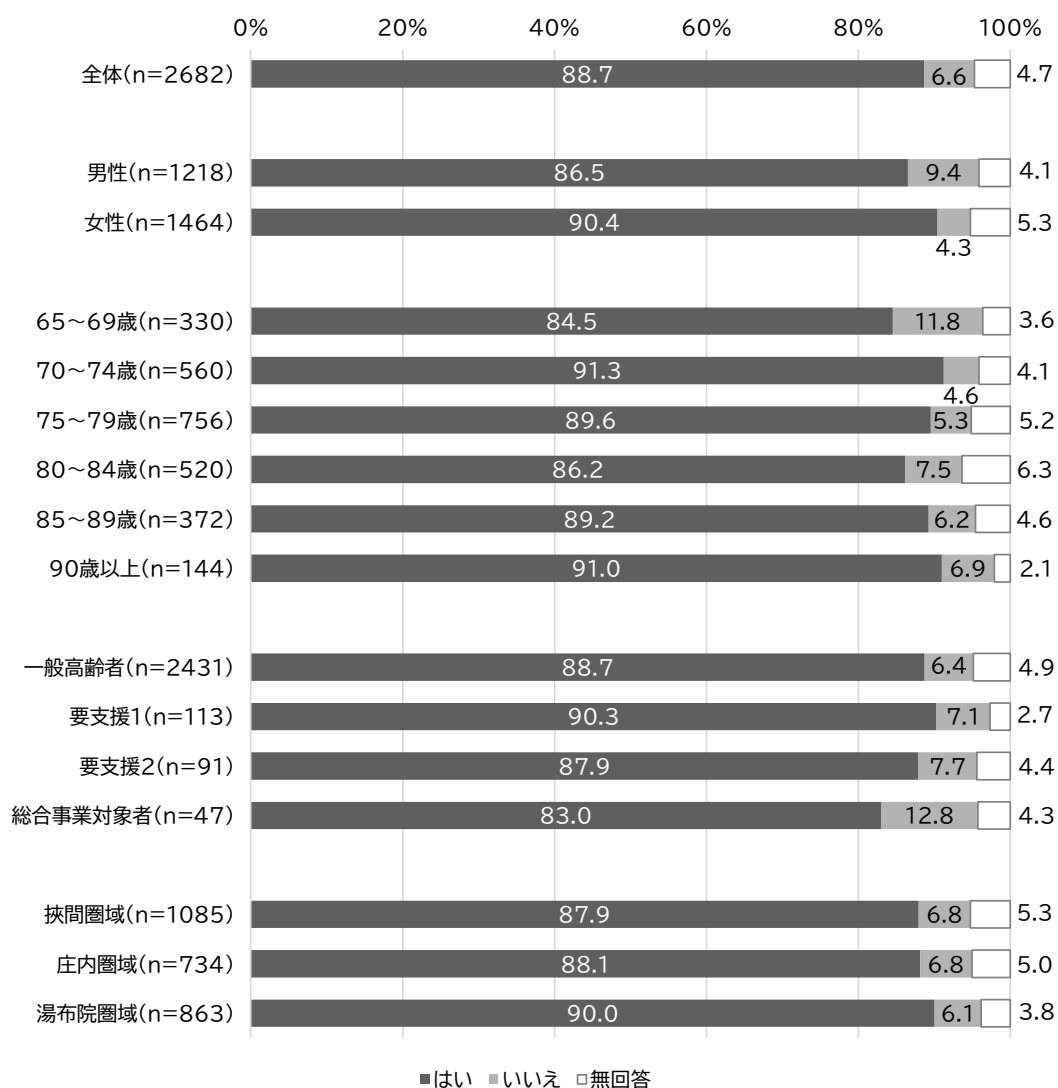
(6)-② 毎日入れ歯の手入れをしていますか

「はい」が 88.7%、「いいえ」が 6.6%となっています。



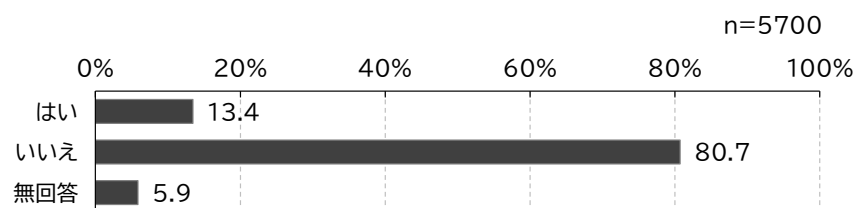
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では 65～69 歳が 11.8%と最も高くなっています。要介護状態区分別では総合事業対象者が 12.8%と最も高くなっています。



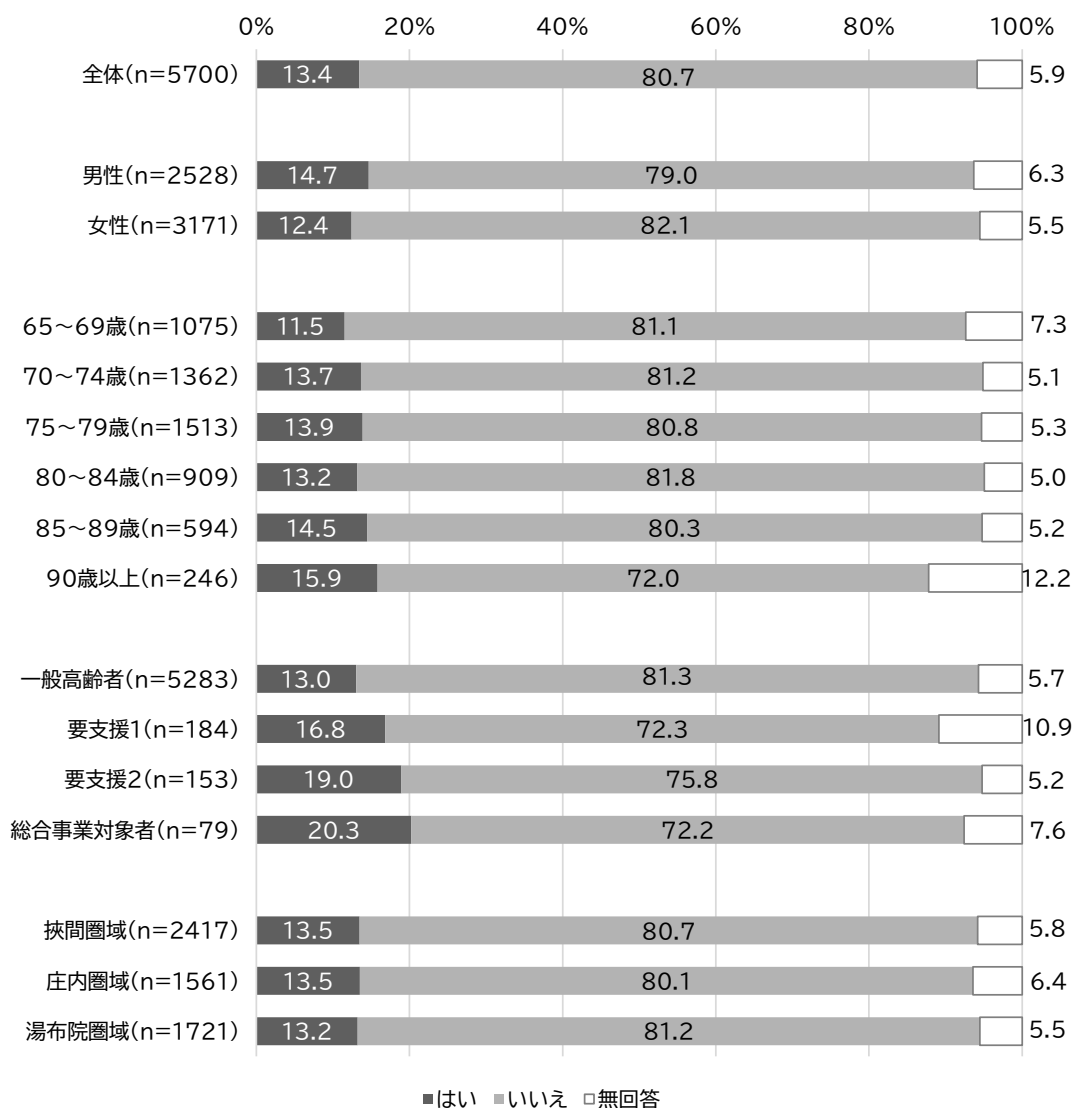
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

「はい」が13.4%、「いいえ」が80.7%となっています。



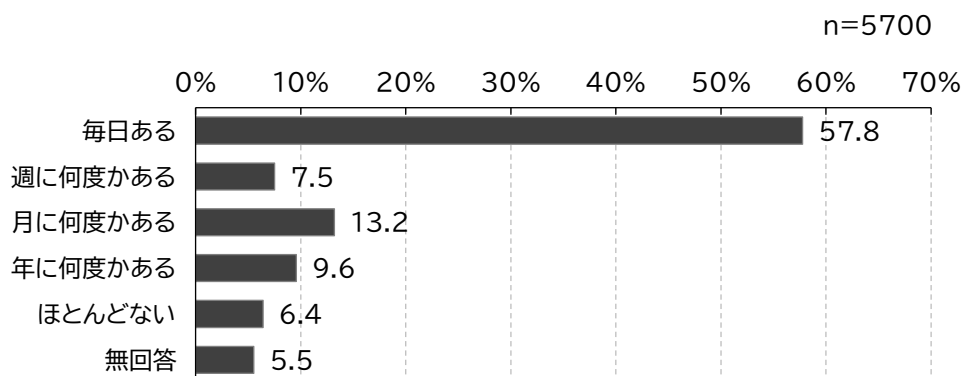
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要介護状態区分別ではおおむね要介護度が上がるほど高くなっています。



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか

「毎日ある」が 57.8%と最も多く、次いで「月に何度かある」が 13.2%、「年に何度かある」が 9.6%、「週に何度かある」が 7.5%、「ほとんどない」が 6.4%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

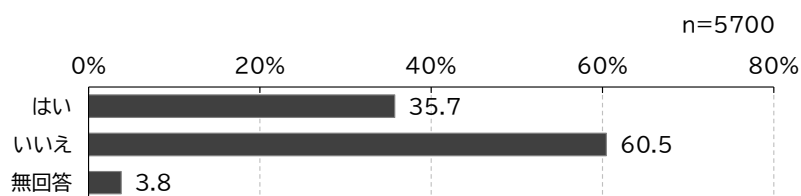
「ほとんどない」の割合は全体で 6.4%ですが、年齢別では 80 歳以上で全体より高く、要介護状態区分別では要支援 1、要支援 2 で全体より高くなっています。

(%)		毎日ある	週に何度 かある	月に何度 かある	年に何度 かある	ほとんど ない	無回答
	n(回答数)						
全体	5700	57.8	7.5	13.2	9.6	6.4	5.5
男性	2528	59.4	5.5	10.0	10.1	8.6	6.5
女性	3171	56.4	9.2	15.8	9.2	4.7	4.8
65～69歳	1075	66.7	8.1	7.3	5.5	5.0	7.3
70～74歳	1362	63.9	6.0	11.2	8.3	5.5	5.1
75～79歳	1513	57.5	6.1	15.2	9.8	5.9	5.4
80～84歳	909	50.2	8.5	17.7	11.9	7.7	4.1
85～89歳	594	45.1	10.4	16.3	14.6	8.9	4.5
90歳以上	246	44.7	11.4	13.4	12.2	9.8	8.5
一般高齢者	5283	58.9	6.9	13.1	9.4	6.2	5.5
要支援 1	184	38.6	14.1	18.5	10.3	9.2	9.2
要支援 2	153	45.1	19.6	9.8	11.1	10.5	3.9
総合事業対象者	79	46.8	7.6	16.5	17.7	6.3	5.1
挾間圏域	2417	59.1	7.5	12.0	9.4	6.2	5.7
庄内圏域	1561	57.3	7.0	13.7	9.4	6.7	5.8
湯布院圏域	1721	56.2	8.0	14.4	9.9	6.4	5.1

問4 毎日の生活についてうかがいます

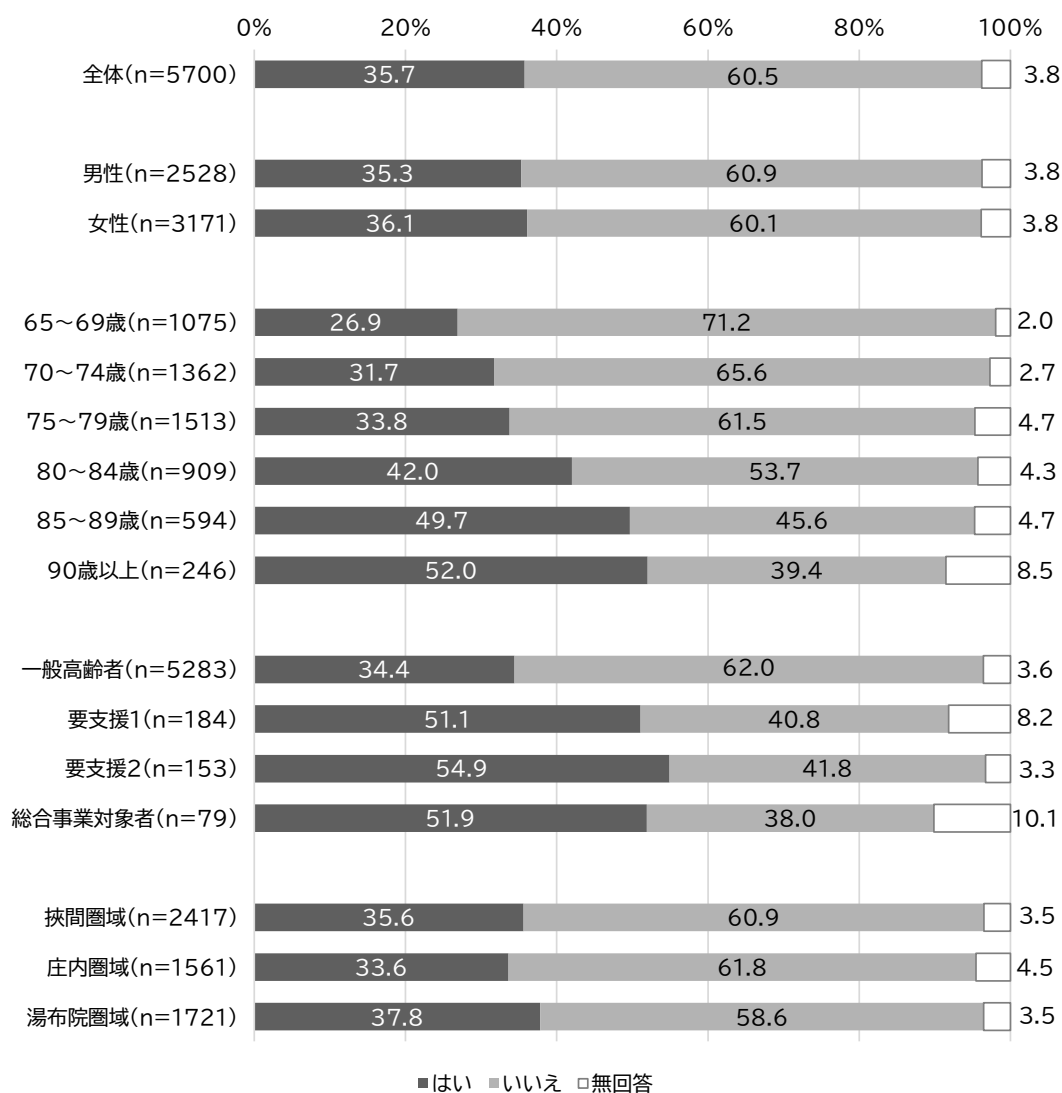
(1) 物忘れが多いと感じますか

「はい」が35.7%、「いいえ」が60.5%となっています。



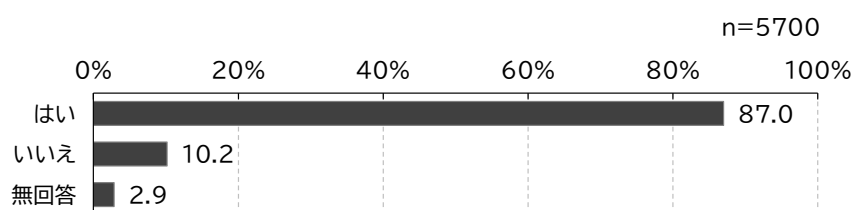
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別では女性の方がわずかに高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別ではおおむね要介護度が上がるほど高くなっています。



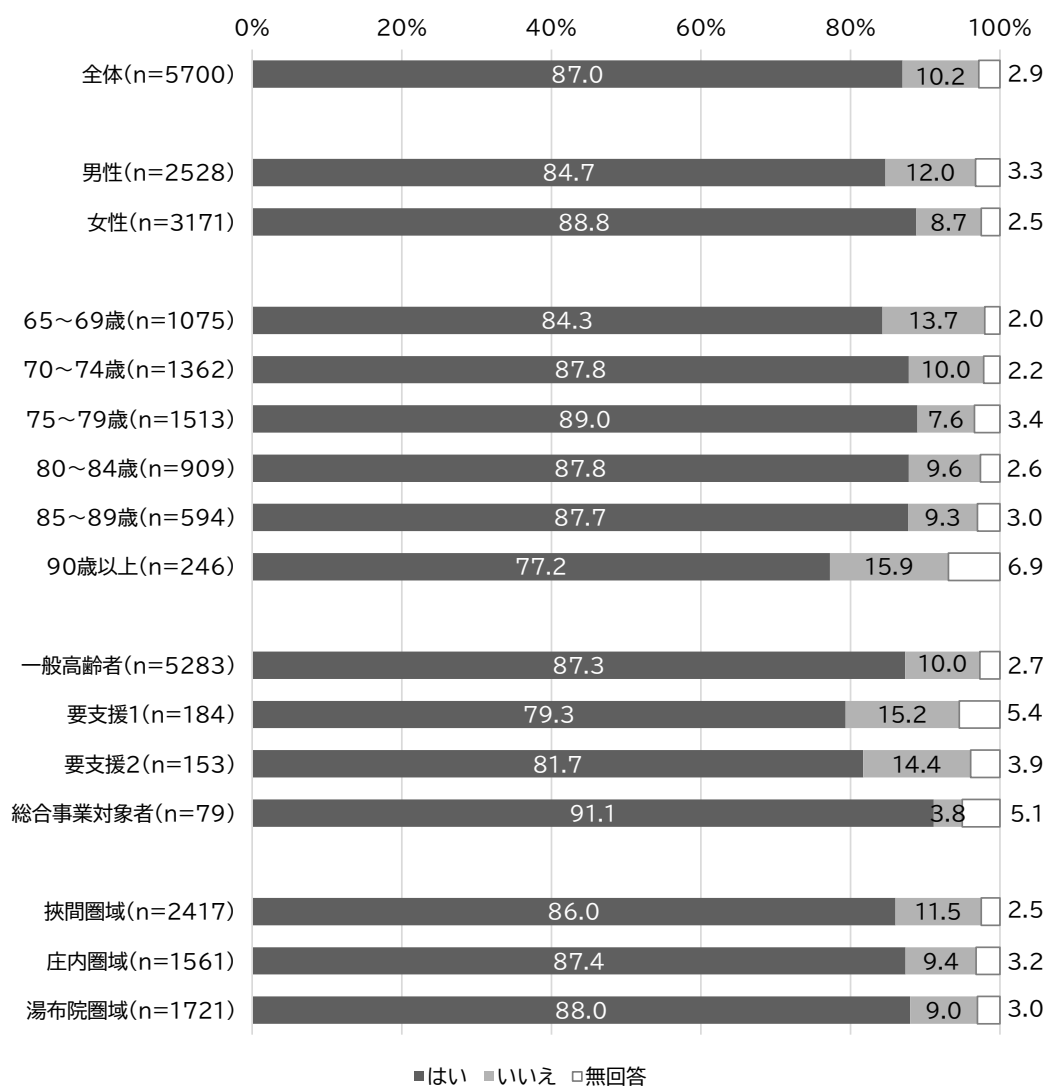
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

「はい」が87.0%、「いいえ」が10.2%となっています。



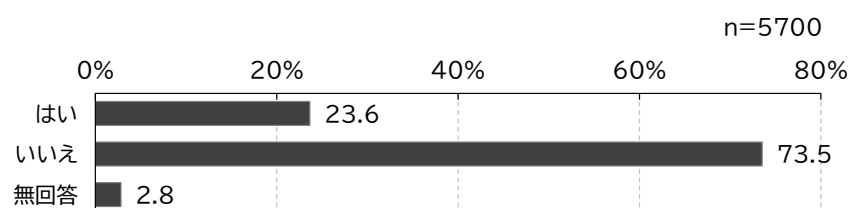
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では90歳以上が15.9%と最も高くなっています。



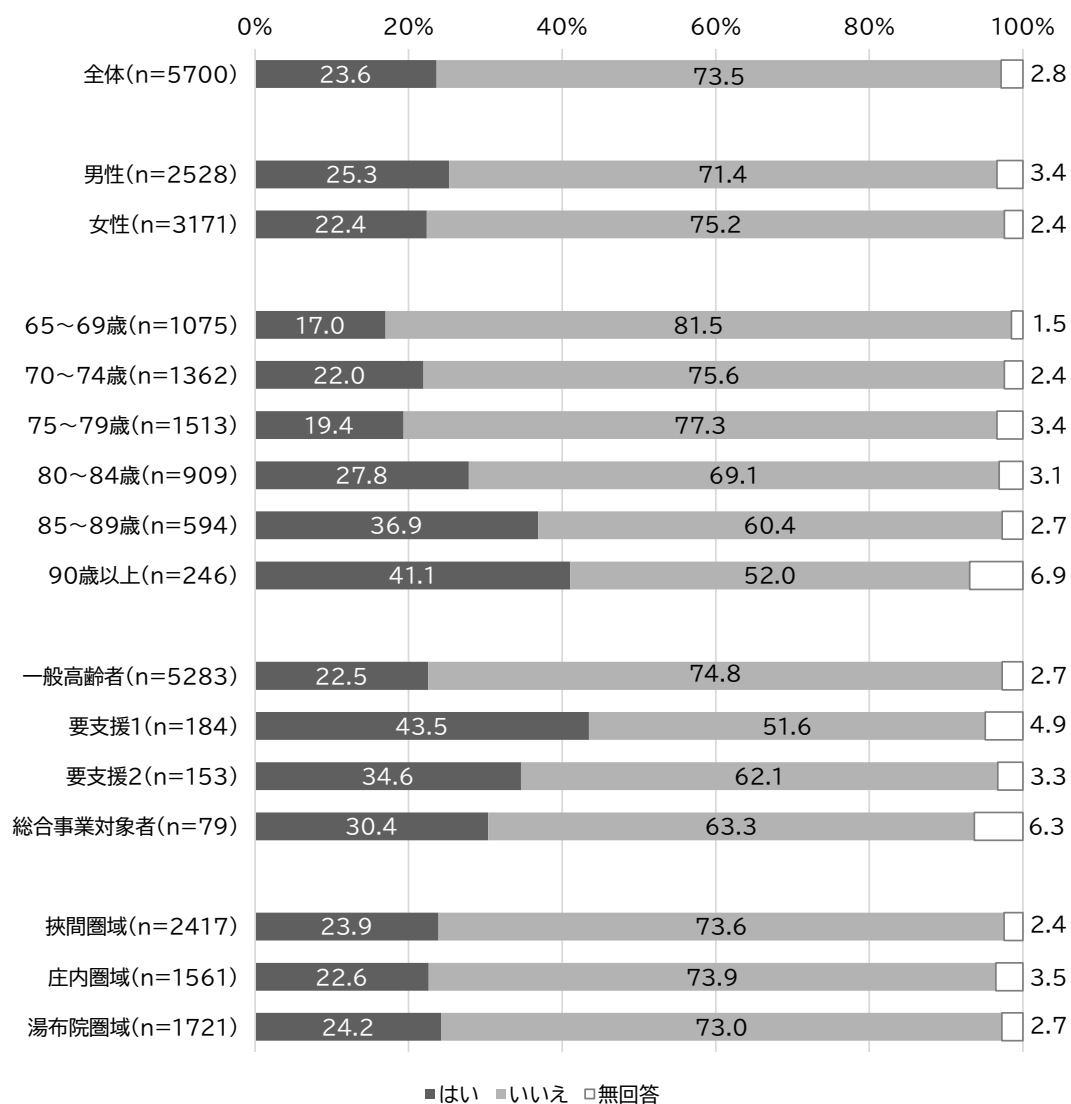
(3) 今日が何月何日かわからないときがありますか

「はい」が23.6%、「いいえ」が73.5%となっています。



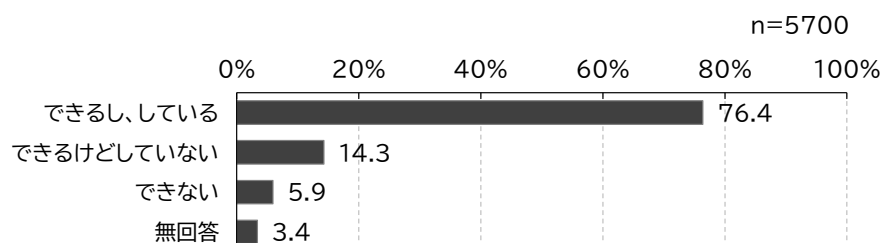
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別ではおおむね年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要支援1が43.5%と最も高くなっています。



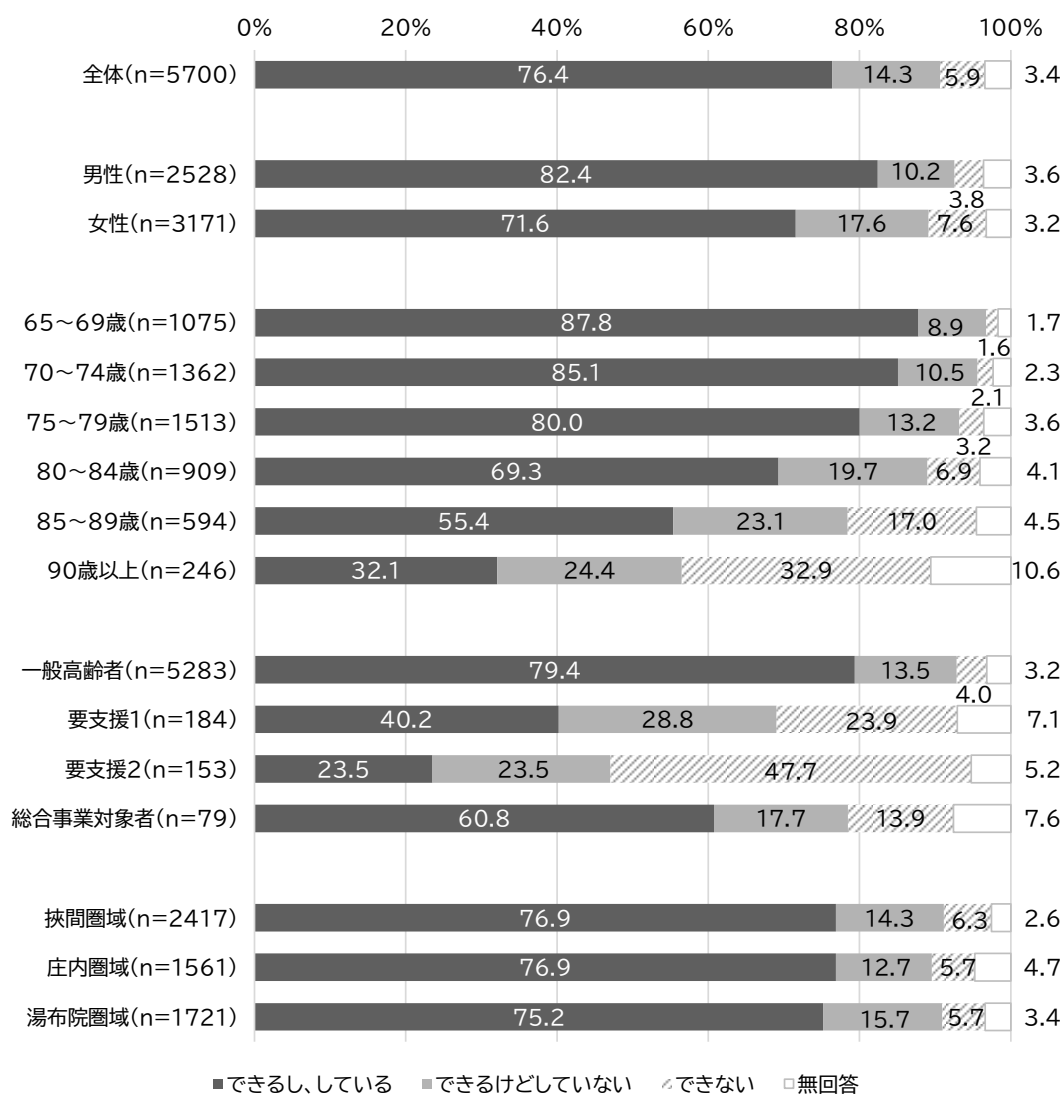
(4) バスや電車で1人で外出していますか(自家用車でも可)

「できるし、している」が76.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.3%、「できない」が5.9%となっています。



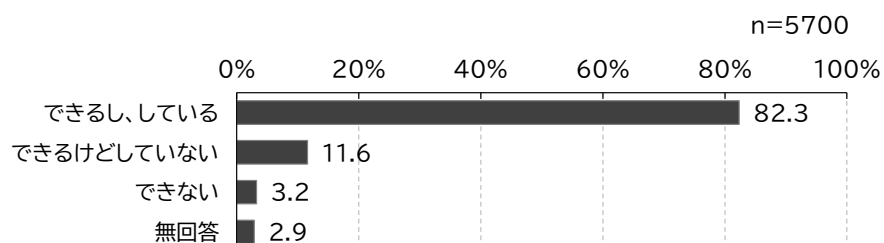
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



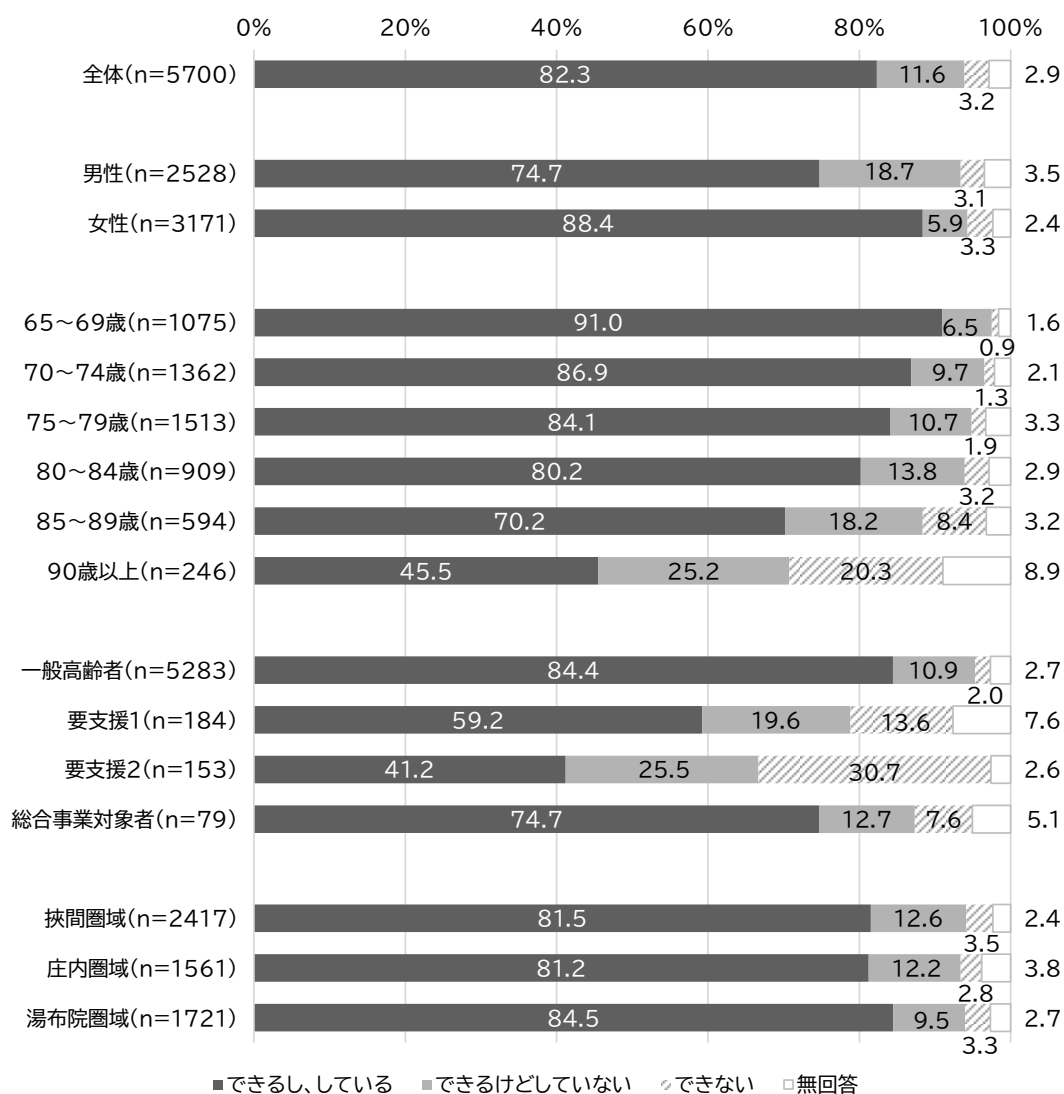
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「できるし、している」が82.3%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.6%、「できない」が3.2%となっています。



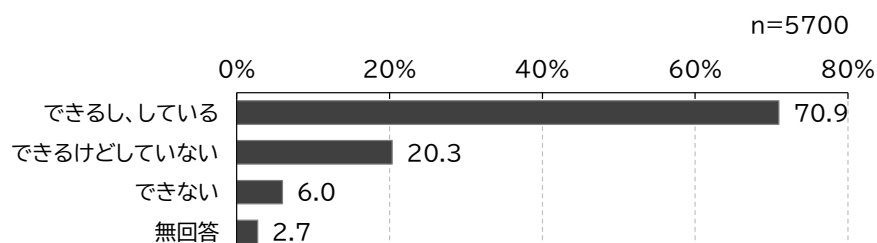
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別ではわずかに女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



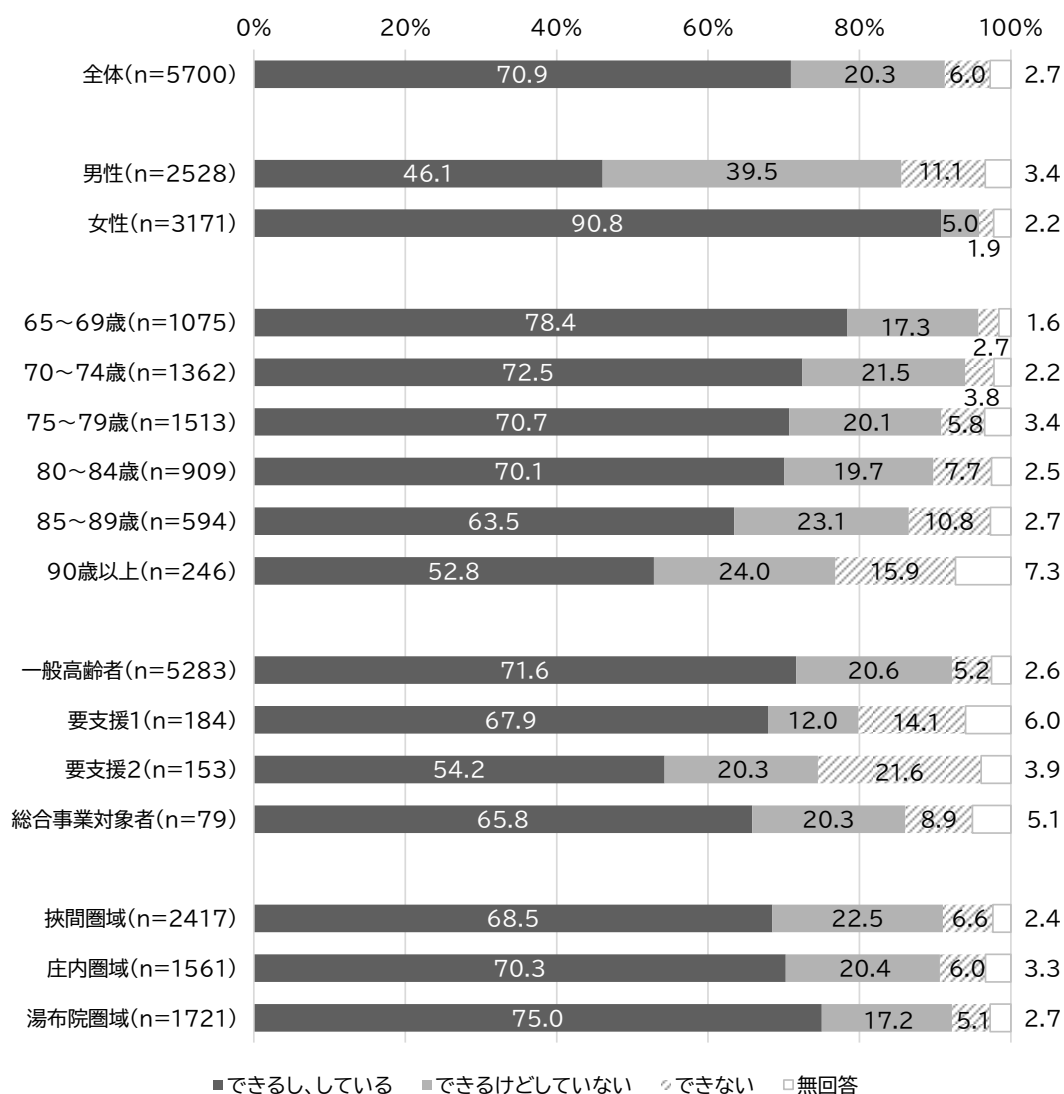
(6) 自分で食事の用意をしていますか

「できるし、している」が70.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が20.3%、「できない」が6.0%となっています。



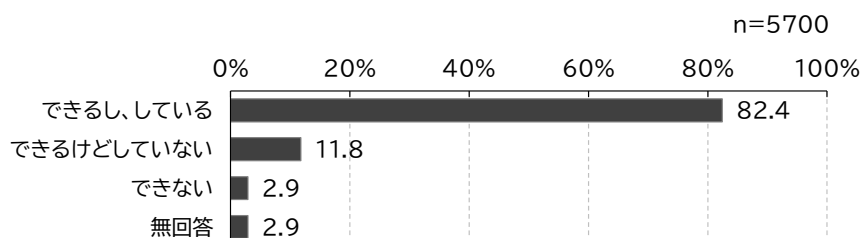
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



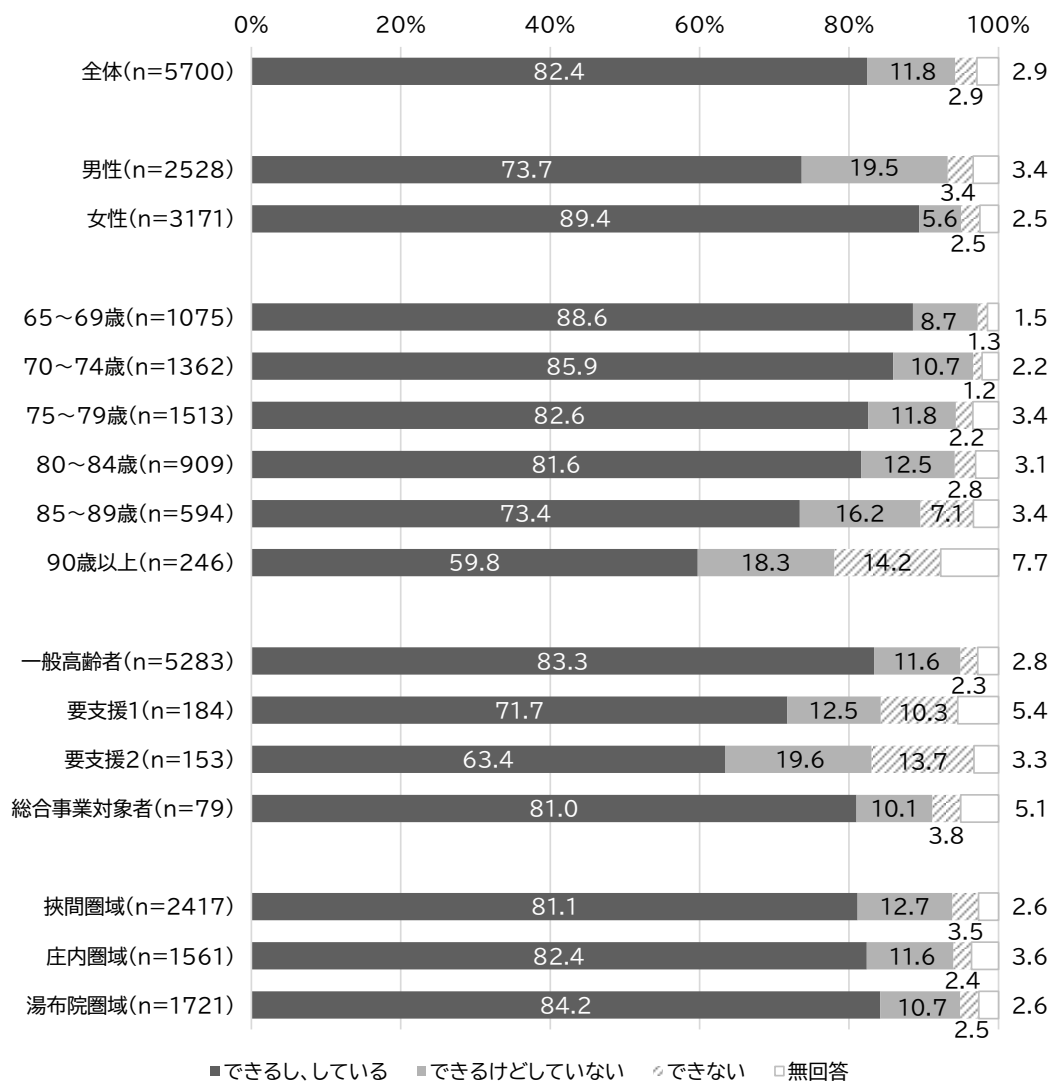
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

「できるし、している」が82.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が2.9%となっています。



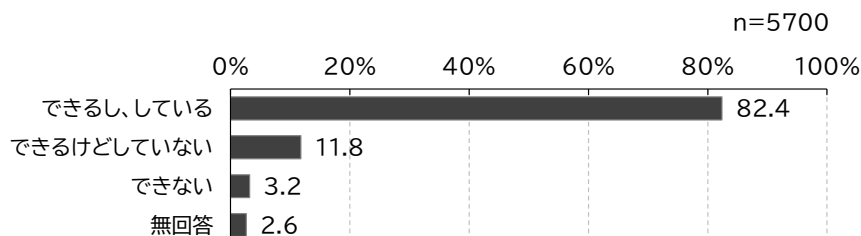
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



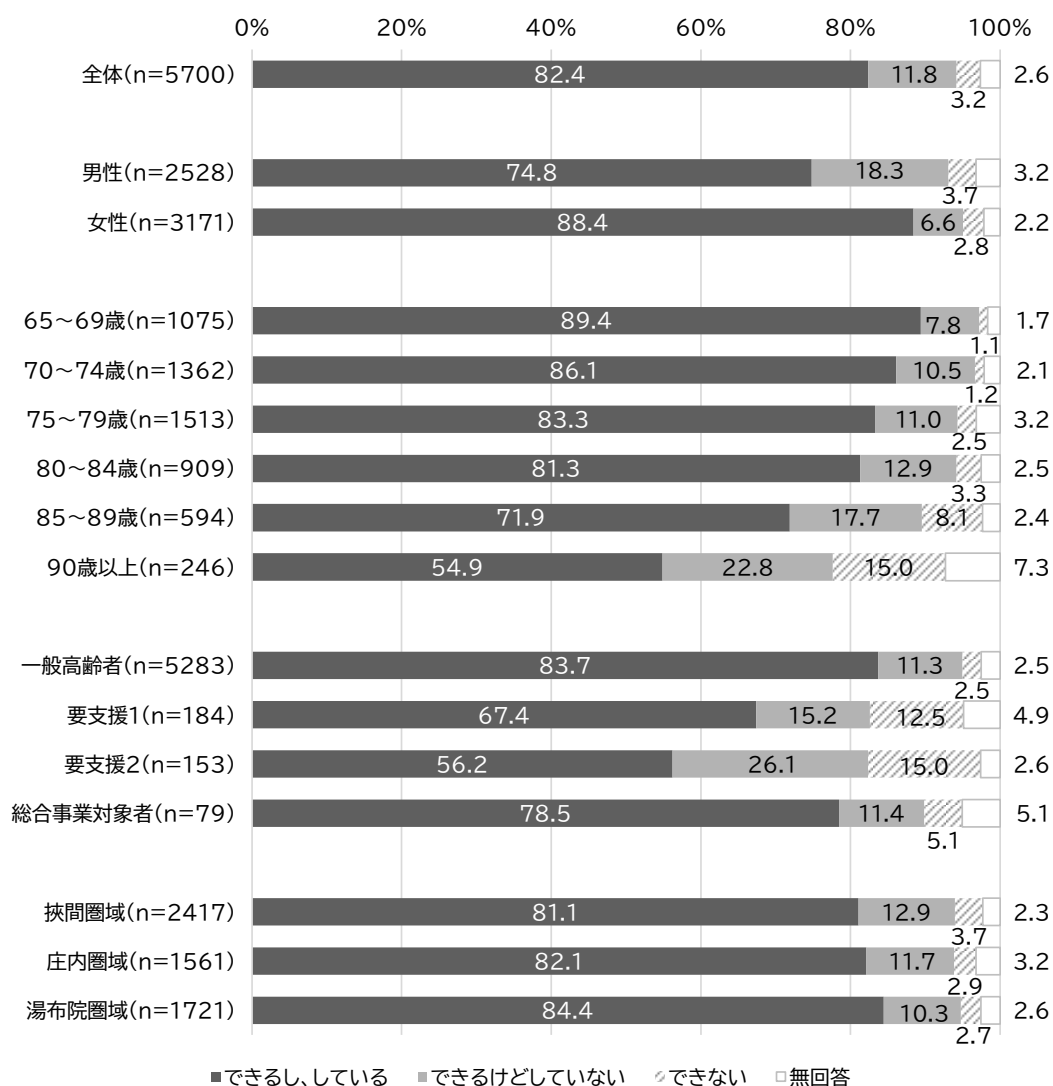
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

「できるし、している」が82.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.8%、「できない」が3.2%となっています。



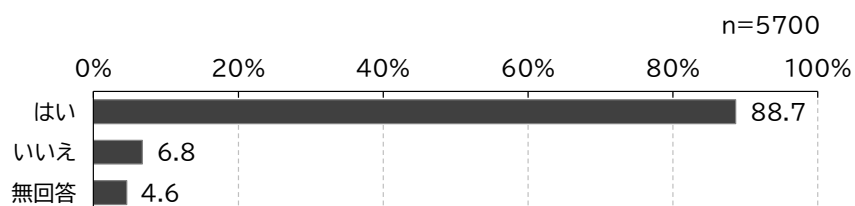
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「できない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



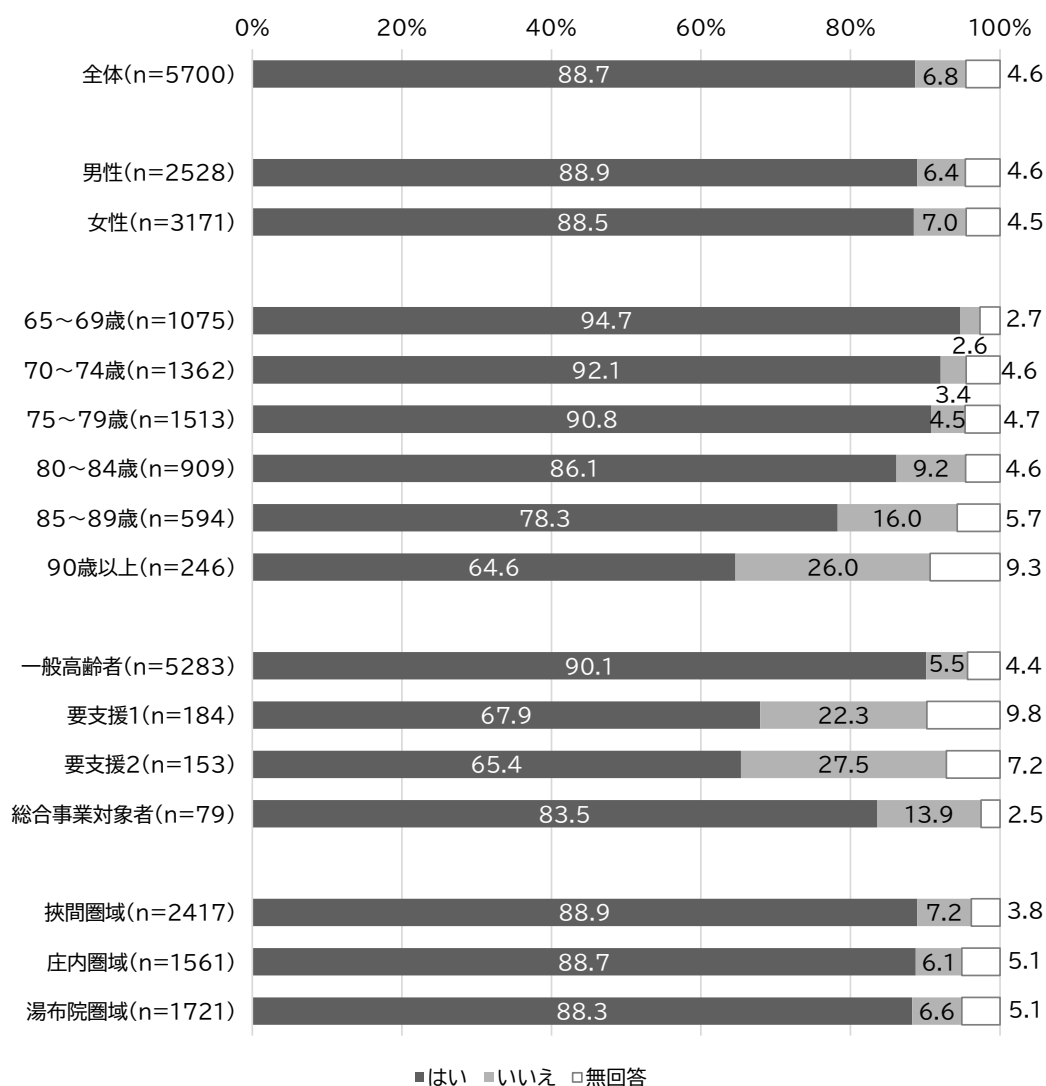
(9) 年金などの書類(市役所や病院などに出す書類)が書けますか

「はい」が88.7%、「いいえ」が6.8%となっています。



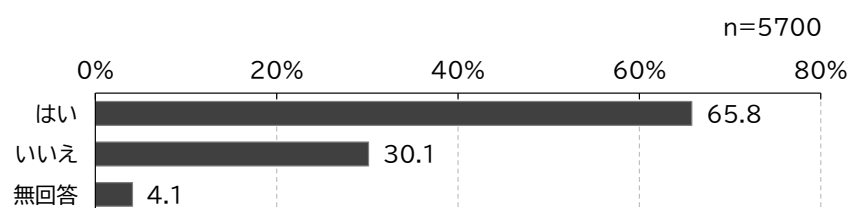
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別ではわずかに女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



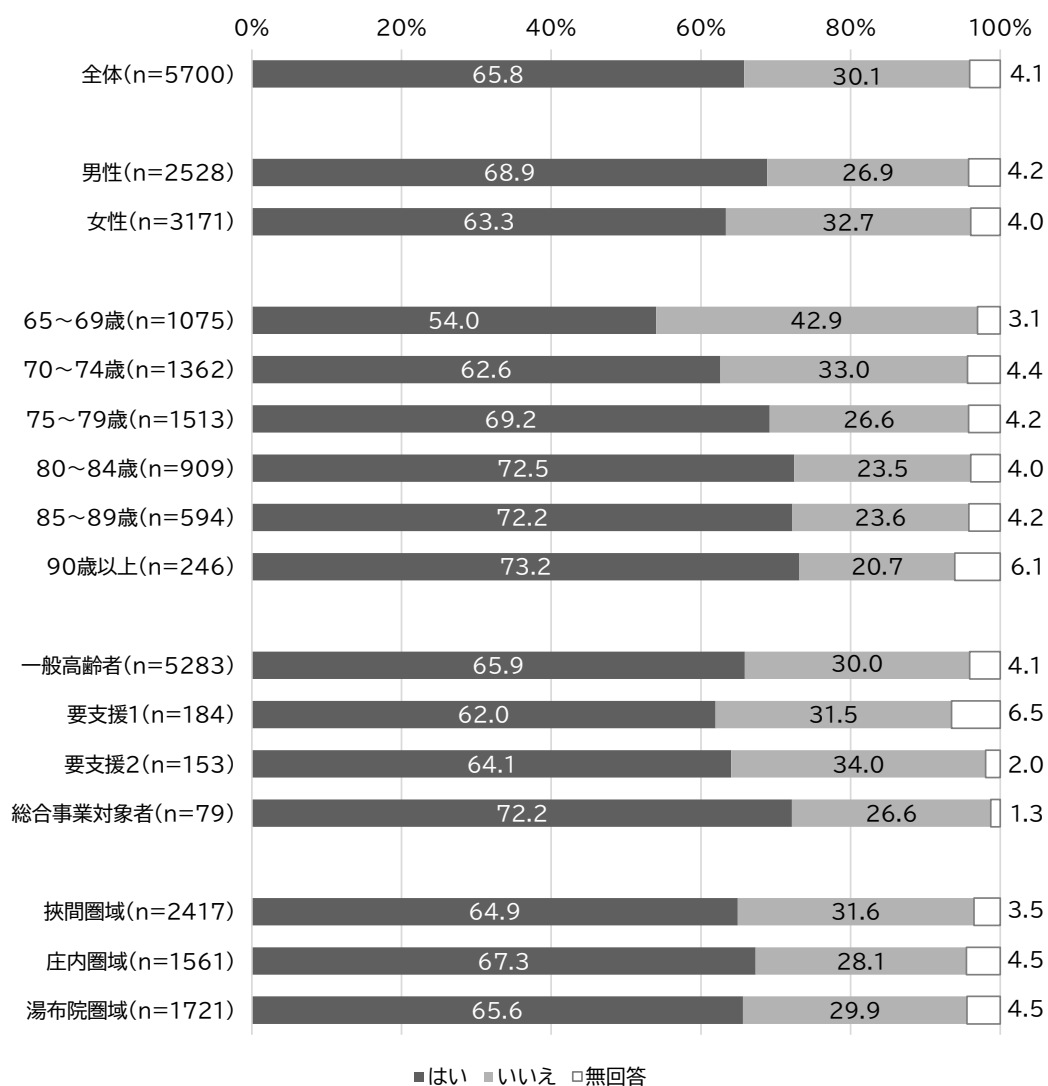
(10) 新聞を読んでいますか

「はい」が65.8%、「いいえ」が30.1%となっています。



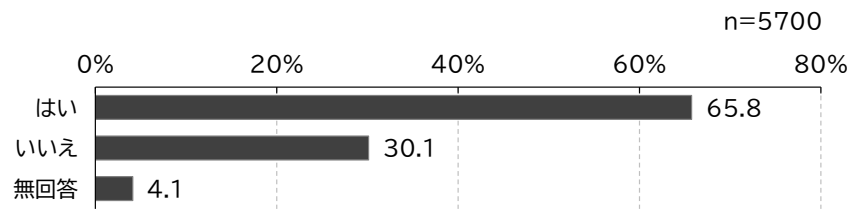
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなる傾向です。圏域別では挟間圏域が31.6%と最も高くなっています。



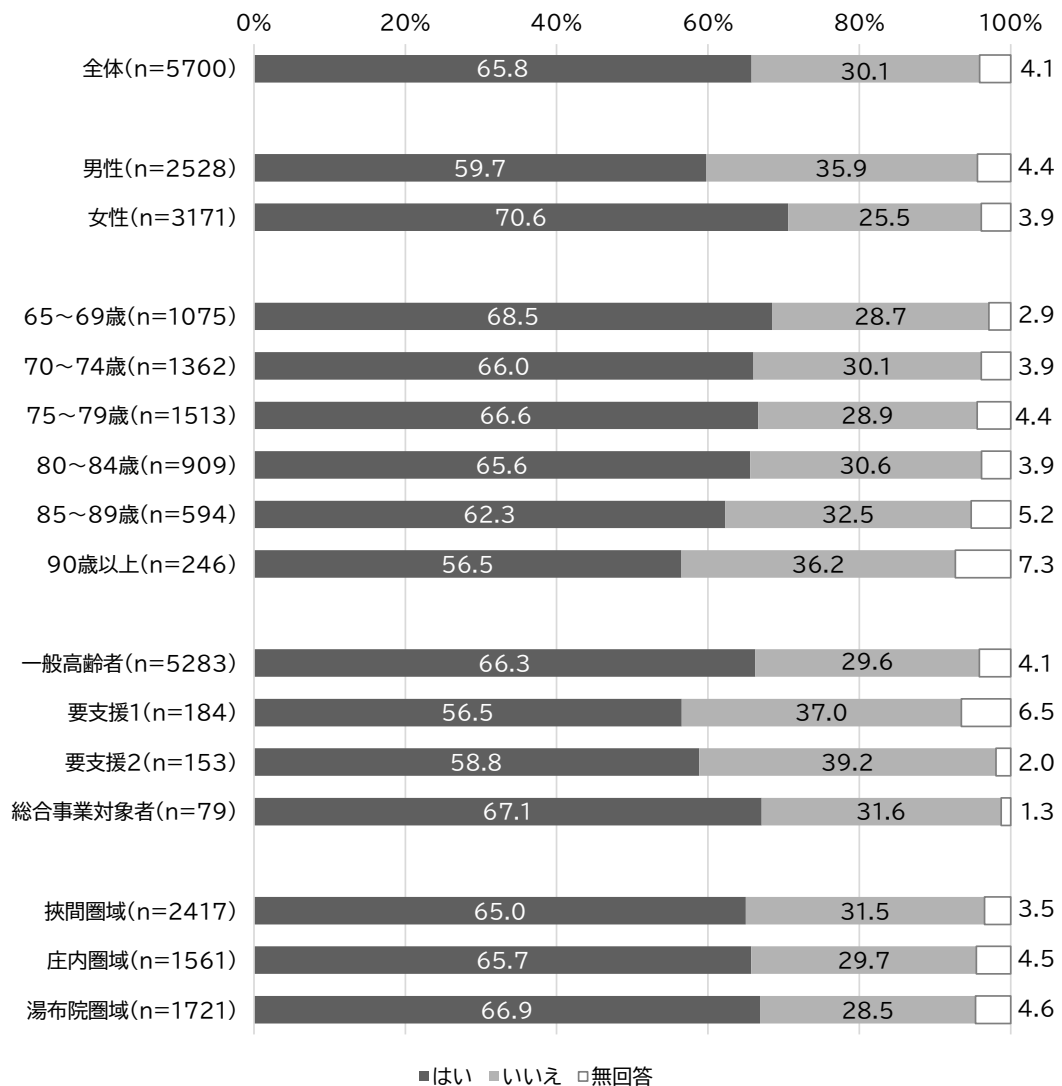
(11) 本や雑誌を読んでいますか

「はい」が65.8%、「いいえ」が30.1%となっています。



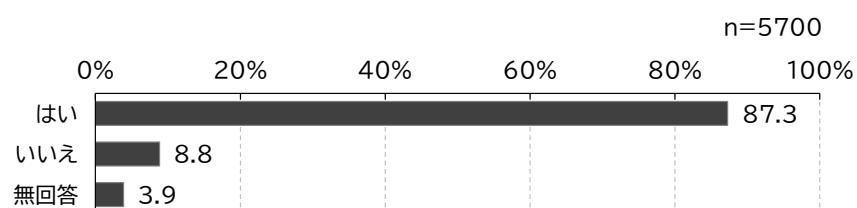
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



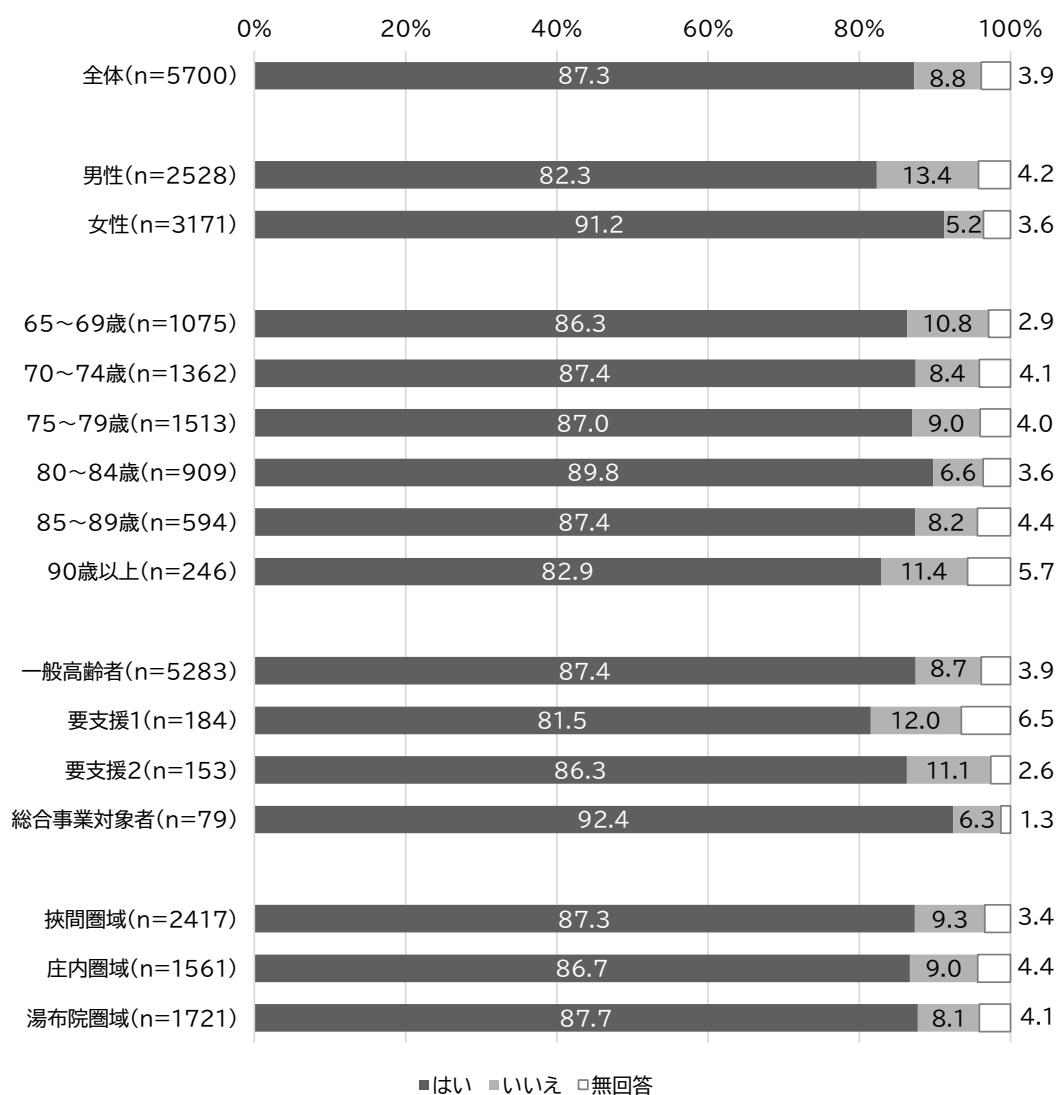
(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

「はい」が87.3%、「いいえ」が8.8%となっています。



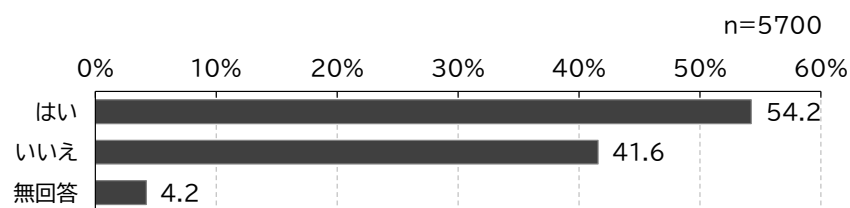
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では90歳以上が11.4%と最も高くなっています。要介護状態区分別では要支援1が12.0%と最も高くなっています。



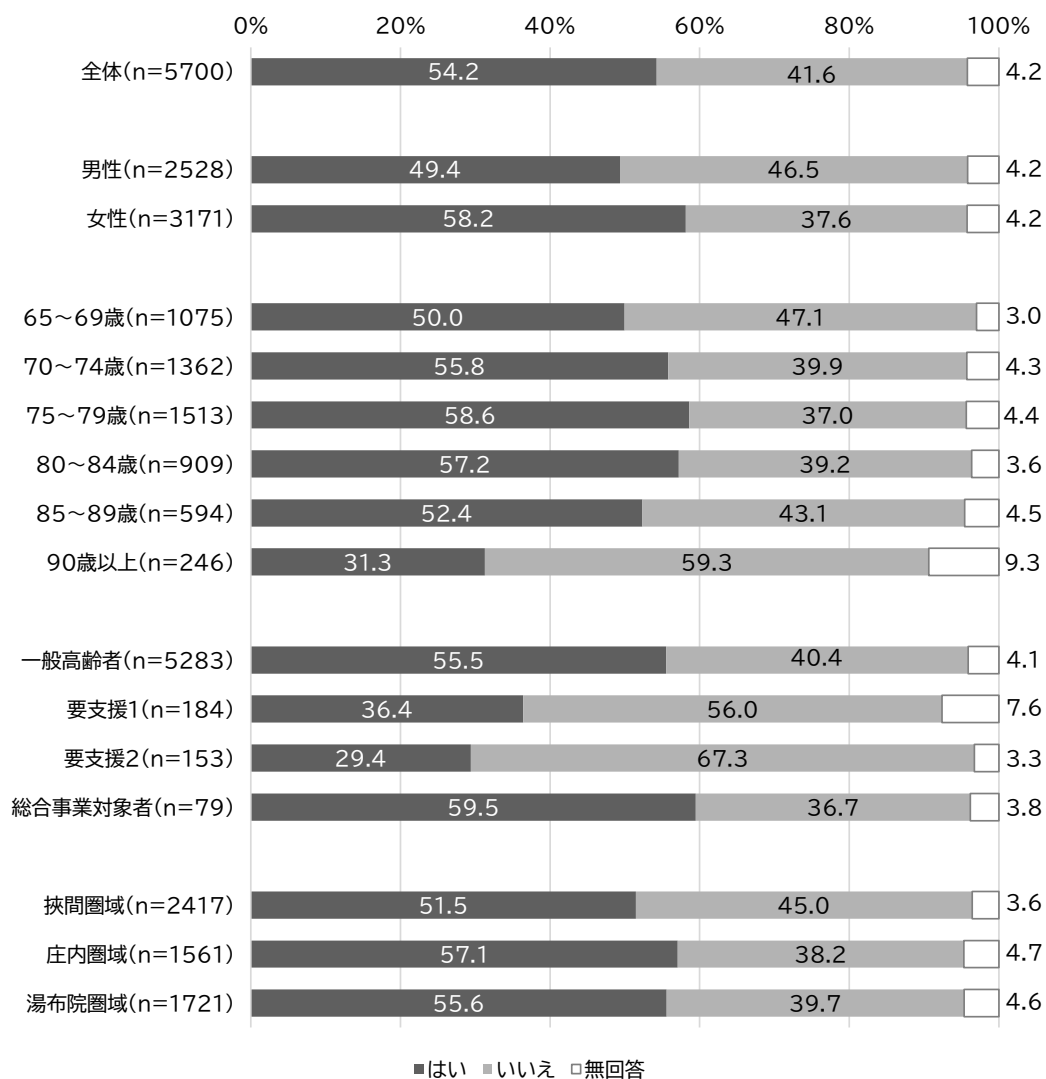
(13) 友人の家を訪ねていますか

「はい」が54.2%、「いいえ」が41.6%となっています。



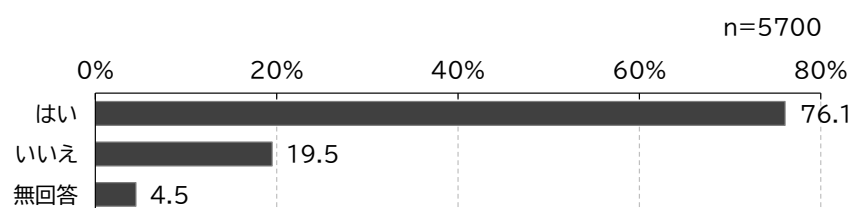
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では65～79歳までは年齢が上がるにつれて低くなっていますが、80歳以上では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別ではおおむね要介護度が上がるほど高くなっています。



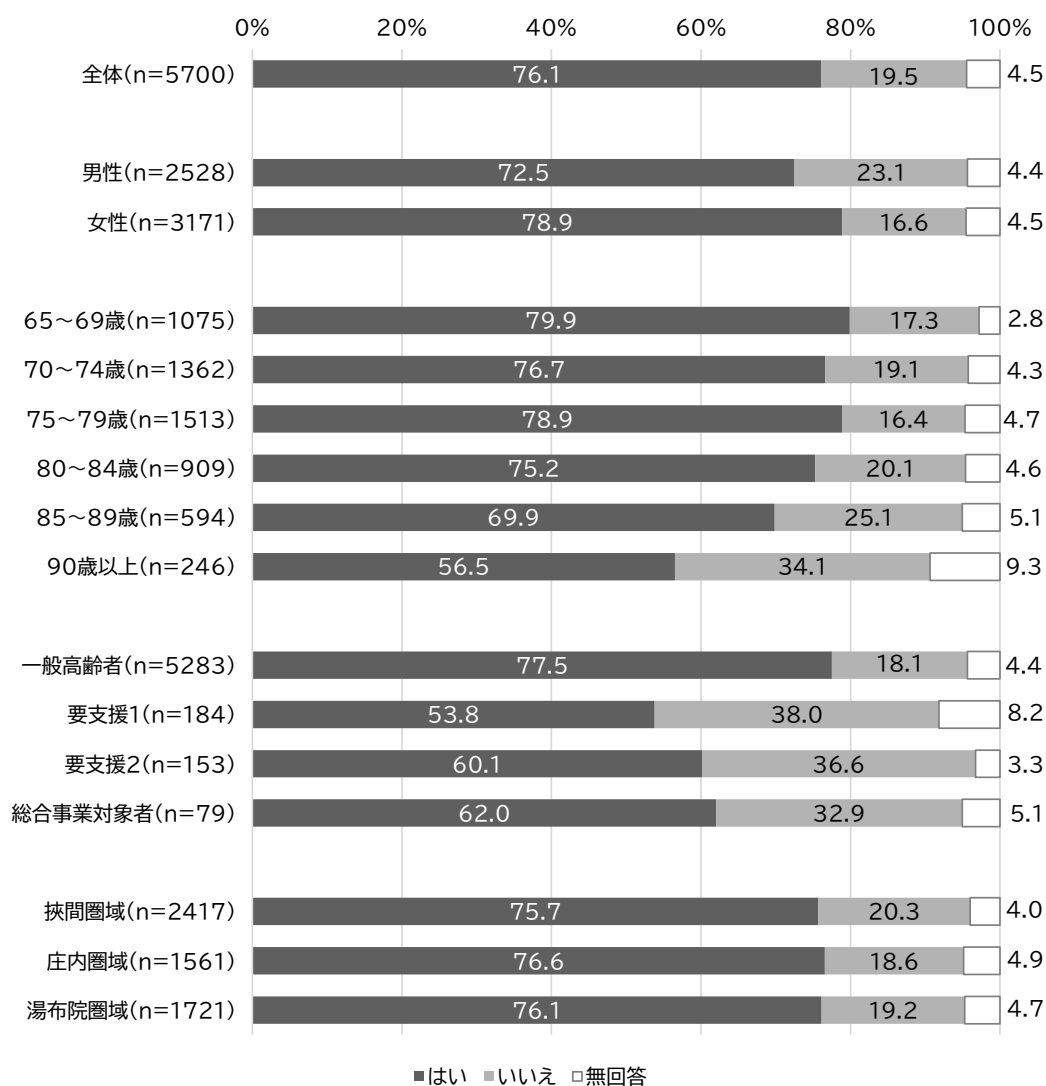
(14) 家族や友人の相談にのっていますか

「はい」が76.1%、「いいえ」が19.5%となっています。



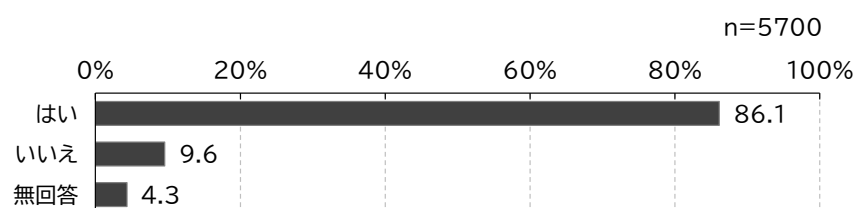
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要介護状態区分別では要支援1が38.0%と最も高くなっています。



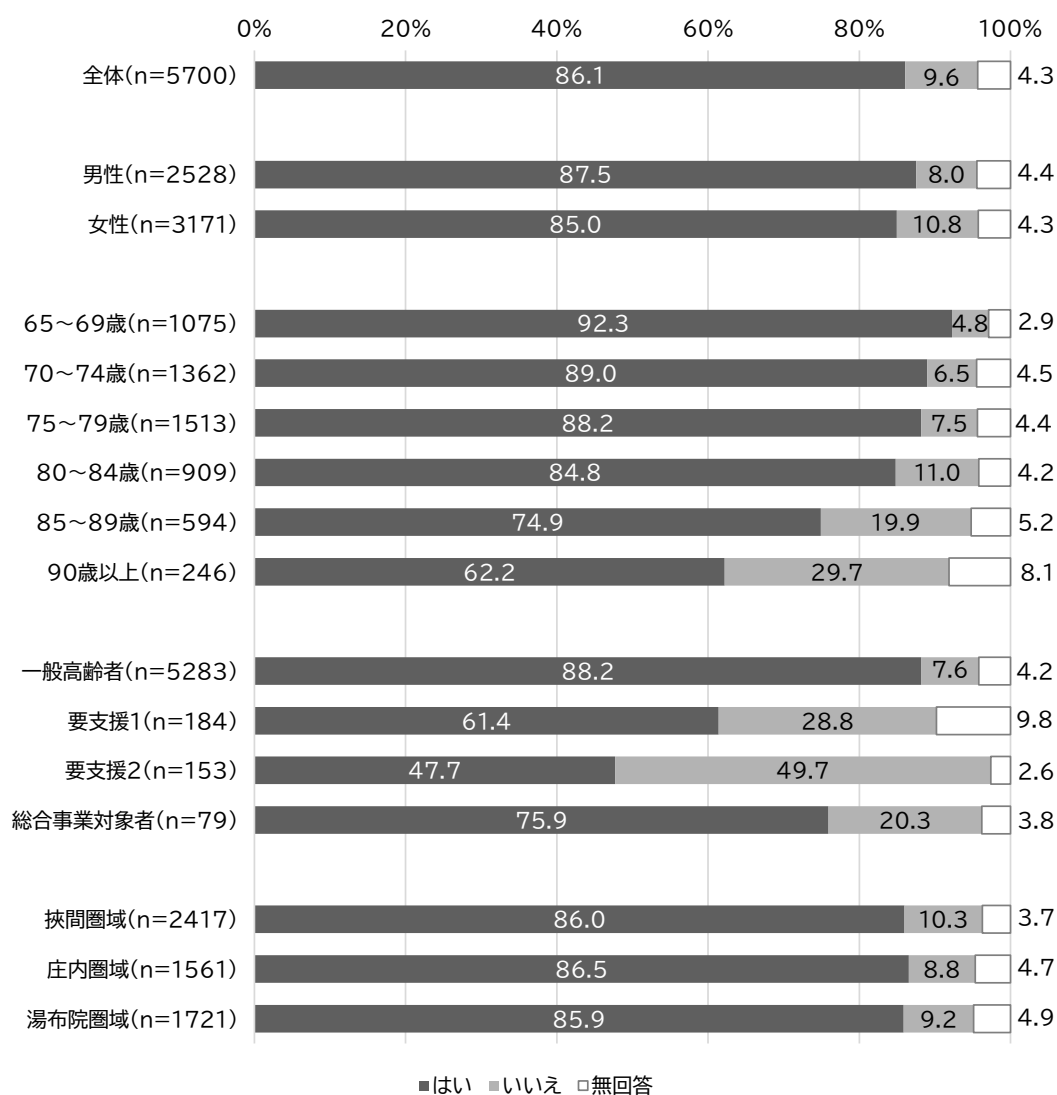
(15) 病人を見舞うことができますか

「はい」が86.1%、「いいえ」が9.6%となっています。



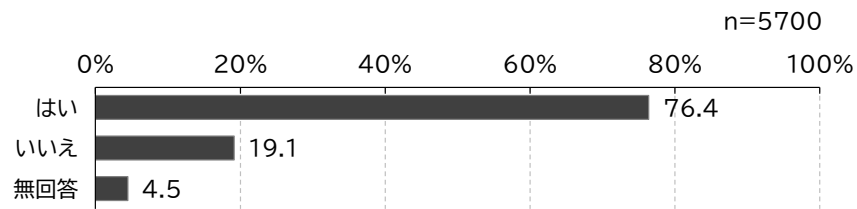
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。



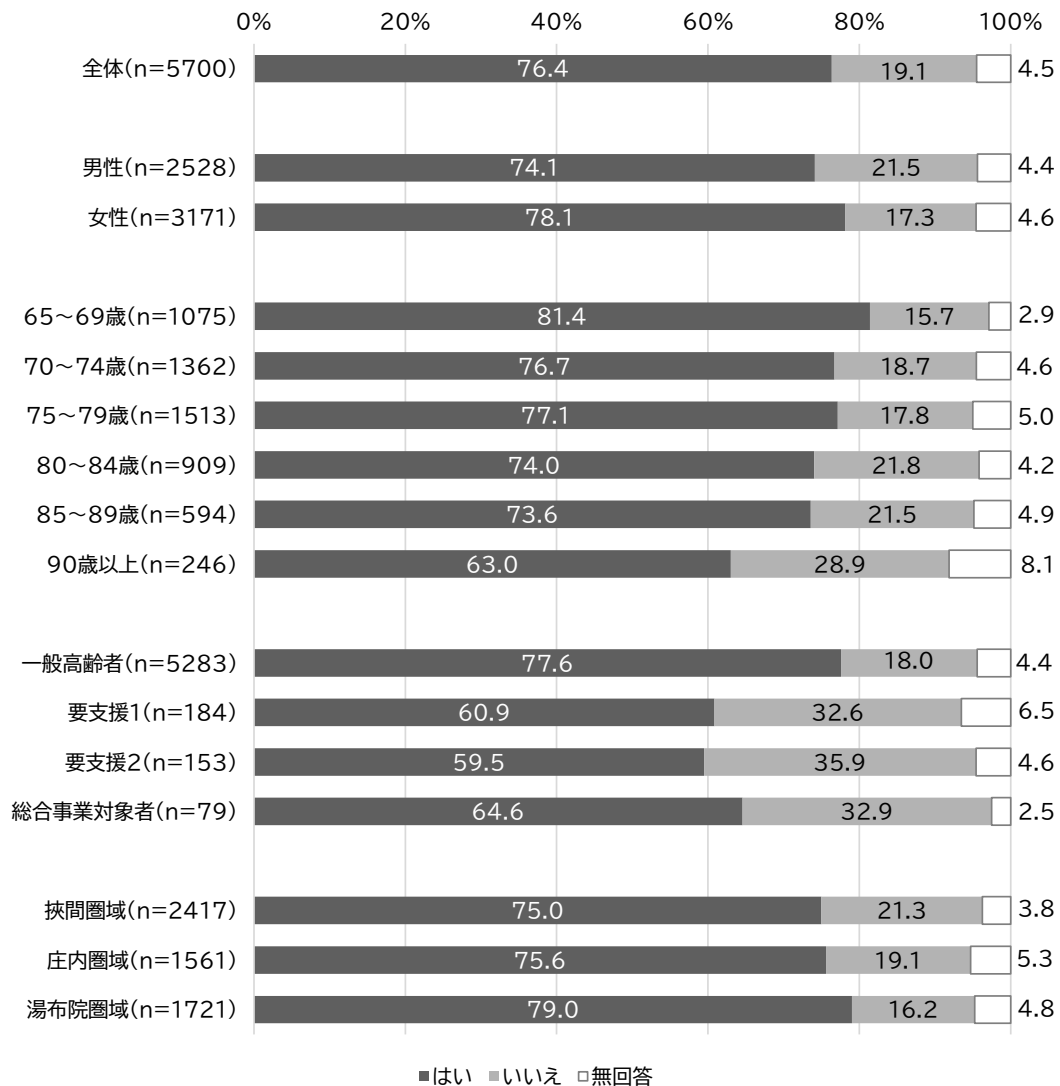
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

「はい」が76.4%、「いいえ」が19.1%となっています。



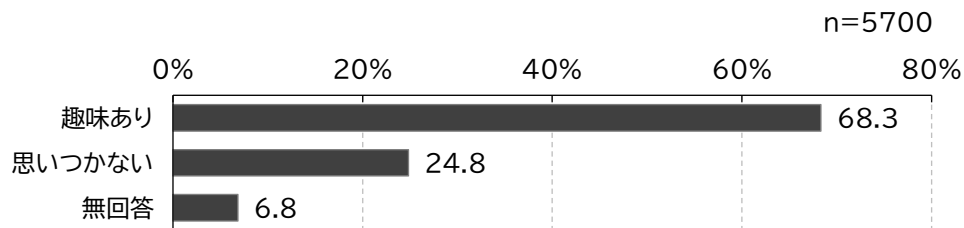
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。圏域別では挟間圏域が21.3%と最も高くなっています。



(17) 趣味はありますか

「趣味あり」が68.3%、「思いつかない」が24.8%となっています。

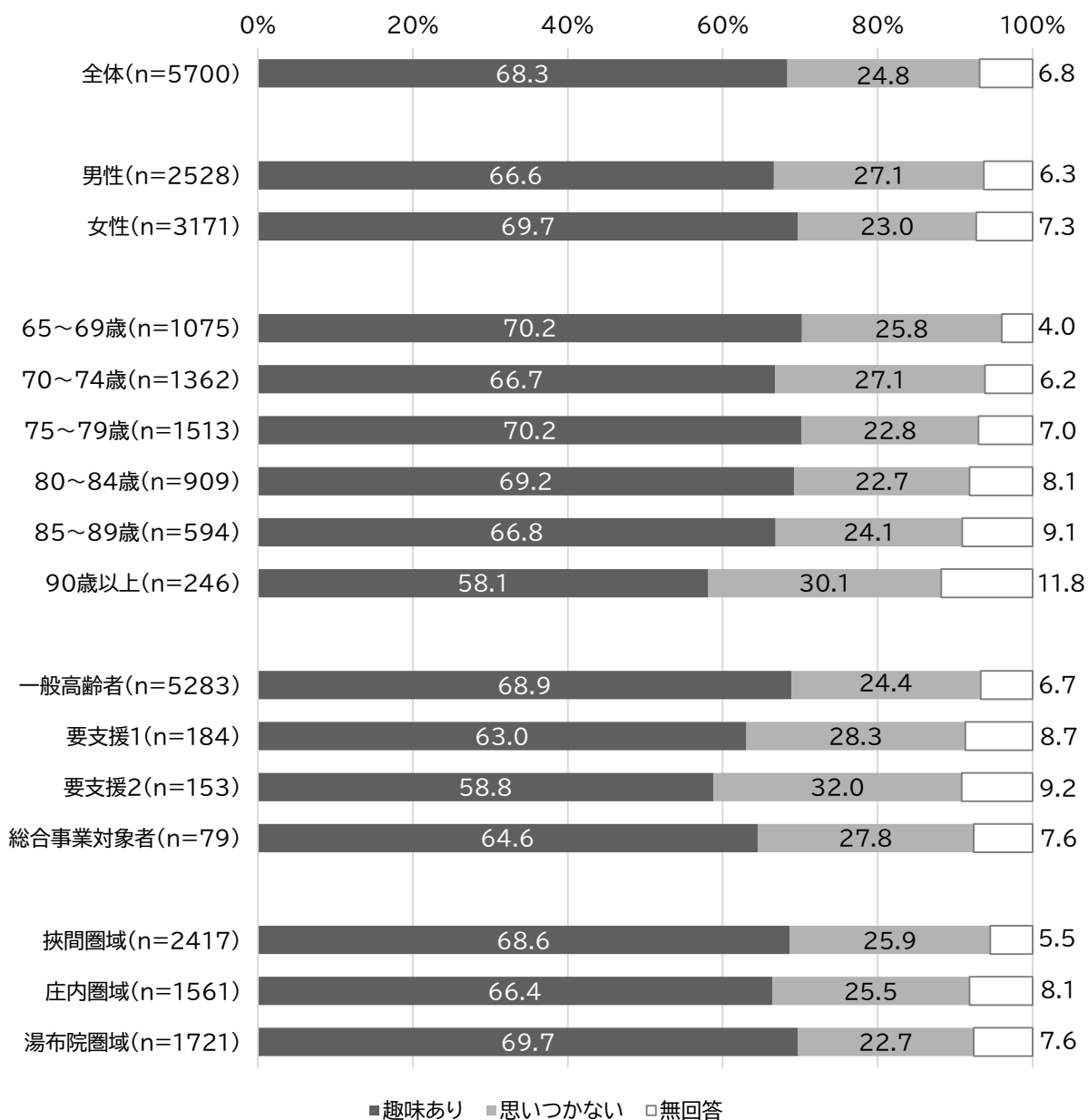


「趣味あり」の主な記入内容

野菜づくり・家庭菜園・畑仕事・農作業（約1,200）／ゴルフ（グラウンドゴルフ・パークゴルフ含む）（約1,100）／園芸・花づくり・植木・剪定・盆栽・ガーデニング（約950）／手芸・裁縫・編み物・パッチワーク・工芸（約900）／読書（新聞・雑誌・本含む）（約850）／ウォーキング・散歩・体操・筋トレ・ヨガ・健康運動（約650）／スポーツ全般（卓球・テニス・バレー・水泳・ゲートボール・ボウリング等）（約600）／カラオケ・歌・コーラス・民謡・詩吟（約580）／音楽・映画・ドラマ・テレビ鑑賞・DVD・YouTube（約560）／釣り・狩猟・アウトドア（登山・キャンプ等）（約520）／旅行・ドライブ・温泉・観光（約480）／ゲーム・パズル・ナンプレ・クロスワード・脳トレ（約430）／料理・菓子づくり・保存食づくり（約400）／書道・習字・短歌・俳句・川柳・詩作（約380）／パソコン・スマホ・インターネット・写真・カメラ（約350）／工作・DIY・日曜大工・修理・木工（約320）／社交・交流（友人との食事・会話・サロン・ボランティア等）（約300）／動物・ペット・養蜂・メダカ・金魚（約180）／仕事・家事（約160）／等

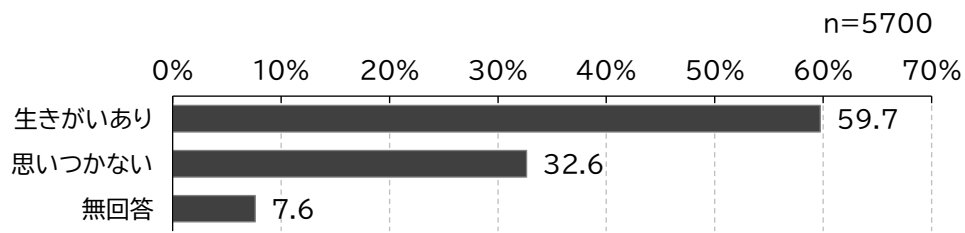
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「思いつかない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では90歳以上が30.1%と最も高く3割を超えています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなっています。圏域別では挟間圏域が25.9%と最も高くなっています。



(18) 生きがいがありますか

「生きがいあり」が59.7%、「思いつかない」が32.6%となっています。

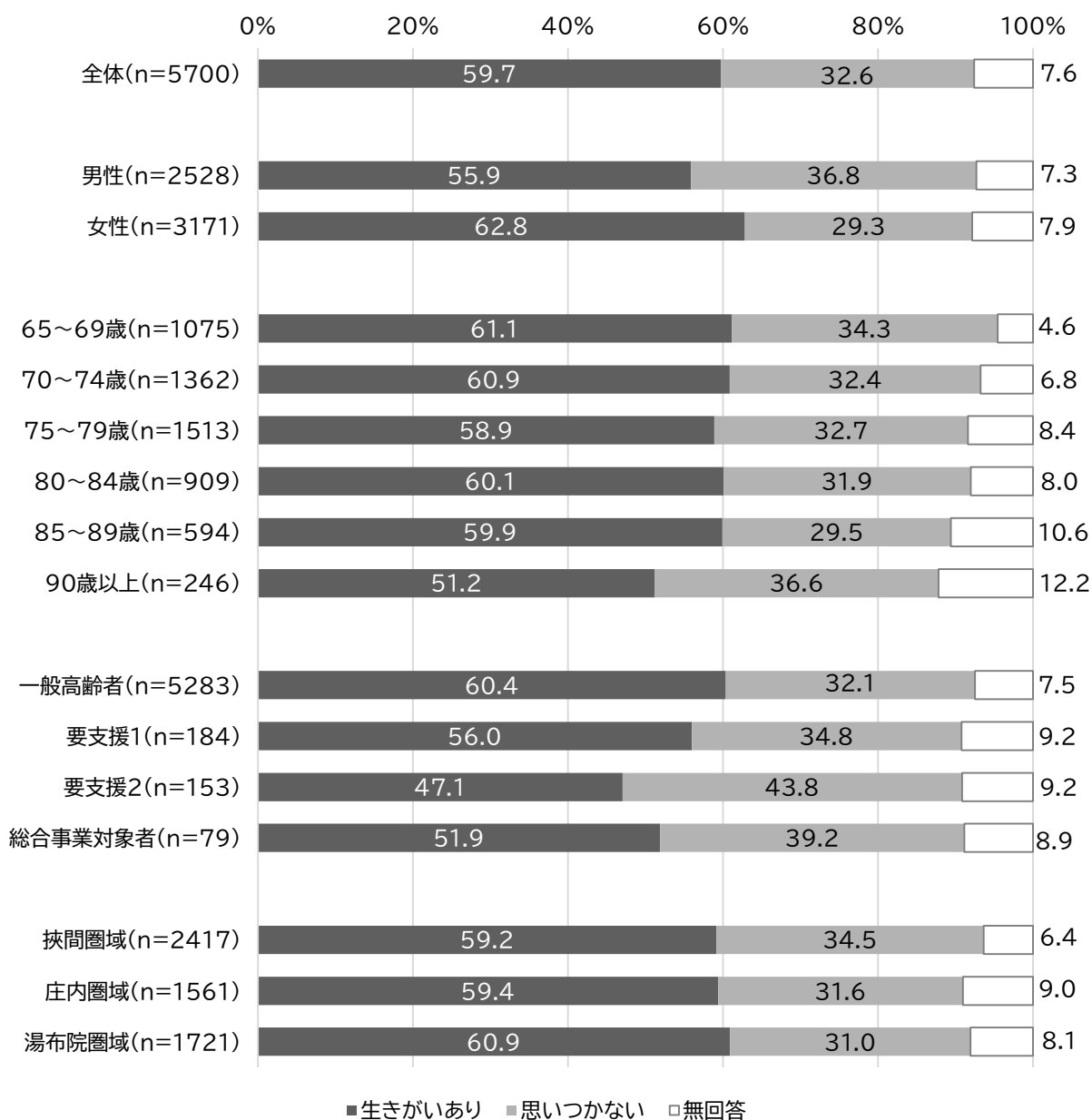


「生きがいあり」の主な記入内容

孫の成長・孫との関わり（約1,050）／仕事・働くこと（約620）／農業・野菜づくり・畑仕事（約540）／健康・元気であること・体力維持（約410）／家族との生活・家族の健康（孫以外）（約360）／趣味全般（手芸・園芸・読書・音楽・創作等の総称）（約330）／旅行・外出・ドライブ（約290）／人との交流・おしゃべり（約260）／スポーツ・運動（ゴルフ・グラウンドゴルフ・体操等）（約240）／ボランティア・地域活動・社会貢献（約180）／ペット・動物の世話（約170）／食事・料理・食べる楽しみ（約150）／信仰・祈り・宗教活動（約90）／学習・勉強・文化活動（俳句・書道・囲碁等）（約85）／等

性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「思いつかない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では85～89歳を除き、全ての年齢において3割を超えています。要介護状態区分別では要支援2が43.8%と最も高くなっており、圏域別では挟間圏域が34.5%と最も高くなっています。

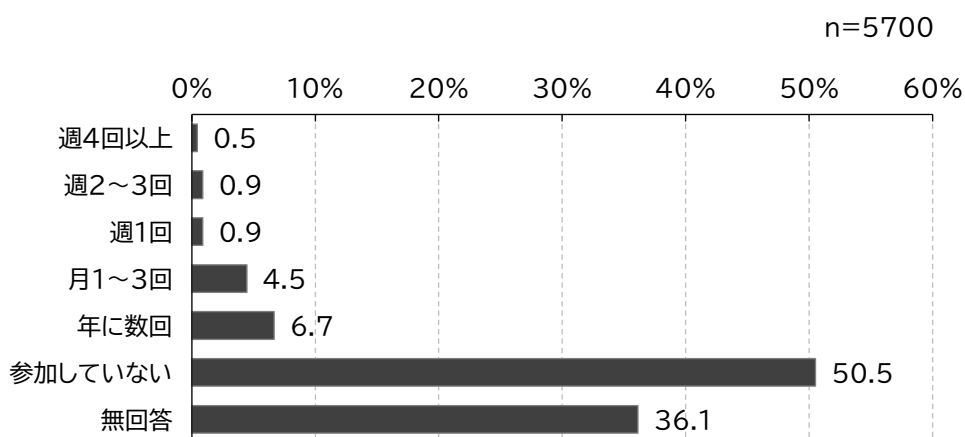


問5 地域での活動についてうかがいます

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

①ボランティアのグループ

「参加していない」が50.5%と最も多く、次いで「年に数回」が6.7%、「月1～3回」が4.5%となっています。



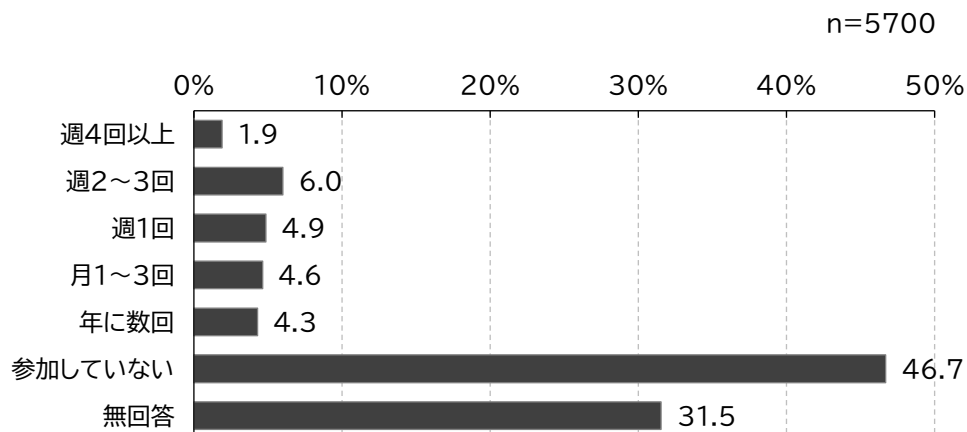
性別・年齢別・圏域別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるほど低くなっていますが、90歳以上では41.5%と高くなっています。圏域別では挟間圏域が全体よりも高くなっています。

(%)	n(回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	5700	0.5	0.9	0.9	4.5	6.7	50.5	36.1
男性	2528	0.4	0.8	1.0	4.3	8.8	52.2	32.5
女性	3171	0.5	1.0	0.8	4.6	5.0	49.2	39.0
65～69歳	1075	0.3	0.7	1.0	5.0	6.9	65.6	20.6
70～74歳	1362	0.4	1.0	1.2	5.7	7.0	54.6	30.2
75～79歳	1513	0.5	1.1	1.0	5.0	8.5	47.3	36.5
80～84歳	909	0.7	0.9	0.6	3.5	5.2	42.0	47.2
85～89歳	594	0.7	0.8	0.3	1.9	4.5	38.9	52.9
90歳以上	246	0.0	0.4	0.4	1.6	3.3	41.5	52.8
挟間圏域	2417	0.4	0.9	0.7	3.5	5.5	54.7	34.4
庄内圏域	1561	0.8	0.8	1.1	5.6	7.8	46.1	37.9
湯布院圏域	1721	0.3	0.9	1.0	4.8	7.3	48.8	36.9

②スポーツ関係のグループやクラブ

「参加していない」が46.7%と最も多く、次いで「週2～3回」が6.0%、「週1回」が4.9%、「月1～3回」が4.6%、「年に数回」が4.3%となっています。



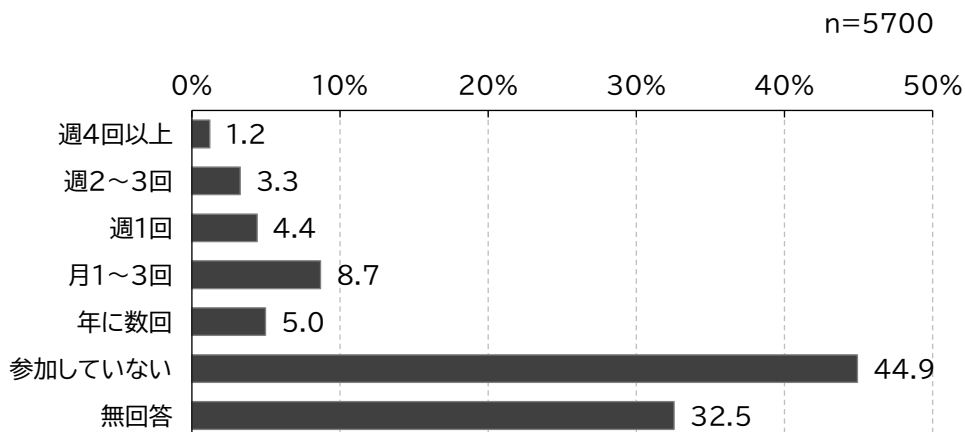
性別・年齢別・圏域別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方がわずかに高く、年齢別では年齢が上がるほど低くなっていますが、90歳以上では39.0%と80歳～89歳より高くなっています。圏域別では挟間圏域が48.9%と最も高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	n(回答数)							
全体	5700	1.9	6.0	4.9	4.6	4.3	46.7	31.5
男性	2528	1.3	5.2	4.3	6.4	7.4	47.4	28.0
女性	3171	2.4	6.7	5.4	3.2	1.8	46.1	34.4
65～69歳	1075	1.1	6.0	5.9	4.8	4.5	59.4	18.3
70～74歳	1362	2.1	5.9	4.3	5.8	4.0	51.2	26.7
75～79歳	1513	2.3	5.5	5.6	4.3	5.3	45.0	32.1
80～84歳	909	1.7	7.6	4.8	4.7	4.1	37.6	39.5
85～89歳	594	3.0	6.1	4.2	3.0	3.7	34.7	45.3
90歳以上	246	0.0	4.5	1.6	3.3	1.2	39.0	50.4
挟間圏域	2417	2.1	7.0	5.2	4.6	3.2	48.9	29.0
庄内圏域	1561	1.7	4.8	4.6	5.3	7.3	42.5	33.8
湯布院圏域	1721	1.8	5.7	4.7	4.2	3.1	47.4	33.1

③趣味関係のグループ

「参加していない」が44.9%と最も多く、次いで「月1～3回」が8.7%、「年に数回」が5.0%、「週1回」が4.4%、「週2～3回」が3.3%となっています。



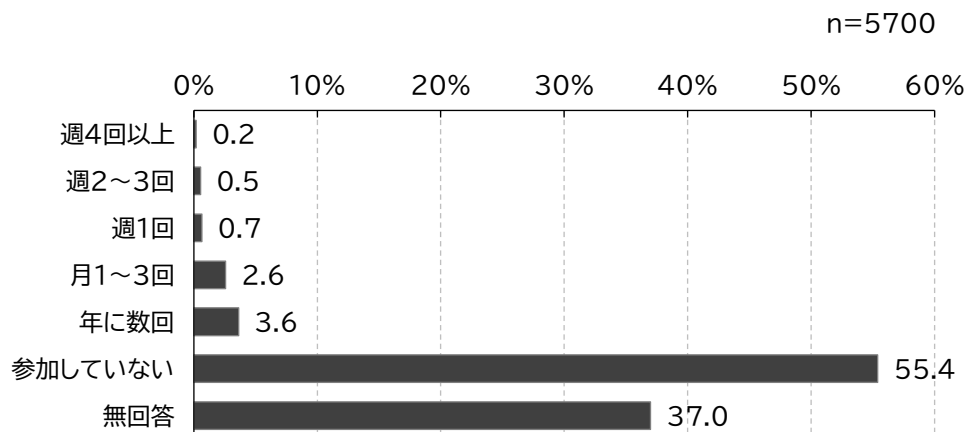
性別・年齢別・圏域別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるほど低くなっていますが、90歳以上では35.4%と85歳～89歳より高くなっています。圏域別では挾間圏域が47.9%と最も高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	n(回答数)							
全体	5700	1.2	3.3	4.4	8.7	5.0	44.9	32.5
男性	2528	0.8	2.8	4.1	7.6	7.6	46.9	30.2
女性	3171	1.5	3.7	4.7	9.5	2.8	43.4	34.4
65～69歳	1075	0.7	2.0	4.5	8.7	6.0	59.1	19.1
70～74歳	1362	1.2	3.0	4.5	9.8	4.6	49.8	27.2
75～79歳	1513	1.3	4.0	4.8	9.6	5.8	42.3	32.3
80～84歳	909	1.0	3.9	4.5	8.8	4.6	35.8	41.5
85～89歳	594	2.7	3.7	3.9	5.4	3.7	33.0	47.6
90歳以上	246	0.4	2.4	2.0	4.9	2.0	35.4	52.8
挾間圏域	2417	1.3	3.6	4.4	7.2	4.8	47.9	30.9
庄内圏域	1561	1.2	2.4	3.7	10.2	5.9	41.6	34.9
湯布院圏域	1721	1.2	3.5	5.0	9.4	4.4	43.8	32.7

④学習・教養サークル(高齢者大学 等)

「参加していない」が55.4%と最も多く、次いで「年に数回」が3.6%、「月1～3回」が2.6%となっています。



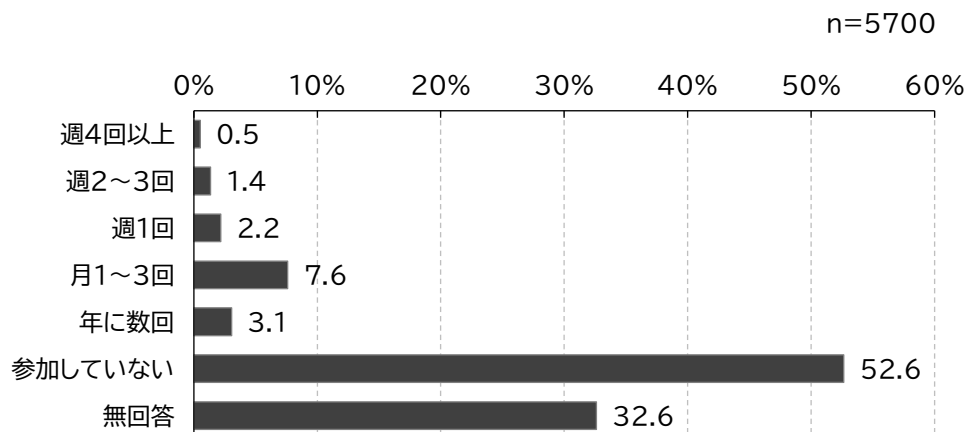
性別・年齢別・圏域別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるほど低くなっていますが、90歳以上では39.0%と85歳～89歳より高くなっています。圏域別では挾間圏域が57.7%と最も高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	n(回答数)							
全体	5700	0.2	0.5	0.7	2.6	3.6	55.4	37.0
男性	2528	0.1	0.2	0.4	1.9	3.4	59.8	34.2
女性	3171	0.3	0.9	0.9	3.2	3.8	51.8	39.2
65～69歳	1075	0.1	0.3	0.4	1.7	2.5	73.4	21.7
70～74歳	1362	0.1	0.6	0.3	2.3	3.2	61.6	31.8
75～79歳	1513	0.2	0.5	1.1	2.5	4.4	53.6	37.7
80～84歳	909	0.3	1.0	0.6	3.3	4.8	43.1	46.9
85～89歳	594	0.3	0.7	1.3	3.4	3.9	38.7	51.7
90歳以上	246	0.0	0.0	0.0	3.7	1.2	39.0	56.1
挾間圏域	2417	0.2	0.5	0.5	2.0	3.1	57.7	36.0
庄内圏域	1561	0.3	0.6	0.4	1.9	4.9	53.1	38.8
湯布院圏域	1721	0.1	0.5	1.2	4.0	3.3	54.2	36.7

⑤サロンなど介護予防のための通いの場(お茶の間サロン 等)

「参加していない」が52.6%と最も多く、次いで「月1～3回」が7.6%、「年に数回」が3.1%、「週1回」が2.2%、「週2～3回」が1.4%となっています。



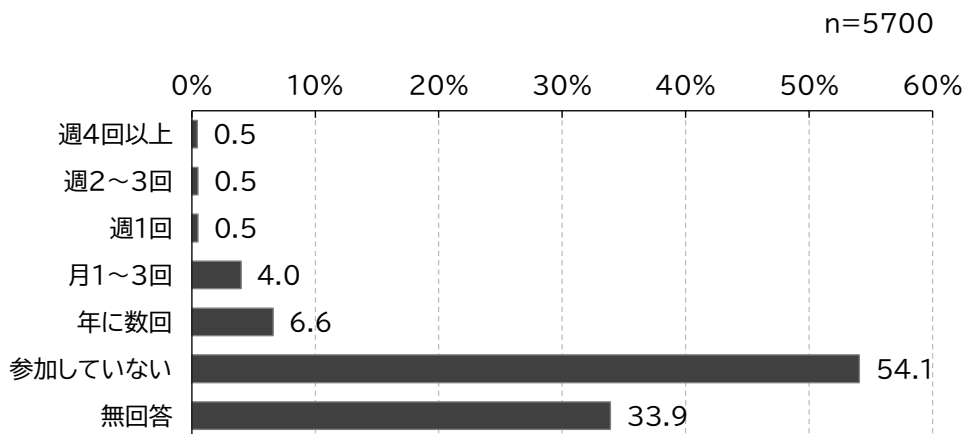
性別・年齢別・圏域別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるほど低くなっています。圏域別では挟間圏域が56.3%と最も高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	n(回答数)							
全体	5700	0.5	1.4	2.2	7.6	3.1	52.6	32.6
男性	2528	0.3	0.6	1.1	3.8	3.0	58.8	32.5
女性	3171	0.7	1.9	3.1	10.7	3.2	47.7	32.7
65～69歳	1075	0.1	0.1	0.9	2.8	2.0	73.3	20.7
70～74歳	1362	0.2	1.1	2.4	6.8	2.5	58.4	28.5
75～79歳	1513	0.5	2.0	2.0	8.7	3.4	49.9	33.4
80～84歳	909	0.6	1.0	2.6	11.0	4.2	40.5	40.2
85～89歳	594	1.7	2.7	3.4	8.8	3.9	35.2	44.4
90歳以上	246	1.6	2.0	2.8	11.4	2.4	34.1	45.5
挟間圏域	2417	0.4	1.3	1.9	5.2	2.1	56.3	32.9
庄内圏域	1561	0.7	1.9	2.7	11.9	3.5	48.0	31.3
湯布院圏域	1721	0.5	1.0	2.2	7.1	4.1	51.7	33.5

⑥老人クラブ

「参加していない」が54.1%と最も多く、次いで「年に数回」が6.6%、「月1～3回」が4.0%となっています。



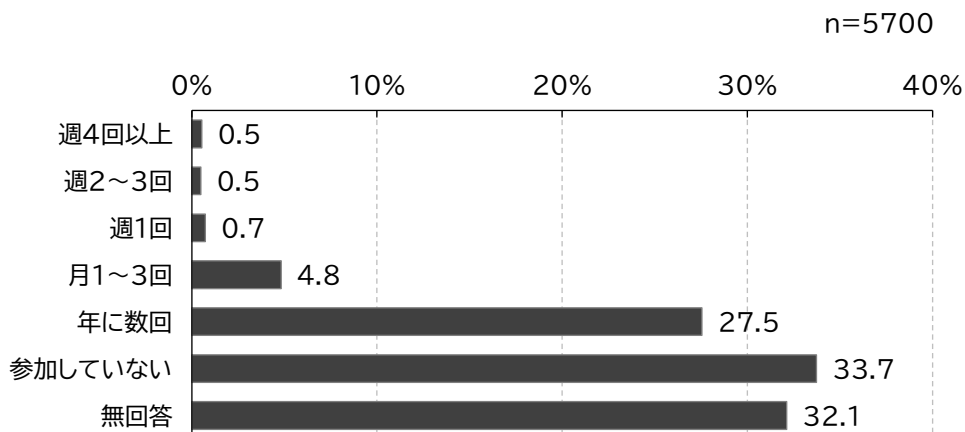
性別・年齢別・圏域別

「参加していない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるほど低くなっていますが、90歳以上では35.0%と85歳～89歳より高くなっています。圏域別では挾間圏域が57.1%と最も高くなっています。

(%)		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
	n(回答数)							
全体	5700	0.5	0.5	0.5	4.0	6.6	54.1	33.9
男性	2528	0.2	0.5	0.4	3.9	8.0	56.4	30.6
女性	3171	0.6	0.5	0.6	4.1	5.5	52.2	36.5
65～69歳	1075	0.0	0.1	0.1	0.9	1.4	76.0	21.5
70～74歳	1362	0.0	0.4	0.3	2.8	4.8	61.6	30.1
75～79歳	1513	0.5	0.5	0.6	4.4	8.3	50.8	34.9
80～84歳	909	0.7	0.8	0.3	5.8	9.4	40.3	42.8
85～89歳	594	1.7	0.8	1.2	7.1	10.4	34.7	44.1
90歳以上	246	0.8	1.2	1.6	7.3	8.5	35.0	45.5
挾間圏域	2417	0.5	0.3	0.3	4.4	4.6	57.1	32.7
庄内圏域	1561	0.4	0.9	0.7	3.8	7.3	51.1	35.9
湯布院圏域	1721	0.5	0.4	0.5	3.6	8.7	52.5	33.8

⑦町内会・自治会

「参加していない」が33.7%と最も多く、次いで「年に数回」が27.5%、「月1～3回」が4.8%となっています。



性別・年齢別・圏域別

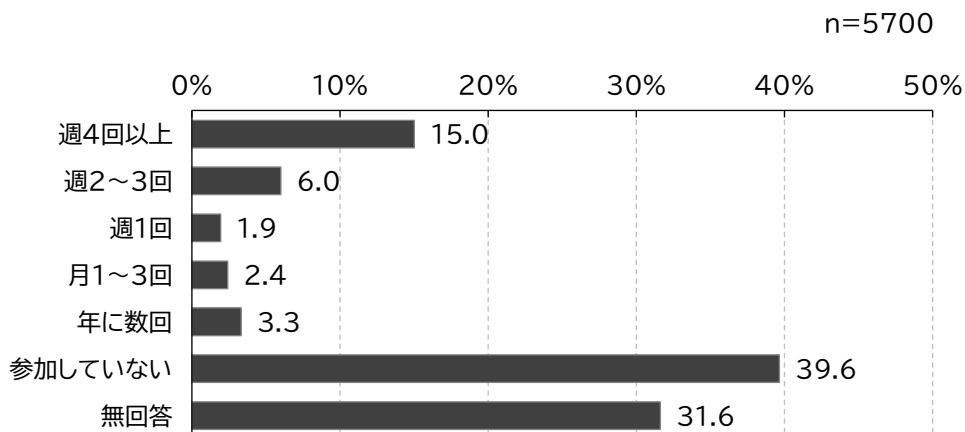
「参加していない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では75～79歳までは年齢が上がるにつれて低くなっていますが、80歳以上では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別では湯布院圏域と挾間圏域が全体よりも高くなっています。

全体でも性別、年齢別、圏域別の各層でも、参加している場合の参加頻度では「年に数回」が多くなっていますが、これは活動そのものの開催頻度によるものとも考えられます。

(%)	n(回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	5700	0.5	0.5	0.7	4.8	27.5	33.7	32.1
男性	2528	0.8	0.9	1.4	7.6	34.8	28.8	25.8
女性	3171	0.3	0.2	0.2	2.6	21.8	37.7	37.2
65～69歳	1075	0.6	0.7	1.1	7.0	32.6	41.0	17.1
70～74歳	1362	0.4	0.9	0.7	6.2	33.2	33.0	25.7
75～79歳	1513	0.5	0.3	1.1	4.6	30.2	30.9	32.4
80～84歳	909	0.6	0.1	0.3	2.4	22.4	31.8	42.4
85～89歳	594	0.8	0.5	0.3	3.4	14.0	32.3	48.7
90歳以上	246	0.4	0.0	0.0	1.6	9.8	34.6	53.7
挾間圏域	2417	0.7	0.3	0.7	4.5	26.4	36.2	31.2
庄内圏域	1561	0.3	0.9	0.8	6.1	32.7	27.1	32.1
湯布院圏域	1721	0.5	0.3	0.6	4.2	24.5	36.4	33.4

⑧収入のある仕事

「参加していない」が39.6%と最も多く、次いで「週4回以上」が15.0%、「週2～3回」が6.0%、「年に数回」が3.3%、「月1～3回」が2.4%となっています。



性別・年齢別・圏域別

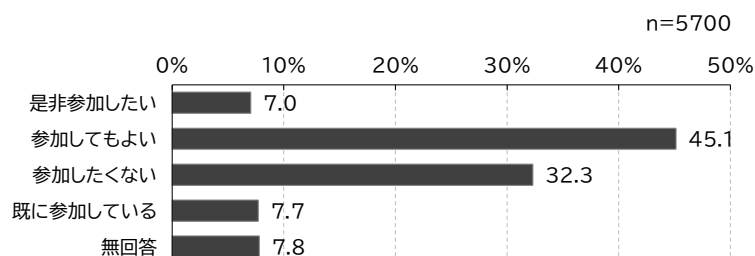
「参加していない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では75～79歳以降で4割を超えています。圏域別では挾間圏域が42.9%と最も高くなっています。

他の活動と異なり、「週4回以上」が65～69歳で35.2%、70～74歳で18.1%、75～79歳で12.2%みられます。

(%)	n(回答数)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体	5700	15.0	6.0	1.9	2.4	3.3	39.6	31.6
男性	2528	18.6	6.7	2.5	3.5	5.2	37.0	26.6
女性	3171	12.2	5.5	1.5	1.5	1.9	41.8	35.6
65～69歳	1075	35.2	9.3	2.5	2.9	3.2	33.2	13.8
70～74歳	1362	18.1	8.4	2.1	3.2	5.1	39.6	23.6
75～79歳	1513	12.2	6.4	2.4	3.0	4.1	40.6	31.3
80～84歳	909	3.5	2.5	1.3	1.3	1.5	44.4	45.3
85～89歳	594	1.9	1.0	0.8	0.8	1.5	41.1	52.9
90歳以上	246	1.6	0.8	0.8	0.4	0.4	41.5	54.5
挾間圏域	2417	14.6	5.8	1.8	1.9	2.6	42.9	30.4
庄内圏域	1561	14.2	4.6	2.2	3.3	4.7	37.5	33.5
湯布院圏域	1721	16.4	7.6	1.9	2.3	3.0	37.1	31.6

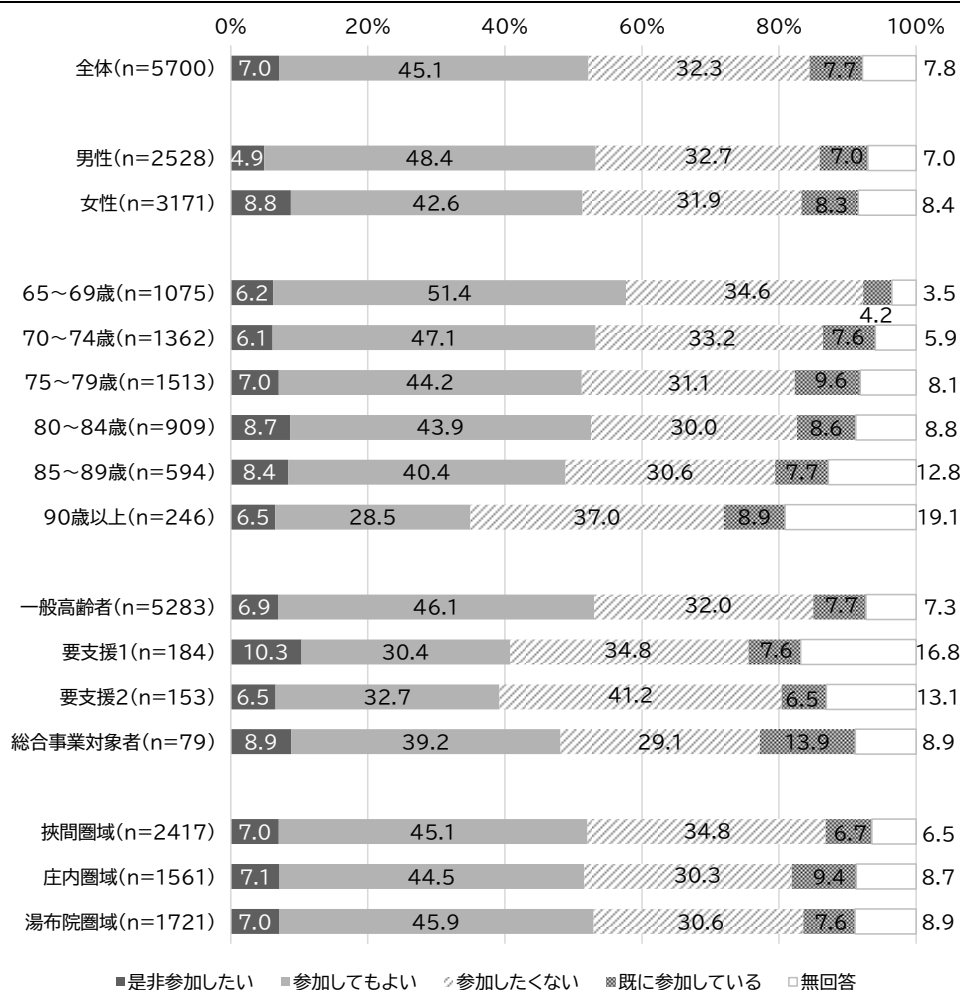
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

「参加してもよい」が45.1%と最も多く、次いで「参加したくない」が32.3%、「既に参加している」が7.7%、「是非参加したい」が7.0%となっています。



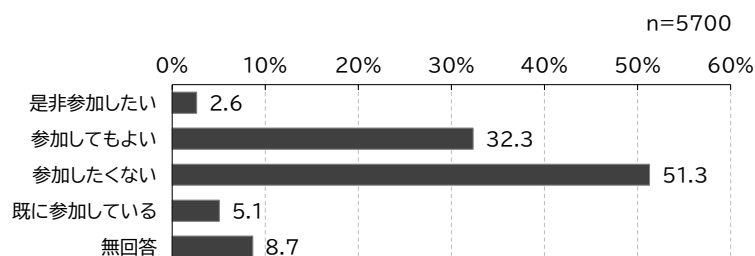
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「参加したくない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では65～84歳までは年齢が上がるにつれて低くなっていますが、85歳以上では年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別では挾間圏域が34.8%と最も高くなっています。



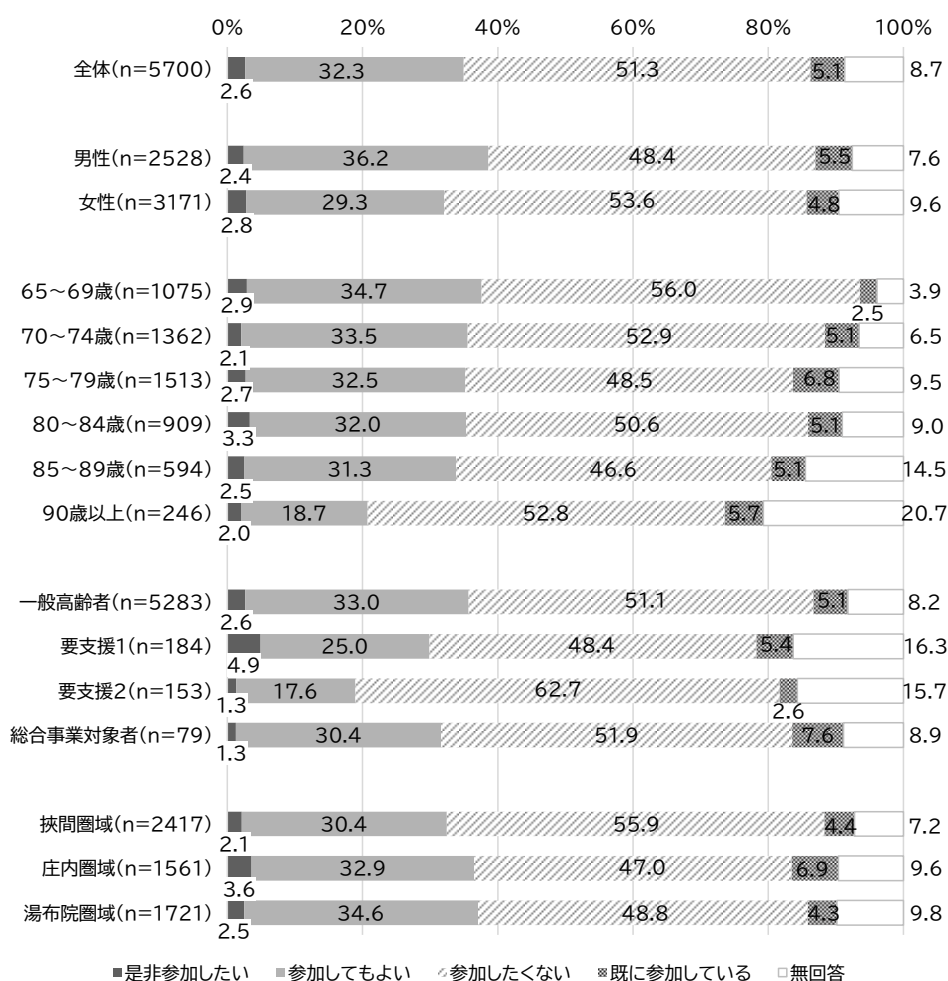
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

「参加したくない」が51.3%と最も多く、次いで「参加してもよい」が32.3%、「既に参加している」が5.1%、「是非参加したい」が2.6%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

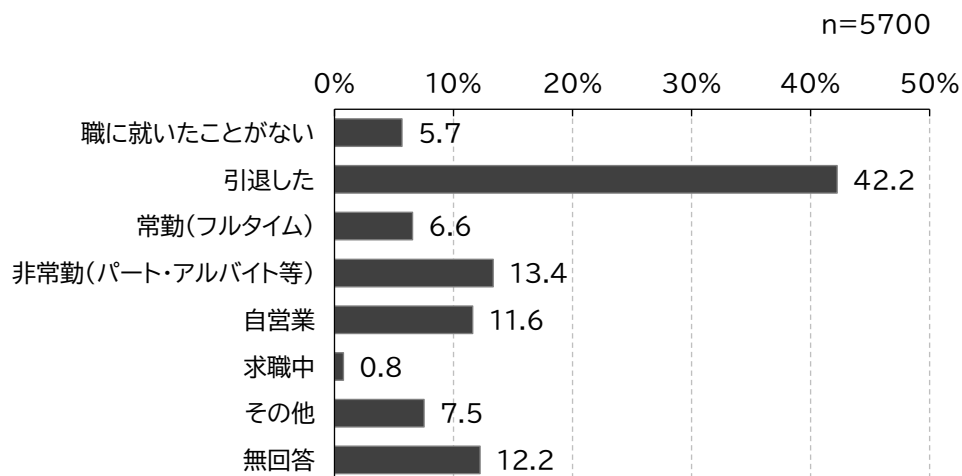
「参加したくない」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では65～69歳が56.0%と最も高くなっています。圏域別では挟間圏域が55.9%と最も高くなっています。



問6 就労についてうかがいます

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか

「引退した」が42.2%と最も多く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」が13.4%、「自営業」が11.6%、「その他」が7.5%、「常勤（フルタイム）」が6.6%となっています。

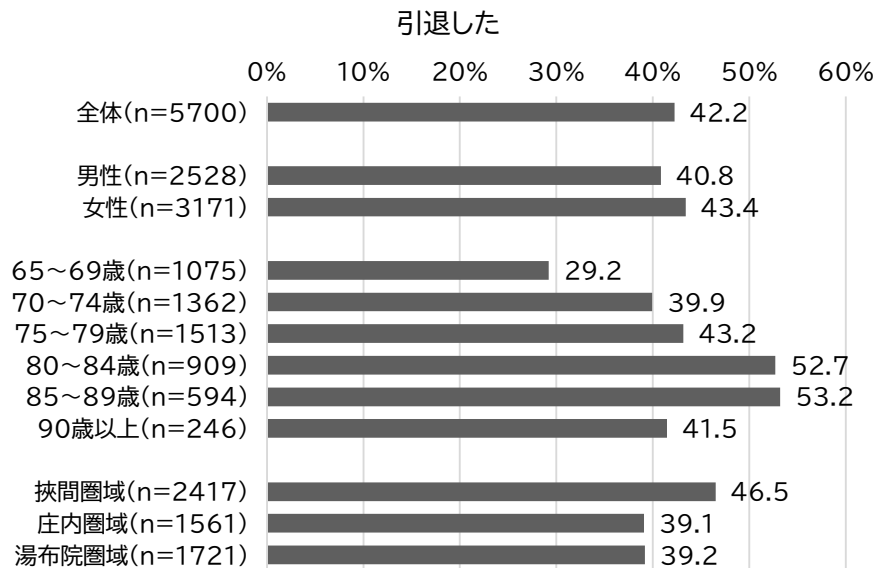


「その他」の主な記入内容

農業・農作業・畑仕事（約150）／主婦・家事中心（約95）／無職（年金・病気・高齢等を含む明示回答）（約90）／年金生活（約60）／シルバー人材センター関係（約30）／ボランティア・地域活動・役員等（約25）／介護・家族の世話（約20）／就労継続支援B型・福祉的就労（約15）／病気・入院・療養中（約15）／等

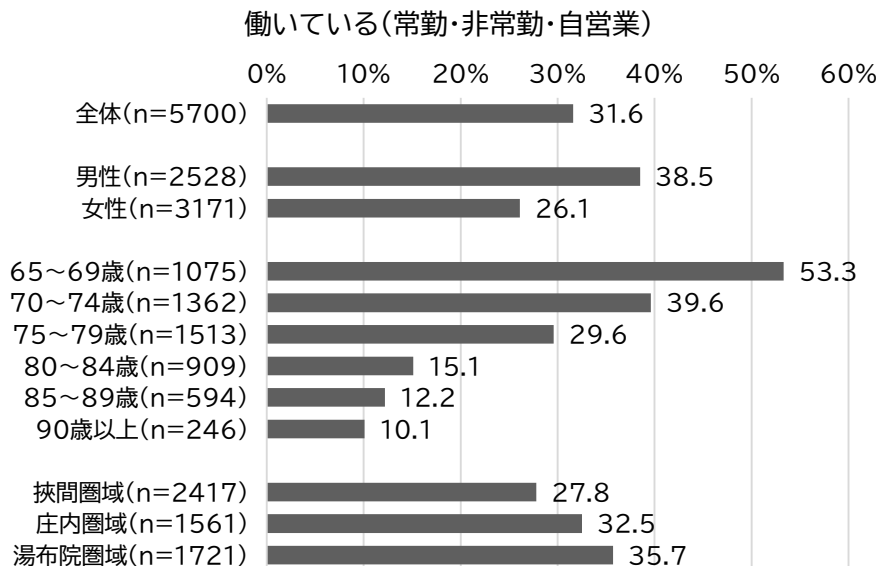
「引退した」性別・年齢別・圏域別

全体で最も多い「引退した」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では89歳まで年齢が上がるにつれて高くなっています。圏域別では挾間圏域が全体より高くなっています。



「働いている（常勤・非常勤・自営業）」性別・年齢別・圏域別

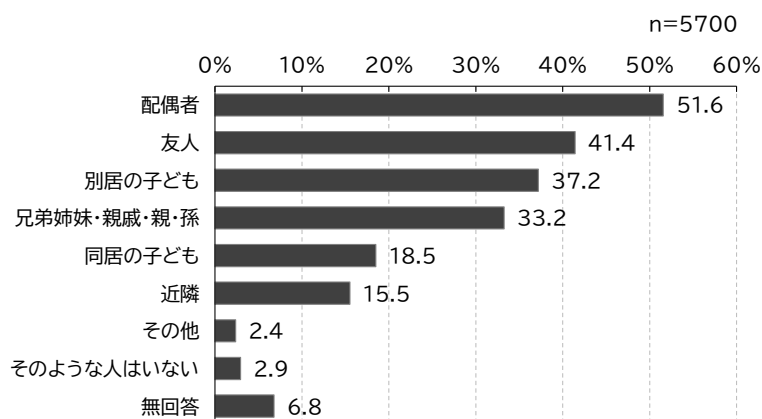
「働いている（常勤・非常勤・自営業）」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなっています。圏域別では湯布院圏域が最も高くなっています。



問7 たすけあいについてうかがいます

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人【複数回答】

「配偶者」が51.6%と最も多く、次いで「友人」が41.4%、「別居の子ども」が37.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.2%、「同居の子ども」が18.5%となっています。

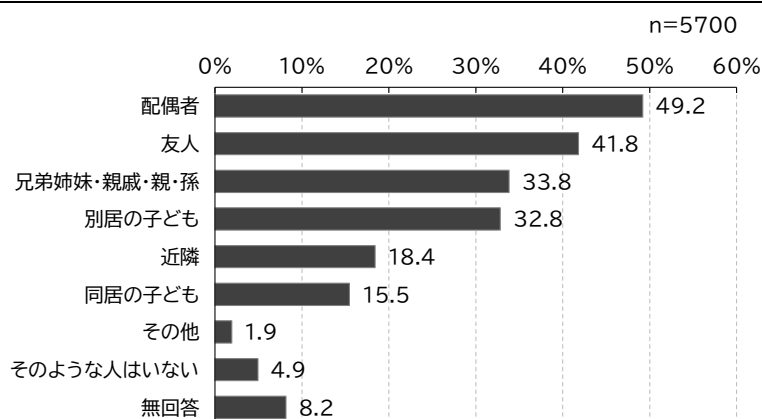


「その他」の主な記入内容

職場の人・同僚・仕事仲間 (45) / 医療・福祉専門職 (看護師・訪問看護・施設職員・リハビリ職・医師等) (15) / ケアマネジャー (10) / ボランティア・団体・宗教関係 (宗教関係者) (8) / 趣味・活動の関係者 (趣味仲間・おけいこ仲間等) (7) / その他 (メールのみ・美容室の人等) (4) / 公的・制度的支援者 (社協・公的機関) (3) / 等

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人【複数回答】

「配偶者」が49.2%と最も多く、次いで「友人」が41.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が33.8%、「別居の子ども」が32.8%、「近隣」が18.4%となっています。

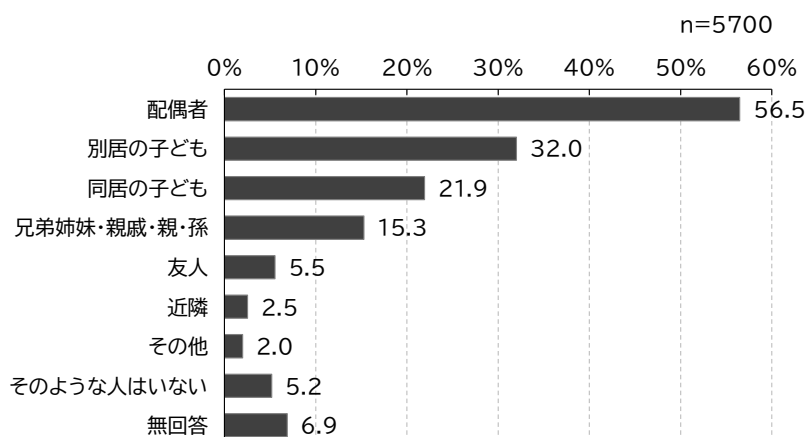


「その他」の主な記入内容

職場の人・同僚・仕事仲間 (55) / ボランティア・自治会・民生関係者 (6) / 知人・その他の関係者 (5) / 趣味・活動の関係者 (趣味仲間・コーチ等) (4) / 医療・福祉・施設・デイ関係者 (3) / 等

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人【複数回答】

「配偶者」が 56.5%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 32.0%、「同居の子ども」が 21.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 15.3%、「友人」が 5.5%となっています。

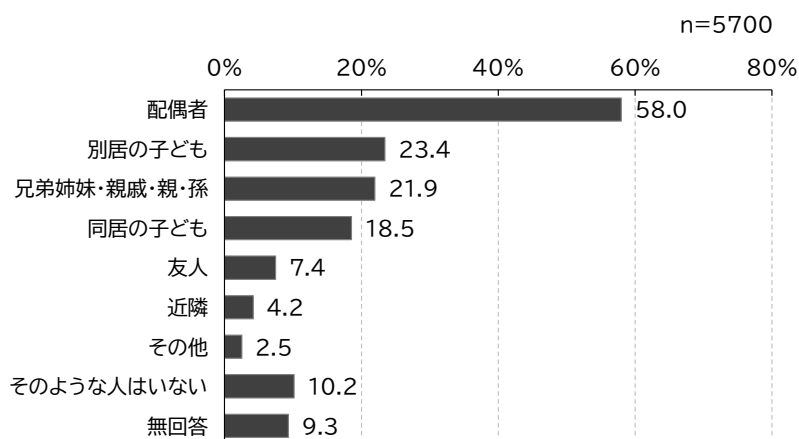


「その他」の主な記入内容

医療機関（23）／訪問看護・ケアマネ・ヘルパー等（9）／施設職員（6）／同居人・パートナー（配偶者除外）（6）／同僚／宗教関係（寺族等）／等

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人【複数回答】

「配偶者」が 58.0%と最も多く、次いで「別居の子ども」が 23.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 21.9%、「同居の子ども」が 18.5%、「そのような人はいない」が 10.2%となっています。

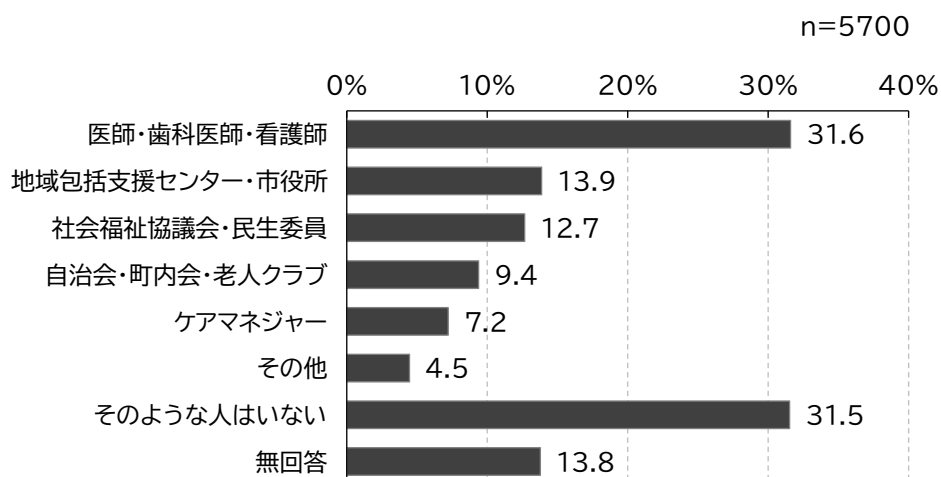


「その他」の主な記入内容

同居人・同居のパートナー（配偶者除外）（7）／宗教関係（2）／同僚／ガールフレンド

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください【複数回答】

「医師・歯科医師・看護師」が31.6%と最も多く、次いで「そのような人はいない」が31.5%、「地域包括支援センター・市役所」が13.9%、「社会福祉協議会・民生委員」が12.7%、「自治会・町内会・老人クラブ」が9.4%となっています。

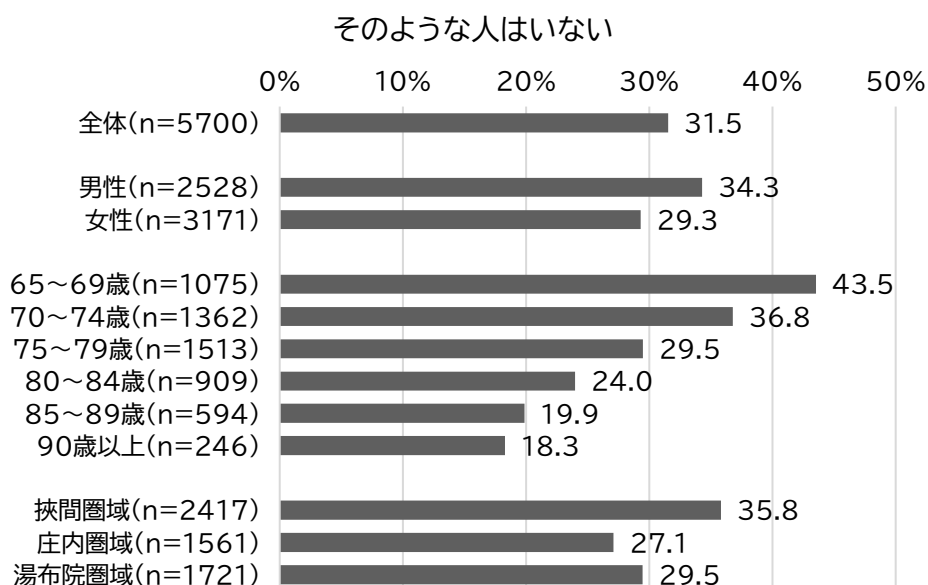


「その他」の主な記入内容

職場の人・同僚・仕事仲間 (19) / 専門職 (弁護士・税理士・社労士・行政書士等) (12)
/ 宗教関係 (寺・宗教の仲間等) (5) / 議員 / 警察 / 等

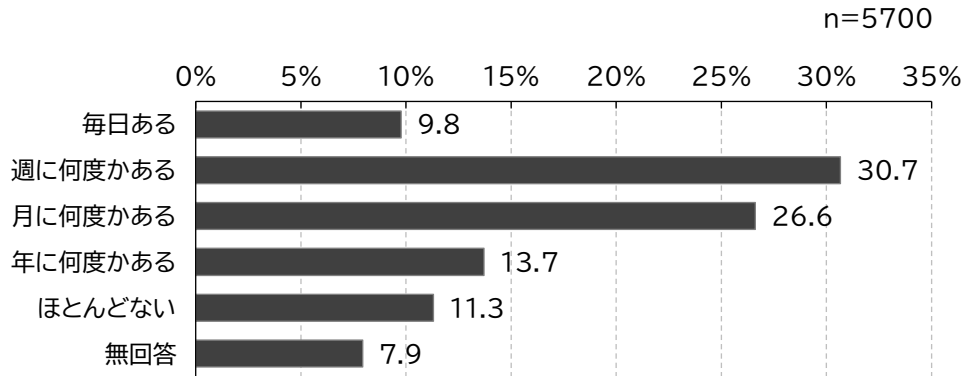
「そのような人はいない」性別・年齢別・圏域別

全体で31.5%の「そのような人はいない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなっています。圏域別では挟間圏域が全体より高くなっています。



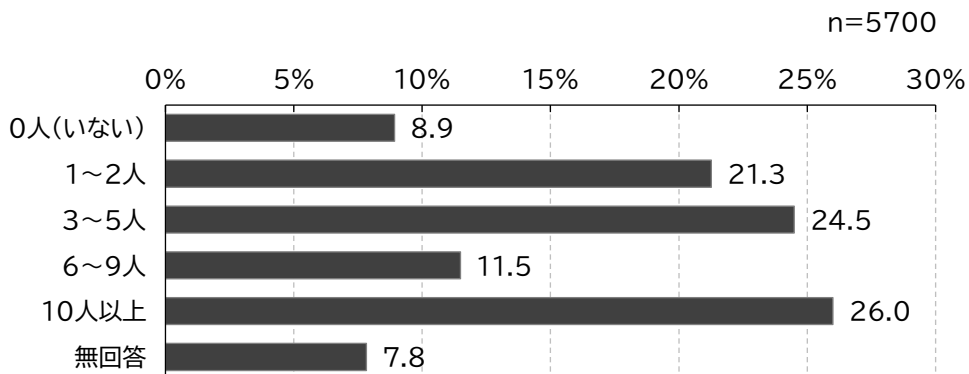
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

「週に何度かある」が30.7%と最も多く、次いで「月に何度かある」が26.6%、「年に何度かある」が13.7%、「ほとんどない」が11.3%、「毎日ある」が9.8%となっています。



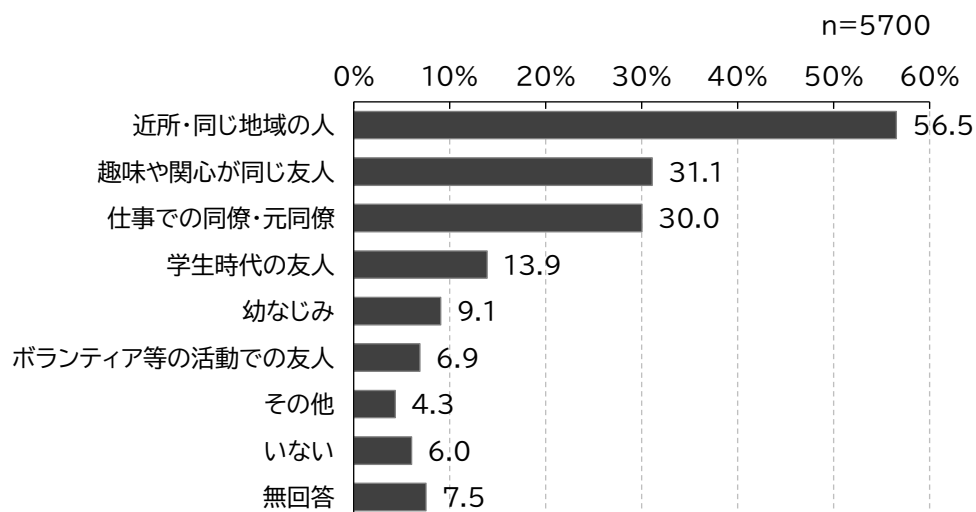
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします

「10人以上」が26.0%と最も多く、次いで「3～5人」が24.5%、「1～2人」が21.3%、「6～9人」が11.5%、「0人(いない)」が8.9%となっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか【複数回答】

「近所・同じ地域の人」が 56.5%と最も多く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が 31.1%、「仕事での同僚・元同僚」が 30.0%、「学生時代の友人」が 13.9%、「幼なじみ」が 9.1%となっています。



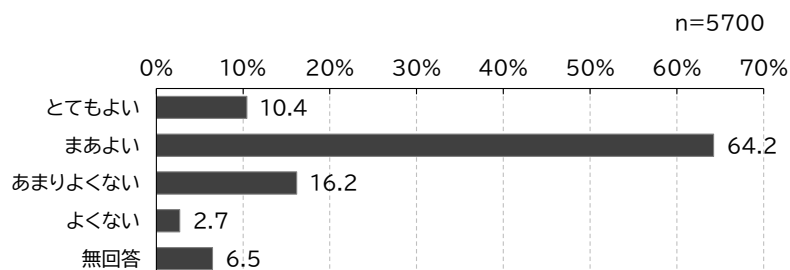
「その他」の主な記入内容

デイサービス・デイケア・施設関係（利用者・職員・知人）（30）／医療・リハビリ関係（病院・リハビリで会う人等）（12）／信仰・宗教関係（寺・教会・エホバ・仏友等）（10）／顧客・お客様・取引先（店・サロン・来客等）（9）／等

問8 健康についてうかがいます

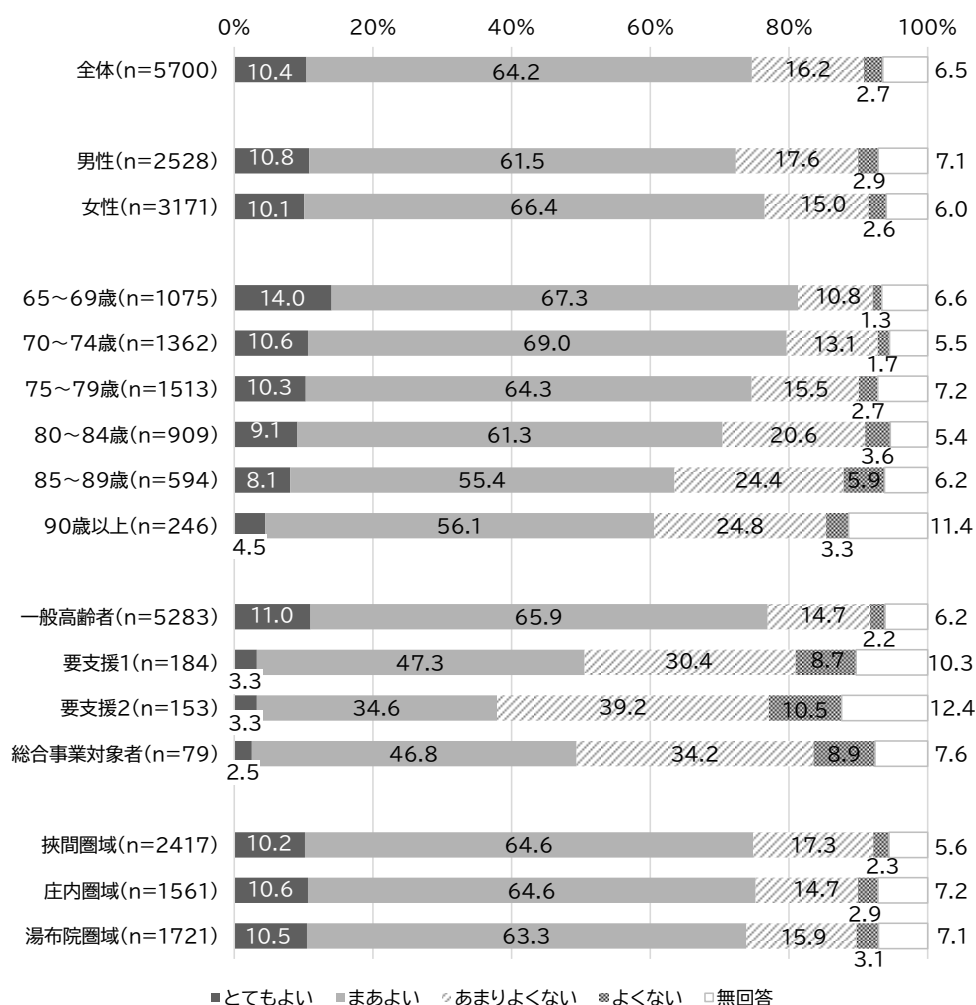
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

「まあよい」が64.2%と最も多く、次いで「あまりよくない」が16.2%、「とてもよい」が10.4%、「よくない」が2.7%となっています。



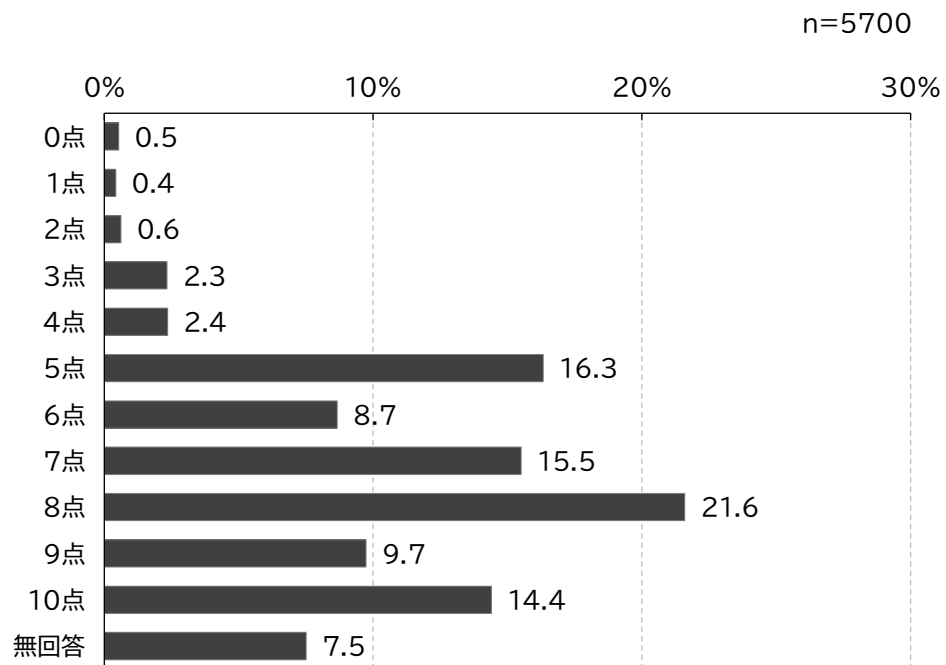
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「よくない」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。圏域別ではほとんど差はありませんが、湯布院圏域が3.1%と最も高くなっています。



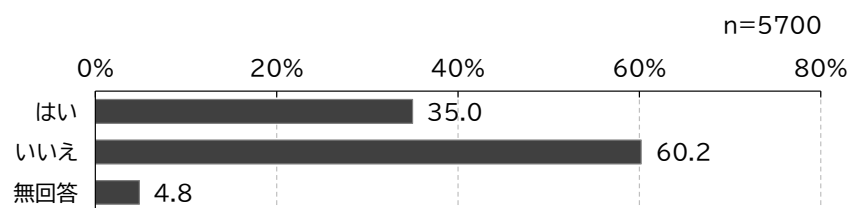
(2) あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を 0 点、「とても幸せ」を 10 点とする)

「8 点」が 21.6%と最も多く、次いで「5 点」が 16.3%、「7 点」が 15.5%、「10 点」が 14.4%、「9 点」が 9.7%となっています。



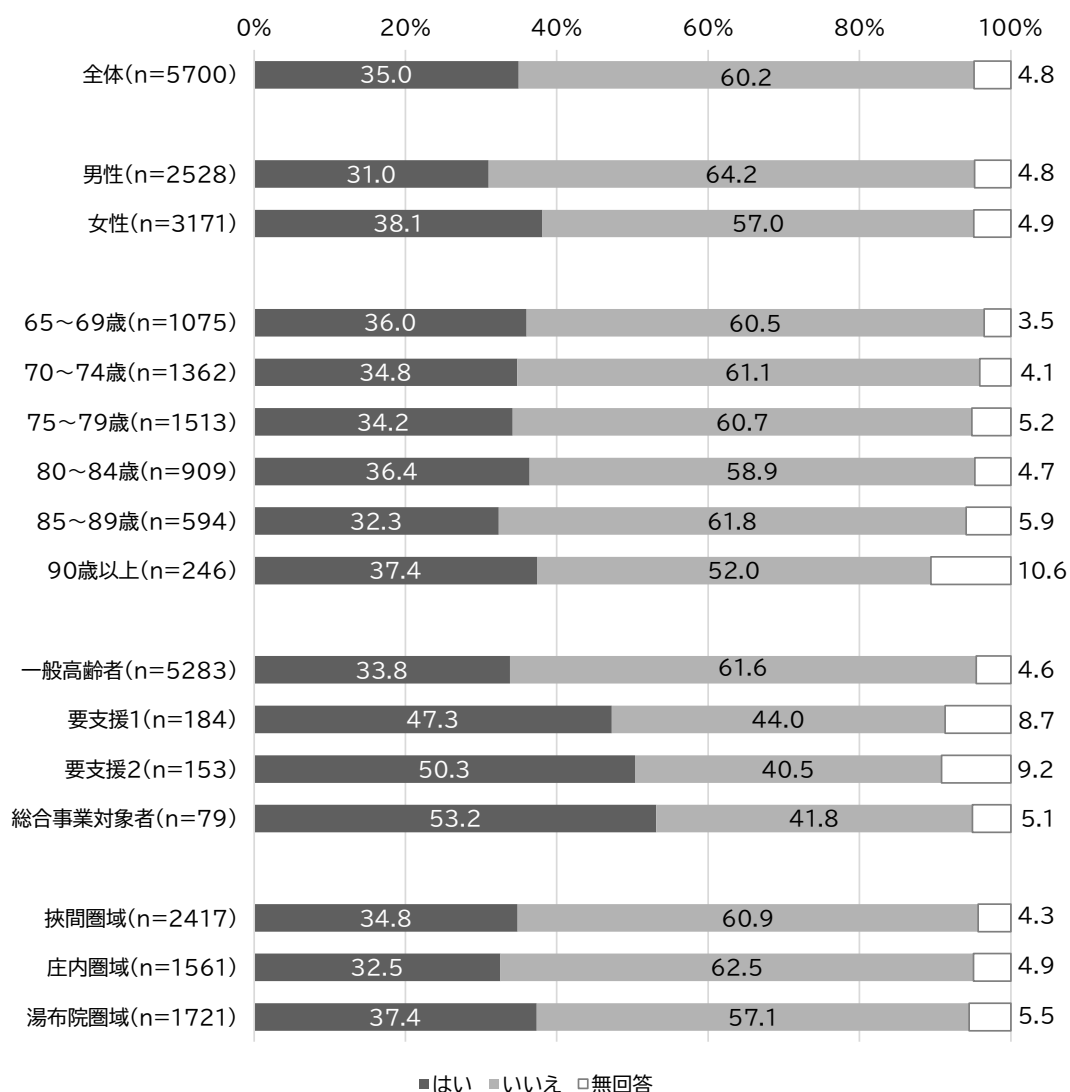
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

「はい」が35.0%、「いいえ」が60.2%となっています。



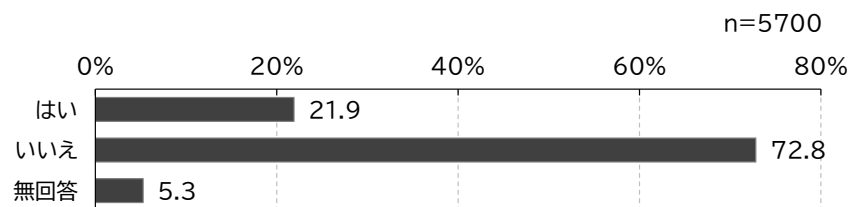
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では90歳以上が37.4%と最も高くなっています。要介護状態区分別ではおおむね要介護度が上がるほど高くなっており、圏域別では湯布院圏域が37.4%と最も高くなっています。



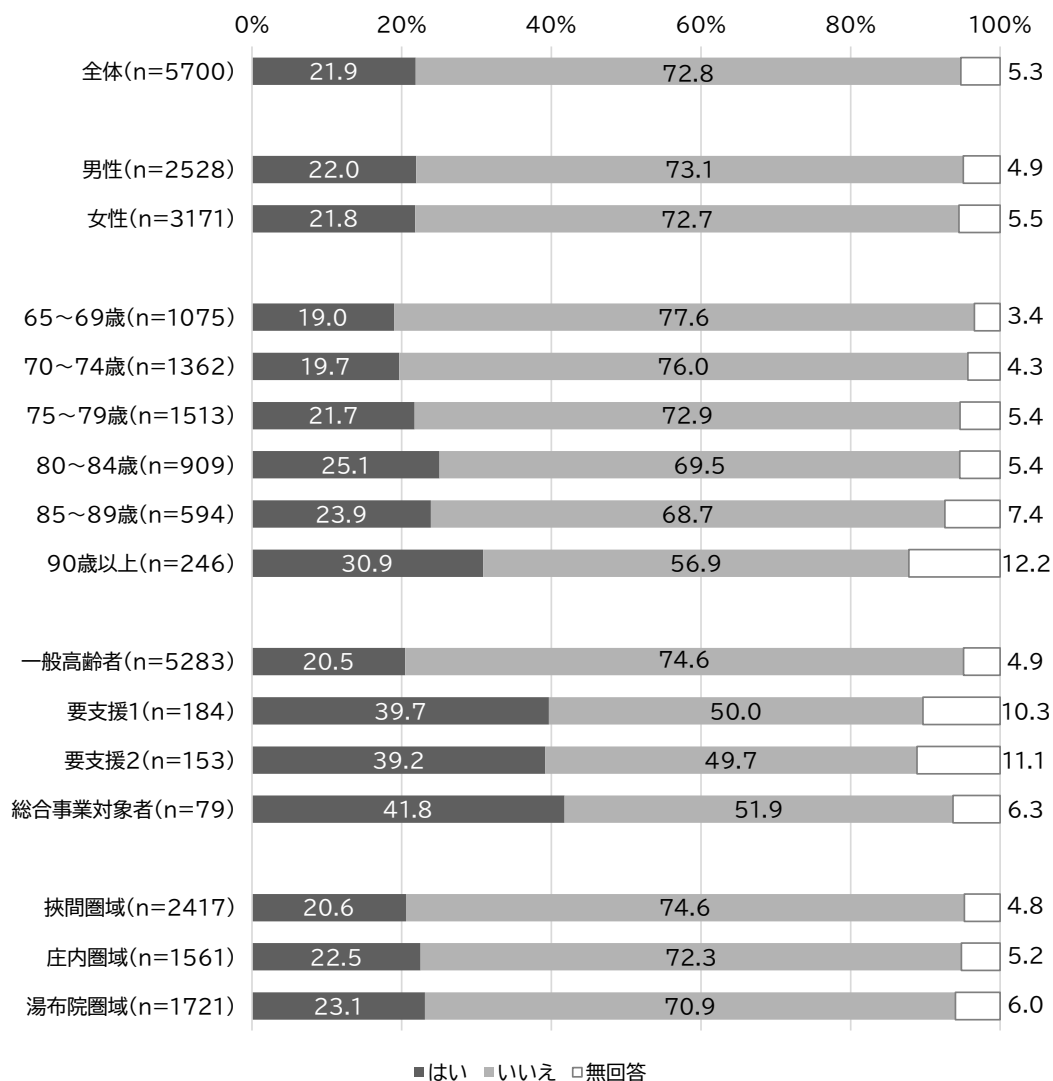
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

「はい」が21.9%、「いいえ」が72.8%となっています。



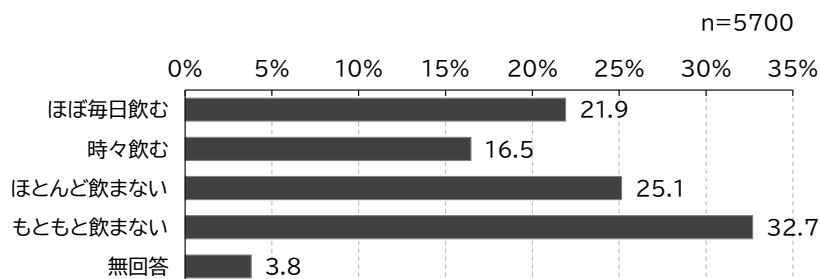
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「はい」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて高くなる傾向です。要介護状態区分別では総合事業対象者が41.8%と最も高くなっています。



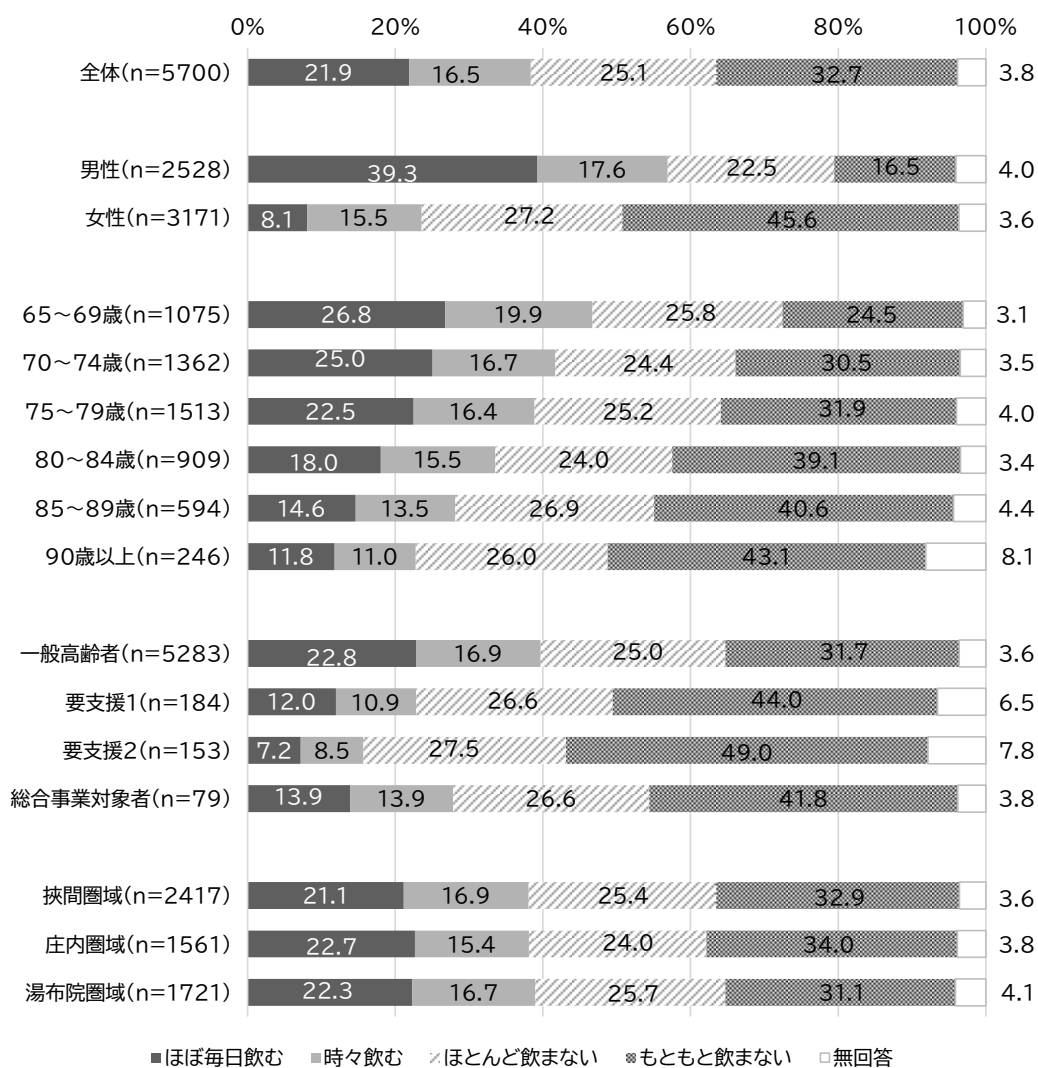
(5) お酒は飲みますか

「もともと飲まない」が32.7%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.1%、「ほぼ毎日飲む」が21.9%、「時々飲む」が16.5%となっています。



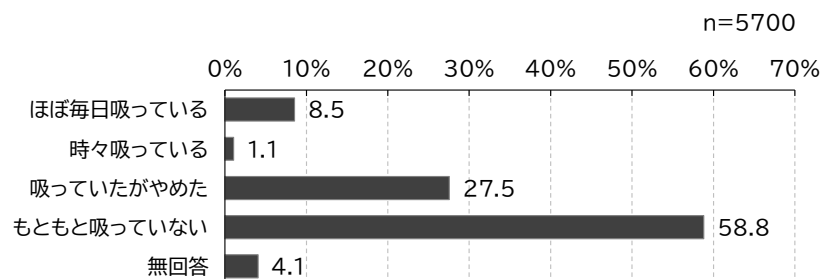
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「ほぼ毎日飲む」の割合は、性別では男性の方が高く 39.3%と3割を超えており、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなっています。



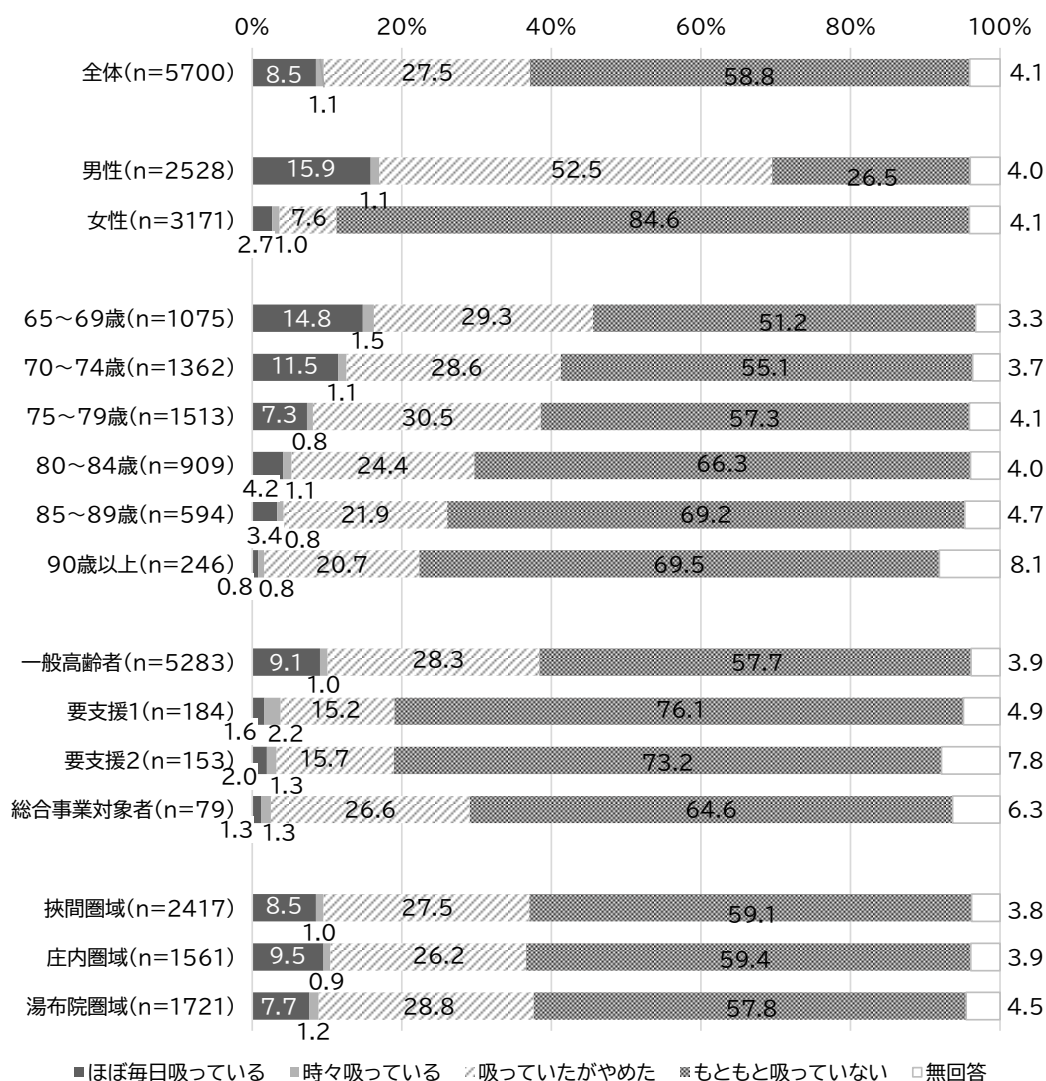
(6) タバコは吸っていますか

「もともと吸っていない」が58.8%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が27.5%、「ほぼ毎日吸っている」が8.5%、「時々吸っている」が1.1%となっています。



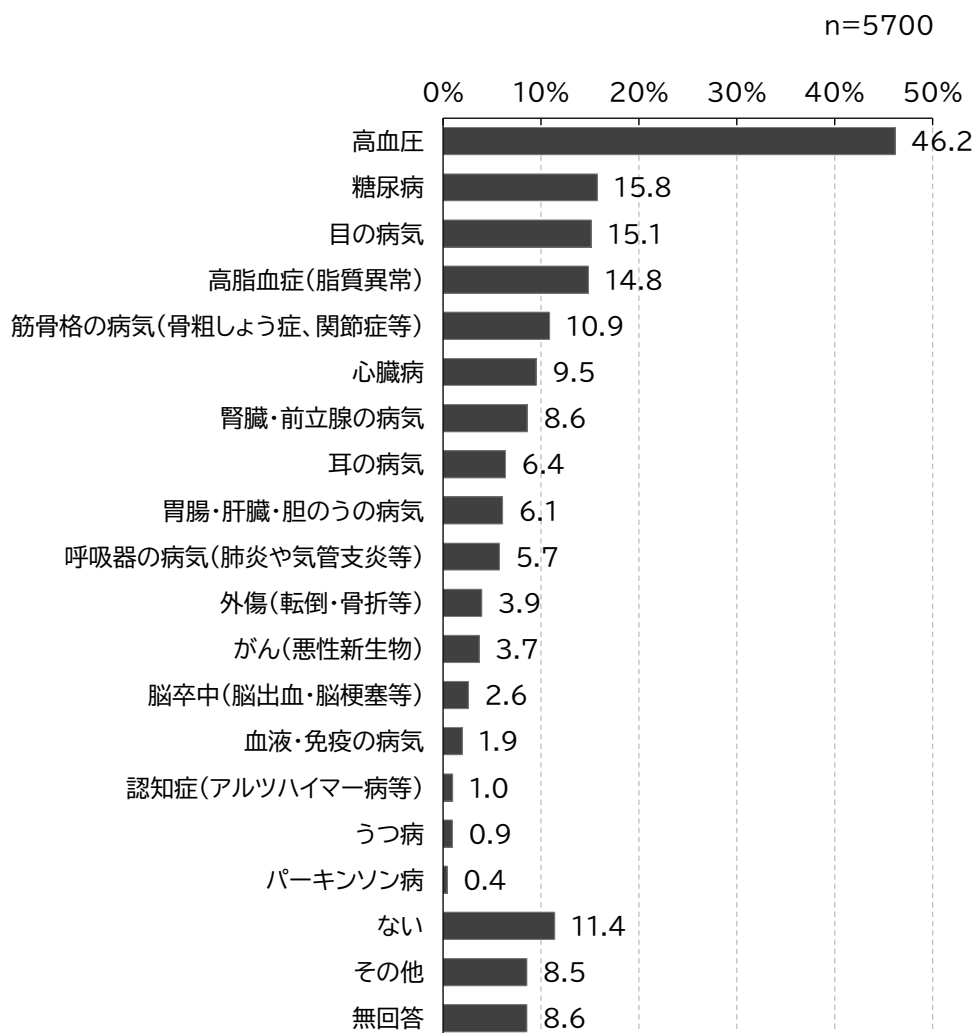
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「ほぼ毎日吸っている」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなっています。圏域別では庄内圏域が9.5%と最も高くなっています。



(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか【複数回答】

「高血圧」が46.2%と最も多く、次いで「糖尿病」が15.8%、「目の病気」が15.1%、「高脂血症（脂質異常）」が14.8%、「ない」が11.4%となっています。



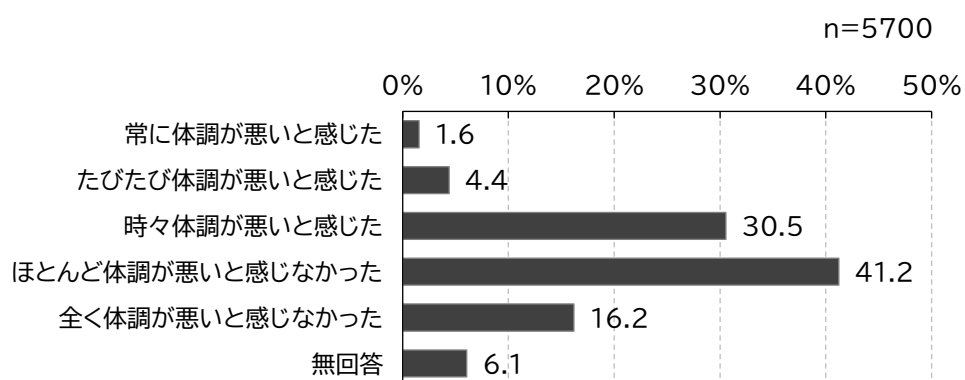
「その他」の主な記入内容

甲状腺の病気 (68) / 痛風・高尿酸関連 (33) / リウマチ (関節リウマチ等) (29) / 神経痛・しびれ・てんかん等 (21) / アレルギー (花粉症・鼻炎・食物等) (18) / 皮膚炎・水虫・带状疱疹等 (16) / 精神・不安障害 (11) / 歯科疾患 (歯・歯周病・歯科治療) (10) / 膀胱炎・排尿障害等 (7) / 等

問9 熱中症予防についてうかがいます

(1) 今年(令和7年)の夏、暑さが原因で体調が悪いと感じることはありましたか

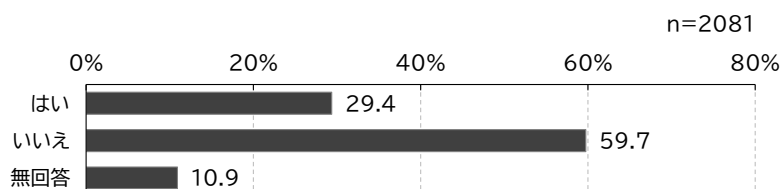
「ほとんど体調が悪いと感じなかった」が41.2%と最も多く、次いで「時々体調が悪いと感じた」が30.5%、「全く体調が悪いと感じなかった」が16.2%、「たびたび体調が悪いと感じた」が4.4%、「常に体調が悪いと感じた」が1.6%となっています。



問9(1)で「常に体調が悪いと感じた」「たびたび体調が悪いと感じた」「時々体調が悪いと感じた」を選択した方

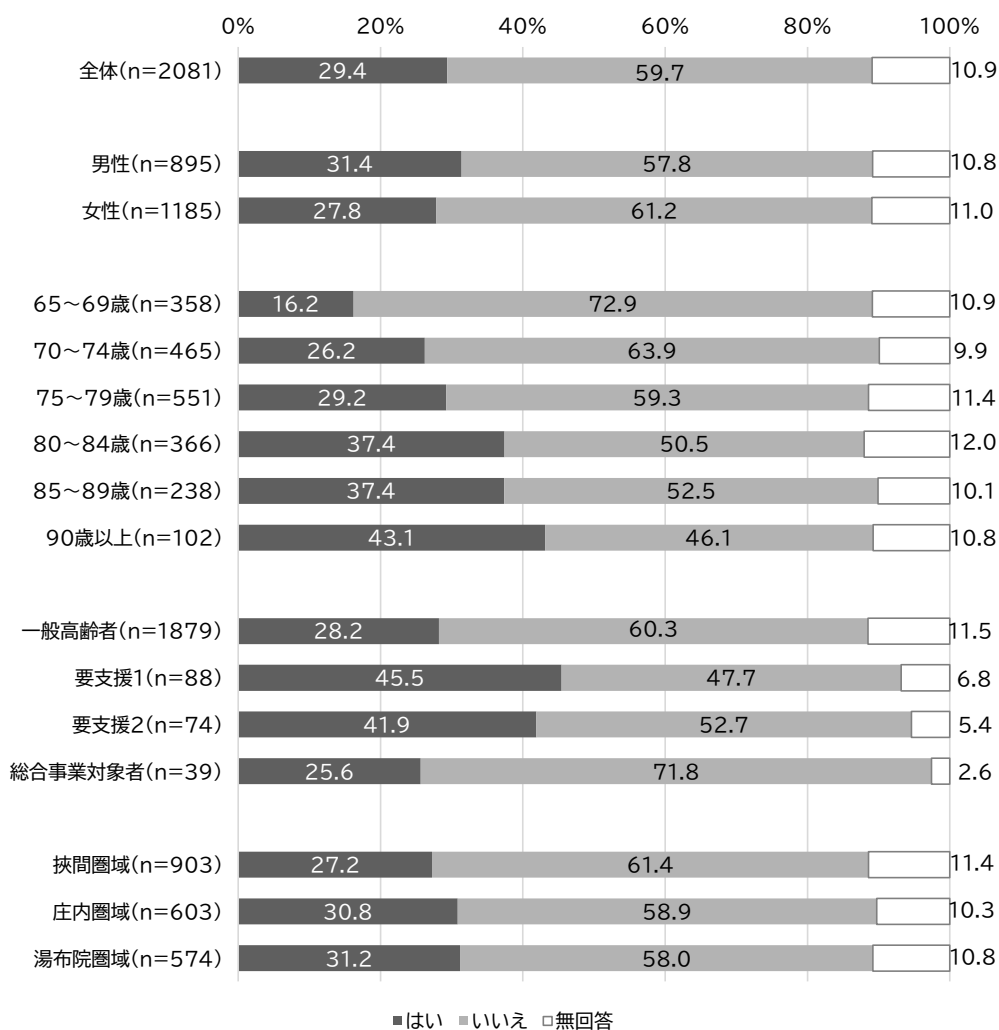
(1)-① 体調が悪いと感じたときに病院を受診しましたか

「はい」が29.4%、「いいえ」が59.7%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

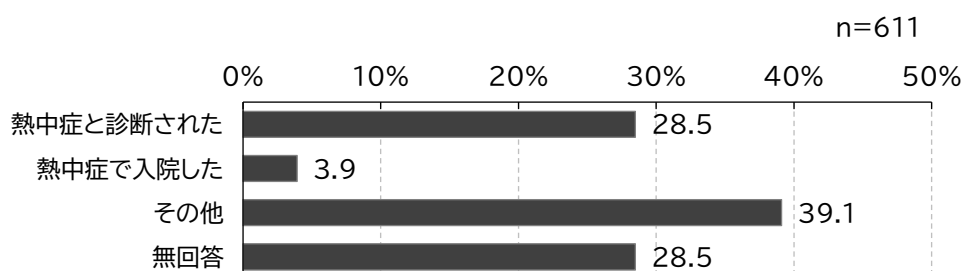
「いいえ」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなる傾向です。要介護状態区分別では総合事業対象者が71.8%と最も高くなっています。



問9(1)-①で「はい」を選択した方

(1)-② 受診後の診断・経過を教えてください

「その他」が39.1%と最も多く、次いで「熱中症と診断された」が28.5%、「熱中症で入院した」が3.9%となっています。

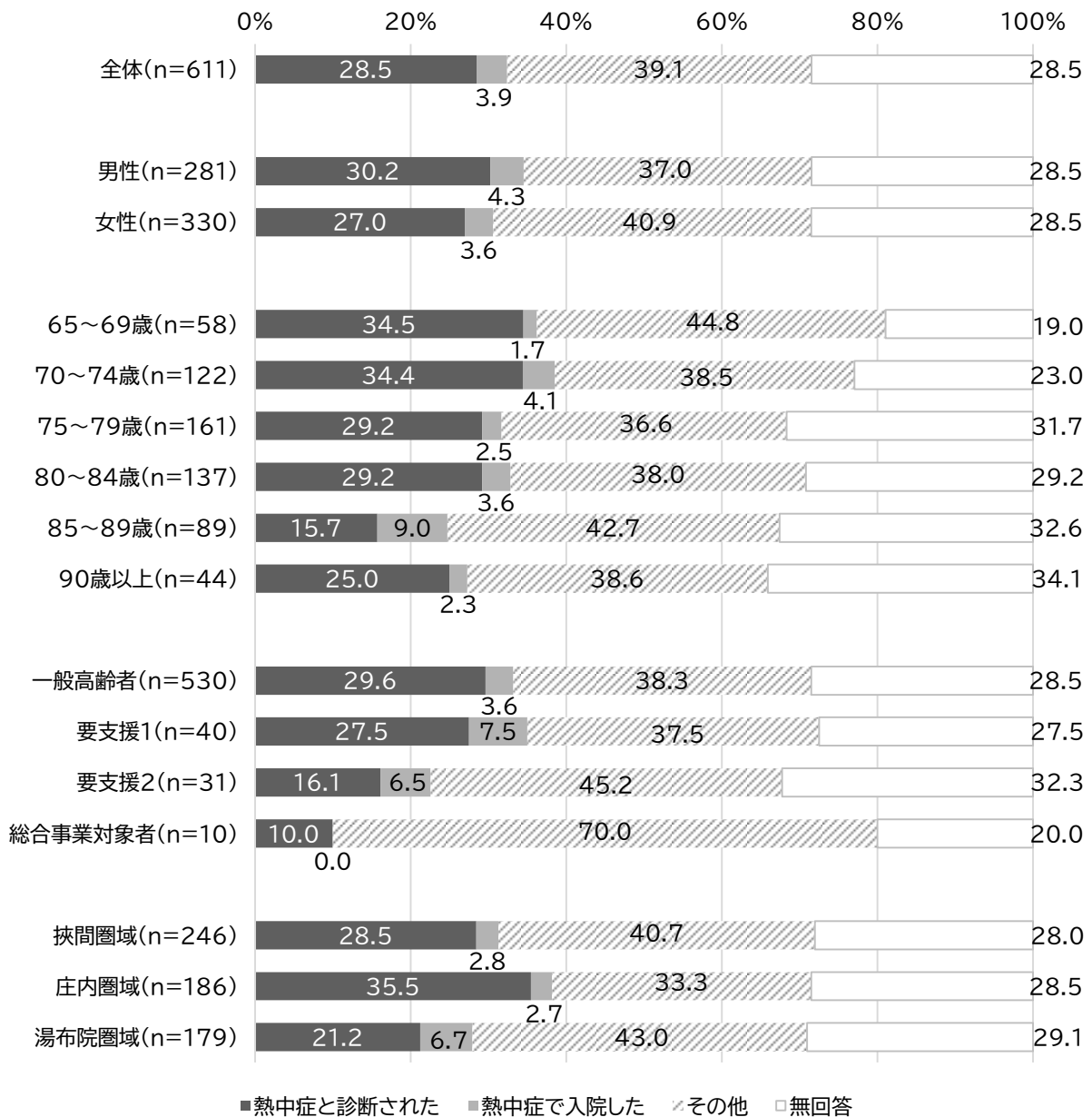


「その他」の主な記入内容

異常なし (39) / コロナ・風邪・インフル等 (28) / 高血圧・心臓病・不整脈等 (22) / 骨折等 (21) / めまい・メニエール病・平衡機能障害 (15) / がん・再発等 (14) / 代謝・内分泌 (糖尿病・低血糖・ホルモン等) (13) / 免疫・膠原病・リウマチ等 (12) / 肺炎・気管支炎・呼吸困難等 (10) / 脳梗塞・パーキンソン等 (9) / 食欲不振等 (8) / 原因不明・経過観察等 (8) / 膀胱炎 (7) / 精神・ストレス・心の不調 (6) / 転倒・打撲・外傷等 (6) / 点滴 (6) / 等

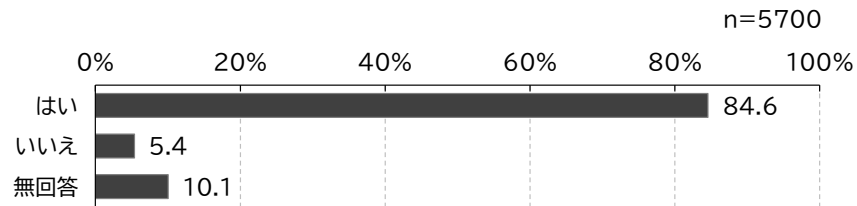
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「熱中症で入院した」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では85～89歳が9.0%と最も高くなっています。圏域別では湯布院圏域が6.7%と最も高くなっています。



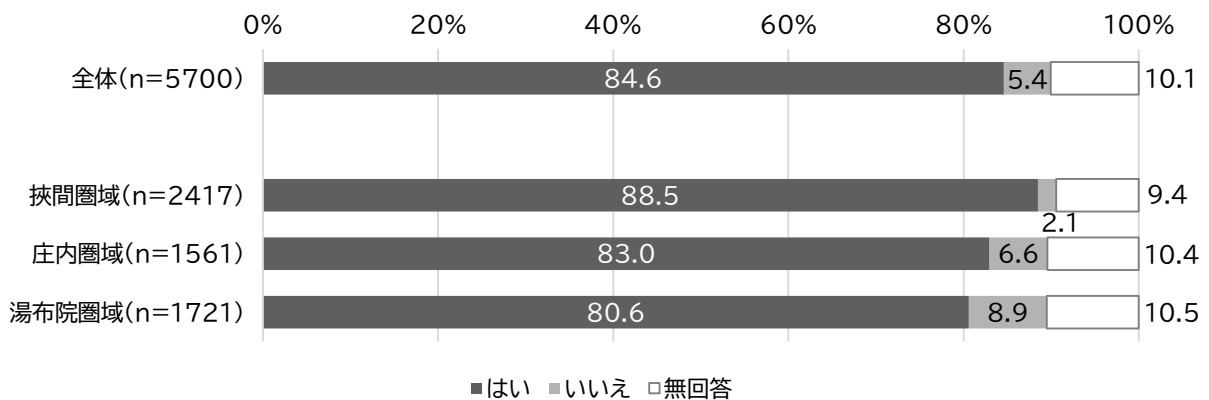
(2) 現在、ご自宅にエアコンは設置されていますか

「はい」が84.6%、「いいえ」が5.4%となっています。



圏域別

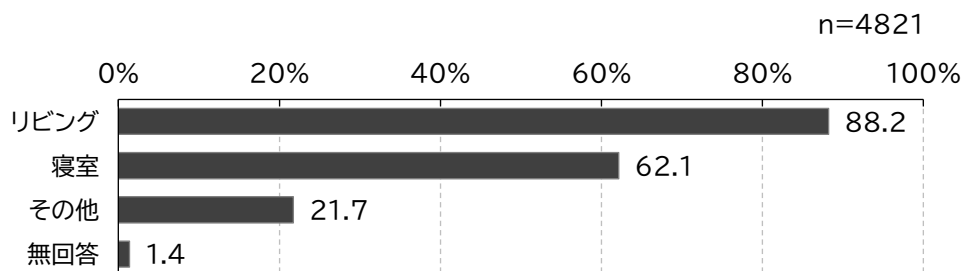
圏域別では、「はい」が最も少ないのは湯布院圏域となっています。



問9(2)で「はい」(自宅にエアコンを設置している)を選択した方

(2)-① エアコンの設置場所はどこですか【複数回答】

「リビング」が88.2%と最も多く、次いで「寝室」が62.1%、「その他」が21.7%となっています。



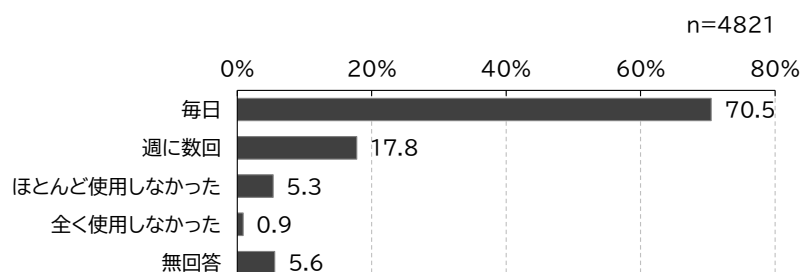
「その他」の主な記入内容

客間 (121) / 座敷 (118) / 台所 (92) / 全室 (56) / 2階 (50) / 和室 (48) / 子ども部屋 (37) / 仏間 (33) / 食事室 (29) / 水回り (26) / 広間 (25) / 仕事場 (19) / 応接室 (15) / 書斎 (13) / 床の間 (9) / 倉庫 (2) / 等

問9(2)で「はい」(自宅にエアコンを設置している)を選択した方

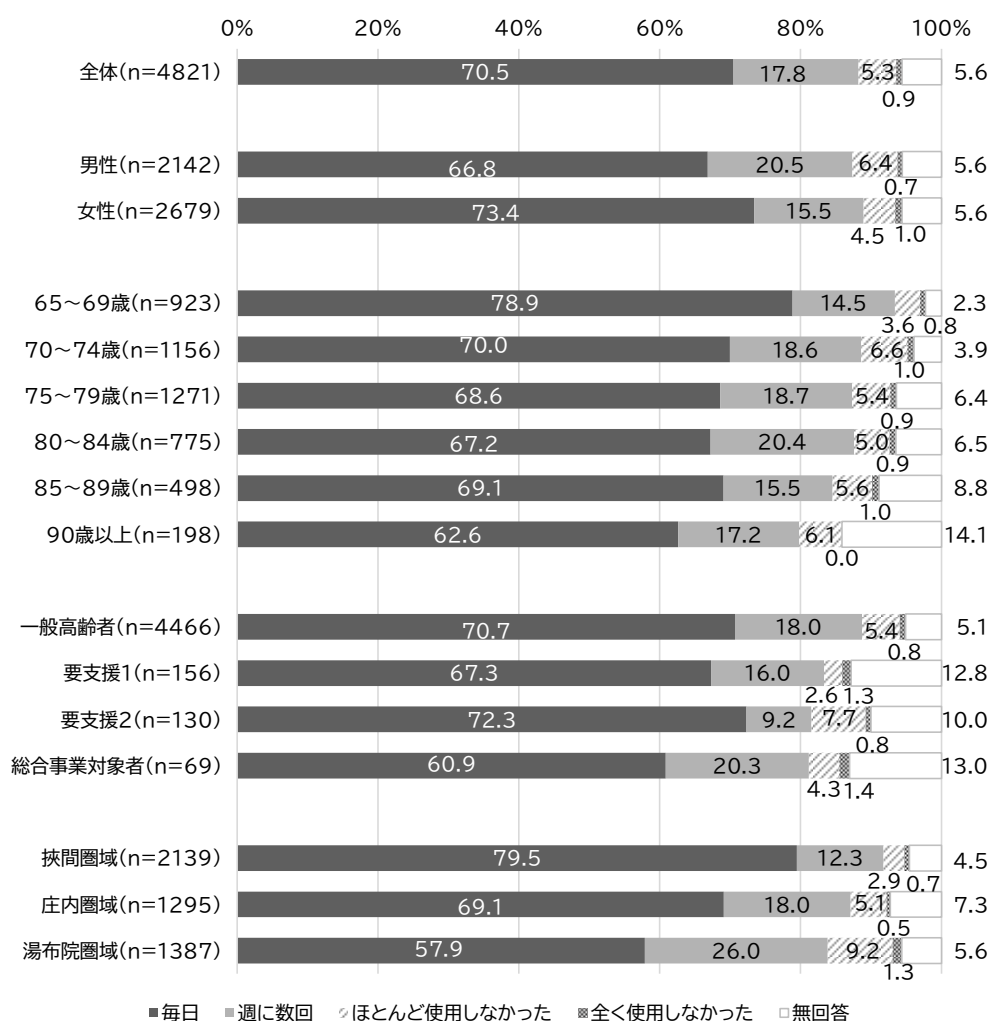
(3) 今年(令和7年)の夏、エアコンをどのくらいの頻度で使いましたか

「毎日」が70.5%と最も多く、次いで「週に数回」が17.8%、「ほとんど使用しなかった」が5.3%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

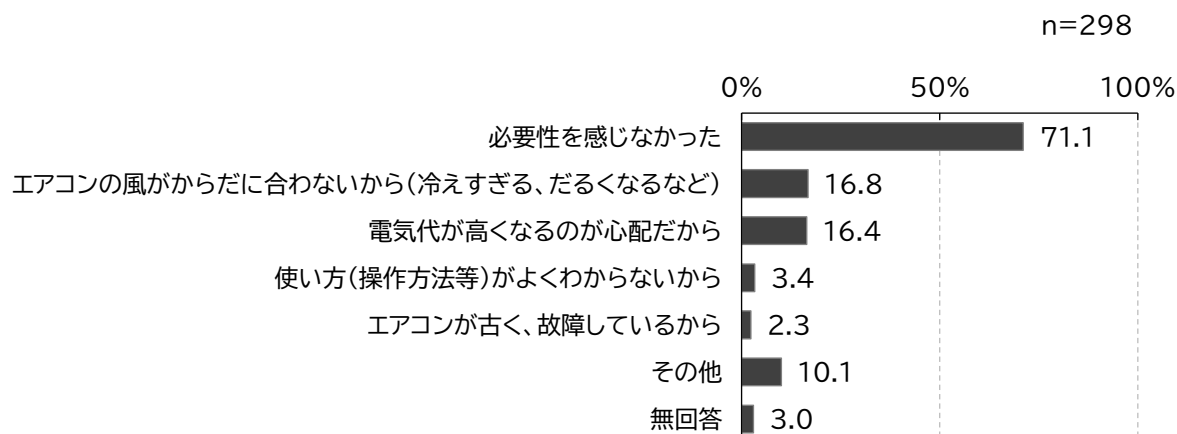
「全く使用しなかった」の割合は、性別ではわずかに女性の方が高く、年齢別では全ての年齢において1割以下となっています。圏域別ではほとんど差はありませんが、湯布院圏域が1.3%と最も高くなっています。



問9(3)で「ほとんど使用しなかった」「全く使用しなかった」を選択した方

(3)-① 使用しなかった理由は何ですか【複数回答】

「必要性を感じなかった」が71.1%と最も多く、次いで「エアコンの風がからだに合わないから（冷えすぎる、だるくなるなど）」が16.8%、「電気代が高くなるのが心配だから」が16.4%、「その他」が10.1%、「使い方（操作方法等）がよくわからないから」が3.4%となっています。



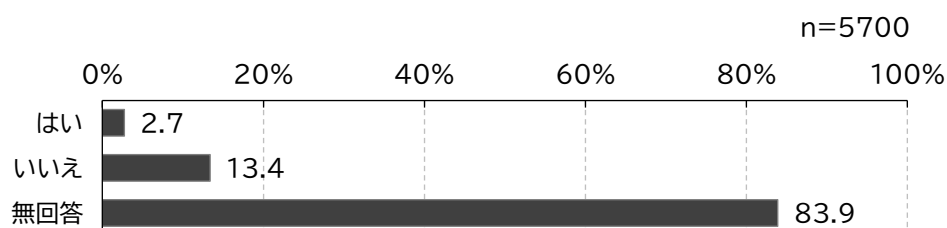
「その他」の主な記入内容

扇風機で対応できた(23)／風通しが良い(12)／外出・不在が多い(6)／冷風扇・すだれ等で対応(5)／立地・環境的に涼しい(高台・標高等)(5)／設置場所がない(3)／習慣・生活上の理由(くせ・家の事情等)(3)／入院・家にいなかった／等

(4) ご自宅にエアコンがない方、または買替えを検討している方にうかがいます。

エアコンを来年(令和8年)に購入される予定はありますか

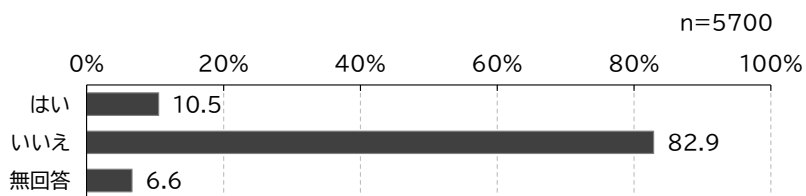
「はい」が2.7%、「いいえ」が13.4%となっています。



問 10 認知症のことについてうかがいます

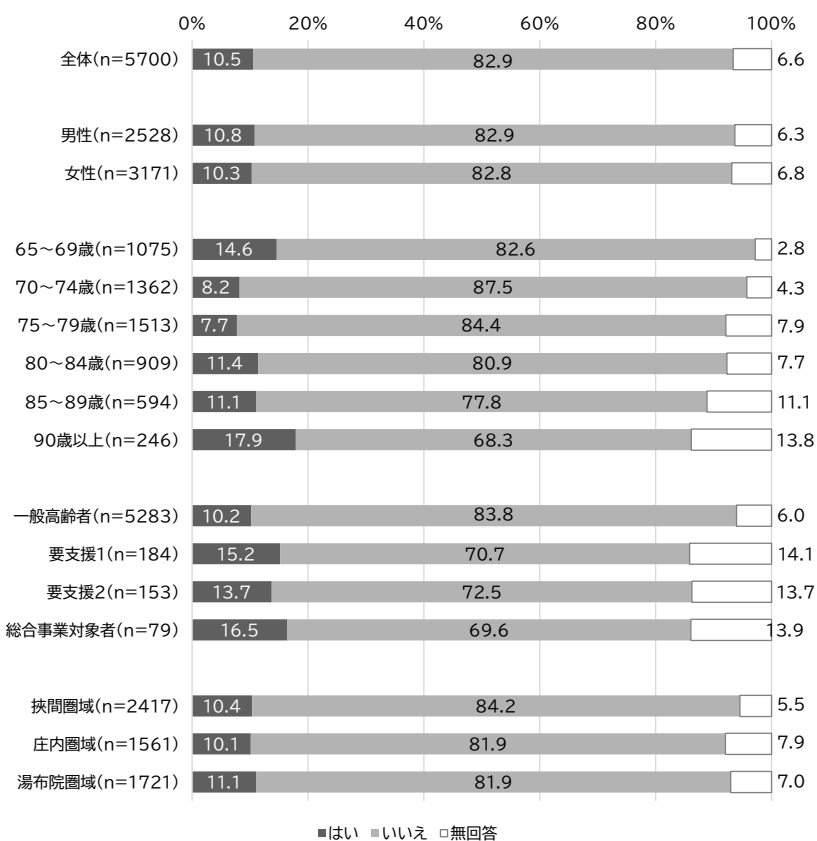
(1) 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか

「はい」が10.5%、「いいえ」が82.9%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

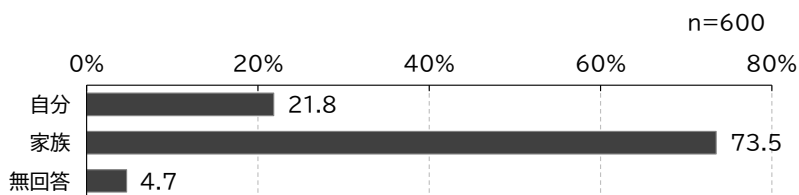
「はい」の割合は、年齢別では90歳以上が17.9%と最も高く、次いで65～69歳が14.6%となっています。圏域別では湯布院圏域が11.1%とわずかに高くなっています。



問 10(1)で「はい」を選択した方

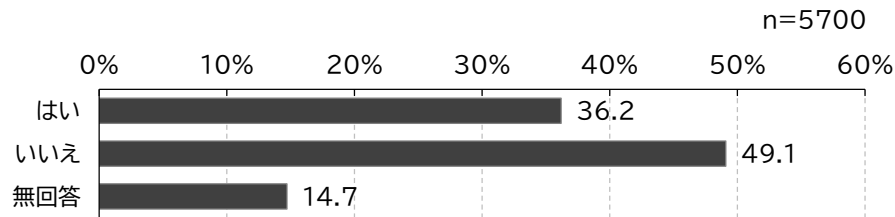
(1)-① 認知症の症状があるのはどなたですか

「自分」が21.8%、「家族」が73.5%となっています。



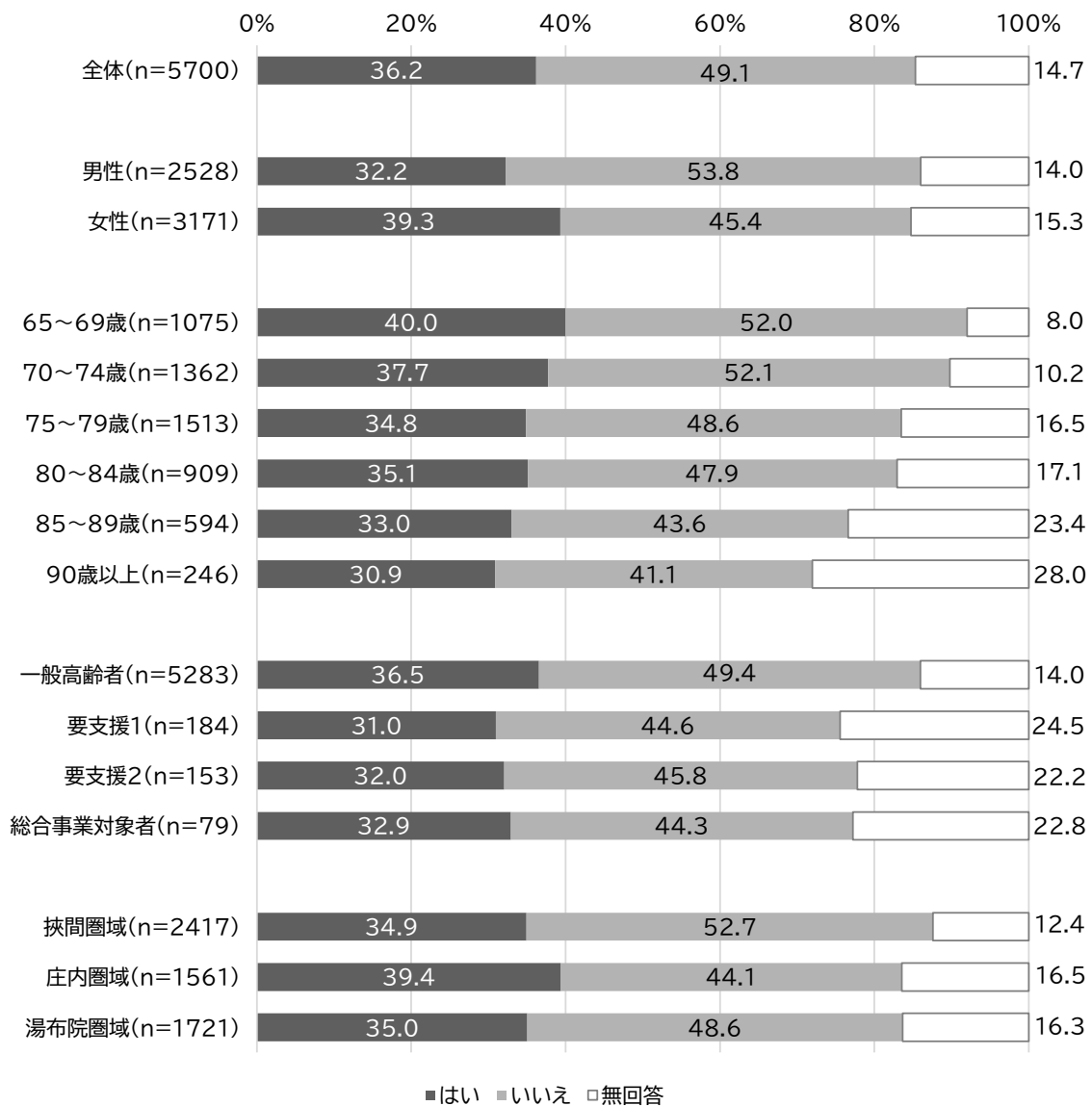
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

「はい」が36.2%、「いいえ」が49.1%となっています。



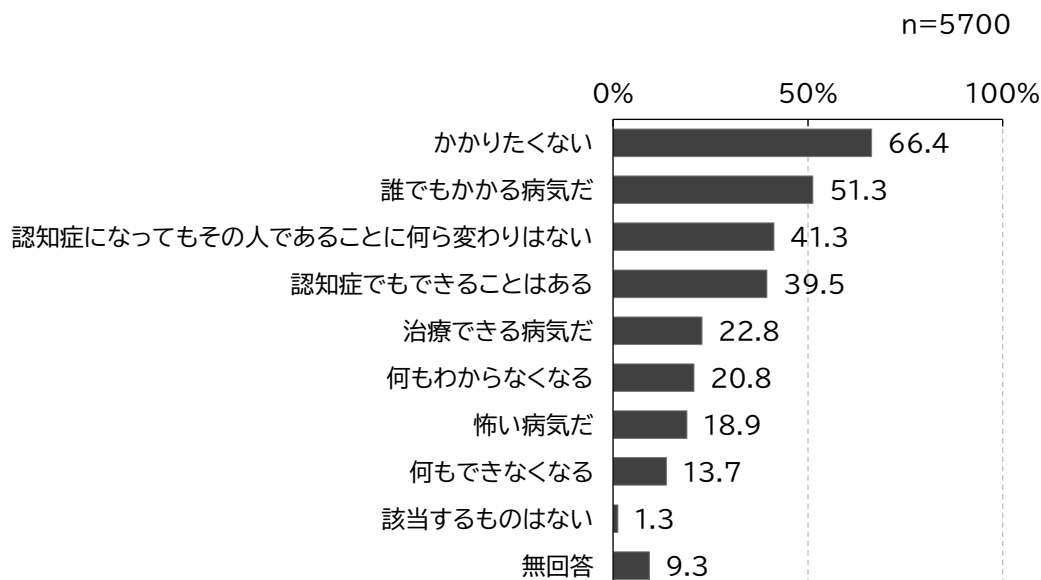
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「いいえ」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では年齢が上がるにつれて低くなる傾向です。圏域別では挟間圏域が52.7%と最も高くなっています。



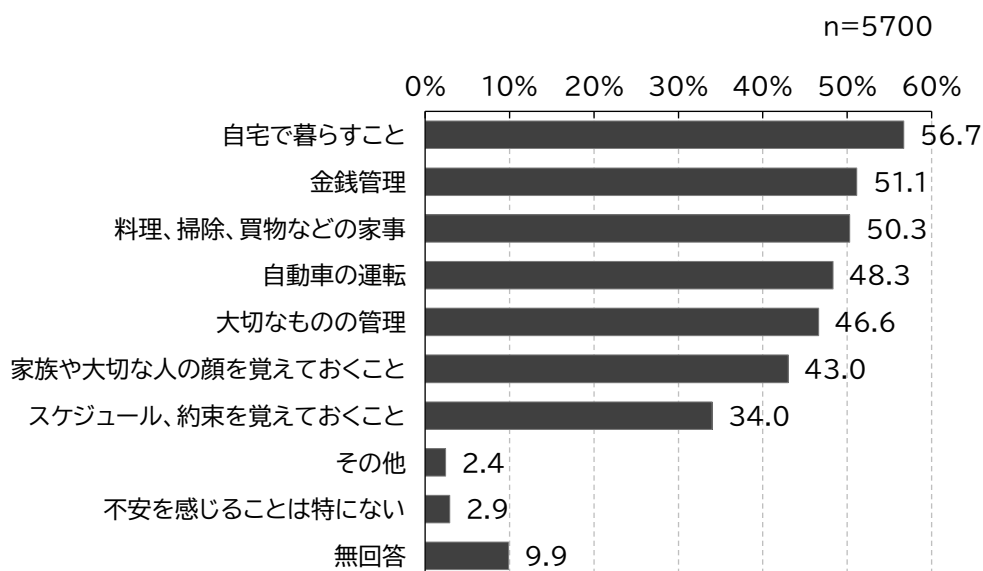
(3) 認知症についてどのようなイメージをおもちですか【複数回答】

「かかりたくない」が66.4%と最も多く、次いで「誰でもかかる病気だ」が51.3%、「認知症になってもその人であることに何ら変わりはない」が41.3%、「認知症でもできることはある」が39.5%、「治療できる病気だ」が22.8%となっています。



(4) あなたが認知症になったとき、困難や不安を感じるのはどのようなことですか【複数回答】

「自宅で暮らすこと」が56.7%と最も多く、次いで「金銭管理」が51.1%、「料理、掃除、買物などの家事」が50.3%、「自動車の運転」が48.3%、「大切なものの管理」が46.6%となっています。



「その他」の主な記入内容

家族・周囲に迷惑をかけることへの不安（22）／将来像が想像できない・なってみないとわからない不安（21）／1人暮らし・支援者がいないことへの不安（11）／医療・受診・服薬・適切なケアを受けられるか（8）／徘徊・問題行動（暴言・妄想・異食等）への不安（7）／火の管理・火事・戸締まりなど安全面の不安（6）／排泄・入浴・清潔保持など身体的セルフケア（6）／精神面の悪化（うつ・死にたい気持ち・生きる希望喪失）（4）／介護を担う側・配偶者が既に認知症である不安（3）／ペット・庭・家の管理など生活周辺の心配（3）／病氣管理（糖尿病等の持病管理ができるか）（2）／施設入所・最終的な生活の場への不安（2）／等

性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

性別で、5ポイント程度以上の差があるものをみると、「自動車の運転」は男性、「料理、掃除、買物などの家事」、「家族や大切な人の顔を覚えておくこと」、「大切なものの管理」は女性の方が高くなっています。

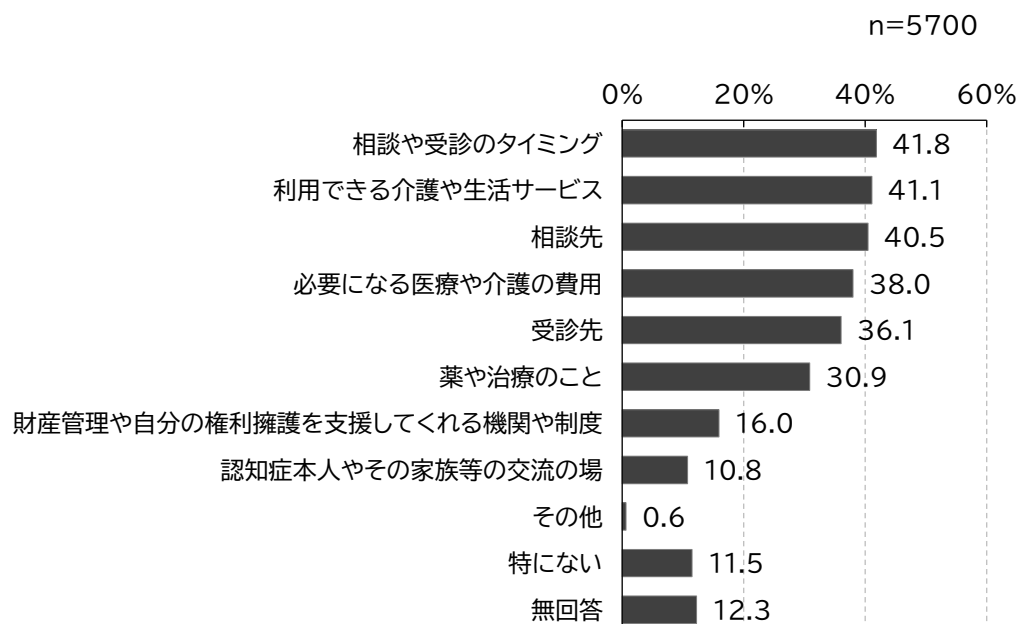
「自動車の運転」は、年齢が上がるにつれて低くなっています。

これらは、現在日常的にそれを行っているかどうかによって現れた不安感とも考えられます。

(%)	n(回答数)	自宅で暮らすこと	金銭管理	自動車の運転	料理、掃除、買物などの家事	家族や大切な人の顔を覚えておくこと	スケジュール、約束を覚えておくこと	大切なものの管理	その他	不安を感じることは特にない	無回答
全体	5700	56.7	51.1	48.3	50.3	43.0	34.0	46.6	2.4	2.9	9.9
男性	2528	54.3	49.6	60.0	36.8	39.8	32.5	42.2	2.2	3.4	9.8
女性	3171	58.6	52.3	39.0	61.1	45.6	35.2	50.1	2.6	2.6	9.9
65～69歳	1075	62.3	60.6	62.0	53.4	53.3	41.6	51.7	2.6	1.3	5.6
70～74歳	1362	58.7	53.8	59.5	52.2	46.6	36.3	47.6	2.3	2.8	7.3
75～79歳	1513	54.4	48.0	50.0	49.4	38.7	31.5	44.2	2.1	3.1	11.3
80～84歳	909	52.4	49.5	39.9	51.8	39.8	34.1	48.1	2.8	3.4	10.3
85～89歳	594	57.2	44.4	20.4	46.3	35.2	26.8	42.4	2.5	4.2	16.0
90歳以上	246	50.0	36.6	14.6	35.8	35.8	20.3	38.2	2.4	4.5	17.9
一般高齢者	5283	56.9	51.7	50.8	50.7	43.3	34.5	46.9	2.4	2.9	9.4
要支援1	184	57.6	46.7	15.8	49.5	40.8	27.2	45.1	1.1	2.7	15.2
要支援2	153	51.6	39.2	7.2	38.6	39.9	28.8	41.2	5.2	3.9	16.3
総合事業対象者	79	51.9	49.4	34.2	49.4	35.4	27.8	40.5	1.3	1.3	17.7
挾間圏域	2417	57.5	52.6	50.1	50.4	44.7	34.5	47.6	2.5	3.0	8.8
庄内圏域	1561	56.8	50.4	50.1	49.1	40.9	33.4	43.7	2.4	2.6	11.3
湯布院圏域	1721	55.5	49.7	44.2	51.2	42.6	33.9	47.9	2.3	3.1	10.2

(5) 認知症について知りたいことを教えてください【複数回答】

「相談や受診のタイミング」が41.8%と最も多く、次いで「利用できる介護や生活サービス」が41.1%、「相談先」が40.5%、「必要になる医療や介護の費用」が38.0%、「受診先」が36.1%となっています。

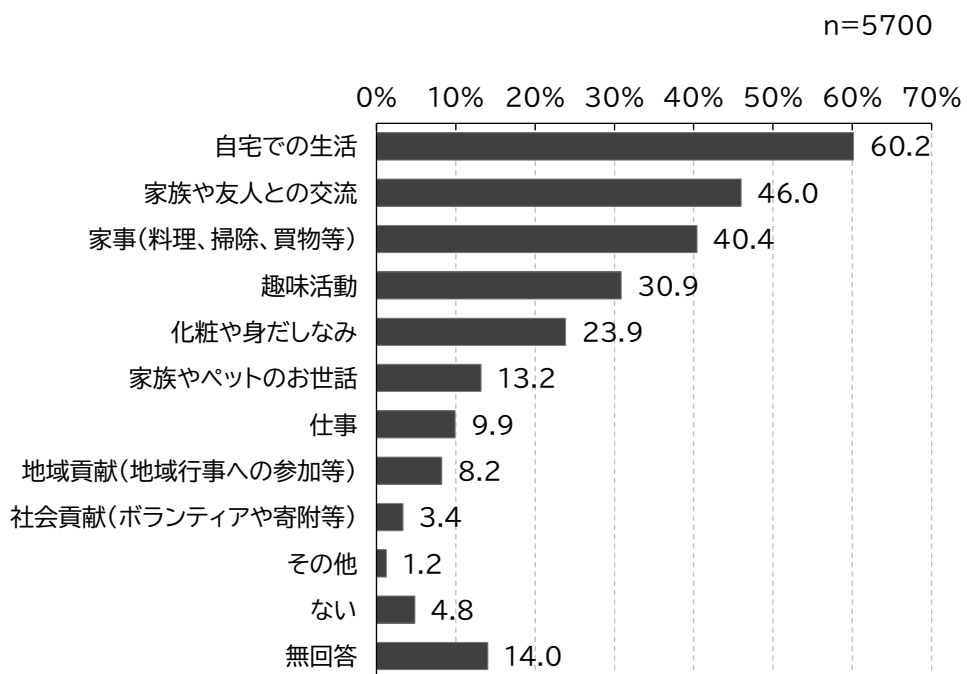


「その他」の主な記入内容

既に介護経験があり大体理解している(4)／認知症にならないための予防・日常の心がけ(3)／公共環境・社会的配慮への要望(多機能トイレ等)／学び続ける必要性・制度や時代変化への関心／近隣に相談できる人がいないという課題認識／等

(6) あなたが認知症になっても、続けていきたいと思うことは何ですか【複数回答】

「自宅での生活」が 60.2%と最も多く、次いで「家族や友人との交流」が 46.0%、「家事（料理、掃除、買物等）」が 40.4%、「趣味活動」が 30.9%、「化粧や身だしなみ」が 23.9%となっています。

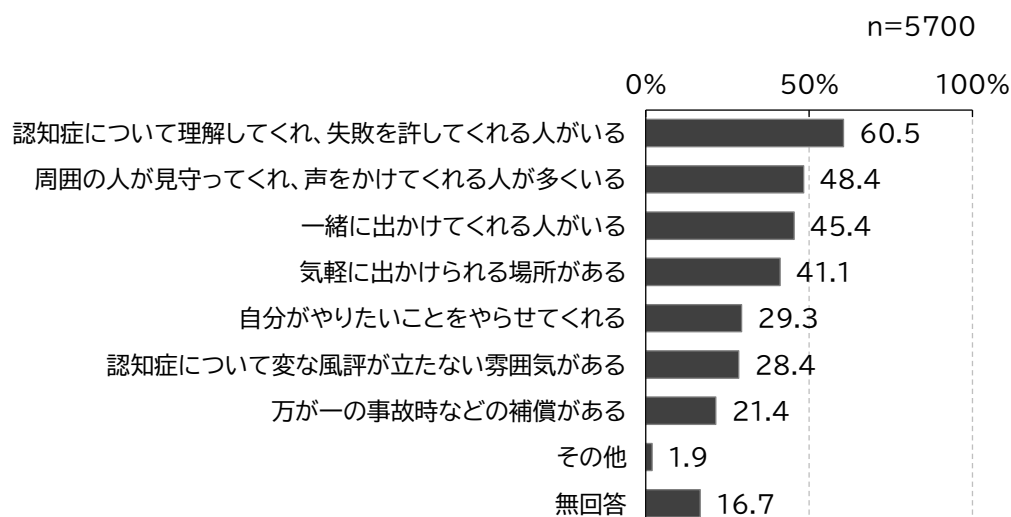


「その他」の主な記入内容

わからない・判断できない・想像できない (25) / 認知症の程度・症状・年齢によって変わる (7) / その時にならないと考えられない (5) / できる範囲で無理せず続けること (2) / 楽しんで生活したい・穏やかに過ごすこと / 通院・治療を続けること / 等

(7) あなたや家族が認知症になっても、暮らしやすい地域であるために必要なことは何だと思
いますか【複数回答】

「認知症について理解してくれ、失敗を許してくれる人がある」が 60.5%と最も多く、次
いで「周囲の人が見守ってくれ、声をかけてくれる人が多くいる」が 48.4%、「一緒に出かけ
てくれる人がある」が 45.4%、「気軽に出かけられる場所がある」が 41.1%、「自分がやりたい
ことをやらせてくれる」が 29.3%となっています。



「その他」の主な記入内容

施設・ホーム・デイサービス等の受入体制の充実 (11) / 身近な相談先・見守り・緊急時
に頼れる支援体制 (6) / 認知症に関する理解促進・教育・知識提供 (ネーミング含む)
(4) / 金銭面の不安への支援 (生活費・年金・補助) (3) / 気軽に立ち寄れる居場所・
リラックスできる場 (2) / 住みやすい住居・外出しやすい環境整備 (2) / 緊急時の連
絡・移動手段 (ブザー・タクシー等) / 本人の意思尊重 (干渉されず静かに暮らしたい)
/ 家族と相談しながら決められる体制 / 移動・交通に関する配慮 (運転しない前提等) /
等

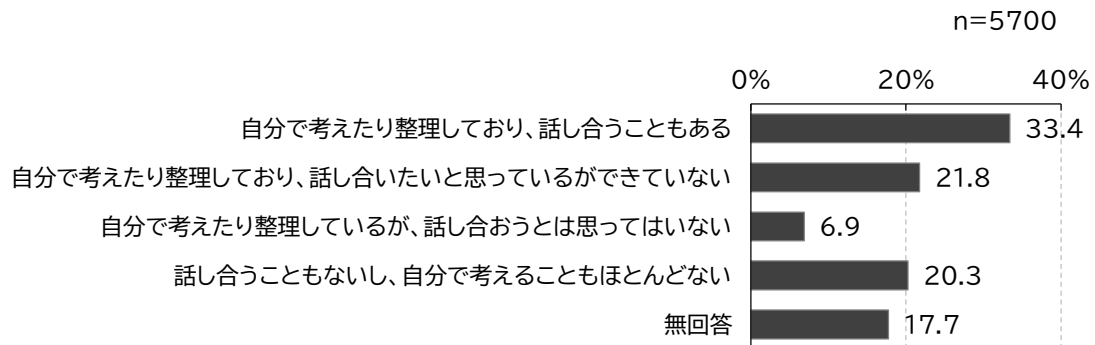
圏域別

暮らしやすい地域であるために必要なことは、圏域による大きな差異がなく、どの地域で
も全体と同じことが傾向で求められていることがわかります。

(%)		認知症に ついて理 解してく れ、失敗 を許して くれる人 がある	認知症に ついて変 な風評が 立たない 雰囲気有 る	気軽に 出かけら れる場所 がある	一緒に出 かけてく れる人が いる	周囲の人 が見守っ てくれ、 声をかけ てくれる 人が多く いる	自分がや りたいこ とをやら せてくれ る	万が一の 事故時な どの補償 がある	その他	無回答
	n(回答数)									
全体	5700	60.5	28.4	41.1	45.4	48.4	29.3	21.4	1.9	16.7
挾間圏域	2417	62.5	29.8	40.2	45.6	47.4	29.0	22.2	2.0	16.0
庄内圏域	1561	58.4	28.0	40.7	43.8	49.5	29.5	19.5	2.0	17.4
湯布院圏域	1721	59.7	26.9	42.8	46.7	48.7	29.6	22.1	1.6	17.0

(8) 今後、自分や家族が認知症になったときのことを、家族や自分の信頼できる人と考えたり、話し合ったりしていますか

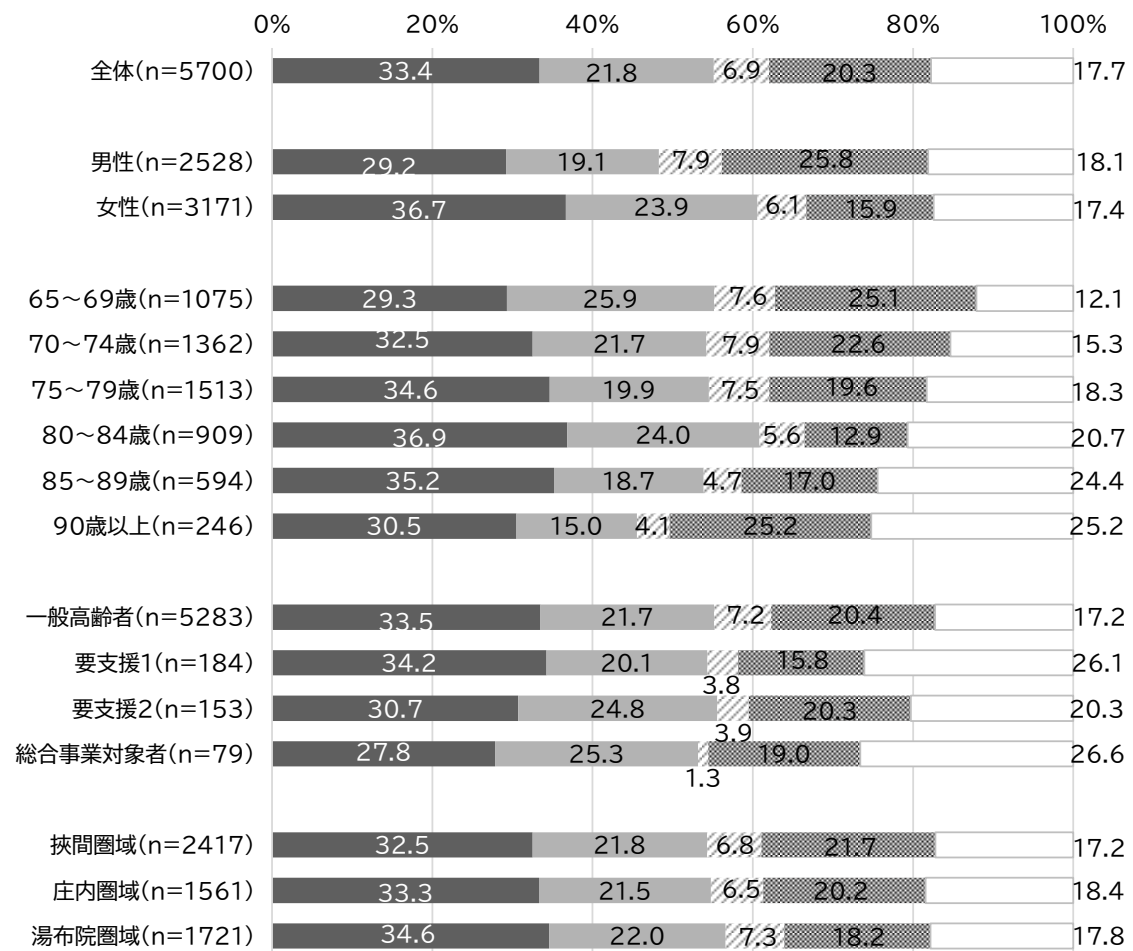
「自分で考えたり整理しており、話し合うこともある」が 33.4%と最も多く、次いで「自分で考えたり整理しており、話し合いたいと思っているができていない」が 21.8%、「話し合うこともないし、自分で考えることもほとんどない」が 20.3%、「自分で考えたり整理しているが、話し合おうとは思ってはいない」が 6.9%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

性別で、5ポイント程度以上の差があるものをみると、「話し合うこともないし、自分で考えることもほとんどない」は男性、「自分で考えたり整理しており、話し合うこともある」、は女性の方が高くなっています。

「話し合うこともないし、自分で考えることもほとんどない」は、年齢が上がるにつれて割合が低くなっていますが、90歳以上では25.2%と高くなっています。圏域別では挟間圏域が21.7%と最も高くなっています。

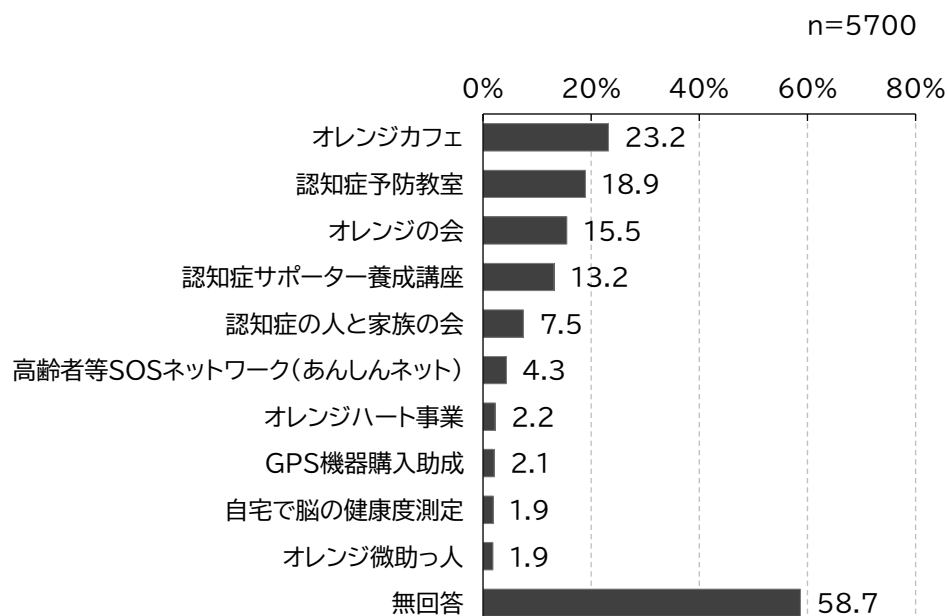


- 自分で考えたり整理しており、話し合うこともある
- 自分で考えたり整理しており、話し合いたいと思っているができていない
- ▨自分で考えたり整理しているが、話し合おうとは思っていない
- 話し合うこともないし、自分で考えることもほとんどない
- 無回答

(9) 由布市内で実施されている認知症関連事業で、知っているものを教えてください

【複数回答】

「オレンジカフェ」が23.2%と最も多く、次いで「認知症予防教室」が18.9%、「オレンジの会」が15.5%、「認知症サポーター養成講座」が13.2%、「認知症の人と家族の会」が7.5%となっています。



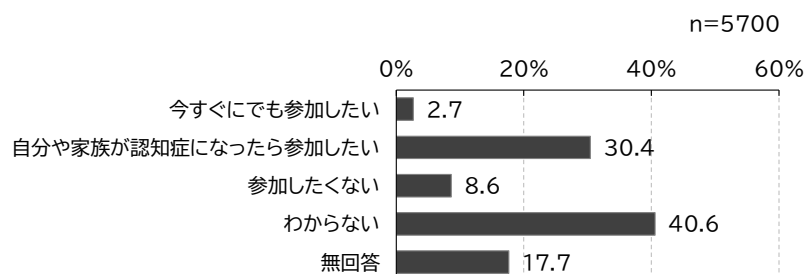
圏域別

圏域別では、「認知症サポーター養成講座」「オレンジの会」「認知症予防教室」は庄内圏域で割合が高くなっており、「オレンジカフェ」は湯布院圏域で全体より割合が高くなっています。

(%)		認知症サポーター養成講座	オレンジの会	認知症予防教室	自宅で脳の健康度測定	オレンジ微助っ人	高齢者等SOSネットワーク(あんしんネット)	GPS機器購入助成	オレンジハート事業	オレンジカフェ	認知症の人と家族の会	無回答
	n(回答数)											
全体	5700	13.2	15.5	18.9	1.9	1.9	4.3	2.1	2.2	23.2	7.5	58.7
挾間圏域	2417	12.7	14.2	16.5	1.4	1.4	3.5	1.8	2.0	23.6	6.9	60.4
庄内圏域	1561	14.2	17.7	22.6	1.8	3.0	5.1	2.2	2.2	21.3	5.8	56.4
湯布院圏域	1721	12.8	15.5	19.0	2.7	1.5	4.8	2.4	2.6	24.3	9.8	58.3

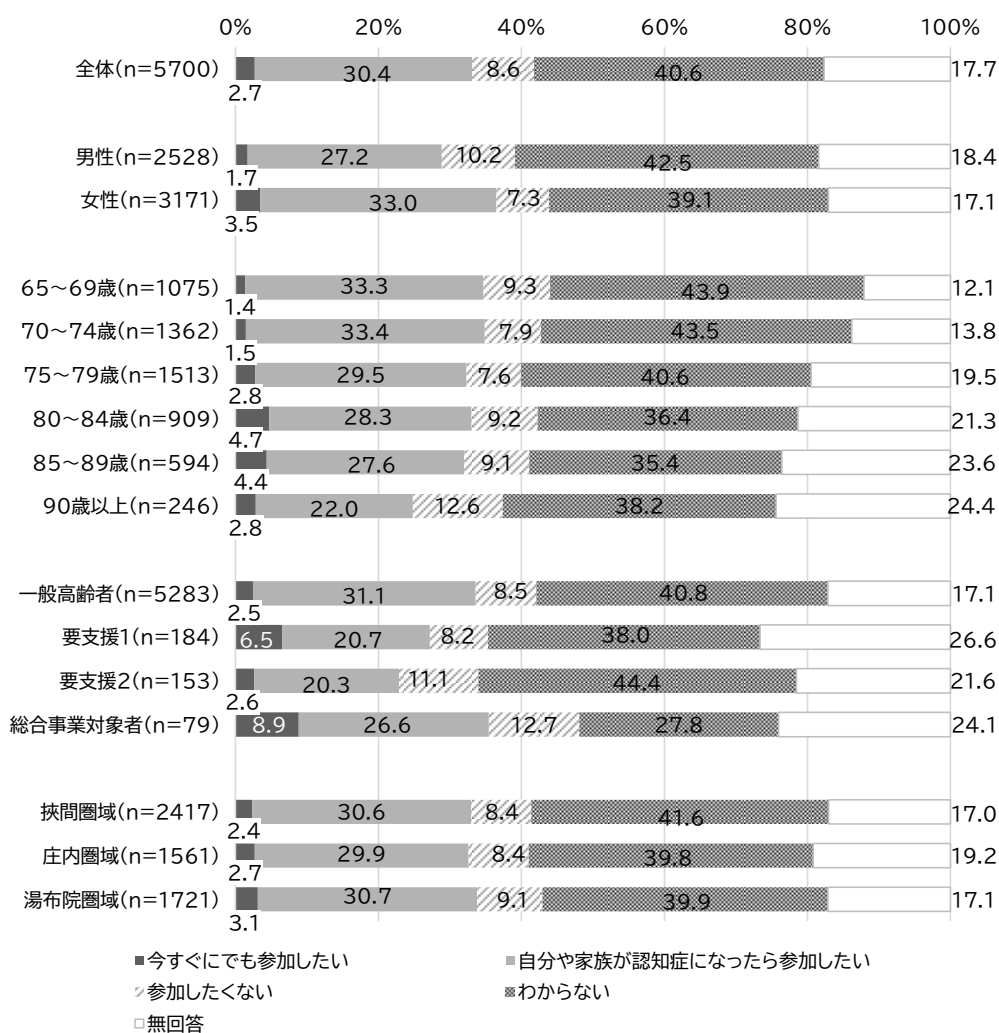
(10) 認知症の人や家族、そして地域の人誰でも参加できる交流の場である「オレンジカフェ」に参加してみたいと思いますか

「わからない」が40.6%と最も多く、次いで「自分や家族が認知症になったら参加したい」が30.4%、「参加したくない」が8.6%、「今すぐにでも参加したい」が2.7%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

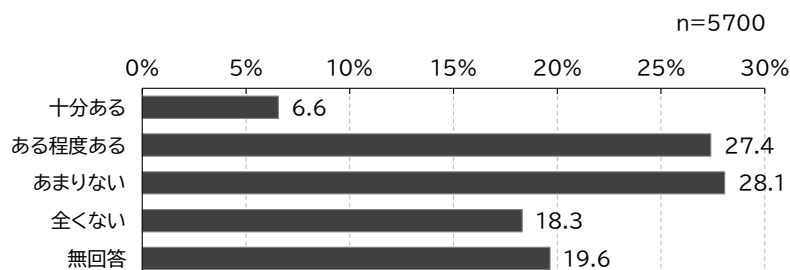
「参加したくない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では、90歳以上が12.6%と最も高いのに対し、75～79歳が7.6%と最も低くなっています。圏域別では湯布院圏域が9.1%と最も高くなっています。



問 11 市の高齢者施策や介護サービスについてうかがいます

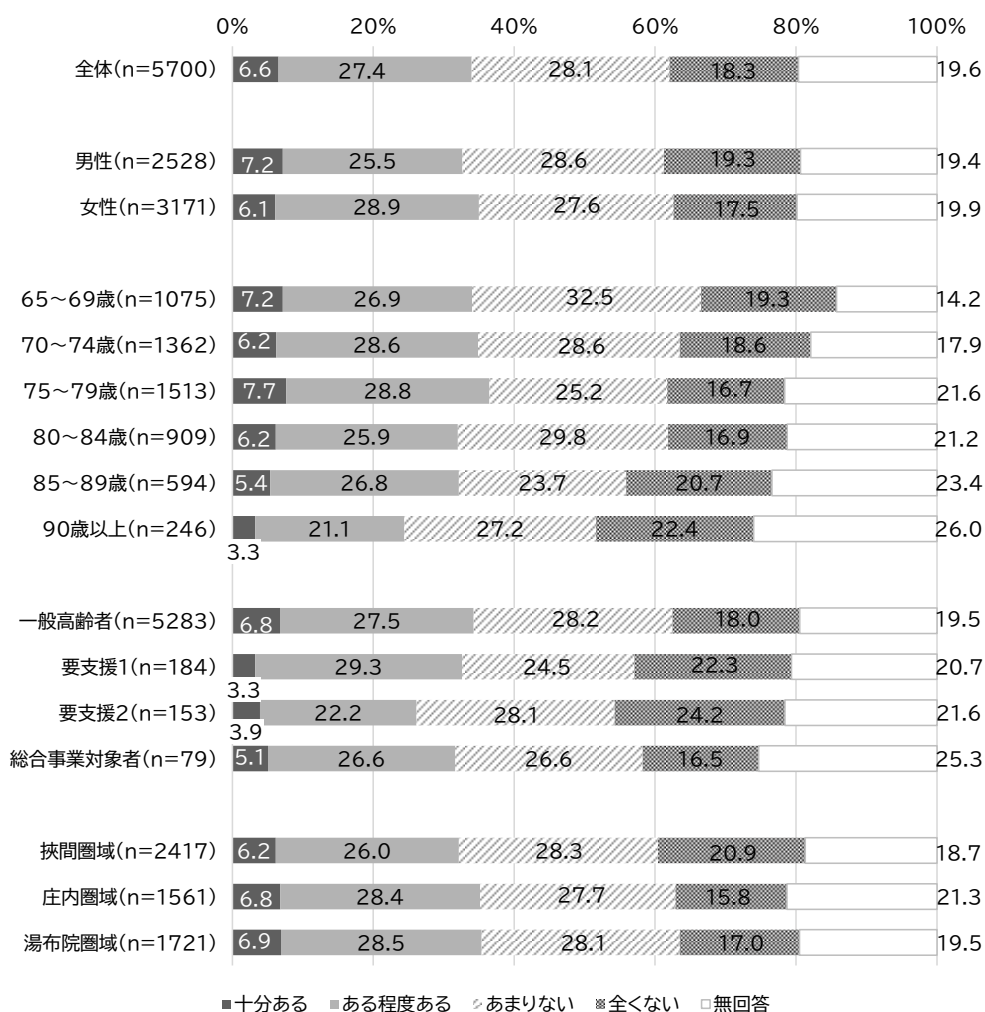
(1) あなたの能力や趣味活動などを活かす場はありますか

「あまりない」が 28.1%と最も多く、次いで「ある程度ある」が 27.4%、「全くない」が 18.3%、「十分ある」が 6.6%となっています。



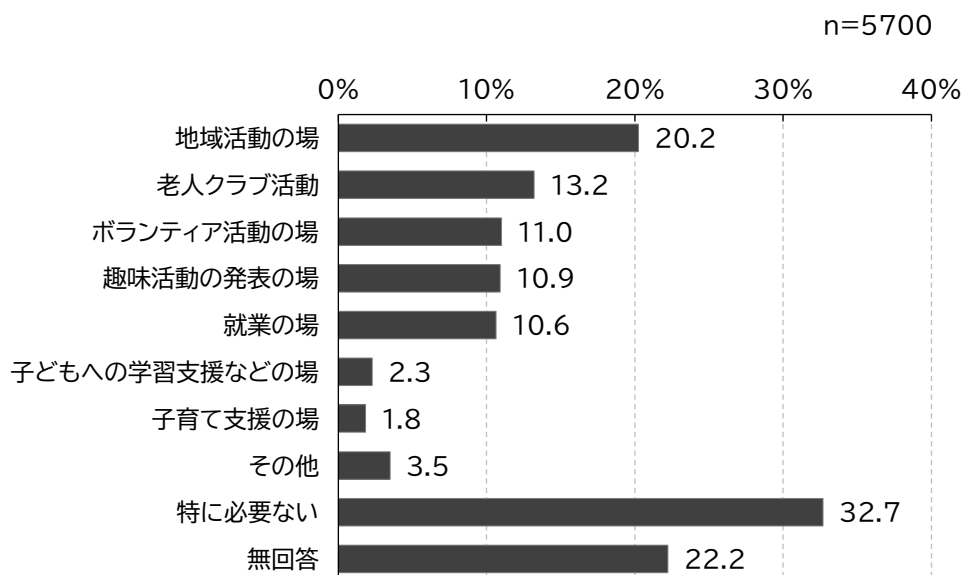
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「全くない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では 90 歳以上が 22.4%と最も高いのに対し、75～79 歳が 16.7%と最も低くなっています。圏域別では挾間圏域が 20.9%と最も高くなっています。



(2) あなたの能力や趣味活動などを活かすためにはどのような場が必要ですか【複数回答】

「特に必要ない」が32.7%と最も多く、次いで「地域活動の場」が20.2%、「老人クラブ活動」が13.2%、「ボランティア活動の場」が11.0%、「趣味活動の発表の場」が10.9%となっています。

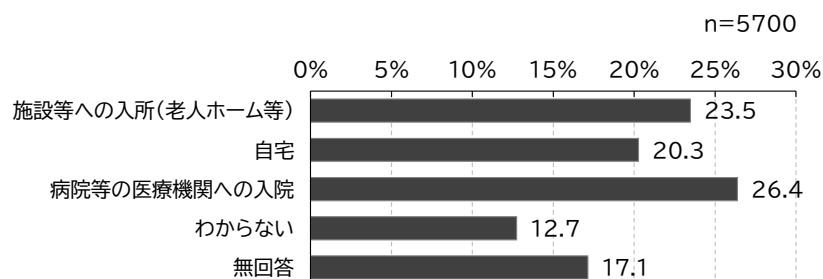


「その他」の主な記入内容

わからない・思いつかない・考えていない (44) / 自宅・家庭内で完結できる (自宅・家で十分・家で過ごす等) (11) / 気軽に交流・雑談・顔を合わせられる場 (堅苦しくない・気楽・サロン等) (10) / 移動・交通手段の確保ができる場所 (7) / 学習・情報・相談ができる場 (スマホ操作・学び・情報に触れる) (6) / スポーツ・運動ができる場所 (プール・ジム・ゴルフ練習等) (6) / 同年代・同レベルで話せる人が集まる場 (年齢層・会話レベル) (4) / デイサービス・介護支援施設など安心して行ける場 (4) / カフェ・喫茶店など民間の気軽な居場所 (3) / 畑・農作業・自然に関われる場所 (3) / 作品づくり・創作を続けられる場 (絵手紙・小物づくり等) (3) / 公民館・公共施設など身近な施設 (2) / 学習・個人学習・静かに過ごせる場 (2) / 人に必要とされる・役割を感じられる場 (2) / 健康・体力に配慮された活動環境 (2) / 等

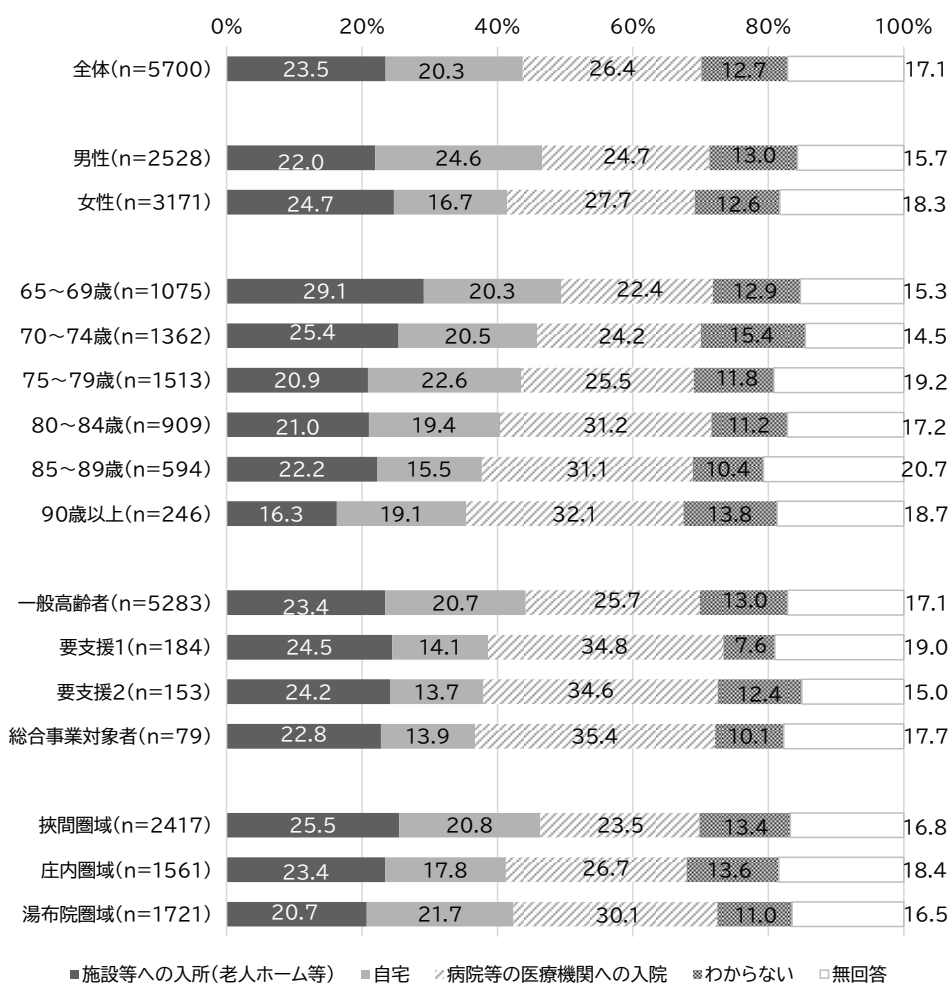
(3) あなた自身のからだが虚弱になって、医療や介護が必要になったとき、主にどこで医療や介護を受けたいですか

「病院等の医療機関への入院」が26.4%と最も多く、次いで「施設等への入所（老人ホーム等）」が23.5%、「自宅」が20.3%、「わからない」が12.7%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

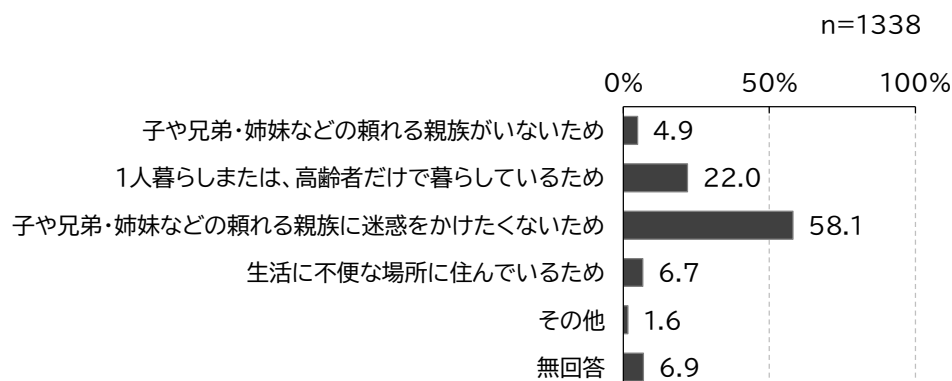
全体で最も多い「病院等の医療機関への入院」は、おおむね年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられます。「自宅」は、全体の20.3%に対し、男性では24.6%、女性では16.7%となっています。



問 11(3)で「施設等への入所(老人ホーム等)」を選択した方

(3)-① 自宅で暮らせなくなる場合の理由として考えられることは何ですか

「子や兄弟・姉妹などの頼れる親族に迷惑をかけたくないため」が 58.1%と最も多く、次いで「1人暮らしまたは、高齢者だけで暮らしているため」が 22.0%、「生活に不便な場所に住んでいるため」が 6.7%、「子や兄弟・姉妹などの頼れる親族がいないため」が 4.9%、「その他」が 1.6%となっています。

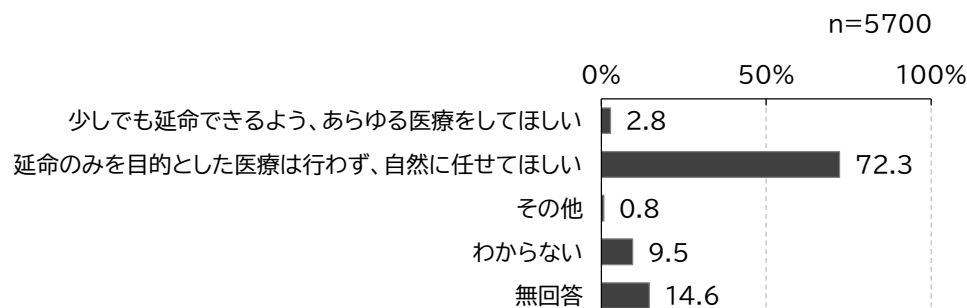


「その他」の主な記入内容

病気・身の回りのことができなくなる等（8）／介護者がいない・介護が難しい等（7）／わからない・考えたことがない（4）／家の中（階段等）での歩行が困難なため（2）／介護観の変化・共働き等（2）／等

(4) あなたの病気が治る見込みがなく、最期の時が近くなった場合、延命のための医療を受けることについてどう思いますか

「延命のみを目的とした医療は行わず、自然に任せてほしい」が 72.3%と最も多く、次いで「わからない」が 9.5%、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療をしてほしい」が 2.8%となっています。

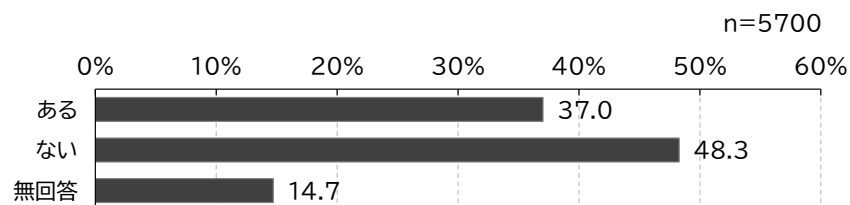


「その他」の主な記入内容

苦痛・痛みを和らげる医療のみを希望（緩和ケア・疼痛管理・苦しめないこと）（24）／安楽死を希望・安楽死の法制化を望む（8）／医療そのものを受けたくない（4）／家族の判断に委ねたい／等

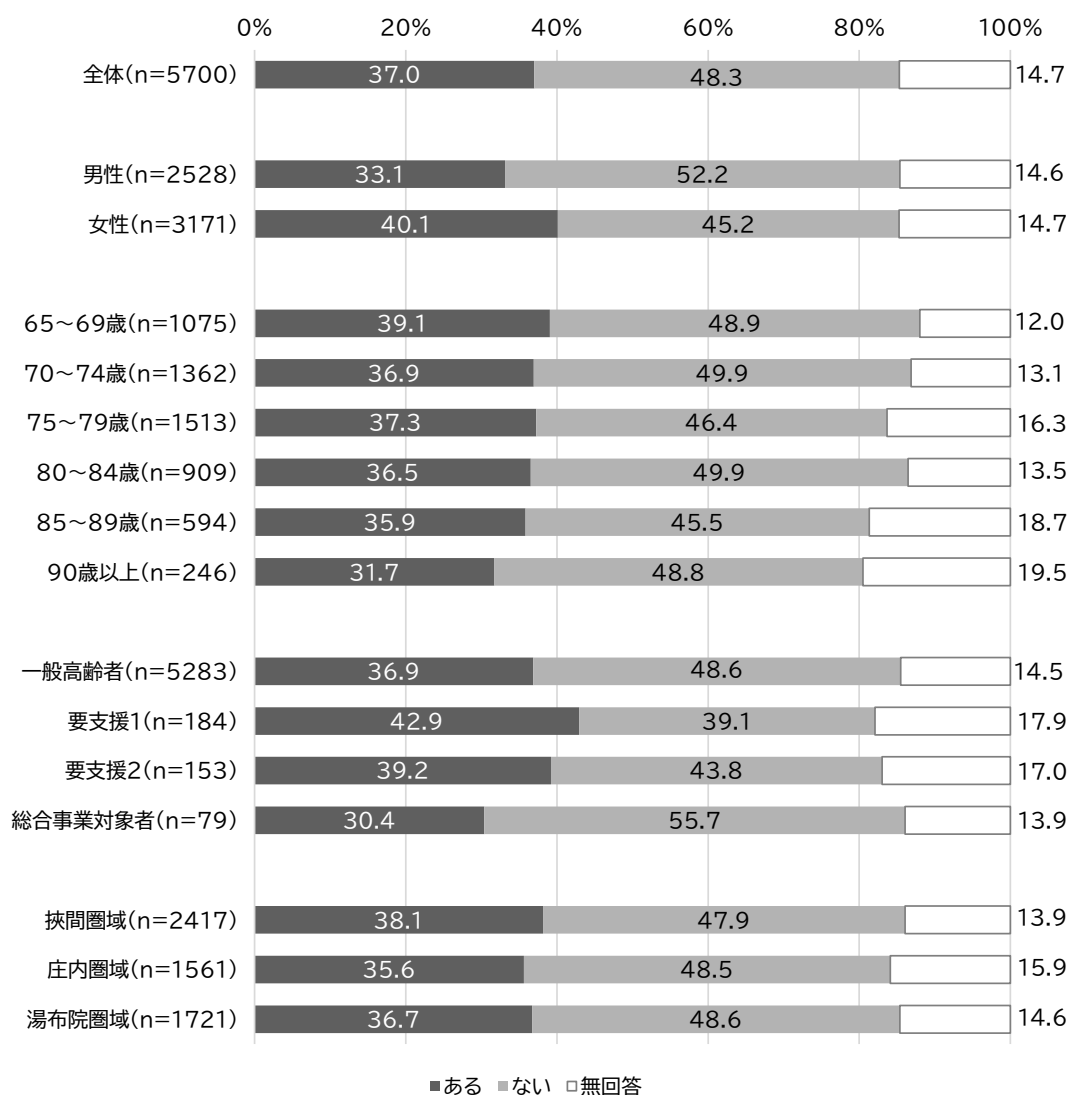
(5) あなたは、あなたやご家族が治る見込みのない状態になったときのことについて、ご家族と話したことがありますか

「ある」が37.0%、「ない」が48.3%となっています。



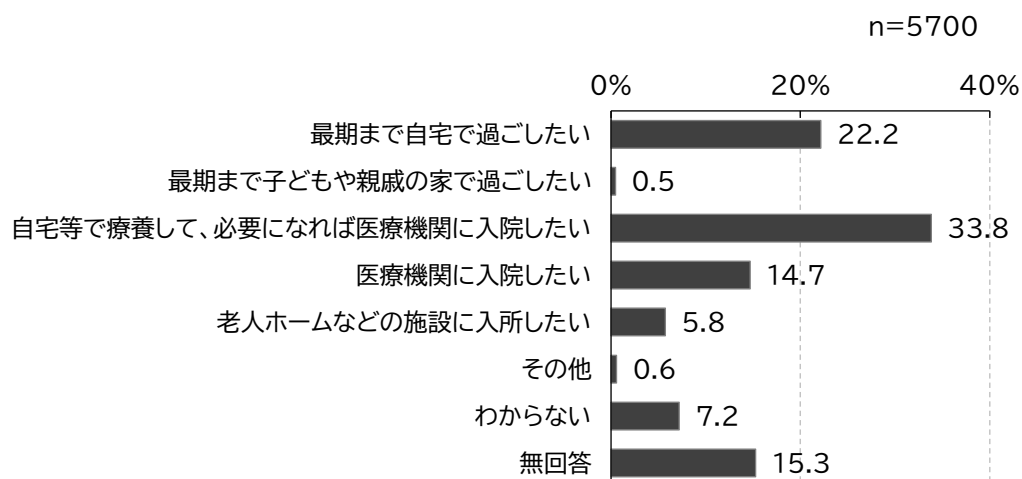
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「ない」の割合は、性別では男性の方が高く、年齢別では全ての年齢において4割を超えています。



(6) あなたは、治る見込みがなく、最期の時が迫っている(6か月あるいはそれより短い期間を想定)と告げられたとき、どこで過ごしたいですか

「自宅等で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」が 33.8%と最も多く、次いで「最期まで自宅で過ごしたい」が 22.2%、「医療機関に入院したい」が 14.7%、「わからない」が 7.2%、「老人ホームなどの施設に入所したい」が 5.8%となっています。

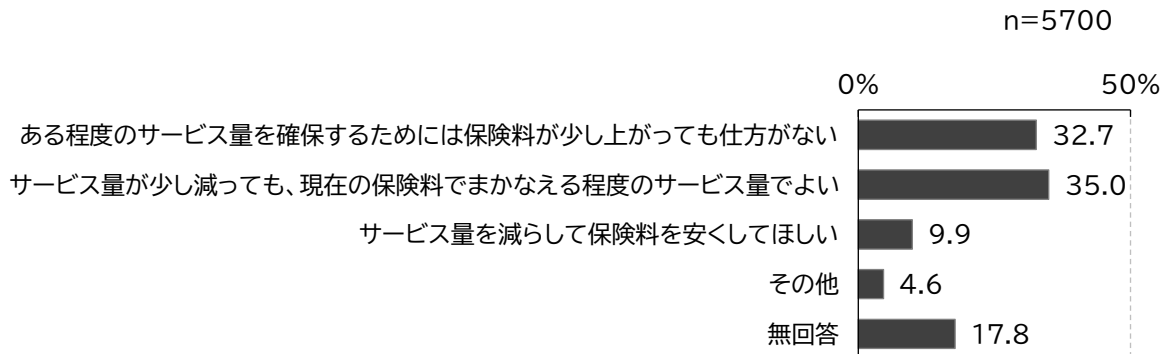


「その他」の主な記入内容

ホスピス・ホスピス型住宅で過ごしたい(12)／緩和ケア・終末期医療に特化した施設・病院を希望(緩和ケア施設・終末医療センター等)(7)／状況・家族の判断に委ねたい(家族と相談／状態による等)(6)／最期の一定期間のみ自宅で過ごしたい(3)／特定の医療機関・地域を希望(3)／旅行・特別な場所で過ごしたい(海外・沖縄・旅)(2)／等

(7) 介護保険サービスと保険料の関係についてうかがいます

「サービス量が少し減っても、現在の保険料でまかなえる程度のサービス量でよい」が35.0%と最も多く、次いで「ある程度のサービス量を確保するためには保険料が少し上がっても仕方がない」が32.7%、「サービス量を減らして保険料を安くしてほしい」が9.9%、「その他」が4.6%となっています。

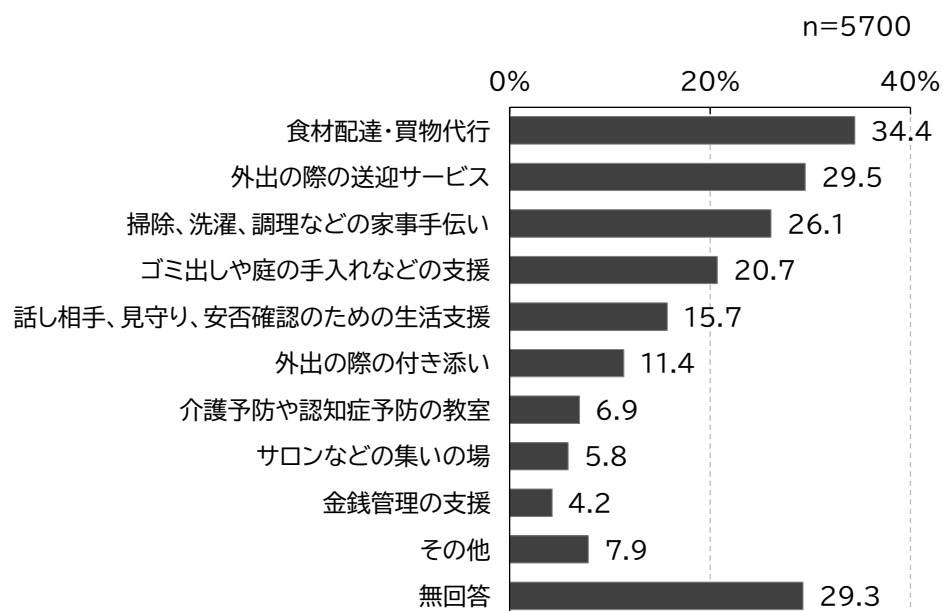


「その他」の主な記入内容

保険料が高すぎる・負担が重い（年金生活で苦しい／他市より高い等）（63）／サービス量は減らさず、保険料を下げしてほしい（58）／サービス内容がわからない・制度がわかりにくい（55）／国や公費で負担すべき・財源投入を求める（24）／利用していない人への配慮を求める（18）／サービスと保険料のバランスが取れていない（17）／保険制度・運営の見直しを求める（14）／サービス量を増やしてほしい（13）／保険料は上がっても、サービス向上が明確なら容認（6）／介護保険に依存せず自己努力を重視（5）／等

(8) 介護保険サービス以外で、有料でも利用したいと思うサービスがありますか【複数回答】

「食材配達・買物代行」が 34.4%と最も多く、次いで「外出の際の送迎サービス」が 29.5%、「掃除、洗濯、調理などの家事手伝い」が 26.1%、「ゴミ出しや庭の手入れなどの支援」が 20.7%、「話し相手、見守り、安否確認のための生活支援」が 15.7%となっています。



「その他」の主な記入内容

ペットの世話(2)／スポーツジム・運動施設／農作業・畑仕事／住宅の修繕・住環境整備／入浴介助

リスク分析について

今回の調査では、地域の高齢者の課題や必要なサービス等をよりの確に把握するため、前回の調査と同様、国が示す「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査項目を取り入れています。

「日常生活圏域ニーズ調査」では、介護予防事業の「基本チェックリスト」や「手段的自立度（IADL）」などの指標の判定に関する調査項目が設定されています。

これらの調査項目を使用し、リスク評価として、（１）生活機能評価、（２）日常生活評価の判定を行った結果をまとめます。各評価の概要は以下のとおりです。

（１）生活機能評価

生活機能が低下している人の状況を把握します。

その方法として基本チェックリスト¹に関する調査項目により、生活機能の状況について把握します。基本チェックリストでは、①運動機能の低下、②転倒リスク、③閉じこもり傾向、④咀嚼機能の低下、⑤口腔機能の低下、⑥低栄養の傾向、⑦認知機能の低下、⑧うつ傾向のリスクがあるかを判定します。

なお、判定の基準は国の示す調査の手引きを参考としていますが、由布市における基本チェックリストの運用と必ずしも一致するものではありません。

（２）日常生活評価

活動的な日常を送るための能力（IADL²：手段的日常生活動作）が低下している人の状況を把握します。IADLの判定については、高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる「老研式活動能力指標」による判定を用いています。

なお、判定に使用する設問のうちいずれかが無回答であった場合は正当な判定ができないため、判定不能の処理となります。以下では、回答が判定の要件を満たしておらず判定不能であったものを「判定不能」と表記しています。

¹ 基本チェックリスト：65 歳以上の要支援・要介護認定を受けていない方を対象にした、介護予防の必要性をチェックするための質問票。介護の原因となりやすい生活機能低下の危険性がないかどうかの視点で、運動、栄養、口腔、物忘れ、うつ病、閉じこもり等の全 25 項目について、「はい」、「いいえ」等で記入する。

² 「日常生活動作（Activity of Daily Living：ADL、食事、排泄、更衣、整容、入浴など日常生活を送るために必要な基本動作）」より複雑で高度な動作を行える自立度の程度を示す指標を「手段的日常生活動作（Instrument Activity of Daily Living：IADL）」という。

1. 運動機能の低下

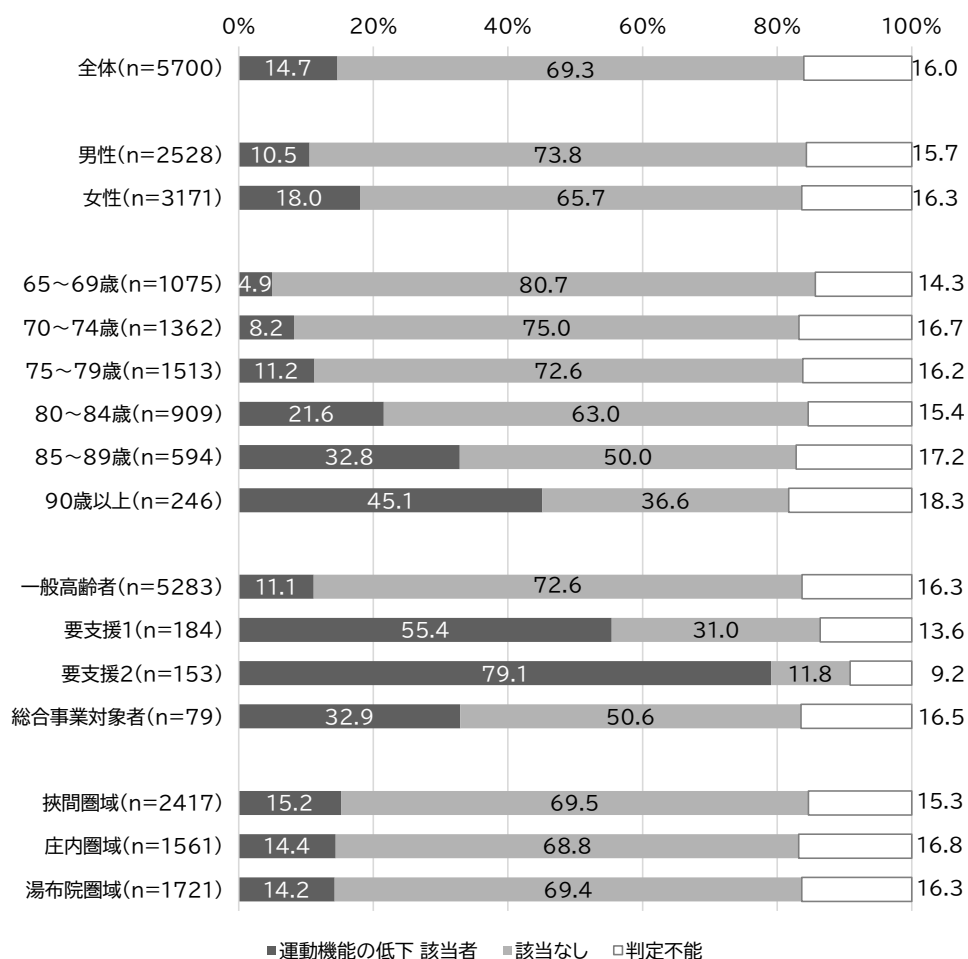
▼運動機能の低下 判定基準

設問	1 点	0 点
問2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問2(2)いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問2(3)15 分位続けて歩いていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問2(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある	3. ない
問2(5)転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である	3. あまり不安でない 4. 不安でない



5 項目の合計得点	3 点以上	2 点以下
判定カテゴリ	運動機能の低下 該当者	該当なし

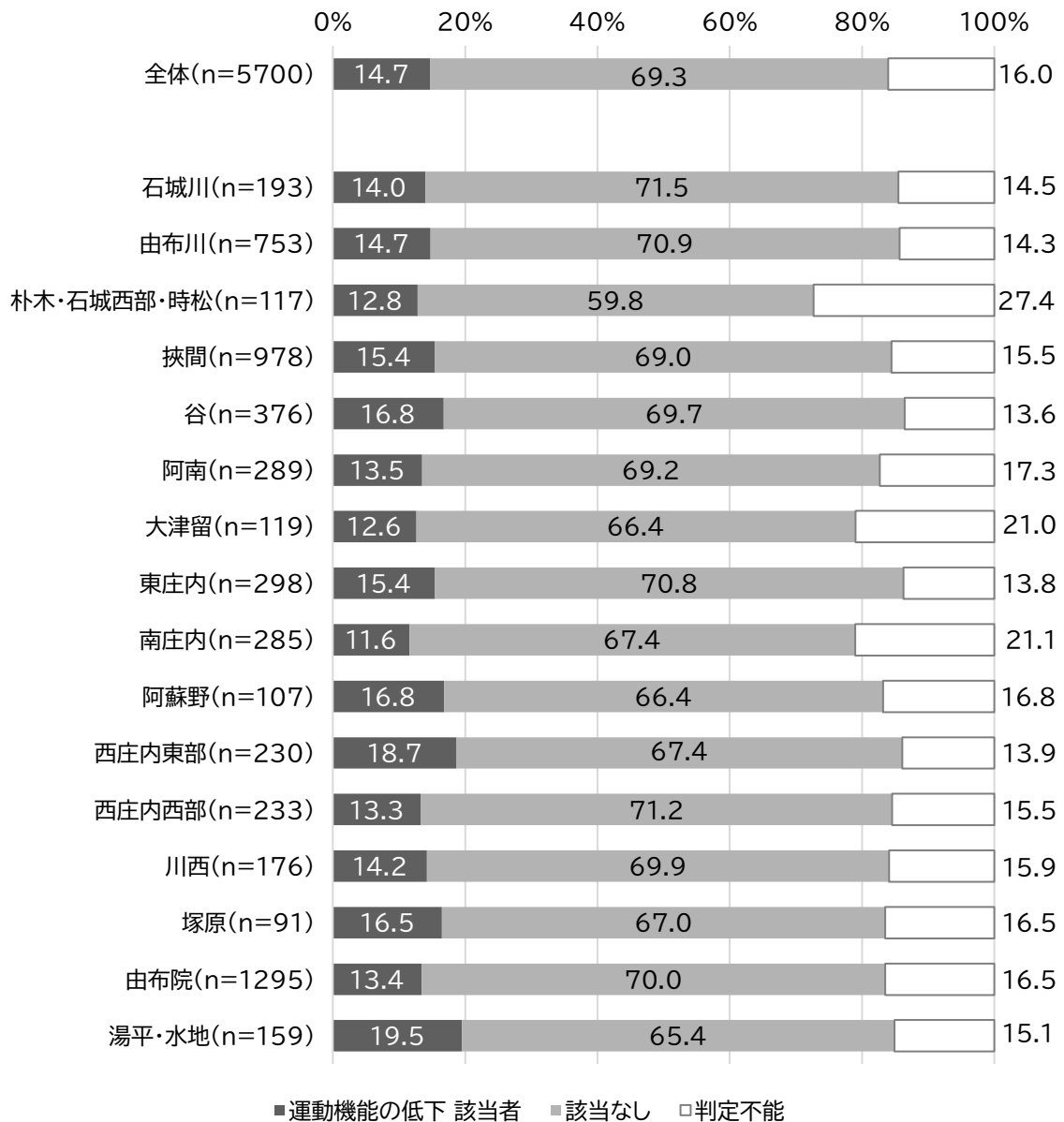
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、運動機能の低下の該当者は14.7%となっています。

16 地域別でみると、最も割合が高いのは湯平・水地で19.5%となっており、次いで西庄内東部が18.7%、谷と阿蘇野が16.8%となっています。



2. 転倒リスク

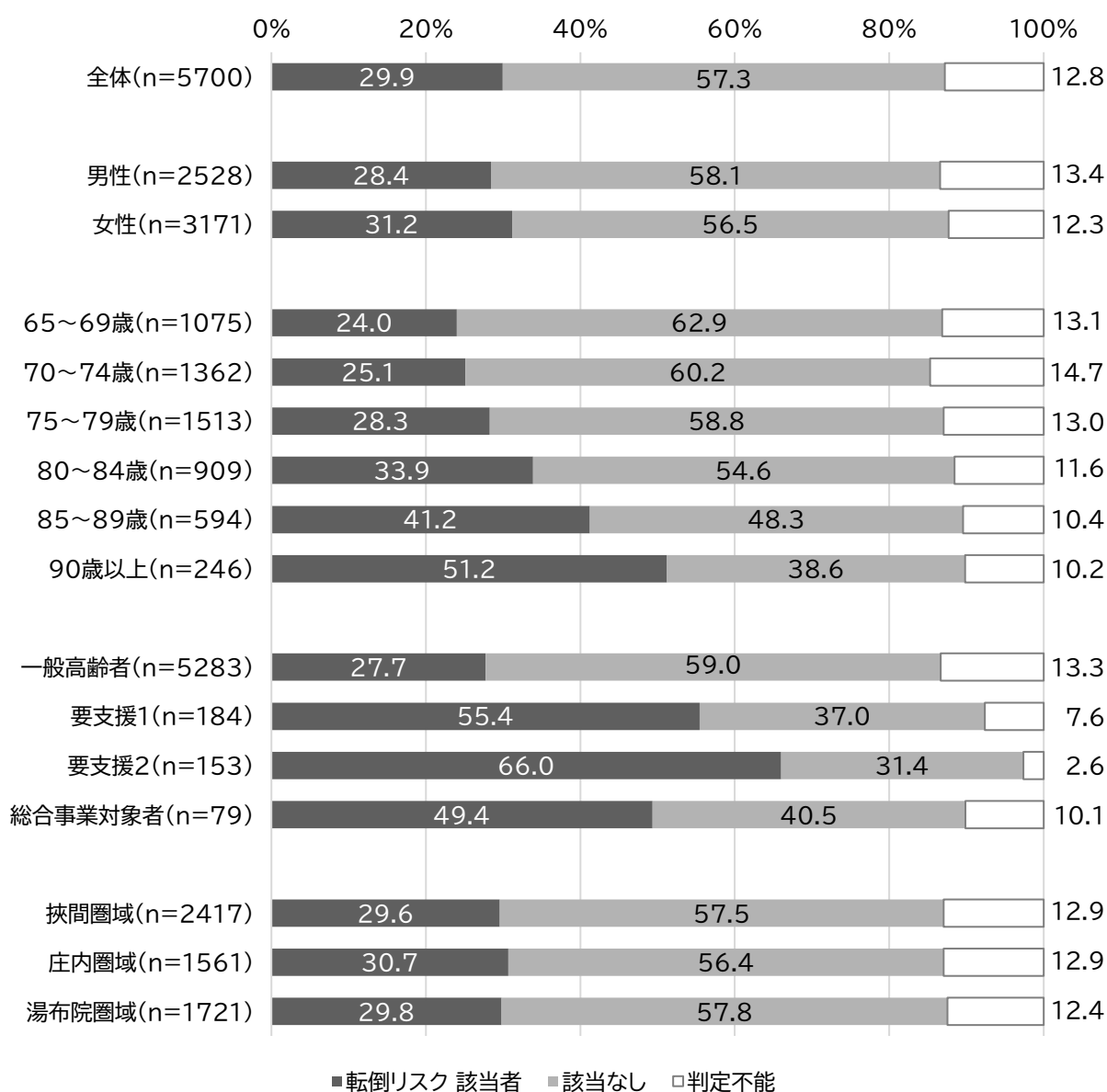
▼転倒リスク 判定基準

設問	1 点	0 点
問2(4)過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある	3. ない



1項目の得点	1 点	0 点
判定カテゴリ	転倒リスク 該当者	該当なし

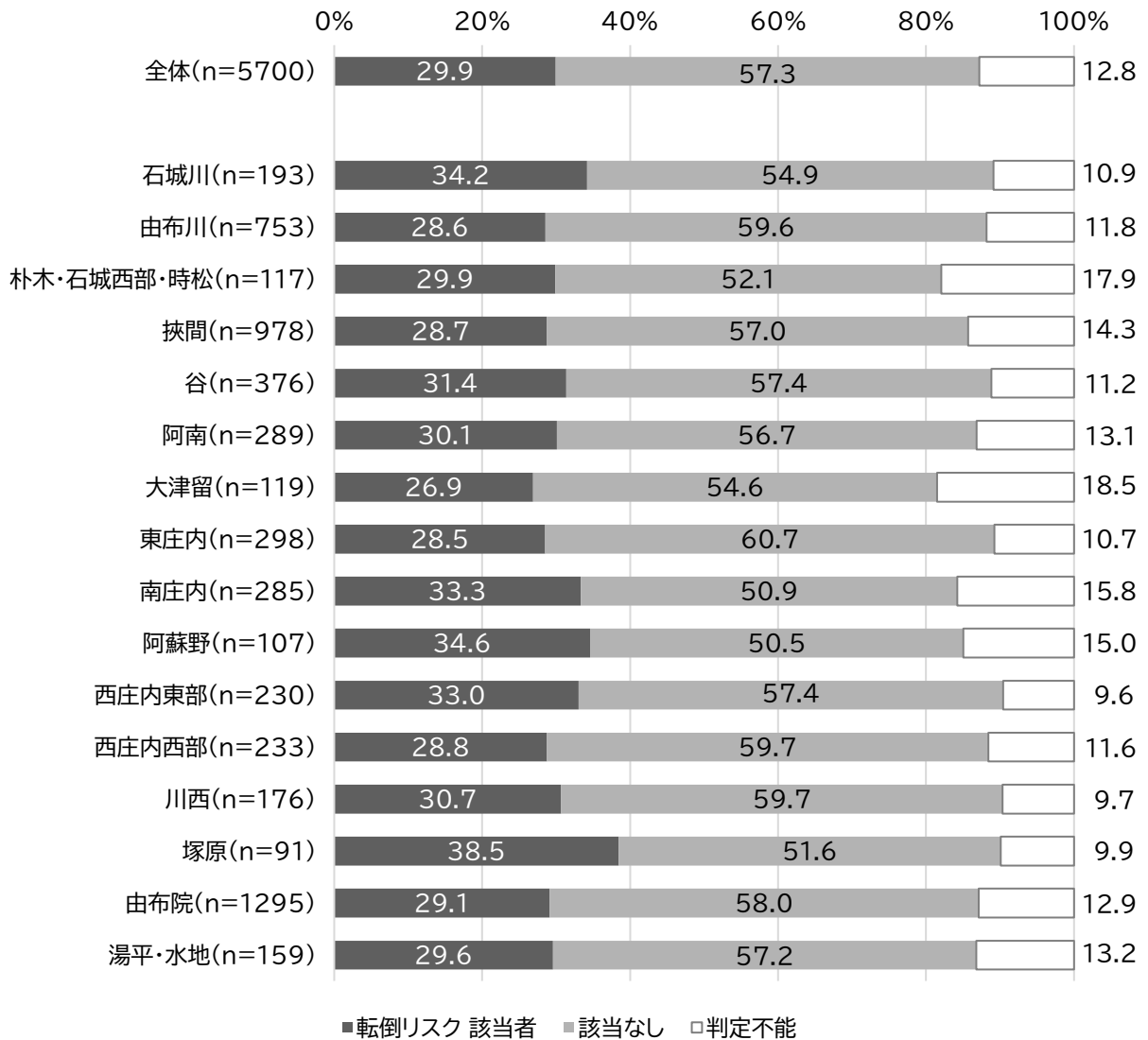
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、転倒リスクの該当者は 29.9%となっています。

16 地域別でみると、最も割合が高いのは塚原で 38.5%となっており、次いで阿蘇野が 34.6%、石城川が 34.2%となっています。



3. 閉じこもり傾向

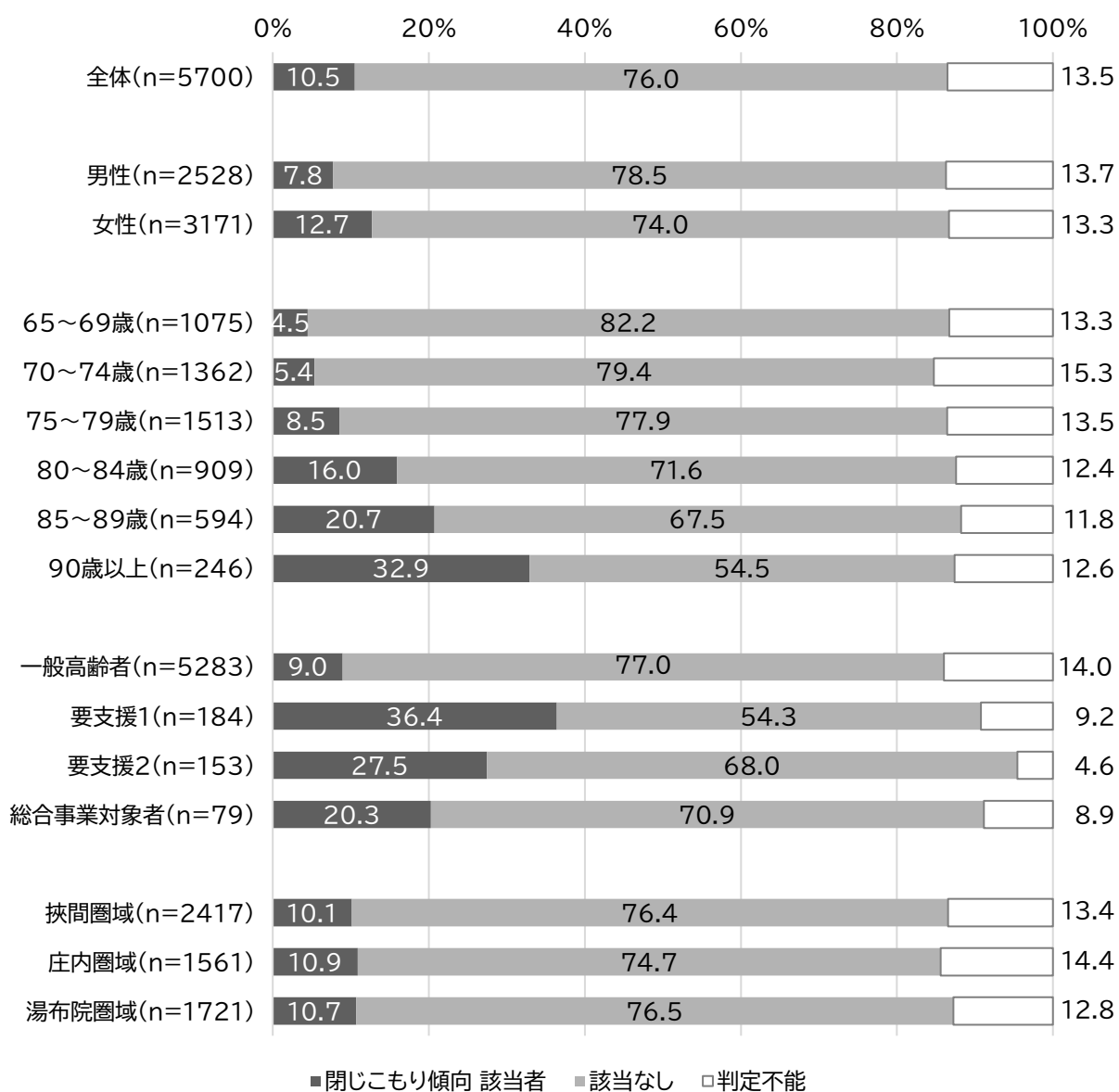
▼閉じこもり傾向 判定基準

設問	1 点	0 点
問2(6)週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回	3. 週2～4回 4. 週5回以上
問2(7)昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている	3. あまり減っていない 4. 減っていない



2項目の合計得点	2点	1点以下
判定カテゴリ	閉じこもり傾向 該当者	該当なし

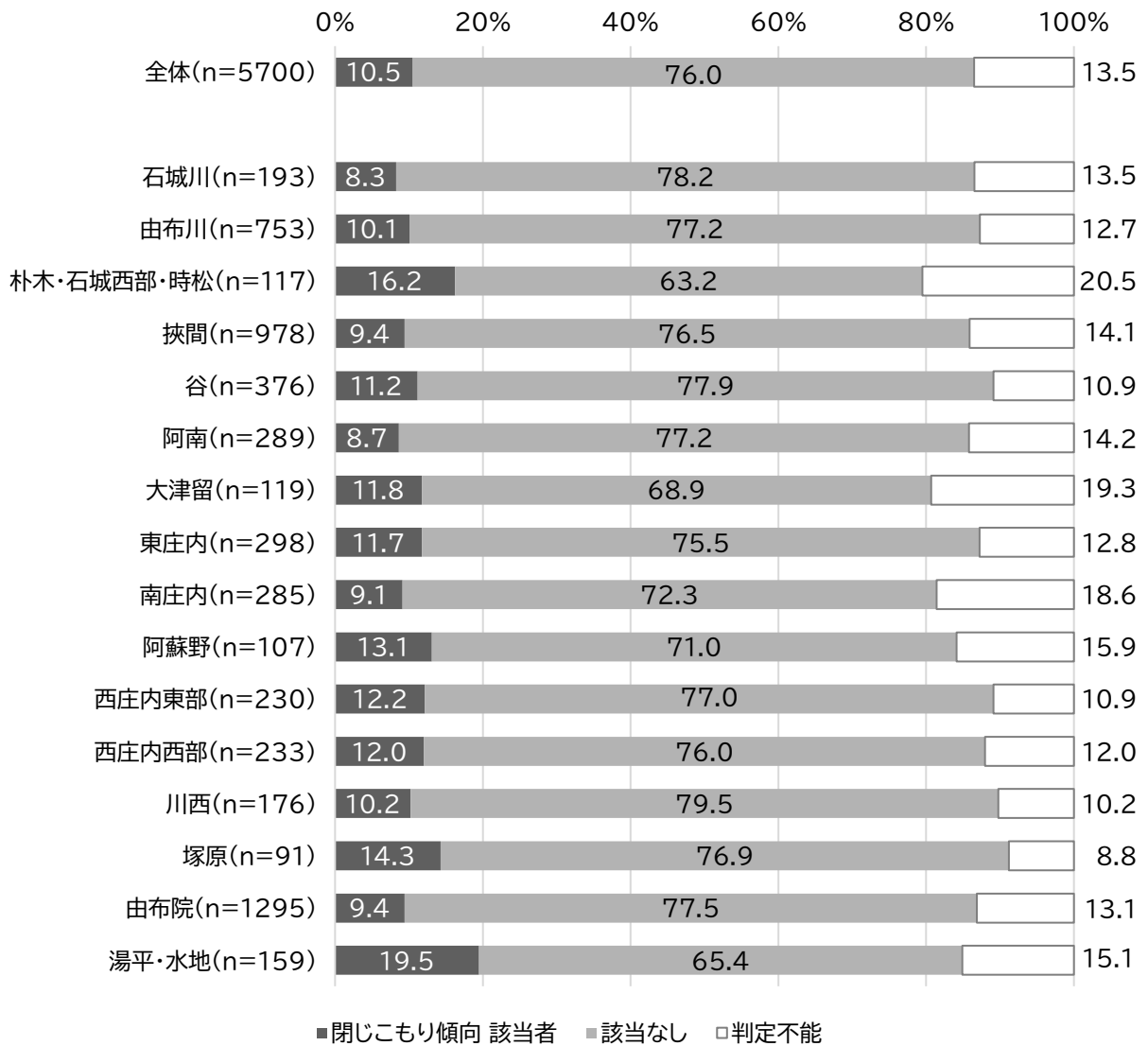
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、閉じこもり傾向の該当者は10.5%となっています。

16地域別でみると、最も割合が高いのは湯平・水地で19.5%となっており、次いで朴木・石城西部・時松が16.2%、塚原が14.3%となっています。



4. 咀嚼機能の低下

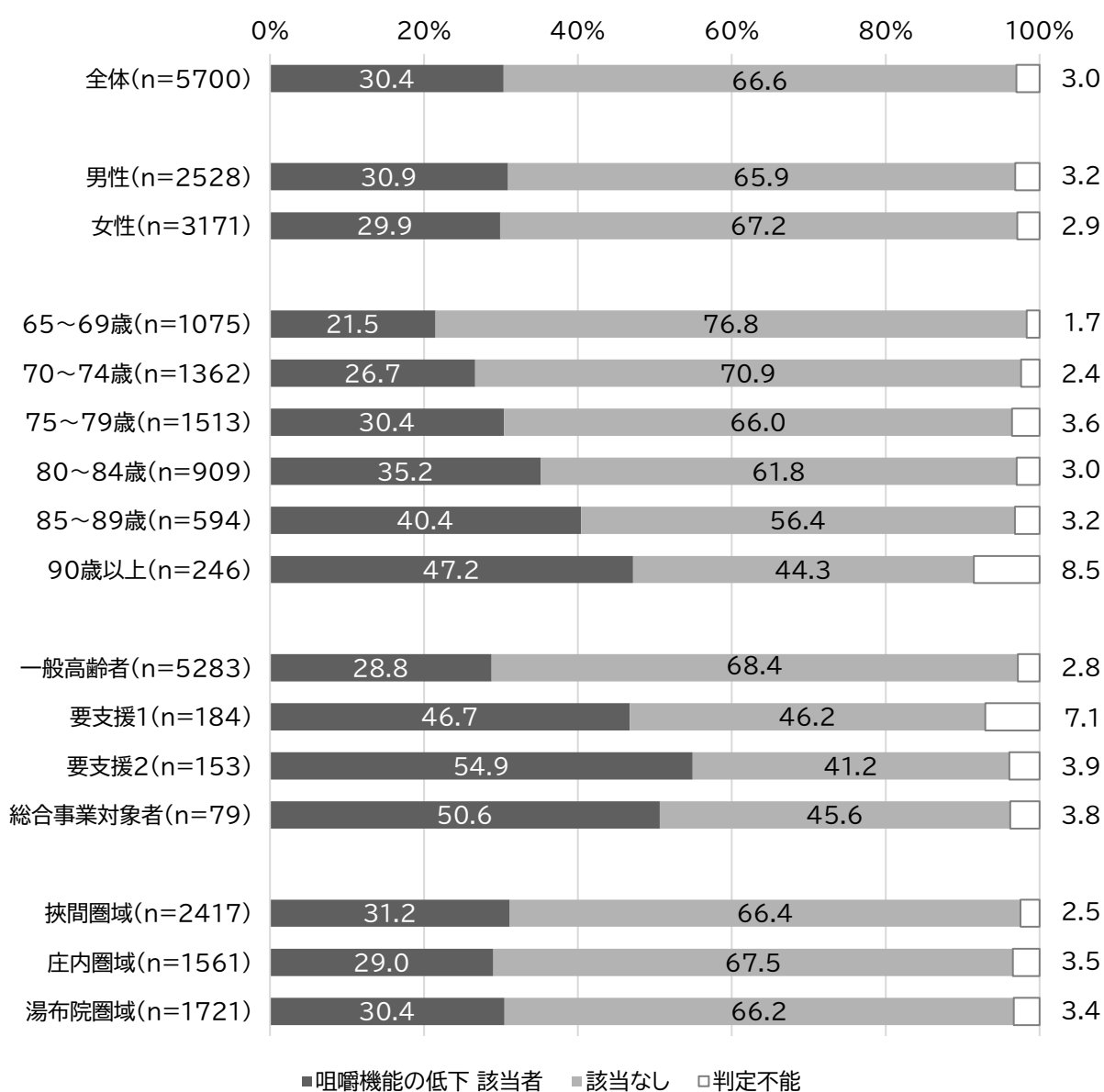
▼咀嚼機能の低下 判定基準

設問	1点	0点
問3(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ



1項目の得点	1点	0点
判定カテゴリ	咀嚼機能の低下 該当者	該当なし

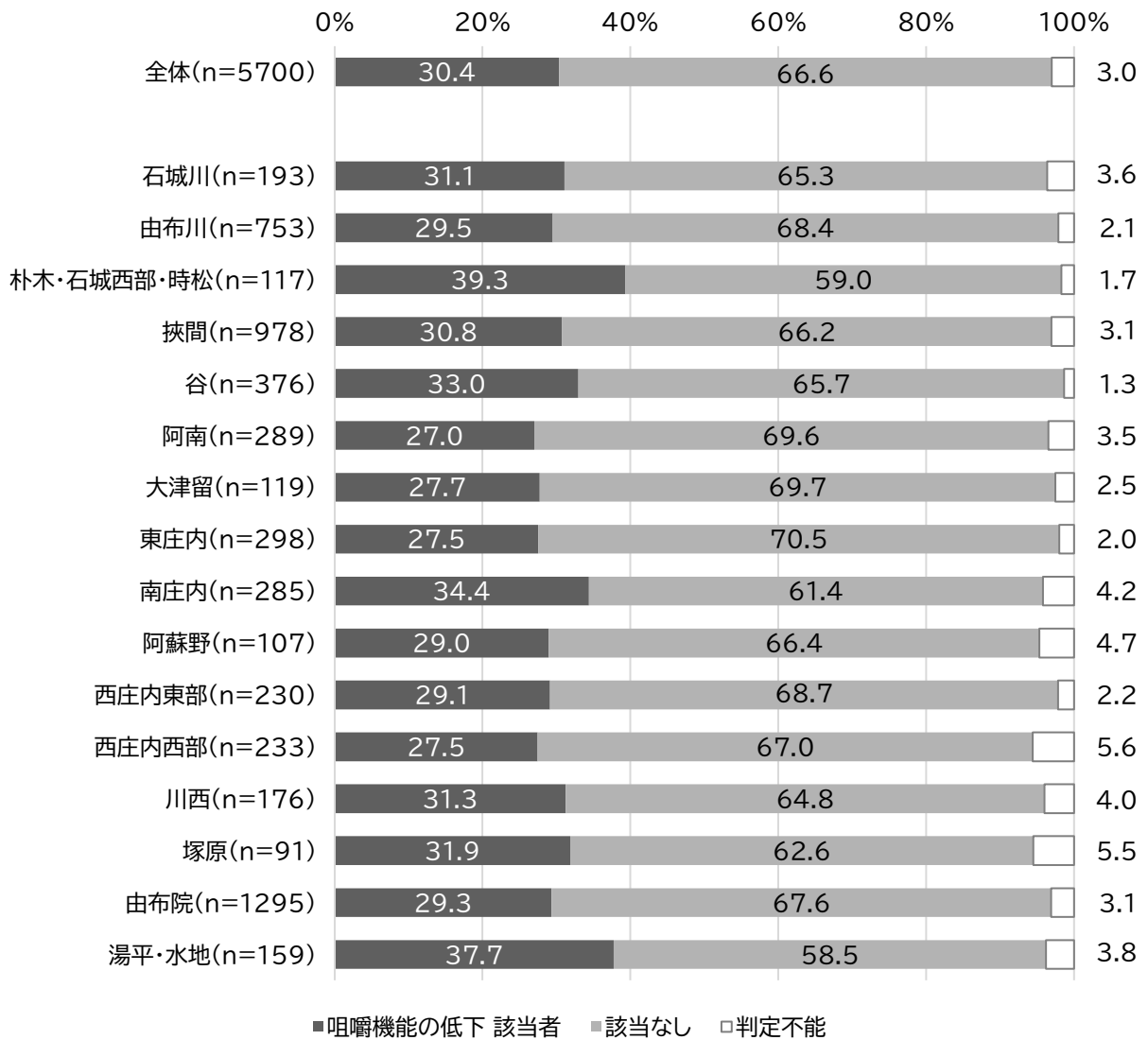
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると咀嚼機能の低下の該当者は30.4%となっています。

16地域別でみると、最も割合が高いのは朴木・石城西部・時松で39.3%となっており、次いで湯平・水地が37.7%、南庄内が34.4%となっています。



5. 口腔機能の低下

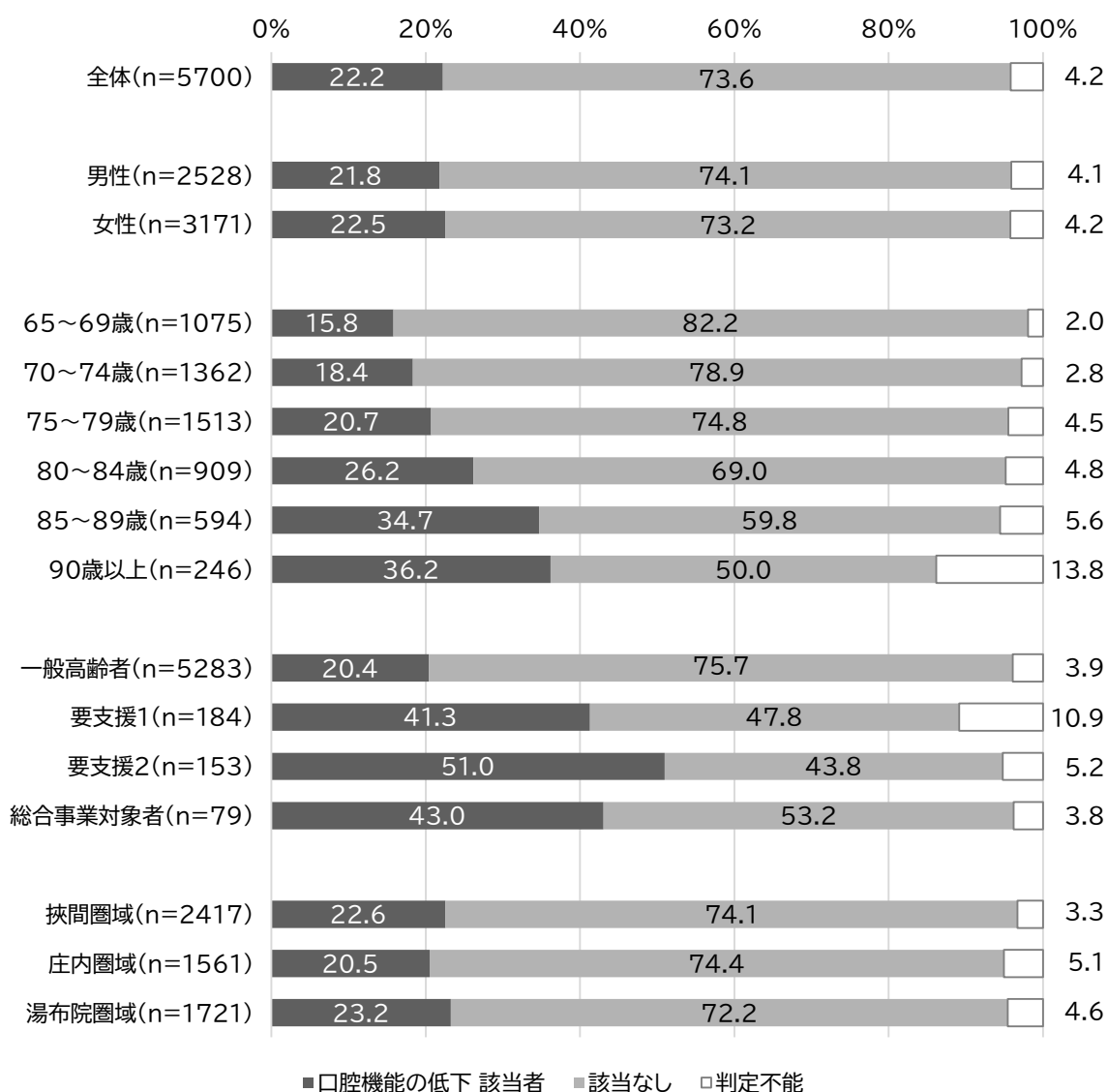
▼口腔機能の低下 判定基準

設問	1 点	0 点
問3(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	2. いいえ
問3(3)お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	2. いいえ
問3(4)口の渇きが気になりますか	1. はい	2. いいえ



3項目の合計得点	2 点以上	1 点以下
判定カテゴリ	口腔機能の低下 該当者	該当なし

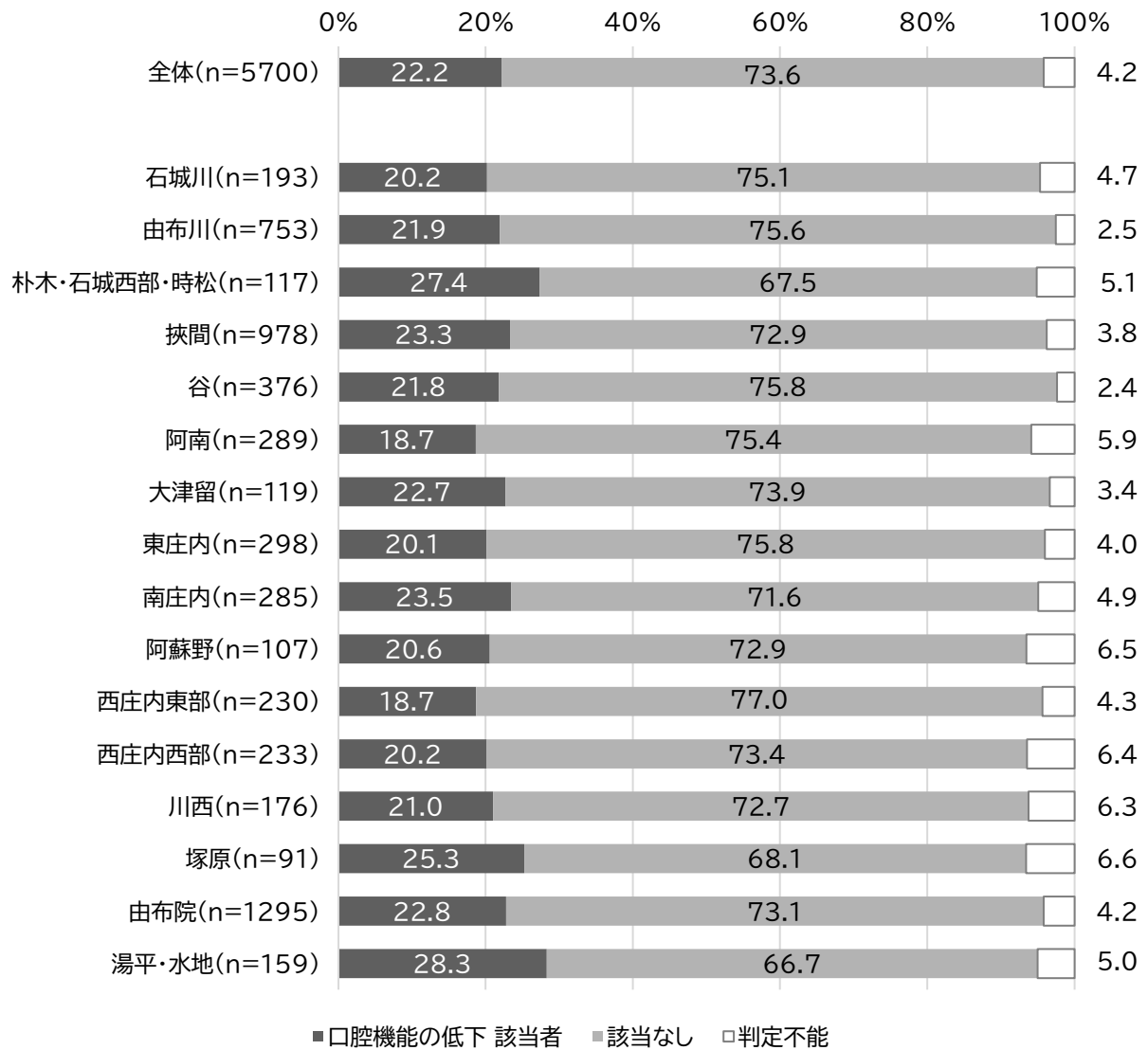
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、口腔機能の低下の該当者は22.2%となっています。

16地域別でみると、最も割合が高いのは湯平・水地で28.3%となっており、次いで朴木・石城西部・時松が27.4%、塚原が25.3%となっています。



6. 低栄養の傾向

▼低栄養の傾向 判定基準

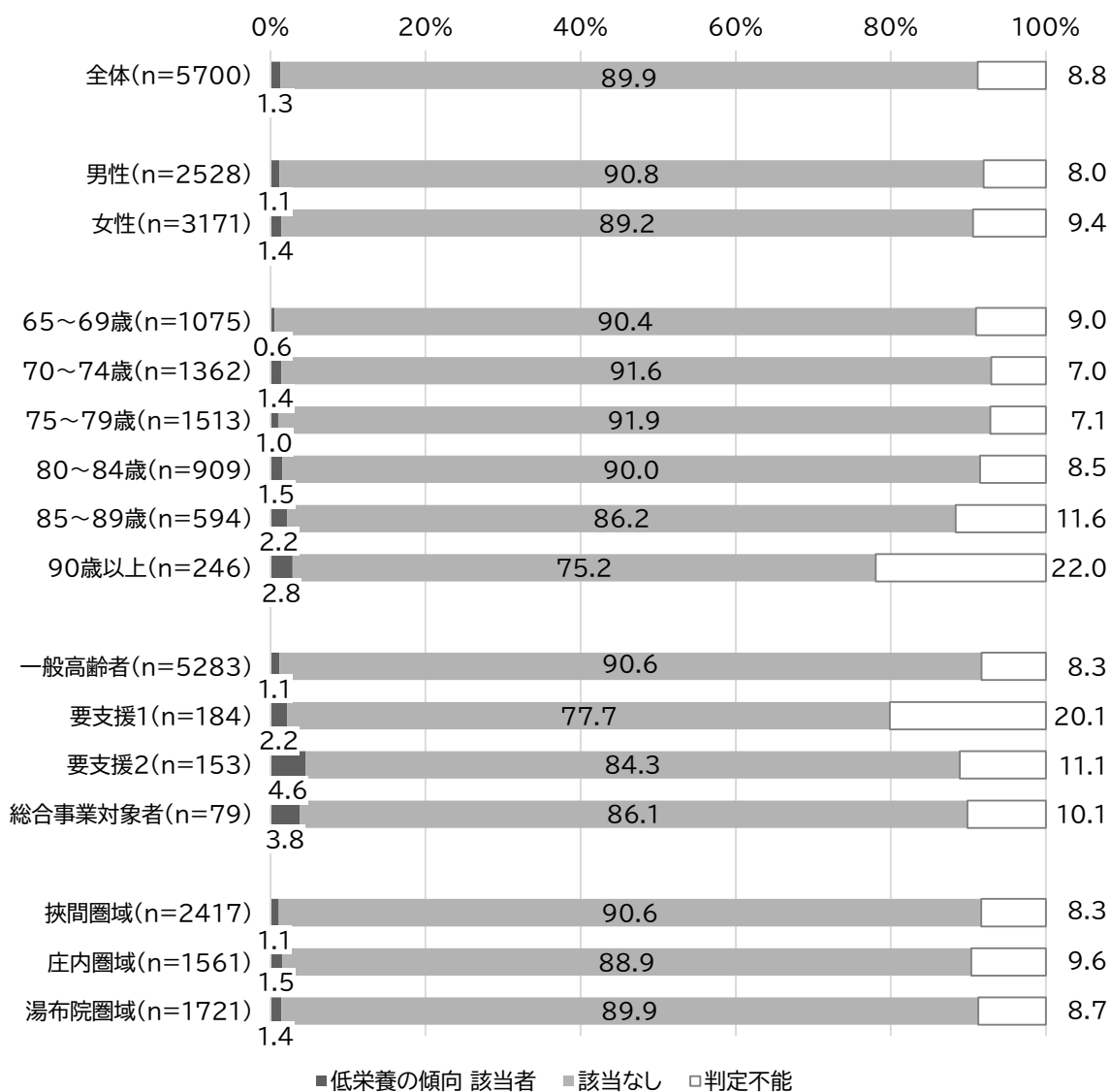
設問	1 点	0 点
問3(1)BMI(身長・体重)	1. やせ(18.5 未満)	2. 標準(18.5～25.0 未満) 3. 肥満(25.0 以上)
問3(7)6か月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい	2. いいえ



2 項目の合計得点	2 点	1点以下
判定カテゴリ	低栄養の傾向 該当者	該当なし

※BMI値＝体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))

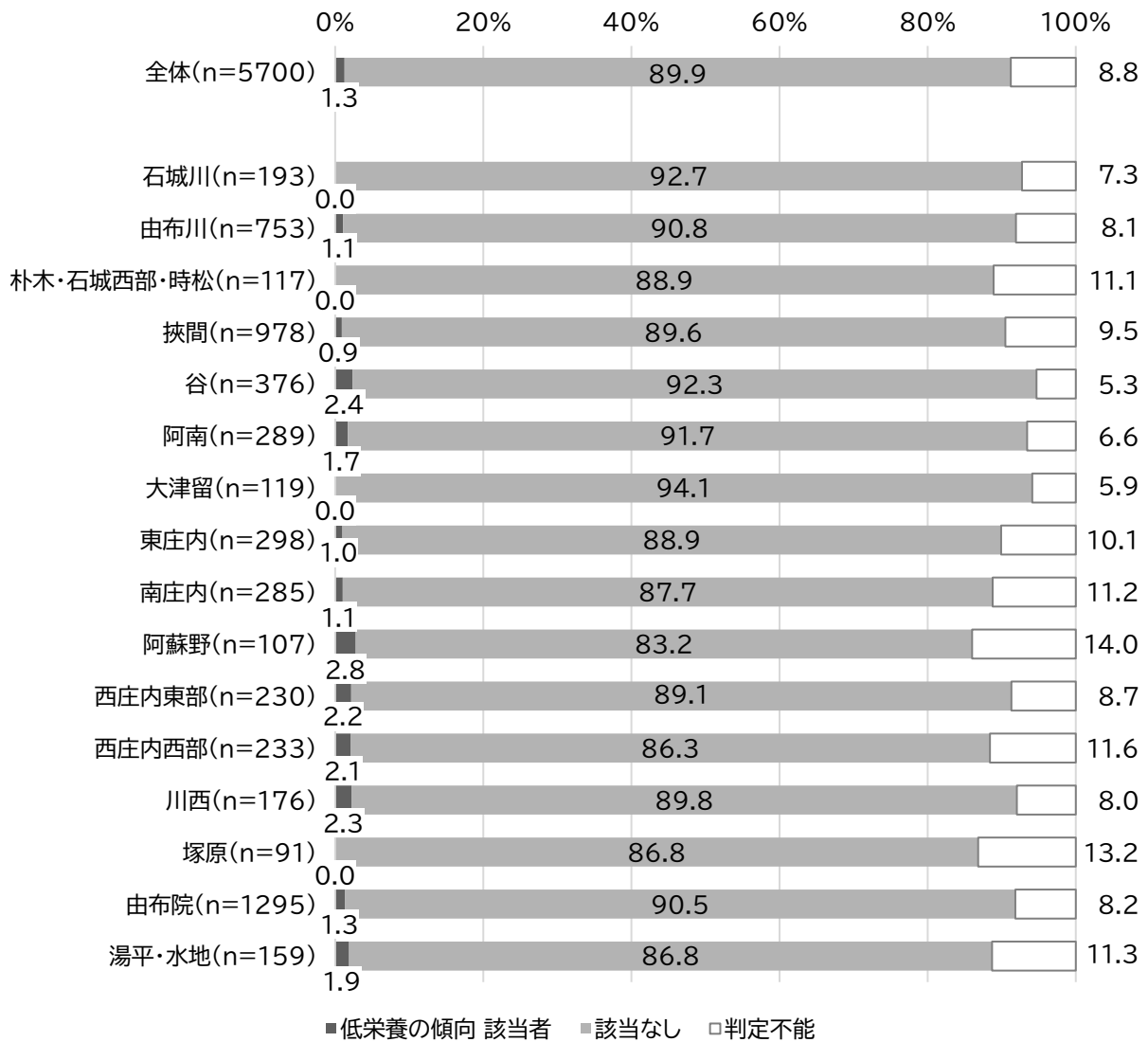
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、低栄養の傾向の該当者は1.3%となっています。

16 地域別でみると全体的に低くなっていますが、最も割合が高いのは阿蘇野で2.8%となっており、次いで谷が2.4%、川西が2.3%となっています。



7. 認知機能の低下

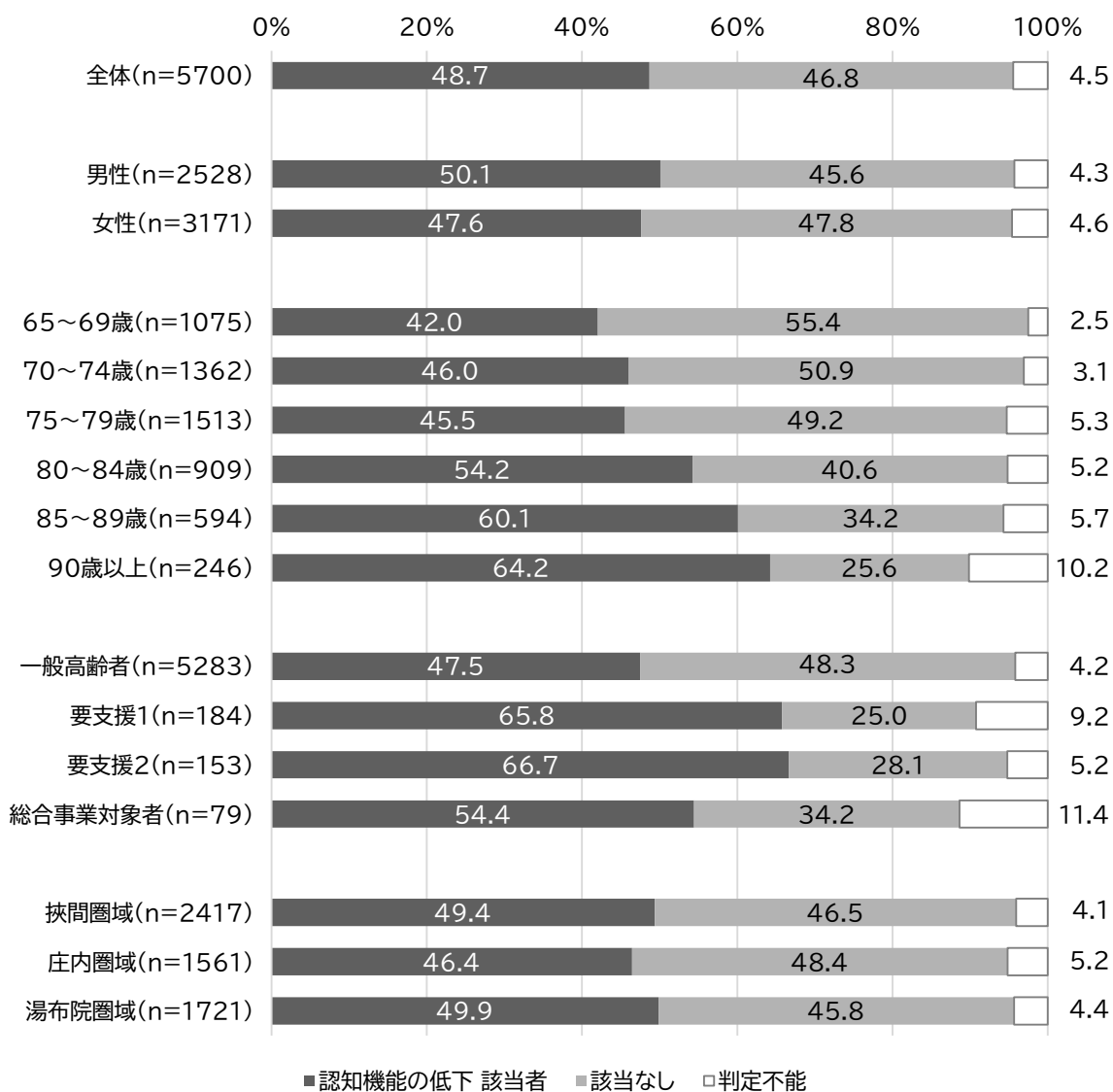
▼認知機能の低下 判定基準

設問	1 点	0 点
問4(1)物忘れが多いと感じますか	1. はい	2. いいえ
問4(2)自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ	1. はい
問4(3)今日が何月何日かわからないときがありますか	1. はい	2. いいえ



3項目の合計得点	1 点以上	0 点
判定カテゴリ	認知機能の低下 該当者	該当なし

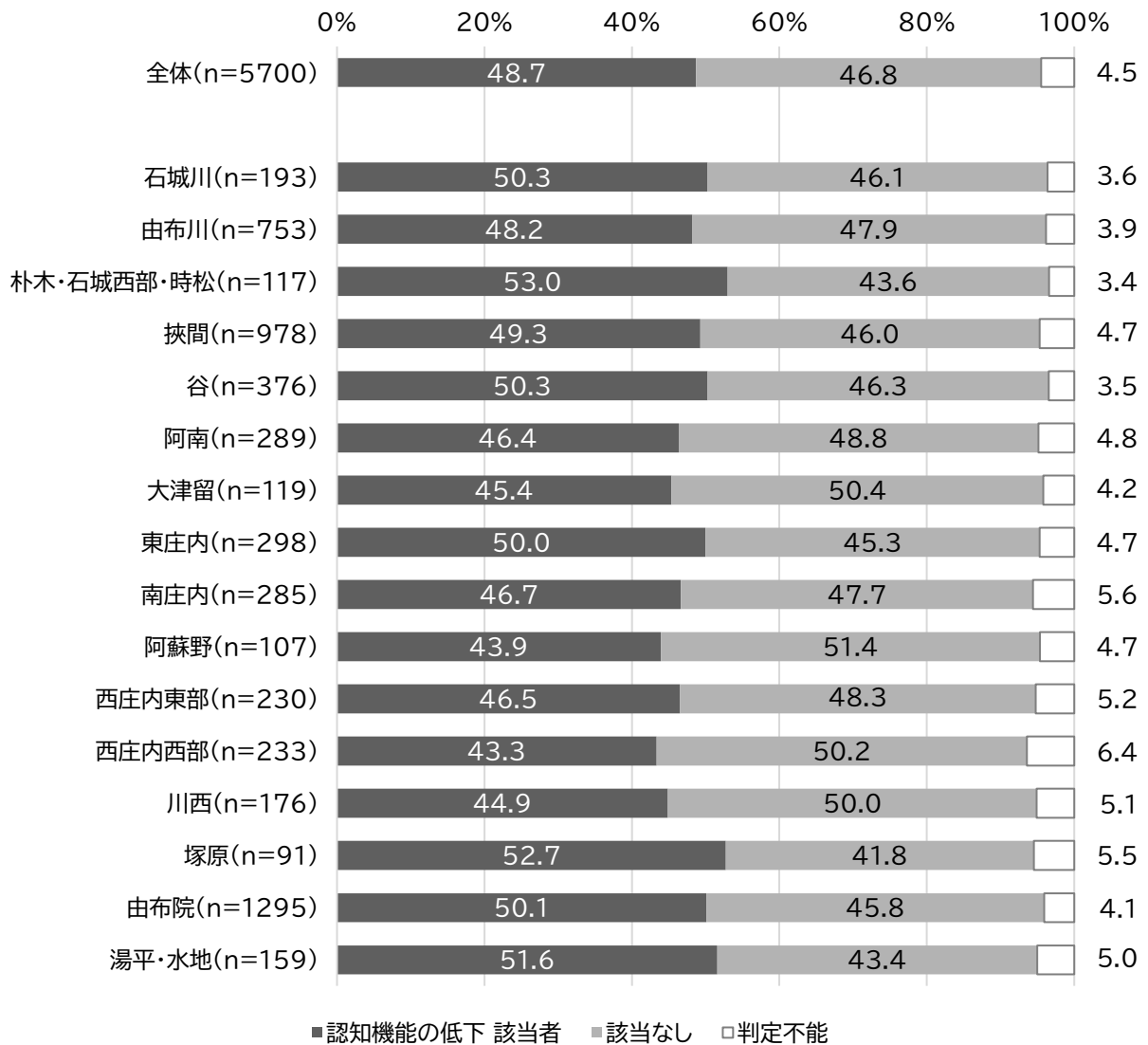
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、認知機能の低下の該当者は 48.7%となっています。

16 地域別でみると、最も割合が高いのは朴木・石城西部・時松で 53.0%となっており、次いで塚原が 52.7%、湯平・水地が 51.6%となっています。



8. うつ傾向

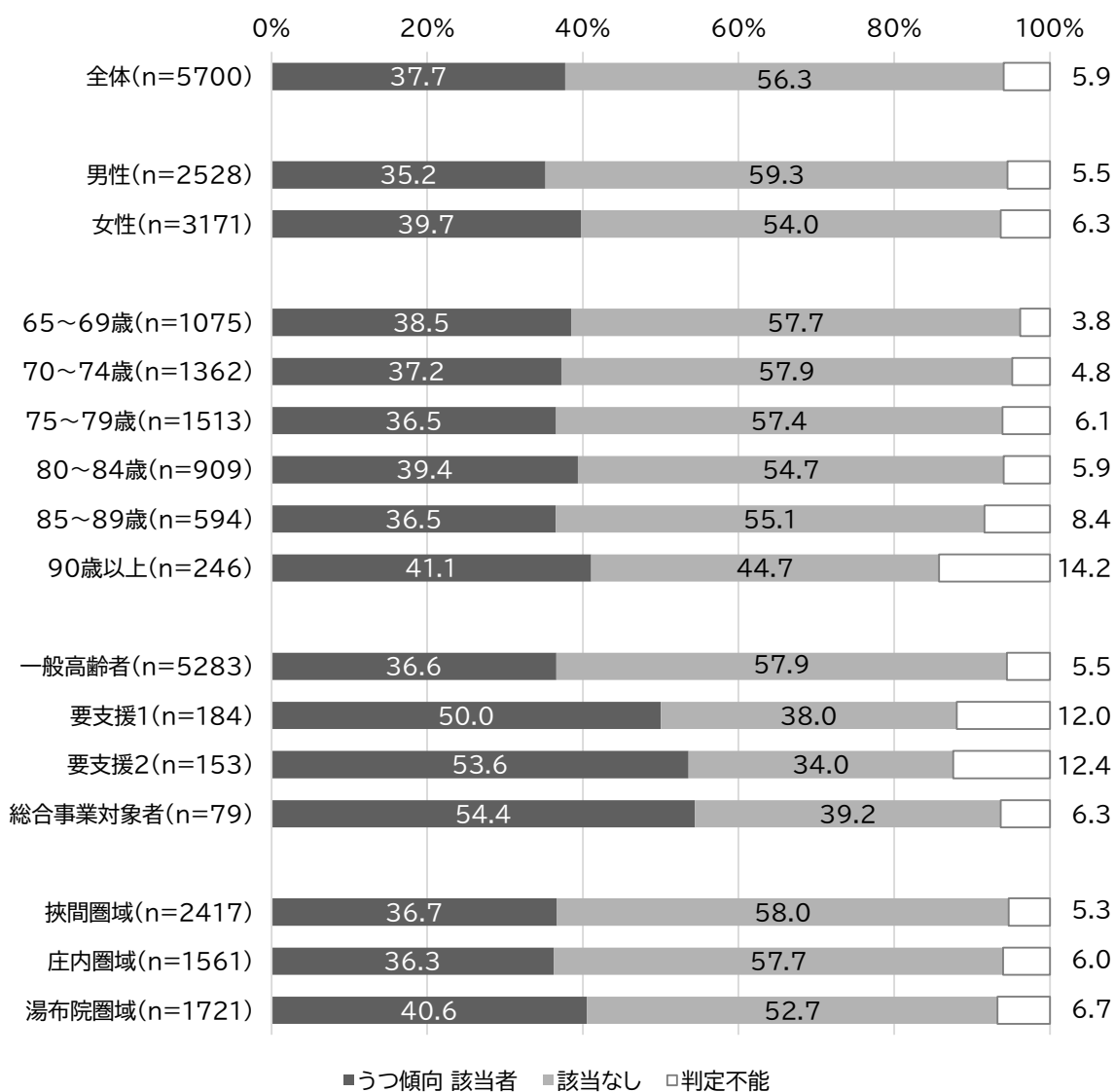
▼うつ傾向 判定基準

設問	1 点	0 点
問8(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい	2. いいえ
問8(4)この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい	2. いいえ



2項目の合計得点	1 点以上	0 点
判定カテゴリ	うつ傾向 該当者	該当なし

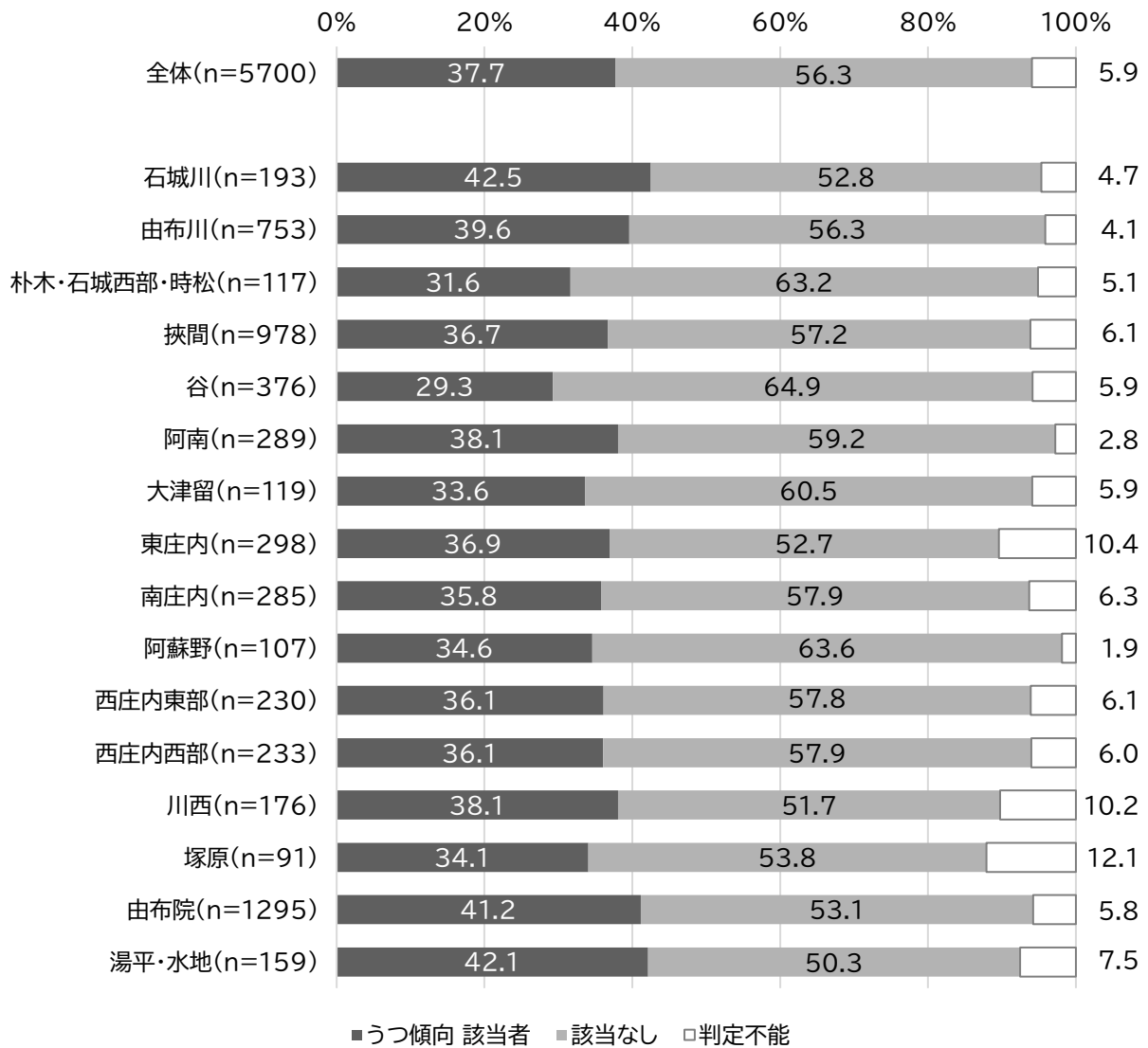
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、うつ傾向の該当者は 37.7%となっています。

16 地域別でみると、最も割合が高いのは石城川で 42.5%となっており、次いで湯平・水地が 42.1%、由布院が 41.2%となっています。



9. IADL(手段的日常生活動作)の低下

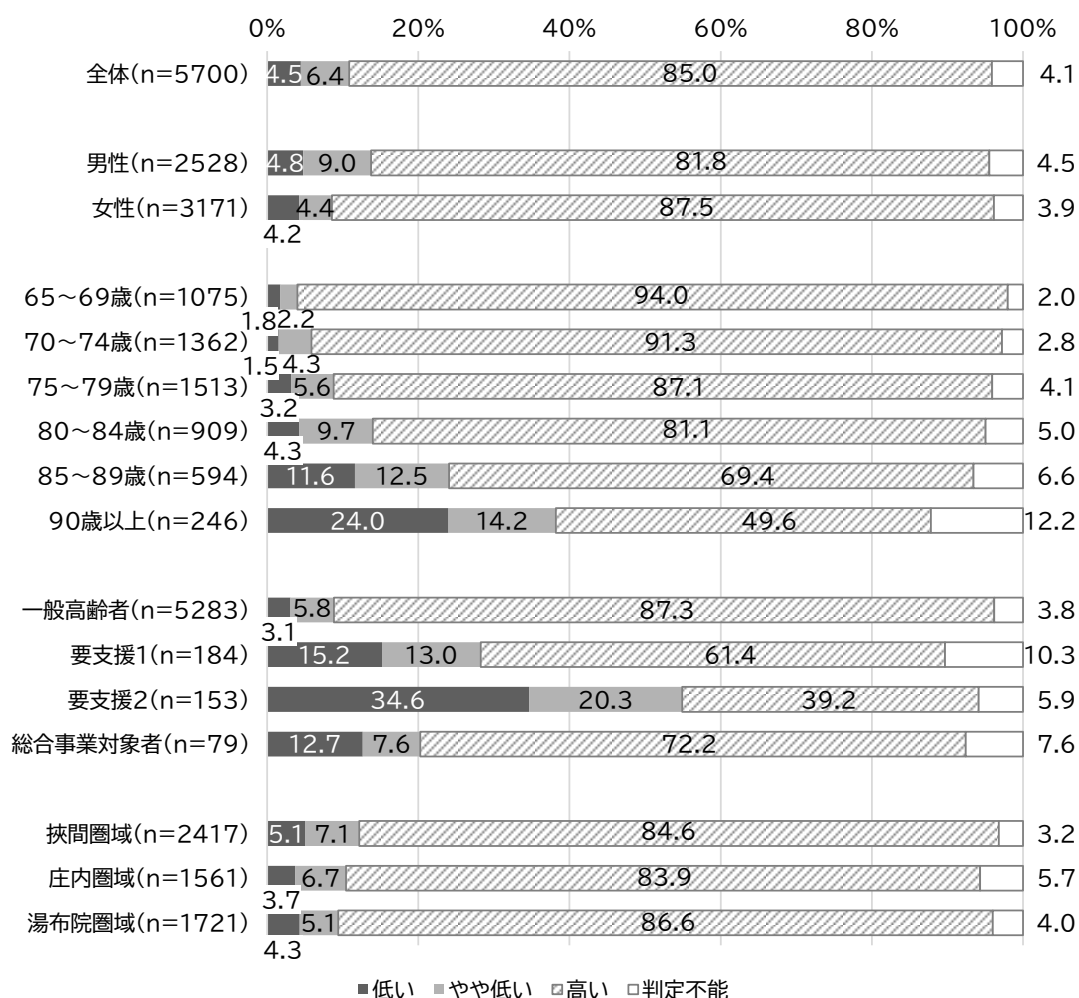
▼IADL(手段的日常生活動作)の低下 判定基準

設問	0点	1点
問4(4)バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(5)自分で食品・日用品の買物をしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(6)自分で食事の用意をしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(7)自分で請求書の支払いをしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない
問4(8)自分で預貯金の出し入れをしていますか	3. できない	1. できるし、している 2. できるけどしていない



5 項目の合計得点	0～3 点	4点	5点
判定カテゴリ	低い	やや低い	高い

性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別



リスク者の地域分布

全体でみると、IADL の低下（低い）の該当者は 4.5%となっています。

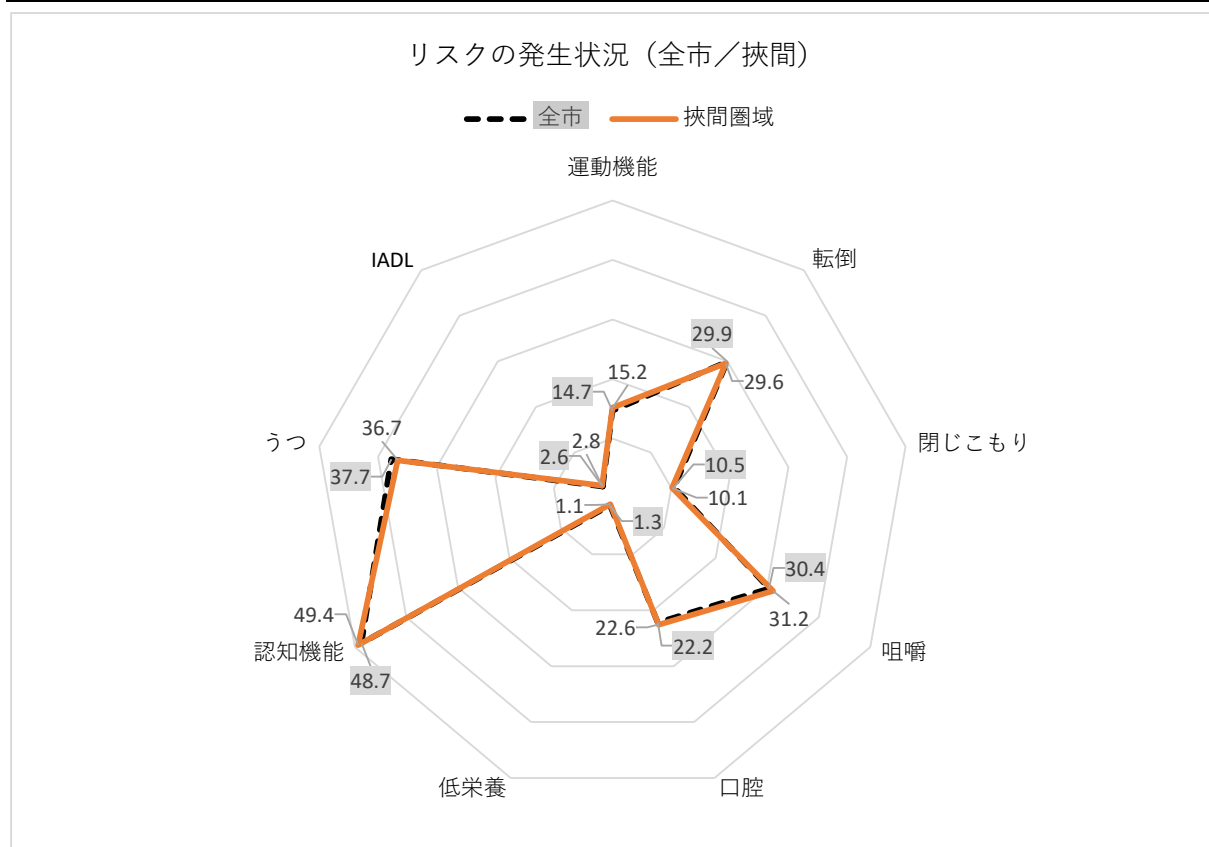
16 地域別でみると、最も割合が高いのは石城川で 8.3%となっており、次いで谷が 6.6%、阿南が 6.2%となっています。



圏域別のリスク発生状況

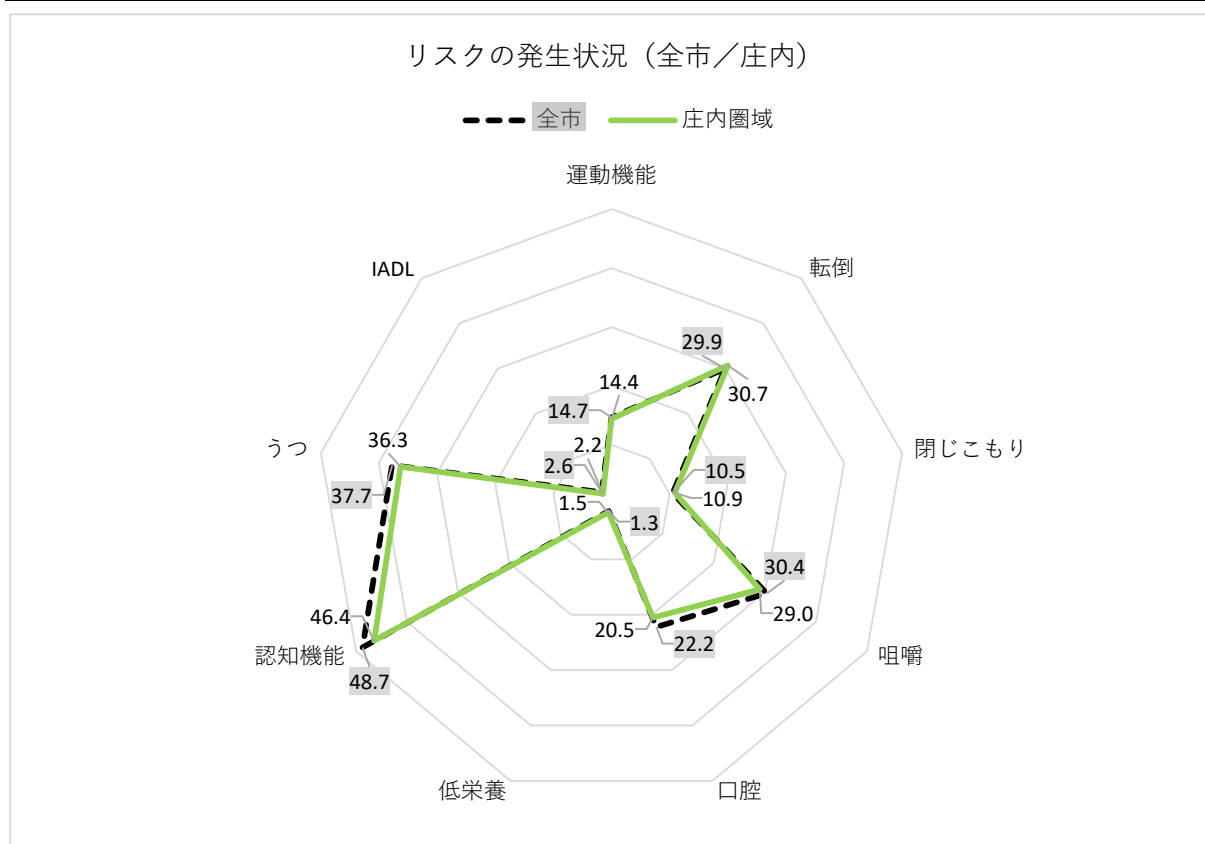
1.全市及び挾間圏域

挾間圏域の各種リスク判定の結果をみると、「運動機能」「咀嚼」「口腔」「認知機能」「IADL」の項目で市平均より該当者の割合がやや高くなっています。



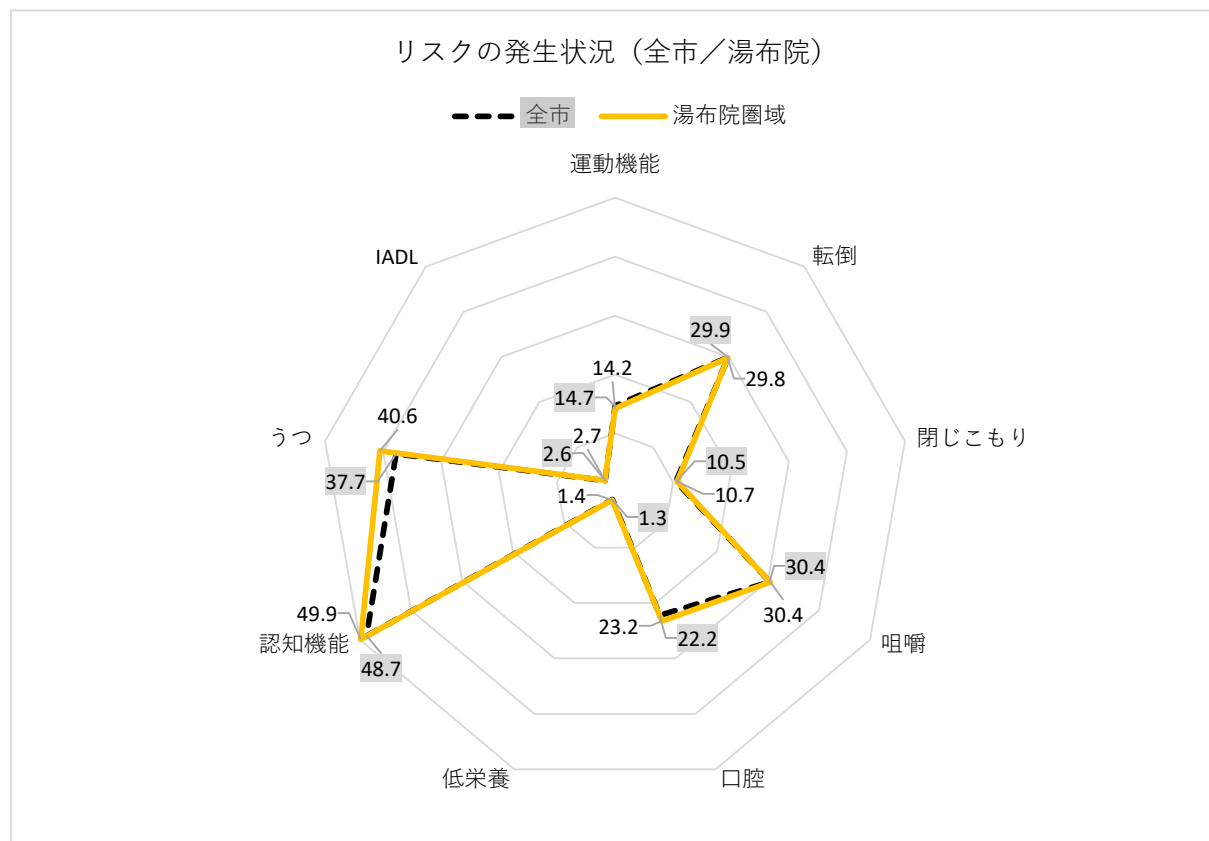
2.全市及び庄内圏域

庄内圏域の各種リスク判定の結果をみると、「転倒」「閉じこもり」「低栄養」の項目で市平均よりリスク該当者の割合がやや高くなっています。



3.全市及び湯布院圏域

湯布院圏域の各種リスク判定の結果をみると、「閉じこもり」「口腔」「低栄養」「認知機能」「うつ」「IADL」の項目で市平均よりリスク該当者の割合が高くなっており、「うつ」に関しては市平均より 2.9 ポイント高くなっています。



地域別のリスク発生状況

石城川地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	25.0%	118.6	↗
運動・閉じこもりリスク	21.0%	18.0%	114.8	↗
口腔・栄養指導	31.8%	31.3%	101.2	→
日常生活リスク	49.5%	52.0%	132.4	↑
健康・QOLに関するリスク	46.4%	45.7%	106.2	→
社会参加意欲リスク	20.6%	18.7%	141.3	↑

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	60.6%	106.1	→
一人暮らし率	19.6%	16.6%	84.6	↘
高齢者夫婦世帯率	44.5%	41.5%	93.2	→
介護・介護必要率	3.9%	6.2%	158.2	↑
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	5.7%	90.7	→
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	31.1%	119.2	↗
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	6.2%	194.7	↑
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	32.1%	101.9	→
総合評価	24.0%	25.0%	118.6	↗

【2. 運動・閉じこもりリスク】

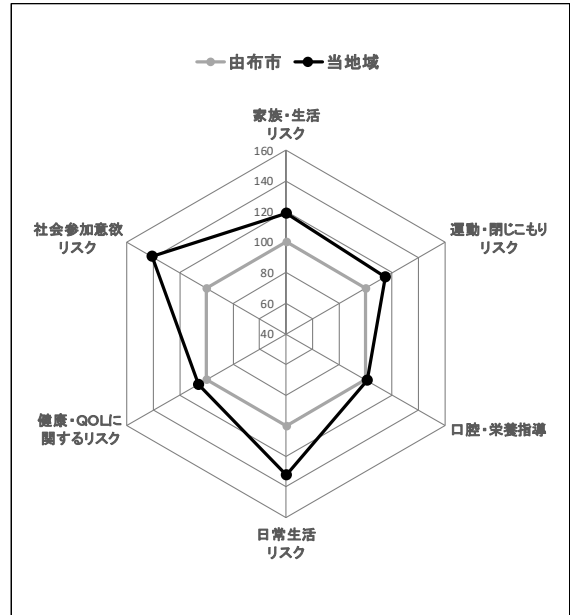
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	14.0%	95.3	→
転倒リスク	29.9%	34.2%	114.2	↗
閉じこもりリスク	10.5%	8.3%	78.9	↓
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	11.9%	124.4	↑
外出徒歩率	35.1%	21.8%	161.2	↑
総合評価	21.0%	18.0%	114.8	↗

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	4.1%	69.5	↓
咀嚼機能リスク	30.4%	31.1%	102.4	→
入れ歯利用率	47.1%	53.3%	113.2	↗
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	36.7%	119.9	↗
総合評価	31.8%	31.3%	101.2	→

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	50.3%	103.2	→
うつリスク	37.7%	42.5%	112.6	↗
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	8.3%	185.3	↑
配食ニーズ	6.0%	9.3%	155.9	↑
買い物ニーズ	3.2%	7.8%	239.5	↑
情緒的サポート受領率	90.3%	91.7%	98.5	→
情緒的サポート提供率	86.9%	86.6%	100.3	→
手段的サポート受領率	87.9%	89.6%	98.1	→
手段的サポート提供率	80.5%	81.9%	98.3	→
総合評価	49.5%	52.0%	132.4	↑



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	74.1%	100.7	→
主観的幸福感	45.7%	38.9%	117.5	↗
喫煙率	9.6%	10.9%	113.5	↗
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	20.7%	94.6	→
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	83.9%	104.9	→
総合評価	46.4%	45.7%	106.2	→

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	10.9%	123.9	↑
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	21.3%	101.9	→
趣味関係グループ参加率	22.6%	18.7%	120.9	↑
学習・教養サークル参加率	7.6%	2.6%	292.3	↑
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	54.4%	95.8	→
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	6.2%	124.2	↑
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	32.2%	108.4	→
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	3.1%	163.1	↑
総合評価	20.6%	18.7%	141.3	↑

※格差指数: リスクの高さでみた市平均と当地域の差。等しければ100となる。(以下同じ)

※リスク判定: 格差指数が 100±20 ポイント以上=上下、±10~20 ポイント程度=斜め、±10 ポイント程度未満は横向きの矢印で示す。(以下同じ)

由布川地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.2%	98.4	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	20.4%	102.5	➡
口腔・栄養指導	31.8%	32.2%	96.3	➡
日常生活リスク	49.5%	51.0%	95.2	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	46.1%	94.7	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	19.2%	110.7	⬆

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	54.5%	95.4	➡
一人暮らし率	19.6%	15.8%	80.6	⬇
高齢者夫婦世帯率	44.5%	49.5%	111.4	⬆
介護・介助必要率	3.9%	3.9%	98.0	➡
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	6.0%	95.2	➡
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	25.4%	97.3	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	3.1%	95.7	➡
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	35.7%	113.3	⬆
総合評価	24.0%	24.2%	98.4	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

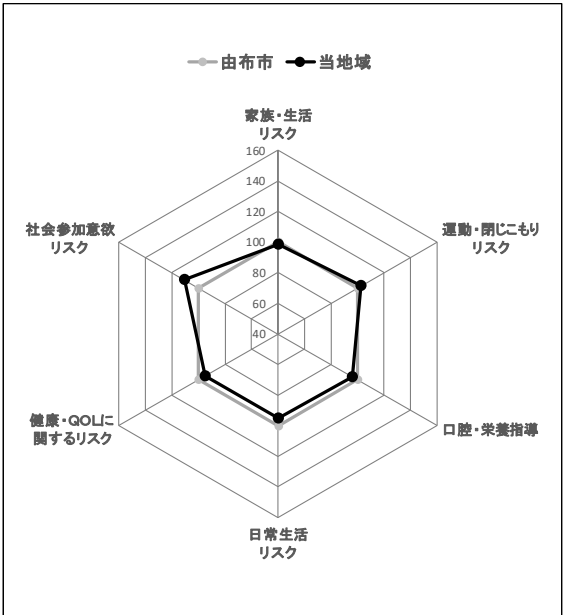
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	14.7%	100.4	➡
転倒リスク	29.9%	28.6%	95.3	➡
閉じこもりリスク	10.5%	10.1%	96.0	➡
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	11.8%	125.4	⬆
外出徒歩率	35.1%	36.8%	95.3	➡
総合評価	21.0%	20.4%	102.5	➡

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	6.6%	111.9	⬆
咀嚼機能リスク	30.4%	29.5%	97.1	➡
入れ歯利用率	47.1%	42.1%	89.4	⬇
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	50.7%	86.8	⬇
総合評価	31.8%	32.2%	96.3	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	48.2%	99.0	➡
うつリスク	37.7%	39.6%	104.9	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	4.4%	98.0	➡
配食ニーズ	6.0%	5.7%	95.5	➡
買い物ニーズ	3.2%	2.4%	73.7	⬇
情緒的サポート受領率	90.3%	92.2%	97.9	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	90.3%	96.2	➡
手段的サポート受領率	87.9%	91.0%	96.6	➡
手段的サポート提供率	80.5%	84.8%	94.9	➡
総合評価	49.5%	51.0%	95.2	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	76.1%	98.0	➡
主観的幸福感	45.7%	45.0%	101.6	➡
喫煙率	9.6%	7.7%	80.2	⬇
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	20.1%	91.5	➡
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	81.7%	102.1	➡
総合評価	46.4%	46.1%	94.7	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	9.2%	146.7	⬆
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	24.9%	87.1	⬇
趣味関係グループ参加率	22.6%	23.1%	97.8	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	5.5%	138.2	⬆
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	47.3%	110.1	⬆
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	8.6%	89.4	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	29.5%	118.3	⬆
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	5.2%	97.9	➡
総合評価	20.6%	19.2%	110.7	⬆

朴木・石城西部・時松地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.8%	100.4	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	16.1%	158.1	⬆
口腔・栄養指導	31.8%	35.5%	92.4	➡
日常生活リスク	49.5%	49.7%	107.9	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	46.2%	118.3	🔄
社会参加意欲リスク	20.6%	19.3%	115.0	🔄

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	55.6%	97.4	➡
一人暮らし率	19.6%	20.5%	104.7	➡
高齢者夫婦世帯率	44.5%	46.2%	103.8	➡
介護・介助必要率	3.9%	2.6%	65.2	⬇
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	8.5%	136.1	⬆
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	26.5%	101.5	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	2.6%	80.3	⬇
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	35.9%	113.9	🔄
総合評価	24.0%	24.8%	100.4	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

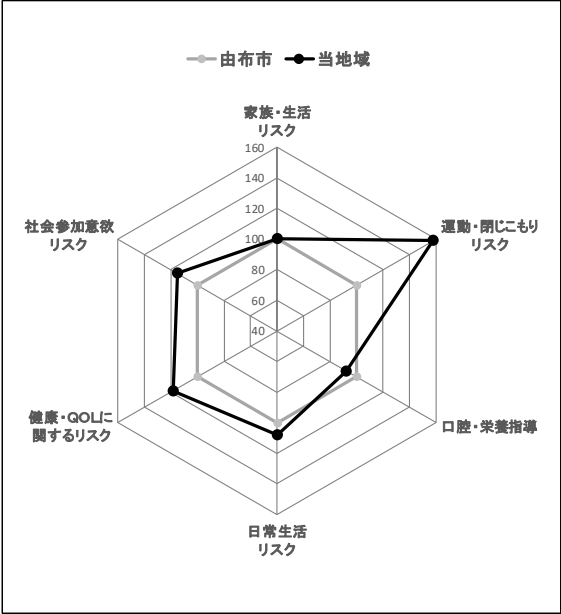
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	12.8%	87.3	⬇
転倒リスク	29.9%	29.9%	99.9	➡
閉じこもりリスク	10.5%	16.2%	154.5	⬆
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	7.7%	192.2	⬆
外出徒歩率	35.1%	13.7%	256.5	⬆
総合評価	21.0%	16.1%	158.1	⬆

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	2.6%	44.1	⬇
咀嚼機能リスク	30.4%	39.3%	129.5	⬆
入れ歯利用率	47.1%	50.4%	107.0	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	49.5%	88.9	⬇
総合評価	31.8%	35.5%	92.4	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	53.0%	108.8	➡
うつリスク	37.7%	31.6%	83.8	⬇
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	5.1%	114.6	🔄
配食ニーズ	6.0%	9.4%	157.2	⬆
買い物ニーズ	3.2%	3.4%	105.3	➡
情緒的サポート受領率	90.3%	89.8%	100.6	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	87.2%	99.7	➡
手段的サポート受領率	87.9%	88.9%	98.9	➡
手段的サポート提供率	80.5%	78.6%	102.4	➡
総合評価	49.5%	49.7%	107.9	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	71.8%	103.9	➡
主観的幸福感	45.7%	36.8%	124.2	⬆
喫煙率	9.6%	12.8%	133.3	⬆
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	28.2%	128.7	⬆
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	81.2%	101.5	➡
総合評価	46.4%	46.2%	118.3	🔄

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	15.4%	87.7	⬇
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	15.4%	140.9	⬆
趣味関係グループ参加率	22.6%	13.6%	166.2	⬆
学習・教養サークル参加率	7.6%	6.9%	110.1	🔄
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	53.0%	98.3	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	6.0%	129.0	⬆
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	39.3%	88.8	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	5.1%	98.9	➡
総合評価	20.6%	19.3%	115.0	🔄

挾間地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.7%	101.7	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	20.8%	103.4	➡
口腔・栄養指導	31.8%	31.1%	88.9	⬇
日常生活リスク	49.5%	49.4%	99.7	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	46.6%	98.0	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	19.5%	110.6	⬇

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	57.0%	99.8	➡
一人暮らし率	19.6%	17.4%	88.7	⬇
高齢者夫婦世帯率	44.5%	45.2%	101.7	➡
介護・介護必要率	3.9%	3.6%	91.1	➡
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	6.1%	97.7	➡
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	26.9%	103.1	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	3.6%	112.1	⬇
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	37.7%	119.7	⬇
総合評価	24.0%	24.7%	101.7	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

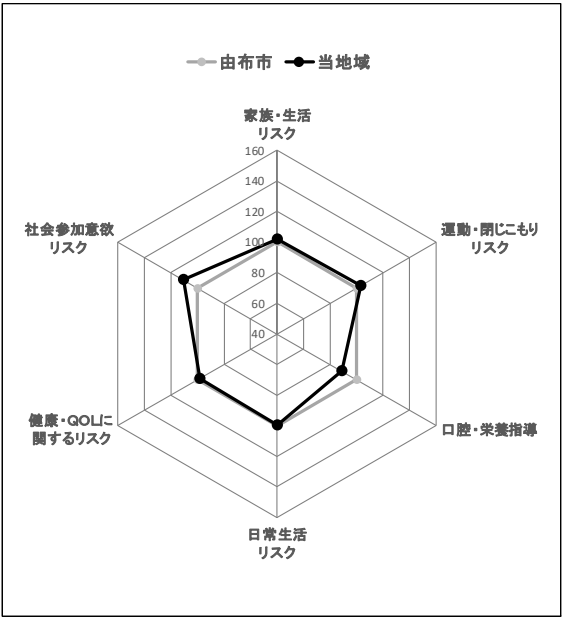
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	15.4%	105.1	➡
転倒リスク	29.9%	28.7%	95.9	➡
閉じこもりリスク	10.5%	9.4%	89.5	⬇
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	10.7%	138.3	⬆
外出徒歩率	35.1%	39.9%	87.9	⬇
総合評価	21.0%	20.8%	103.4	➡

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	4.3%	72.9	⬇
咀嚼機能リスク	30.4%	30.8%	101.4	➡
入れ歯利用率	47.1%	41.8%	88.7	⬇
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	47.6%	92.4	➡
総合評価	31.8%	31.1%	88.9	⬇

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	49.3%	101.2	➡
うつリスク	37.7%	36.7%	97.3	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	4.4%	98.3	➡
配食ニーズ	6.0%	6.1%	102.5	➡
買い物ニーズ	3.2%	3.2%	97.7	➡
情緒的サポート受領率	90.3%	90.5%	99.8	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	86.8%	100.1	➡
手段的サポート受領率	87.9%	88.1%	99.8	➡
手段的サポート提供率	80.5%	79.8%	100.9	➡
総合評価	49.5%	49.4%	99.7	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	75.0%	99.5	➡
主観的幸福感	45.7%	47.2%	96.8	➡
喫煙率	9.6%	9.0%	93.8	➡
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	21.9%	99.9	➡
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	80.1%	100.1	➡
総合評価	46.4%	46.6%	98.0	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	10.1%	133.7	⬆
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	23.0%	94.3	➡
趣味関係グループ参加率	22.6%	22.3%	101.3	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	7.3%	104.1	➡
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	51.5%	101.2	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	6.7%	114.4	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	31.2%	111.9	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	4.1%	124.0	⬆
総合評価	20.6%	19.5%	110.6	⬇

谷地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.3%	109.1	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	18.5%	125.8	⬆
口腔・栄養指導	31.8%	31.3%	104.3	➡
日常生活リスク	49.5%	50.2%	109.4	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	48.1%	104.9	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	20.9%	120.1	⬆

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	58.5%	102.5	➡
一人暮らし率	19.6%	17.3%	88.2	⬇
高齢者夫婦世帯率	44.5%	41.2%	92.7	➡
介護・介助必要率	3.9%	4.5%	115.1	⬆
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	7.7%	122.8	⬆
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	27.4%	105.0	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	4.5%	141.6	⬆
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	33.0%	104.6	➡
総合評価	24.0%	24.3%	109.1	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

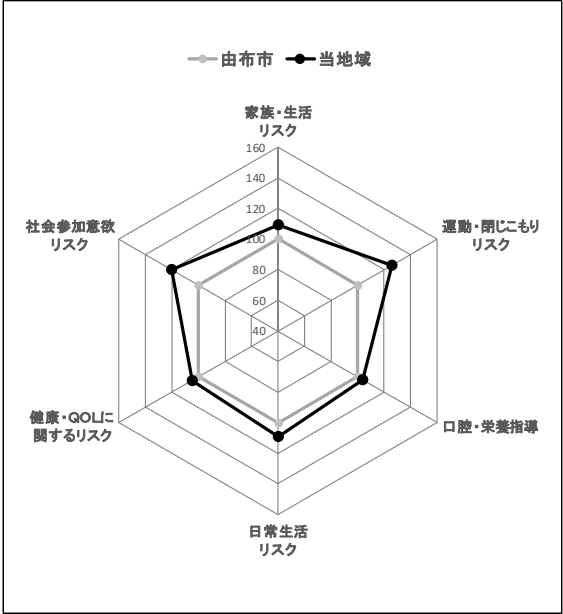
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	16.8%	114.1	⬆
転倒リスク	29.9%	31.4%	104.8	➡
閉じこもりリスク	10.5%	11.2%	106.3	➡
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	9.6%	154.2	⬆
外出徒歩率	35.1%	23.4%	149.8	⬆
総合評価	21.0%	18.5%	125.8	⬆

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	4.3%	72.9	⬇
咀嚼機能リスク	30.4%	33.0%	108.7	➡
入れ歯利用率	47.1%	52.4%	111.3	⬆
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	35.4%	124.3	⬆
総合評価	31.8%	31.3%	104.3	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	50.3%	103.2	➡
うつリスク	37.7%	29.3%	77.5	⬇
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	6.6%	148.6	⬆
配食ニーズ	6.0%	7.4%	124.5	⬆
買い物ニーズ	3.2%	4.5%	139.3	⬆
情緒的サポート受領率	90.3%	91.7%	98.5	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	88.8%	97.9	➡
手段的サポート受領率	87.9%	90.7%	96.9	➡
手段的サポート提供率	80.5%	82.2%	97.9	➡
総合評価	49.5%	50.2%	109.4	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	73.2%	101.9	➡
主観的幸福感	45.7%	49.7%	92.0	➡
喫煙率	9.6%	13.0%	135.4	⬆
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	19.4%	88.6	⬇
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	85.1%	106.4	➡
総合評価	46.4%	48.1%	104.9	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	15.5%	87.1	⬇
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	16.8%	129.2	⬆
趣味関係グループ参加率	22.6%	18.7%	120.9	⬆
学習・教養サークル参加率	7.6%	7.0%	108.6	➡
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	61.4%	84.9	⬇
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	3.5%	223.3	⬆
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	39.9%	87.5	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	4.3%	119.1	⬆
総合評価	20.6%	20.9%	120.1	⬆

阿南地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	22.3%	102.4	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	19.9%	96.6	➡
口腔・栄養指導	31.8%	31.5%	102.4	➡
日常生活リスク	49.5%	49.3%	113.5	↗
健康・QOLに関するリスク	46.4%	48.2%	96.3	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	21.4%	93.3	➡

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	55.7%	97.5	➡
一人暮らし率	19.6%	17.3%	88.3	↘
高齢者夫婦世帯率	44.5%	42.6%	95.7	➡
介護・介助必要率	3.9%	4.8%	123.3	⬆
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	6.9%	110.2	↗
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	23.9%	91.6	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	4.5%	140.9	⬆
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	22.5%	71.3	⬇
総合評価	24.0%	22.3%	102.4	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

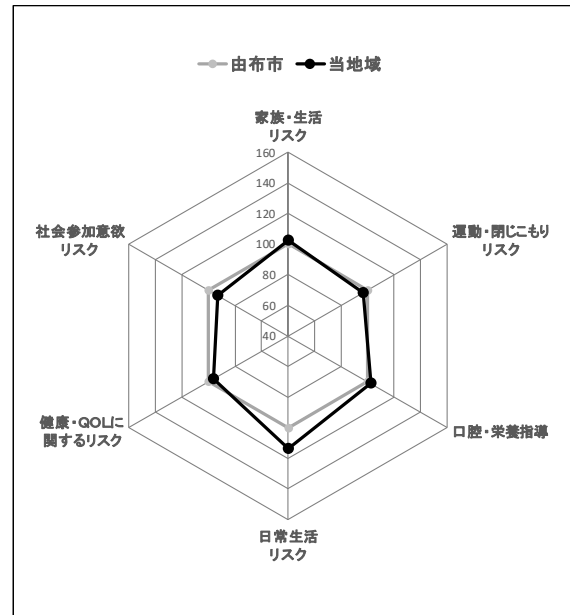
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	13.5%	91.9	➡
転倒リスク	29.9%	30.1%	100.5	➡
閉じこもりリスク	10.5%	8.7%	82.3	↘
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	14.9%	99.3	➡
外出徒歩率	35.1%	32.2%	109.0	➡
総合評価	21.0%	19.9%	96.6	➡

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	6.9%	116.9	↗
咀嚼機能リスク	30.4%	27.0%	88.9	↘
入れ歯利用率	47.1%	48.4%	102.8	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	43.6%	100.9	➡
総合評価	31.8%	31.5%	102.4	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	46.4%	95.2	➡
うつリスク	37.7%	38.1%	100.9	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	6.2%	139.2	⬆
配食ニーズ	6.0%	9.7%	161.9	⬆
買い物ニーズ	3.2%	3.8%	117.3	↗
情緒的サポート受領率	90.3%	89.6%	100.8	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	83.7%	103.8	➡
手段的サポート受領率	87.9%	86.2%	102.0	➡
手段的サポート提供率	80.5%	80.3%	100.2	➡
総合評価	49.5%	49.3%	113.5	↗



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	78.2%	95.4	➡
主観的幸福感	45.7%	49.4%	92.5	➡
喫煙率	9.6%	8.3%	86.5	↘
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	22.8%	104.2	➡
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	82.4%	103.0	➡
総合評価	46.4%	48.2%	96.3	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	14.9%	90.6	➡
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	23.1%	93.9	➡
趣味関係グループ参加率	22.6%	23.3%	97.0	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	7.9%	96.2	➡
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	49.2%	105.9	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	10.0%	76.9	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	37.0%	94.3	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	5.5%	91.6	➡
総合評価	20.6%	21.4%	93.3	➡

大津留地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	20.6%	89.2	▲
運動・閉じこもりリスク	21.0%	20.8%	94.2	→
口腔・栄養指導	31.8%	29.4%	97.0	→
日常生活リスク	49.5%	47.5%	89.5	▲
健康・QOLに関するリスク	46.4%	44.9%	99.3	→
社会参加意欲リスク	20.6%	25.0%	80.5	▲

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	41.1%	72.0	↓
一人暮らし率	19.6%	20.2%	102.9	→
高齢者夫婦世帯率	44.5%	42.0%	94.5	→
介護・介護必要率	3.9%	5.0%	128.3	↑
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	5.9%	93.7	→
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	22.7%	87.0	▲
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	1.7%	52.6	↓
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	26.1%	82.6	▲
総合評価	24.0%	20.6%	89.2	▲

【2. 運動・閉じこもりリスク】

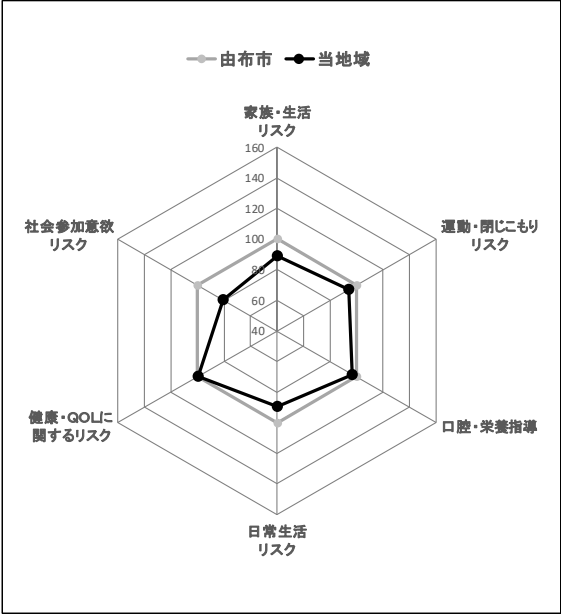
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	12.6%	85.8	▲
転倒リスク	29.9%	26.9%	89.8	▲
閉じこもりリスク	10.5%	11.8%	112.0	↗
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	24.4%	60.7	↓
外出徒歩率	35.1%	28.6%	122.7	↑
総合評価	21.0%	20.8%	94.2	→

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	5.0%	84.7	▲
咀嚼機能リスク	30.4%	27.7%	91.4	→
入れ歯利用率	47.1%	46.2%	98.1	→
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	38.7%	113.7	↗
総合評価	31.8%	29.4%	97.0	→

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	45.4%	93.2	→
うつリスク	37.7%	33.6%	89.1	▲
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	2.5%	56.4	↓
配食ニーズ	6.0%	3.4%	56.2	↓
買い物ニーズ	3.2%	3.4%	103.6	→
情緒的サポート受領率	90.3%	89.9%	100.4	→
情緒的サポート提供率	86.9%	85.7%	101.4	→
手段的サポート受領率	87.9%	85.8%	102.4	→
手段的サポート提供率	80.5%	78.1%	103.1	→
総合評価	49.5%	47.5%	89.5	▲



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	74.8%	99.7	→
主観的幸福感	45.7%	40.3%	113.4	↗
喫煙率	9.6%	8.4%	87.5	▲
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	21.0%	95.9	→
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	79.9%	99.9	→
総合評価	46.4%	44.9%	99.3	→

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	23.5%	57.4	↓
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	28.5%	76.1	↓
趣味関係グループ参加率	22.6%	25.2%	89.7	▲
学習・教養サークル参加率	7.6%	10.0%	76.0	↓
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	56.3%	92.5	→
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	8.4%	91.9	→
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	41.2%	84.7	▲
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	6.7%	75.4	↓
総合評価	20.6%	25.0%	80.5	▲

東庄内地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	23.1%	94.3	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	22.9%	94.9	➡
口腔・栄養指導	31.8%	29.9%	93.9	➡
日常生活リスク	49.5%	48.9%	98.4	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	44.1%	92.2	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	23.6%	80.2	⚠

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	58.8%	103.0	➡
一人暮らし率	19.6%	14.8%	75.3	⬇
高齢者夫婦世帯率	44.5%	41.9%	94.4	➡
介護・介護必要率	3.9%	2.7%	68.3	⬇
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	7.7%	122.9	⬆
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	27.5%	105.4	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	3.0%	94.6	➡
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	28.5%	90.5	➡
総合評価	24.0%	23.1%	94.3	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

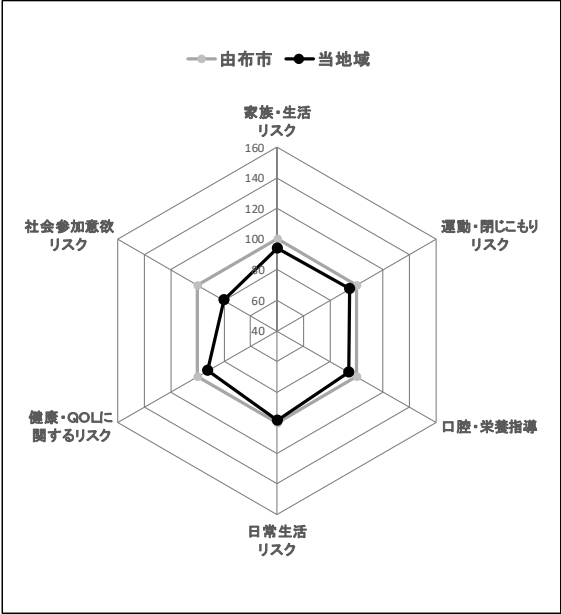
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	15.4%	105.1	➡
転倒リスク	29.9%	28.5%	95.2	➡
閉じこもりリスク	10.5%	11.7%	111.8	⬆
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	25.1%	59.0	⬇
外出徒歩率	35.1%	33.9%	103.5	➡
総合評価	21.0%	22.9%	94.9	➡

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	5.7%	96.6	➡
咀嚼機能リスク	30.4%	27.5%	90.7	➡
入れ歯利用率	47.1%	42.0%	89.2	⚠
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	44.3%	99.3	➡
総合評価	31.8%	29.9%	93.9	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	50.0%	102.7	➡
うつリスク	37.7%	36.9%	97.8	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	3.0%	67.5	⬇
配食ニーズ	6.0%	7.0%	117.8	⬆
買い物ニーズ	3.2%	3.0%	93.1	➡
情緒的サポート受領率	90.3%	88.2%	102.4	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	84.5%	102.8	➡
手段的サポート受領率	87.9%	85.2%	103.2	➡
手段的サポート提供率	80.5%	81.9%	98.3	➡
総合評価	49.5%	48.9%	98.4	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	73.5%	101.5	➡
主観的幸福感	45.7%	43.0%	106.3	➡
喫煙率	9.6%	6.4%	66.7	⬇
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	19.5%	88.8	⚠
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	78.2%	97.8	➡
総合評価	46.4%	44.1%	92.2	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	17.1%	78.9	⬇
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	29.9%	72.6	⬇
趣味関係グループ参加率	22.6%	24.7%	91.5	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	9.0%	84.4	⚠
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	49.6%	105.0	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	14.1%	54.8	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	34.9%	100.0	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	9.4%	54.0	⬇
総合評価	20.6%	23.6%	80.2	⚠

南庄内地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	22.1%	84.5	▲
運動・閉じこもりリスク	21.0%	19.6%	99.5	→
口腔・栄養指導	31.8%	32.1%	105.7	→
日常生活リスク	49.5%	49.5%	88.2	▲
健康・QOLに関するリスク	46.4%	49.0%	113.8	⌘
社会参加意欲リスク	20.6%	21.3%	96.9	→

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	55.8%	97.7	→
一人暮らし率	19.6%	16.8%	85.9	▲
高齢者夫婦世帯率	44.5%	47.7%	107.3	→
介護・介護必要率	3.9%	3.2%	80.4	▲
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	5.6%	89.4	▲
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	21.8%	83.5	▲
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	1.8%	54.9	↓
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	24.2%	76.8	↓
総合評価	24.0%	22.1%	84.5	▲

【2. 運動・閉じこもりリスク】

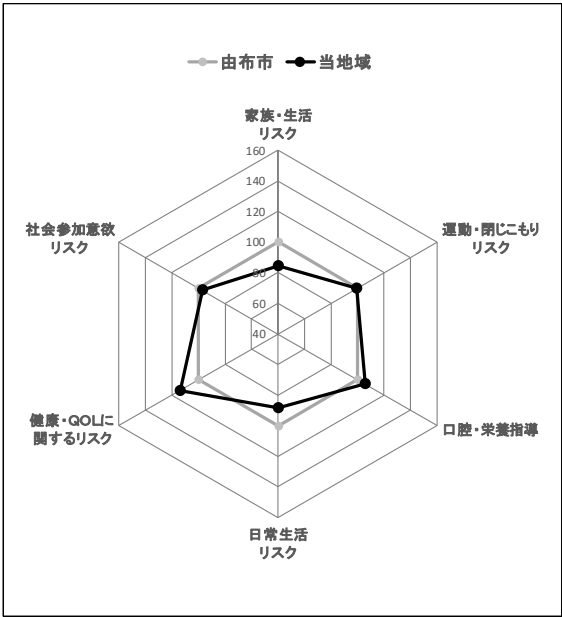
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	11.6%	78.9	↓
転倒リスク	29.9%	33.3%	111.3	⌘
閉じこもりリスク	10.5%	9.1%	86.8	▲
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	14.8%	100.0	→
外出徒歩率	35.1%	29.1%	120.4	↑
総合評価	21.0%	19.6%	99.5	→

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	4.9%	83.1	▲
咀嚼機能リスク	30.4%	34.4%	113.3	⌘
入れ歯利用率	47.1%	51.6%	109.6	→
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	37.6%	117.0	⌘
総合評価	31.8%	32.1%	105.7	→

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	46.7%	95.8	→
うつリスク	37.7%	35.8%	94.8	→
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	3.2%	70.6	↓
配食ニーズ	6.0%	4.6%	76.2	↓
買い物ニーズ	3.2%	2.1%	64.9	↓
情緒的サポート受領率	90.3%	92.9%	97.2	→
情緒的サポート提供率	86.9%	89.1%	97.5	→
手段的サポート受領率	87.9%	88.1%	99.8	→
手段的サポート提供率	80.5%	82.8%	97.2	→
総合評価	49.5%	49.5%	88.2	▲



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	77.6%	96.1	→
主観的幸福感	45.7%	48.0%	95.2	→
喫煙率	9.6%	15.4%	160.4	↑
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	26.3%	120.1	↑
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	77.9%	97.4	→
総合評価	46.4%	49.0%	113.8	⌘

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	16.6%	81.3	▲
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	20.0%	108.5	→
趣味関係グループ参加率	22.6%	20.7%	109.2	→
学習・教養サークル参加率	7.6%	6.9%	110.1	⌘
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	53.4%	97.6	→
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	7.4%	104.8	→
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	38.2%	91.4	→
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	7.0%	72.3	↓
総合評価	20.6%	21.3%	96.9	→

阿蘇野地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	23.8%	100.7	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	20.7%	120.9	⬆
口腔・栄養指導	31.8%	30.6%	126.5	⬆
日常生活リスク	49.5%	44.9%	79.5	⬇
健康・QOLに関するリスク	46.4%	45.8%	102.3	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	20.8%	130.1	⬆

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	54.1%	94.7	➡
一人暮らし率	19.6%	30.8%	157.4	⬆
高齢者夫婦世帯率	44.5%	36.4%	82.0	⚡
介護・介護必要率	3.9%	6.5%	166.5	⬆
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	2.8%	44.6	⬇
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	27.1%	103.8	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	1.9%	58.5	⬇
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	30.8%	97.8	➡
総合評価	24.0%	23.8%	100.7	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

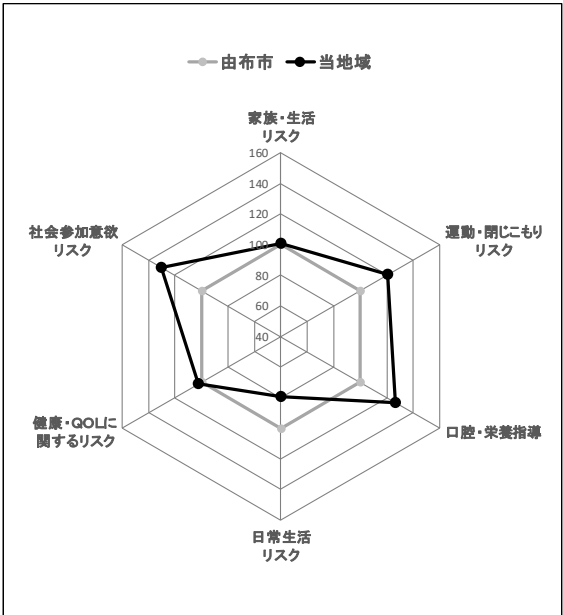
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	16.8%	114.6	⚡
転倒リスク	29.9%	34.6%	115.5	⚡
閉じこもりリスク	10.5%	13.1%	124.5	⬆
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	18.6%	79.6	⬇
外出徒歩率	35.1%	20.6%	170.6	⬆
総合評価	21.0%	20.7%	120.9	⬆

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	10.3%	174.6	⬆
咀嚼機能リスク	30.4%	29.0%	95.5	➡
入れ歯利用率	47.1%	49.5%	105.1	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	33.6%	131.0	⬆
総合評価	31.8%	30.6%	126.5	⬆

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	43.9%	90.2	➡
うつリスク	37.7%	34.6%	91.6	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	1.9%	41.8	⬇
配食ニーズ	6.0%	1.9%	31.2	⬇
買い物ニーズ	3.2%	0.9%	28.8	⬇
情緒的サポート受領率	90.3%	86.9%	103.9	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	81.4%	106.8	➡
手段的サポート受領率	87.9%	81.3%	108.1	➡
手段的サポート提供率	80.5%	71.0%	113.4	⚡
総合評価	49.5%	44.9%	79.5	⬇



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	71.9%	103.8	➡
主観的幸福感	45.7%	44.9%	101.8	➡
喫煙率	9.6%	10.3%	107.3	➡
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	21.5%	98.1	➡
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	80.4%	100.5	➡
総合評価	46.4%	45.8%	102.3	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	13.9%	97.1	➡
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	20.5%	105.9	➡
趣味関係グループ参加率	22.6%	20.5%	110.2	⚡
学習・教養サークル参加率	7.6%	4.6%	165.2	⬆
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	60.8%	85.7	⚡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	3.7%	206.5	⬆
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	39.2%	89.0	⚡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	2.8%	180.8	⬆
総合評価	20.6%	20.8%	130.1	⬆

西庄内東部地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.7%	103.9	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	22.3%	113.3	↔
口腔・栄養指導	31.8%	30.5%	103.0	➡
日常生活リスク	49.5%	48.7%	101.3	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	44.4%	92.0	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	22.7%	85.7	⬇

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	60.0%	105.1	➡
一人暮らし率	19.6%	21.7%	110.9	↔
高齢者夫婦世帯率	44.5%	46.5%	104.6	➡
介護・介護必要率	3.9%	2.6%	66.4	⬇
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	8.3%	131.5	⬆
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	26.5%	101.5	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	3.9%	122.6	⬆
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	27.8%	88.3	⬇
総合評価	24.0%	24.7%	103.9	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

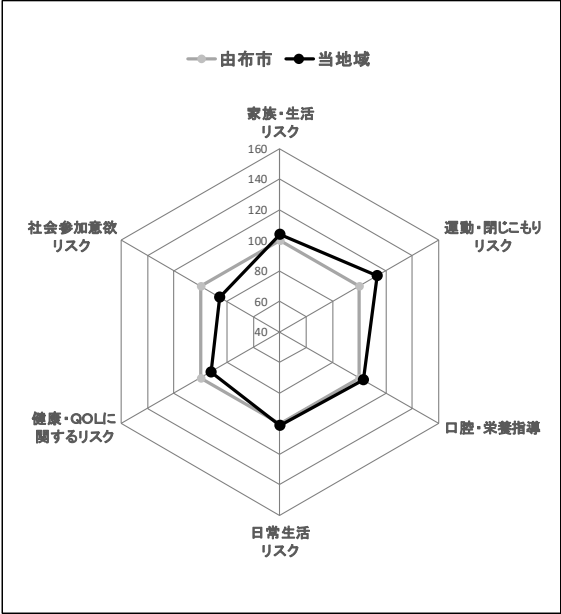
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	18.7%	127.3	⬆
転倒リスク	29.9%	33.0%	110.3	↔
閉じこもりリスク	10.5%	12.2%	115.8	↔
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	24.3%	60.9	⬇
外出徒歩率	35.1%	23.0%	152.2	⬆
総合評価	21.0%	22.3%	113.3	↔

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	6.5%	110.2	↔
咀嚼機能リスク	30.4%	29.1%	96.0	➡
入れ歯利用率	47.1%	45.7%	97.0	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	40.5%	108.6	➡
総合評価	31.8%	30.5%	103.0	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	46.5%	95.5	➡
うつリスク	37.7%	36.1%	95.6	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	4.8%	106.9	➡
配食ニーズ	6.0%	6.1%	101.7	➡
買い物ニーズ	3.2%	3.5%	107.2	➡
情緒的サポート受領率	90.3%	88.7%	101.8	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	85.2%	102.0	➡
手段的サポート受領率	87.9%	87.3%	100.7	➡
手段的サポート提供率	80.5%	80.5%	100.0	➡
総合評価	49.5%	48.7%	101.3	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	72.6%	102.8	➡
主観的幸福感	45.7%	46.5%	98.3	➡
喫煙率	9.6%	7.9%	82.3	⬇
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	17.4%	79.4	⬇
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	77.8%	97.3	➡
総合評価	46.4%	44.4%	92.0	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	15.6%	86.5	⬇
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	23.9%	90.8	➡
趣味関係グループ参加率	22.6%	28.3%	79.9	⬇
学習・教養サークル参加率	7.6%	9.6%	79.2	⬇
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	51.3%	101.6	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	9.6%	80.7	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	35.6%	98.0	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	7.4%	68.6	⬇
総合評価	20.6%	22.7%	85.7	⬇

西庄内西部地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.6%	97.6	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	22.1%	94.2	➡
口腔・栄養指導	31.8%	31.4%	103.3	➡
日常生活リスク	49.5%	48.3%	86.8	⚡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	49.0%	120.2	⬆
社会参加意欲リスク	20.6%	19.8%	99.9	➡

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	56.7%	99.3	➡
一人暮らし率	19.6%	24.0%	122.6	⬆
高齢者夫婦世帯率	44.5%	45.1%	101.4	➡
介護・介護必要率	3.9%	3.9%	98.3	➡
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	4.3%	68.3	⬇
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	27.9%	106.9	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	2.6%	80.6	⚡
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	32.6%	103.5	➡
総合評価	24.0%	24.6%	97.6	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

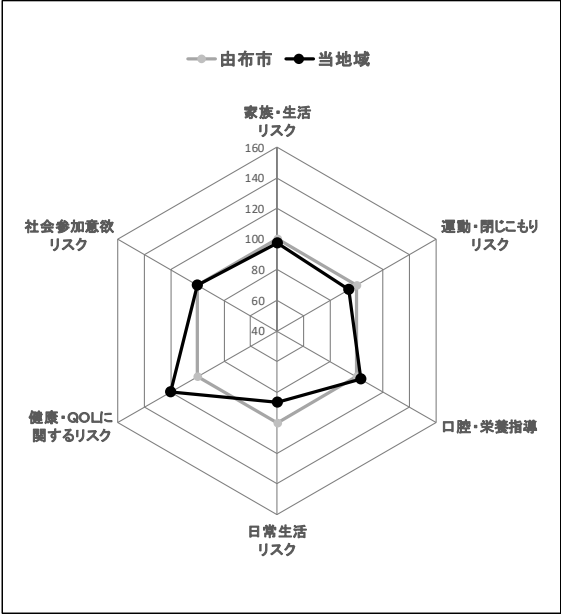
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	13.3%	90.6	➡
転倒リスク	29.9%	28.8%	96.0	➡
閉じこもりリスク	10.5%	12.0%	114.4	⬆
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	24.8%	59.7	⬇
外出徒歩率	35.1%	31.8%	110.4	⬆
総合評価	21.0%	22.1%	94.2	➡

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	7.3%	123.7	⬆
咀嚼機能リスク	30.4%	27.5%	90.5	➡
入れ歯利用率	47.1%	46.8%	99.4	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	44.2%	99.5	➡
総合評価	31.8%	31.4%	103.3	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	43.3%	89.0	⚡
うつリスク	37.7%	36.1%	95.5	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	2.6%	57.6	⬇
配食ニーズ	6.0%	5.2%	86.1	⚡
買い物ニーズ	3.2%	1.7%	52.9	⬇
情緒的サポート受領率	90.3%	92.7%	97.4	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	85.8%	101.3	➡
手段的サポート受領率	87.9%	89.7%	98.0	➡
手段的サポート提供率	80.5%	77.7%	103.6	➡
総合評価	49.5%	48.3%	86.8	⚡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	75.1%	99.3	➡
主観的幸福感	45.7%	44.1%	103.6	➡
喫煙率	9.6%	15.9%	165.6	⬆
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	28.8%	131.2	⬆
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	81.1%	101.4	➡
総合評価	46.4%	49.0%	120.2	⬆

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	13.3%	101.5	➡
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	19.8%	109.6	➡
趣味関係グループ参加率	22.6%	21.0%	107.6	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	7.7%	98.7	➡
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	48.5%	107.4	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	8.2%	94.7	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	33.0%	105.8	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	6.9%	73.8	⬇
総合評価	20.6%	19.8%	99.9	➡

川西地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.7%	105.4	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	19.2%	106.4	➡
口腔・栄養指導	31.8%	32.4%	104.2	➡
日常生活リスク	49.5%	47.4%	93.9	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	45.0%	97.9	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	20.4%	98.5	➡

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	63.7%	111.6	⬇
一人暮らし率	19.6%	23.3%	118.9	⬇
高齢者夫婦世帯率	44.5%	40.3%	90.7	➡
介護・介護必要率	3.9%	5.1%	130.1	⬆
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	6.8%	108.6	➡
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	27.3%	104.6	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	2.8%	89.0	⬇
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	28.4%	90.1	➡
総合評価	24.0%	24.7%	105.4	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

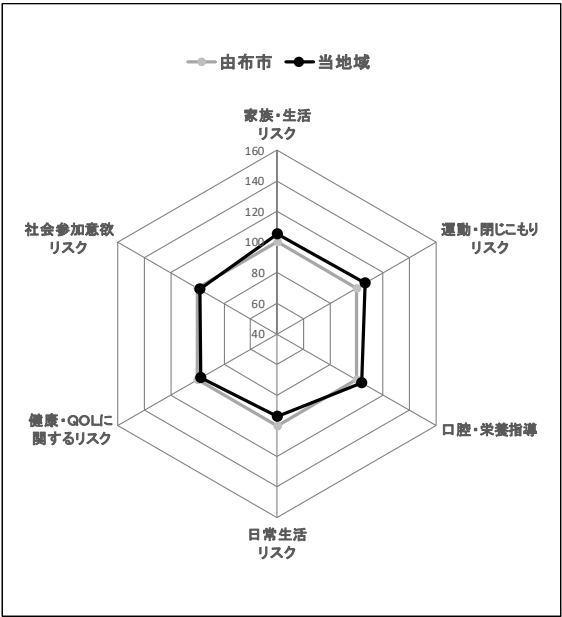
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	14.2%	96.7	➡
転倒リスク	29.9%	30.7%	102.5	➡
閉じこもりリスク	10.5%	10.2%	97.3	➡
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	14.2%	104.2	➡
外出徒歩率	35.1%	26.7%	131.3	⬆
総合評価	21.0%	19.2%	106.4	➡

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	5.7%	96.6	➡
咀嚼機能リスク	30.4%	31.3%	103.0	➡
入れ歯利用率	47.1%	51.7%	109.8	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	40.9%	107.6	➡
総合評価	31.8%	32.4%	104.2	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	44.9%	92.2	➡
うつリスク	37.7%	38.1%	100.9	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	2.8%	63.5	⬇
配食ニーズ	6.0%	5.1%	85.5	⬇
買い物ニーズ	3.2%	2.8%	87.5	⬇
情緒的サポート受領率	90.3%	86.4%	104.5	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	83.6%	103.9	➡
手段的サポート受領率	87.9%	85.2%	103.2	➡
手段的サポート提供率	80.5%	77.3%	104.1	➡
総合評価	49.5%	47.4%	93.9	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	74.4%	100.3	➡
主観的幸福感	45.7%	46.6%	98.1	➡
喫煙率	9.6%	11.4%	118.8	⬇
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	17.0%	77.8	⬆
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	75.5%	94.4	➡
総合評価	46.4%	45.0%	97.9	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	14.7%	91.8	➡
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	18.8%	115.4	⬇
趣味関係グループ参加率	22.6%	21.6%	104.6	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	9.0%	84.4	⬇
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	50.6%	103.0	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	8.5%	90.6	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	35.2%	99.1	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	5.1%	99.2	➡
総合評価	20.6%	20.4%	98.5	➡

塚原地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	25.1%	108.3	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	21.5%	124.9	⬆
口腔・栄養指導	31.8%	34.1%	95.1	➡
日常生活リスク	49.5%	46.1%	97.1	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	42.6%	97.8	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	18.1%	153.0	⬆

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	53.9%	94.4	➡
一人暮らし率	19.6%	22.0%	112.2	⬆
高齢者夫婦世帯率	44.5%	49.5%	111.2	⬆
介護・介助必要率	3.9%	5.5%	139.8	⬆
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	3.3%	52.5	⬇
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	29.7%	113.8	⬆
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	4.4%	137.7	⬆
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	33.0%	104.6	➡
総合評価	24.0%	25.1%	108.3	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

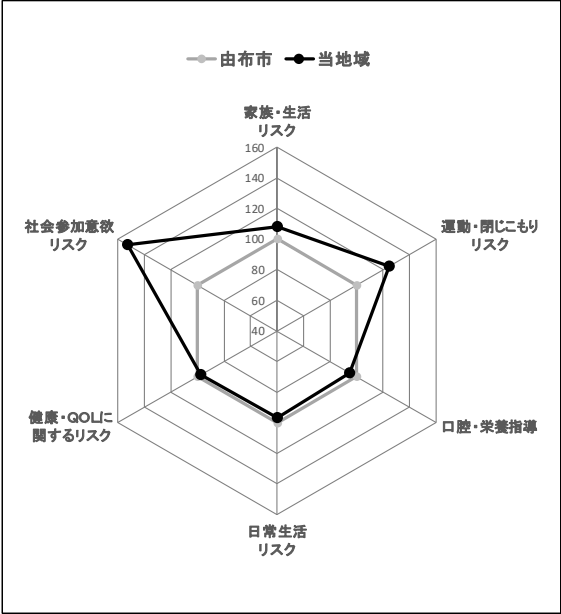
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	16.5%	112.3	⬆
転倒リスク	29.9%	38.5%	128.4	⬆
閉じこもりリスク	10.5%	14.3%	135.9	⬆
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	15.4%	96.1	➡
外出徒歩率	35.1%	23.1%	152.0	⬆
総合評価	21.0%	21.5%	124.9	⬆

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	4.4%	74.6	⬇
咀嚼機能リスク	30.4%	31.9%	105.0	➡
入れ歯利用率	47.1%	51.7%	109.8	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	48.4%	90.9	➡
総合評価	31.8%	34.1%	95.1	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	52.7%	108.3	➡
うつリスク	37.7%	34.1%	90.3	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	4.4%	98.3	➡
配食ニーズ	6.0%	4.4%	73.5	⬇
買い物ニーズ	3.2%	2.2%	67.7	⬇
情緒的サポート受領率	90.3%	82.4%	109.6	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	79.1%	109.9	➡
手段的サポート受領率	87.9%	82.4%	106.7	➡
手段的サポート提供率	80.5%	73.6%	109.4	➡
総合評価	49.5%	46.1%	97.1	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	69.2%	107.8	➡
主観的幸福感	45.7%	46.2%	98.9	➡
喫煙率	9.6%	9.9%	103.1	➡
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	20.9%	95.3	➡
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	67.0%	83.8	⬆
総合評価	46.4%	42.6%	97.8	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	13.2%	102.3	➡
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	7.7%	281.8	⬆
趣味関係グループ参加率	22.6%	22.0%	102.7	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	5.5%	138.2	⬆
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	53.9%	96.7	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	4.4%	175.6	⬆
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	36.3%	96.1	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	2.2%	230.7	⬆
総合評価	20.6%	18.1%	153.0	⬆

由布院地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.1%	96.6	➡
運動・閉じこもりリスク	21.0%	23.0%	90.2	➡
口腔・栄養指導	31.8%	32.7%	103.7	➡
日常生活リスク	49.5%	50.2%	98.5	➡
健康・QOLに関するリスク	46.4%	46.2%	98.4	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	21.2%	100.0	➡

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	59.0%	103.3	➡
一人暮らし率	19.6%	23.6%	120.2	⬆
高齢者夫婦世帯率	44.5%	42.9%	96.6	➡
介護・介護必要率	3.9%	3.6%	90.4	➡
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	5.7%	91.0	➡
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	24.4%	93.5	➡
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	2.5%	79.8	⬇
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	30.8%	97.7	➡
総合評価	24.0%	24.1%	96.6	➡

【2. 運動・閉じこもりリスク】

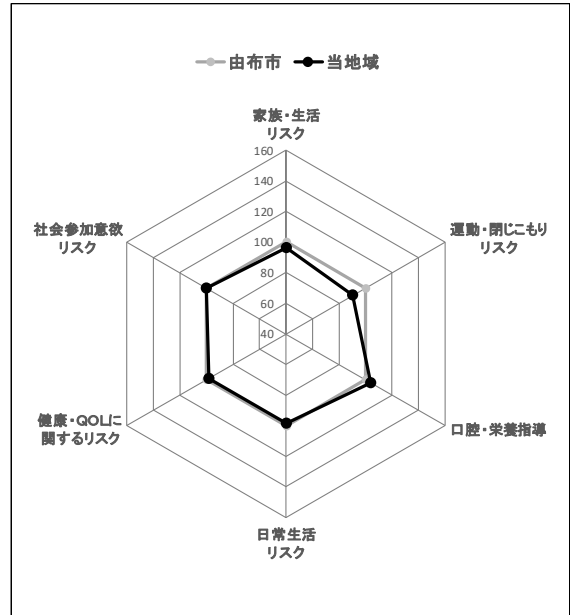
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	13.4%	91.5	➡
転倒リスク	29.9%	29.1%	97.2	➡
閉じこもりリスク	10.5%	9.4%	89.6	⬇
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	14.9%	99.3	➡
外出徒歩率	35.1%	48.0%	73.1	⬇
総合評価	21.0%	23.0%	90.2	➡

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	6.7%	113.6	⬇
咀嚼機能リスク	30.4%	29.3%	96.7	➡
入れ歯利用率	47.1%	50.1%	106.4	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	44.8%	98.2	➡
総合評価	31.8%	32.7%	103.7	➡

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	50.1%	102.9	➡
うつリスク	37.7%	41.2%	109.1	➡
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	4.4%	98.4	➡
配食ニーズ	6.0%	4.9%	81.3	⬇
買い物ニーズ	3.2%	3.2%	97.5	➡
情緒的サポート受領率	90.3%	90.4%	99.9	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	88.4%	98.3	➡
手段的サポート受領率	87.9%	88.1%	99.8	➡
手段的サポート提供率	80.5%	81.1%	99.3	➡
総合評価	49.5%	50.2%	98.5	➡



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	74.5%	100.1	➡
主観的幸福感	45.7%	45.7%	100.0	➡
喫煙率	9.6%	8.4%	87.5	⬇
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	23.1%	105.4	➡
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	79.2%	99.0	➡
総合評価	46.4%	46.2%	98.4	➡

【6. 社会参加指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	13.6%	99.3	➡
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	20.0%	108.5	➡
趣味関係グループ参加率	22.6%	24.3%	93.0	➡
学習・教養サークル参加率	7.6%	9.9%	76.8	⬇
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	53.0%	98.3	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	7.3%	105.2	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	37.7%	92.6	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	4.0%	126.3	⬆
総合評価	20.6%	21.2%	100.0	➡

湯平・水地地域

【各指標総合評価】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
家族・生活リスク	24.0%	24.5%	110.3	㊦
運動・閉じこもりリスク	21.0%	21.4%	133.1	㊦
口腔・栄養指導	31.8%	32.7%	133.7	㊦
日常生活リスク	49.5%	47.3%	117.8	㊦
健康・QOLに関するリスク	46.4%	45.4%	103.0	➡
社会参加意欲リスク	20.6%	21.6%	99.5	➡

【1. 家族・生活リスク】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
後期高齢者率	57.1%	60.4%	105.8	➡
一人暮らし率	19.6%	22.6%	115.5	㊦
高齢者夫婦世帯率	44.5%	45.3%	101.9	➡
介護・介助必要率	3.9%	5.7%	144.0	㊦
介護が必要だが受けていない割合	6.3%	10.1%	160.2	㊦
生活が苦しい高齢者の割合	26.1%	31.5%	120.7	㊦
金銭管理が自分でできない高齢者の割合	3.2%	2.5%	78.8	⬇
何かあったときに家族以外で相談できる相手がいない	31.5%	17.6%	55.9	⬇
総合評価	24.0%	24.5%	110.3	㊦

【2. 運動・閉じこもりリスク】

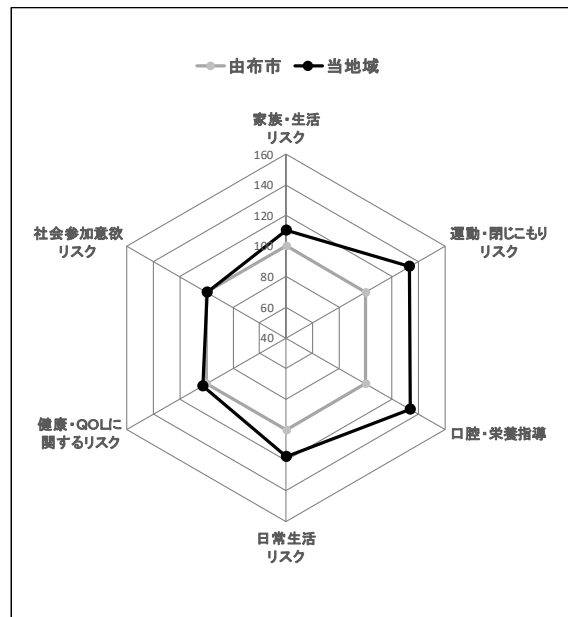
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
運動器機能リスク	14.7%	19.5%	132.8	㊦
転倒リスク	29.9%	29.6%	98.7	➡
閉じこもりリスク	10.5%	19.5%	185.5	㊦
介護予防のための通いの場の参加率	14.8%	15.1%	98.0	➡
外出徒歩率	35.1%	23.3%	150.7	㊦
総合評価	21.0%	21.4%	133.1	㊦

【3. 口腔・栄養指導】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
栄養改善リスク	5.9%	10.7%	181.4	㊦
咀嚼機能リスク	30.4%	37.7%	124.3	㊦
入れ歯利用率	47.1%	47.8%	101.5	➡
自分の歯が20本以上ある人の割合	44.0%	34.5%	127.5	㊦
総合評価	31.8%	32.7%	133.7	㊦

【4. 日常生活自立度指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
認知症リスク	48.7%	51.6%	105.9	➡
うつリスク	37.7%	42.1%	111.7	㊦
IADLが低い高齢者の割合	4.5%	5.0%	112.5	㊦
配食ニーズ	6.0%	6.9%	115.6	㊦
買い物ニーズ	3.2%	5.7%	174.4	㊦
情緒的サポート受領率	90.3%	84.3%	107.1	➡
情緒的サポート提供率	86.9%	78.6%	110.6	㊦
手段的サポート受領率	87.9%	81.8%	107.5	➡
手段的サポート提供率	80.5%	69.8%	115.3	㊦
総合評価	49.5%	47.3%	117.8	㊦



【5. 健康・QOL指標】

	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
主観的健康観	74.6%	71.0%	105.1	➡
主観的幸福感	45.7%	44.1%	103.6	➡
喫煙率	9.6%	10.0%	104.2	➡
飲酒率(ほぼ毎日飲む人)	21.9%	22.6%	103.3	➡
治療中の病気・後遺症の保有率	80.0%	79.2%	99.0	➡
総合評価	46.4%	45.4%	103.0	➡

【6. 社会参加指標】

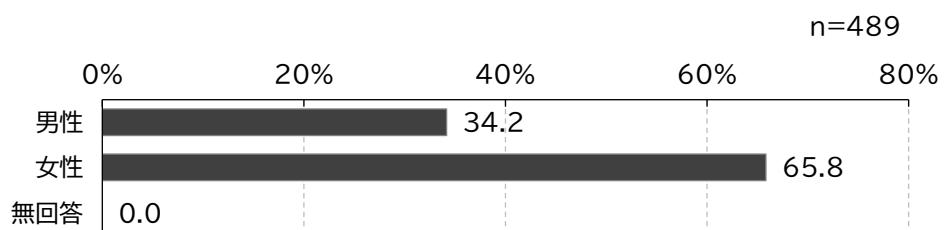
	市平均	当地域	格差指数	リスク判定
ボランティア参加率	13.5%	20.1%	67.2	⬇
スポーツ関係グループ参加率	21.7%	23.2%	93.5	➡
趣味関係グループ参加率	22.6%	20.0%	113.0	㊦
学習・教養サークル参加率	7.6%	4.4%	172.7	㊦
地域づくりの活動に参加意向のある高齢者の割合	52.1%	54.1%	96.3	➡
地域づくりの活動に既に参加している高齢者の割合	7.7%	10.1%	76.7	⬇
地域づくりへの企画・運営(お世話役)としての参加意向のある高齢者の割合	34.9%	33.9%	102.9	➡
地域づくりへの企画・運営(お世話役)として既に参加している高齢者の割合	5.1%	6.9%	73.3	⬇
総合評価	20.6%	21.6%	99.5	➡

在宅介護実態調査 調査結果

回答者本人について

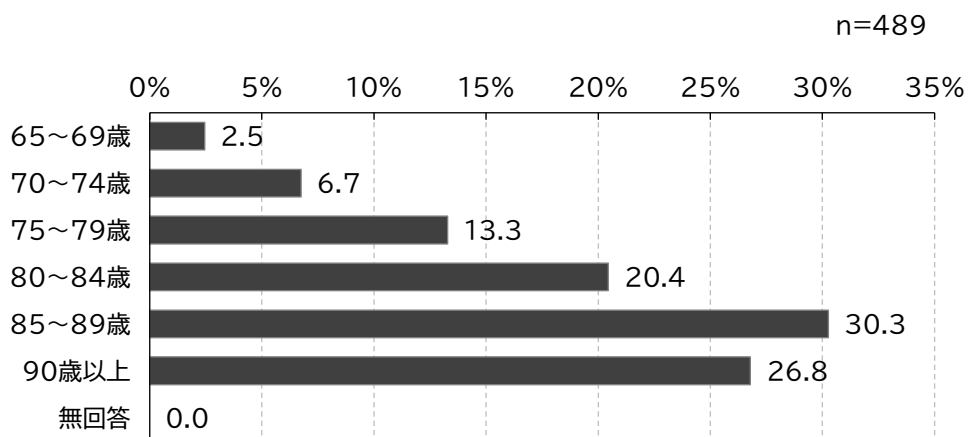
性別

「男性」が34.2%、「女性」が65.8%となっています。



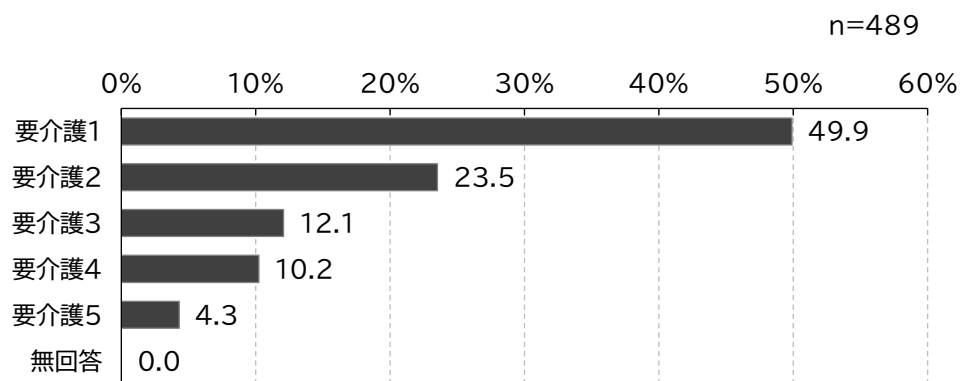
年齢

「85～89歳」が30.3%と最も多く、次いで「90歳以上」が26.8%、「80～84歳」が20.4%、「75～79歳」が13.3%、「70～74歳」が6.7%となっています。



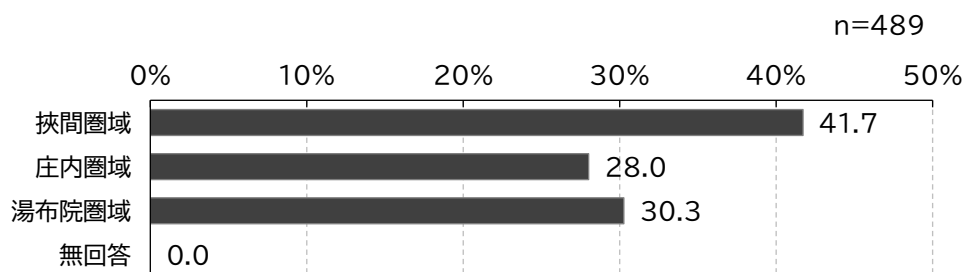
要介護状態区分

「要介護1」が49.9%と最も多く、次いで「要介護2」が23.5%、「要介護3」が12.1%、「要介護4」が10.2%、「要介護5」が4.3%となっています。



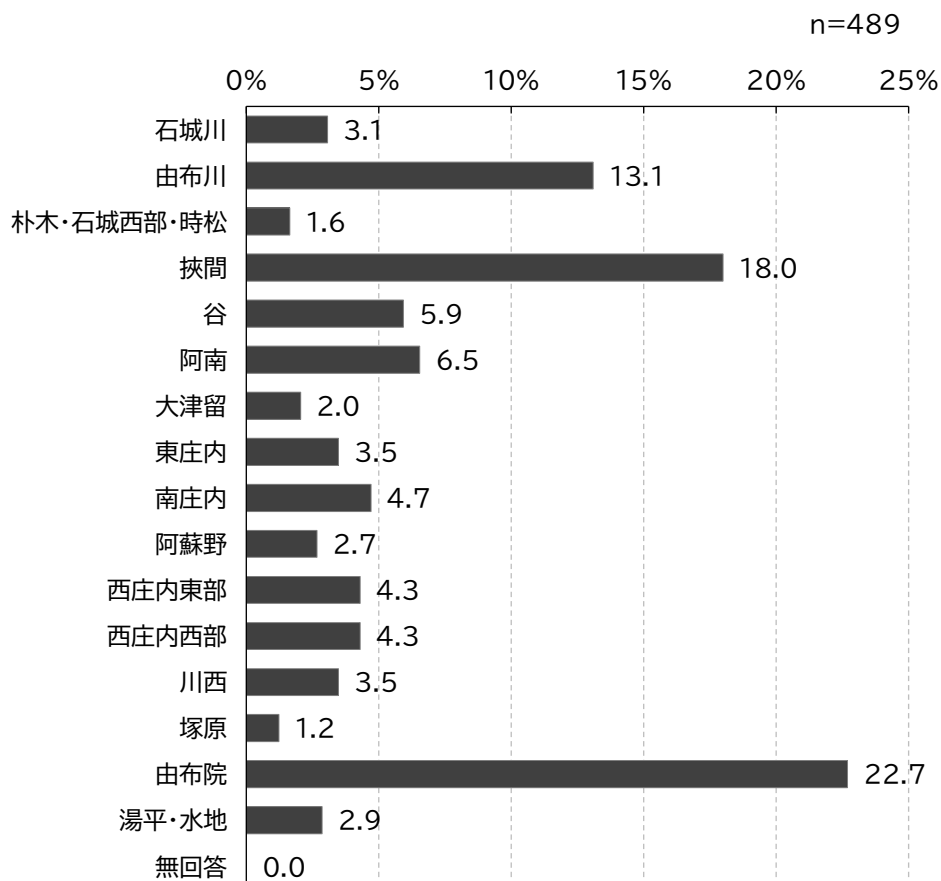
日常生活圏域

「挟間圏域」が41.7%と最も多く、次いで「湯布院圏域」が30.3%、「庄内圏域」が28.0%となっています。



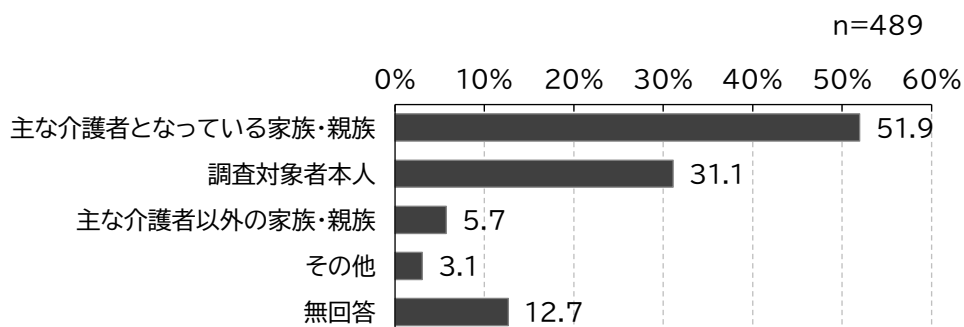
16 地域区分

「由布院」が22.7%と最も多く、次いで「挾間」が18.0%、「由布川」が13.1%、「阿南」が6.5%、「谷」が5.9%となっています。



この調査票にご回答をいただいているのは、どなたですか【複数回答】

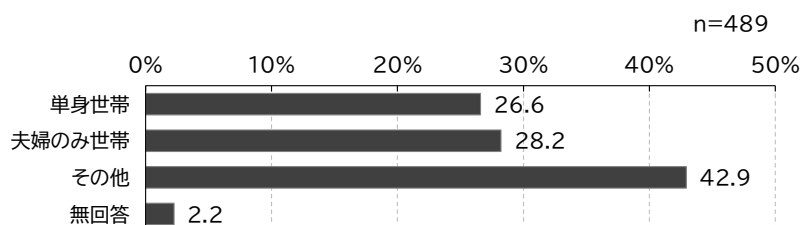
「主な介護者となっている家族・親族」が51.9%と最も多く、次いで「調査対象者本人」が31.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が5.7%、「その他」が3.1%となっています。



A票 あて名のご本人様についてうかがいます

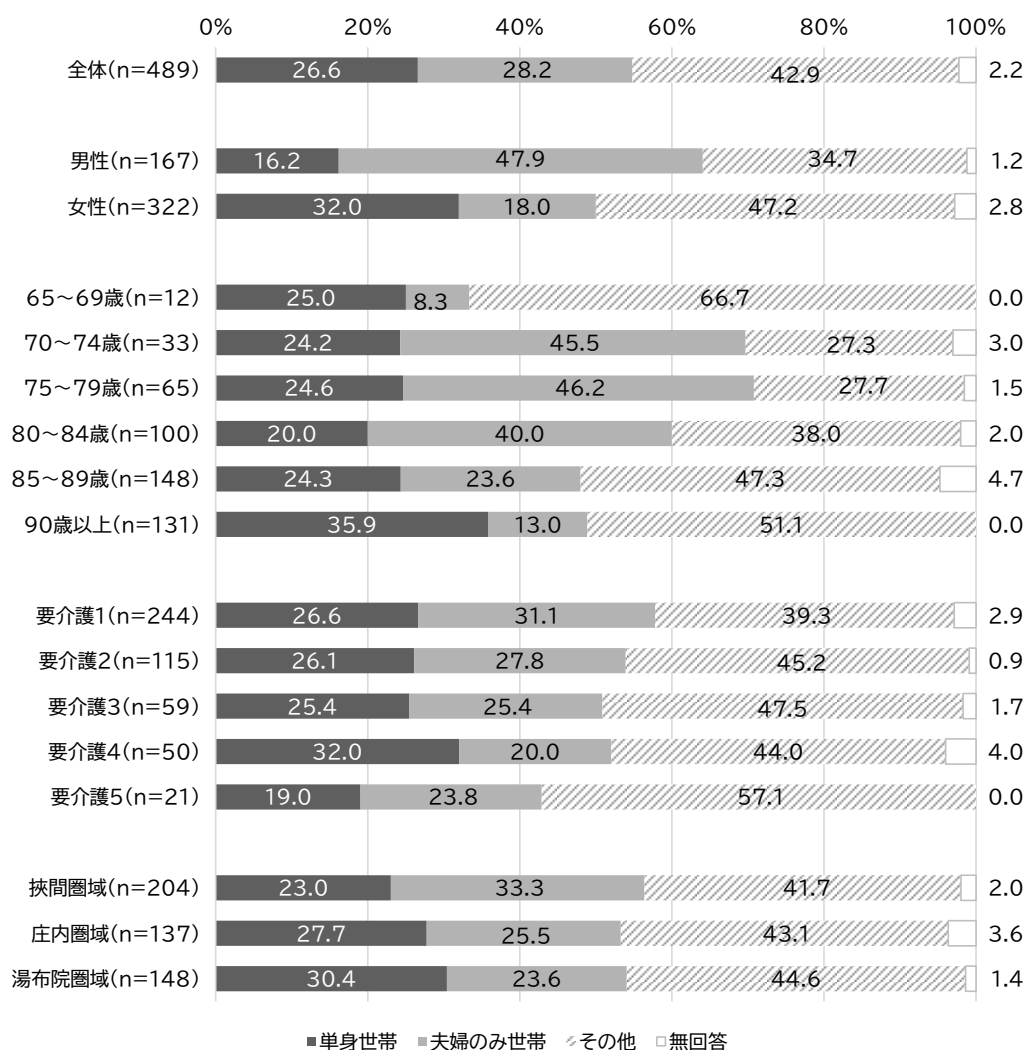
問1 世帯類型について教えてください

「その他」が42.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯」が28.2%、「単身世帯」が26.6%となっています。



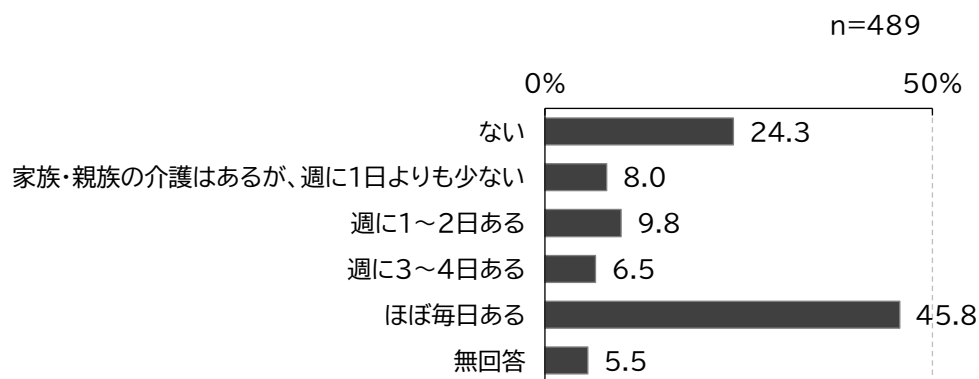
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「単身世帯」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では90歳以上が35.9%と最も高くなっています。圏域別では湯布院圏域が30.4%と最も高くなっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)

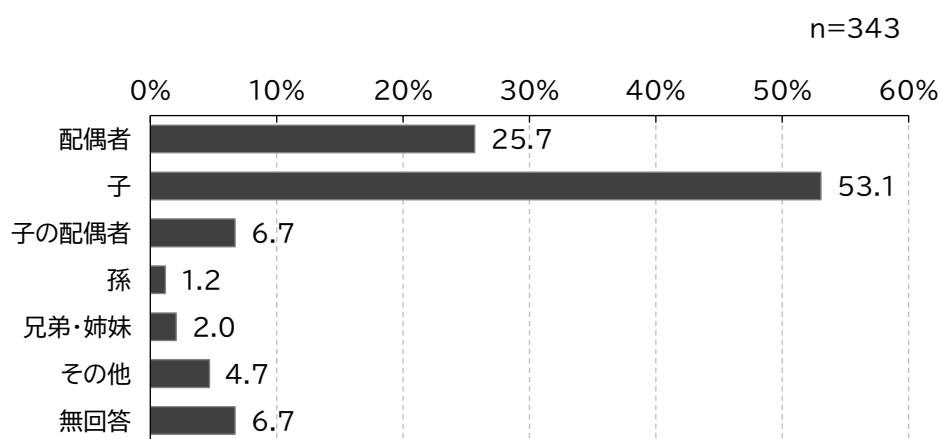
「ほぼ毎日ある」が45.8%と最も多く、次いで「ない」が24.3%、「週に1～2日ある」が9.8%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が8.0%、「週に3～4日ある」が6.5%となっています。



問3～問7は、問2で「ない」以外を選択した(家族や親族が介護をしている)方

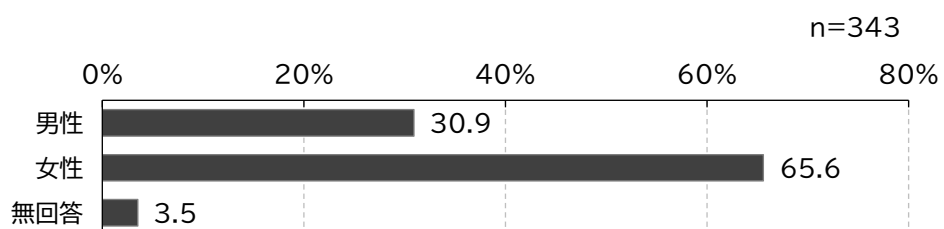
問3 主な介護者の方(主に介護している方)はどなたですか

「子」が53.1%と最も多く、次いで「配偶者」が25.7%、「子の配偶者」が6.7%、「その他」が4.7%、「兄弟・姉妹」が2.0%となっています。



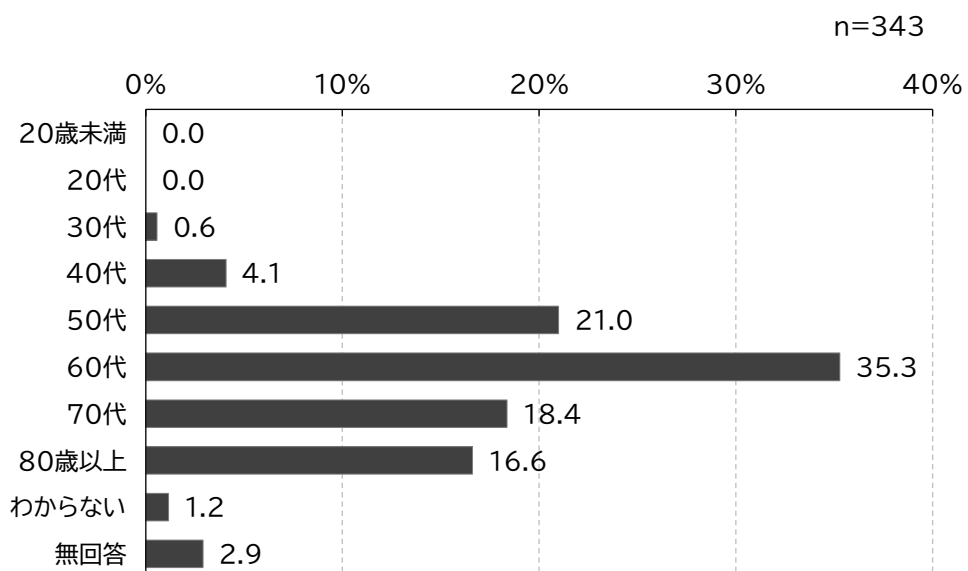
問4 主な介護者の方の性別について教えてください

「男性」が 30.9%、「女性」が 65.6%となっています。



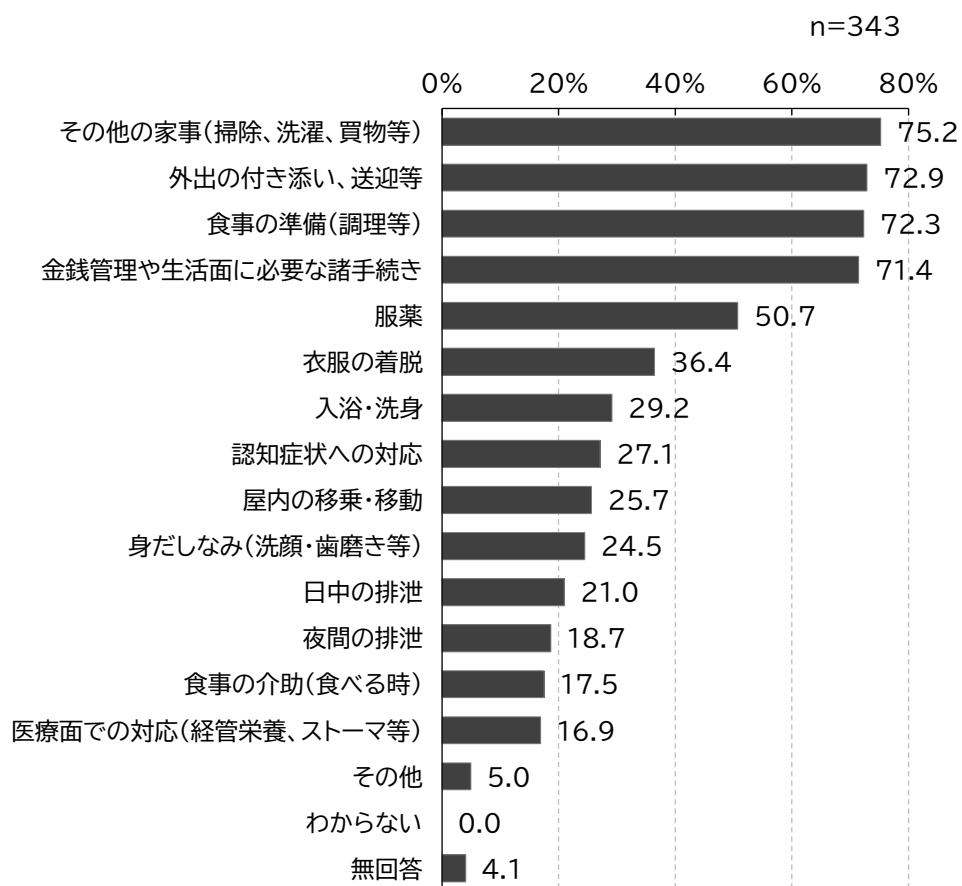
問5 主な介護者の方の年齢について教えてください

「60代」が 35.3%と最も多く、次いで「50代」が 21.0%、「70代」が 18.4%、「80歳以上」が 16.6%、「40代」が 4.1%となっています。



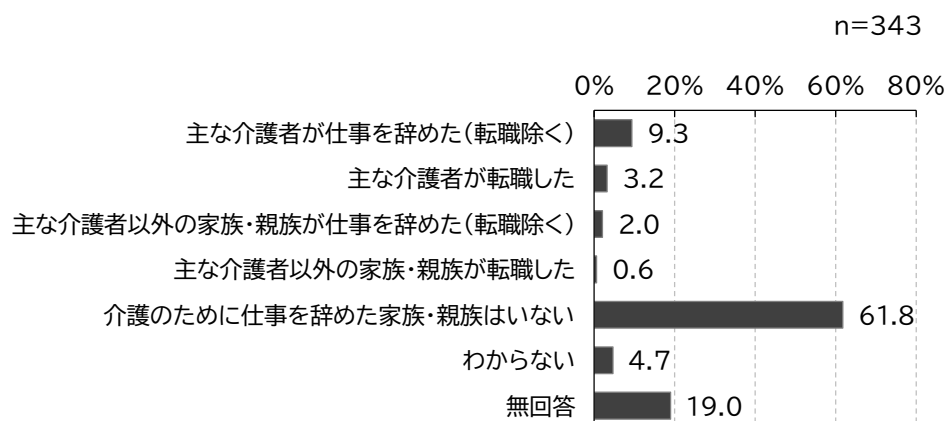
問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について教えてください【複数回答】

「その他の家事（掃除、洗濯、買物等）」が 75.2%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が 72.9%、「食事の準備（調理等）」が 72.3%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 71.4%、「服薬」が 50.7%となっています。



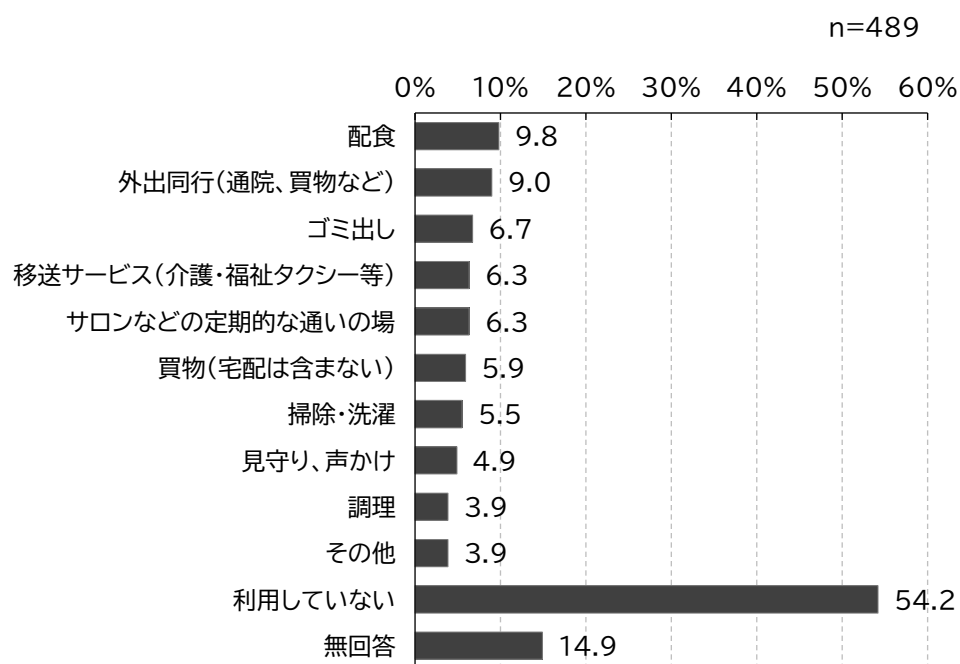
問7 ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)【複数回答】

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 61.8%と最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 9.3%、「わからない」が 4.7%、「主な介護者が転職した」が 3.2%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)」が 2.0%となっています。



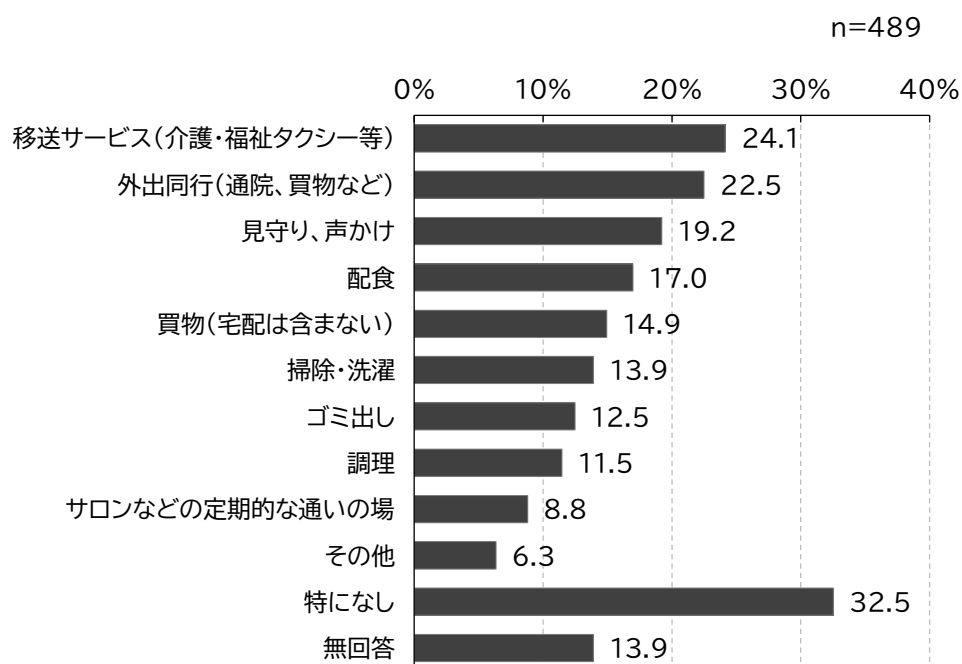
問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて教えてください【複数回答】

「利用していない」が 54.2%と最も多く、次いで「配食」が 9.8%、「外出同行(通院、買物など)」が 9.0%、「ゴミ出し」が 6.7%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」及び「サロンなどの定期的な通いの場」が 6.3%となっています。



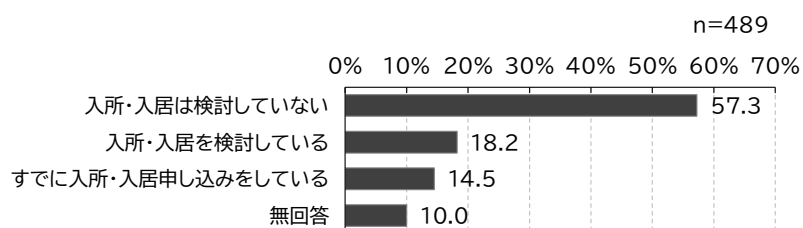
問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について教えてください【複数回答】

「特になし」が 32.5%と最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 24.1%、「外出同行（通院、買物など）」が 22.5%、「見守り、声かけ」が 19.2%、「配食」が 17.0%となっています。



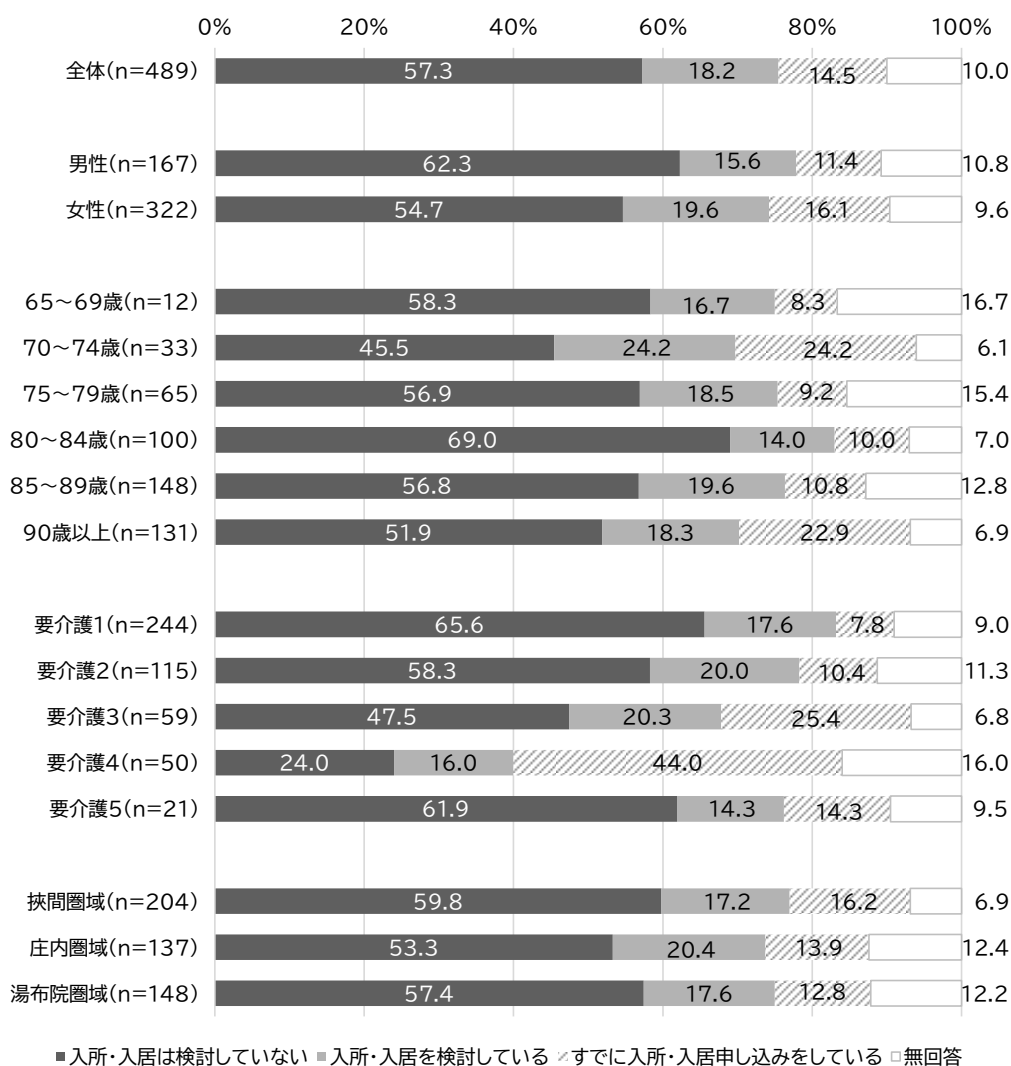
問 10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について教えてください

「入所・入居は検討していない」が 57.3%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 18.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 14.5%となっています。



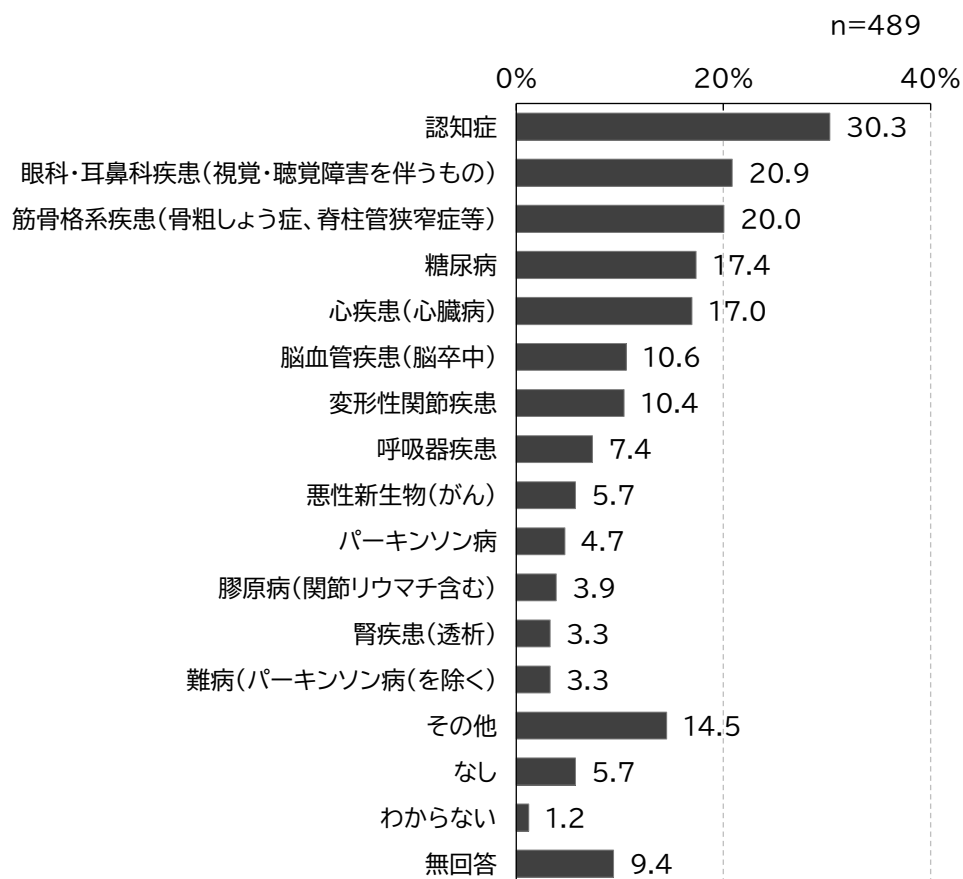
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では 70～74 歳が 24.2%と最も高くなっており、次いで 90 歳以上が 22.9%となっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなる傾向で、圏域別では挟間圏域が 16.2%と最も高くなっていきます。



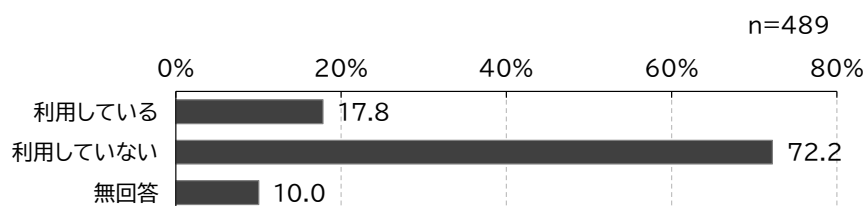
問 11 あなたが、現在抱えている傷病について教えてください【複数回答】

「認知症」が 30.3%と最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 20.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 20.0%、「糖尿病」が 17.4%、「心疾患（心臓病）」が 17.0%となっています。



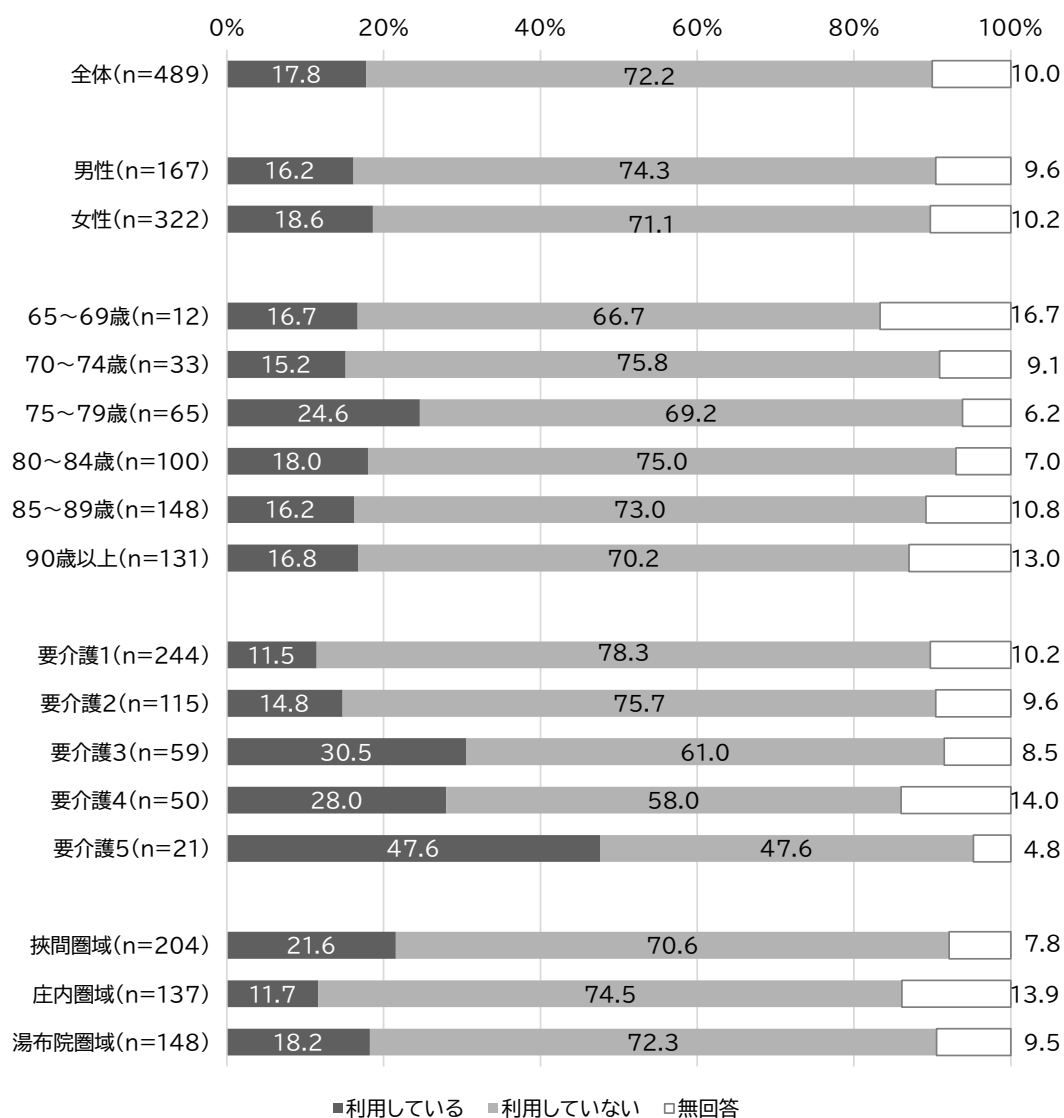
問 12 あなたは、現在、訪問診療を利用していますか

「利用している」が 17.8%、「利用していない」が 72.2%となっています。



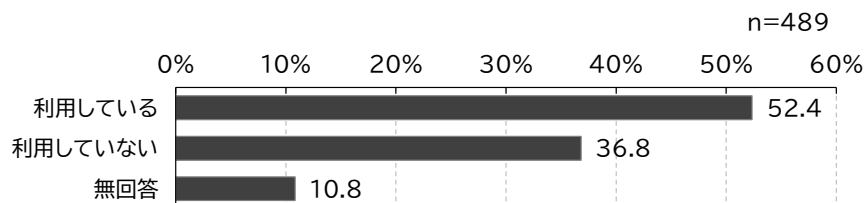
性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

「利用している」の割合は、性別では女性の方が高く、年齢別では 75～79 歳が 24.6%と最も高くなっています。要介護状態区分別では要介護度が上がるほど高くなる傾向で、圏域別では狹間圏域が 21.6%と最も高くなっています。



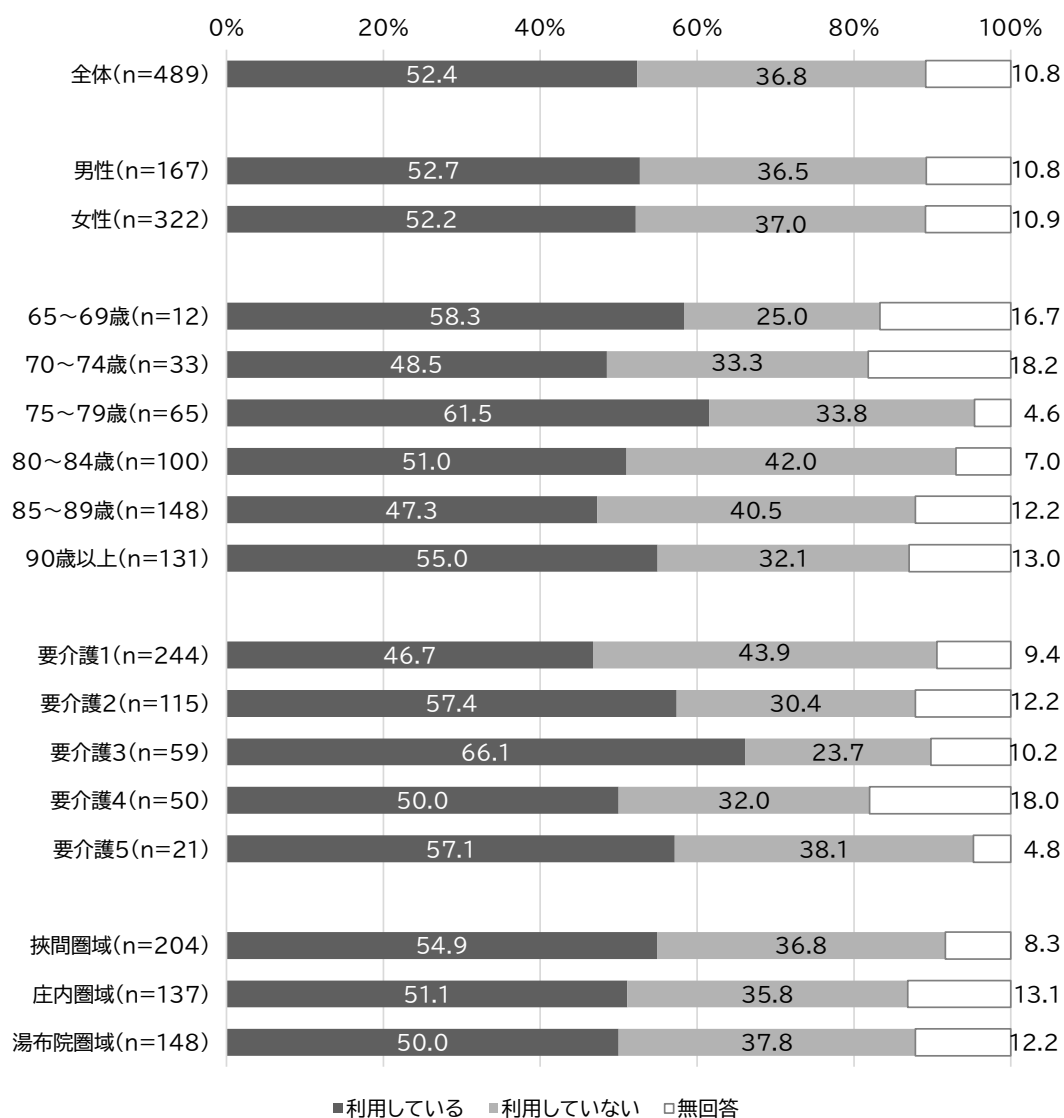
問 13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか

「利用している」が 52.4%、「利用していない」が 36.8%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別・圏域別

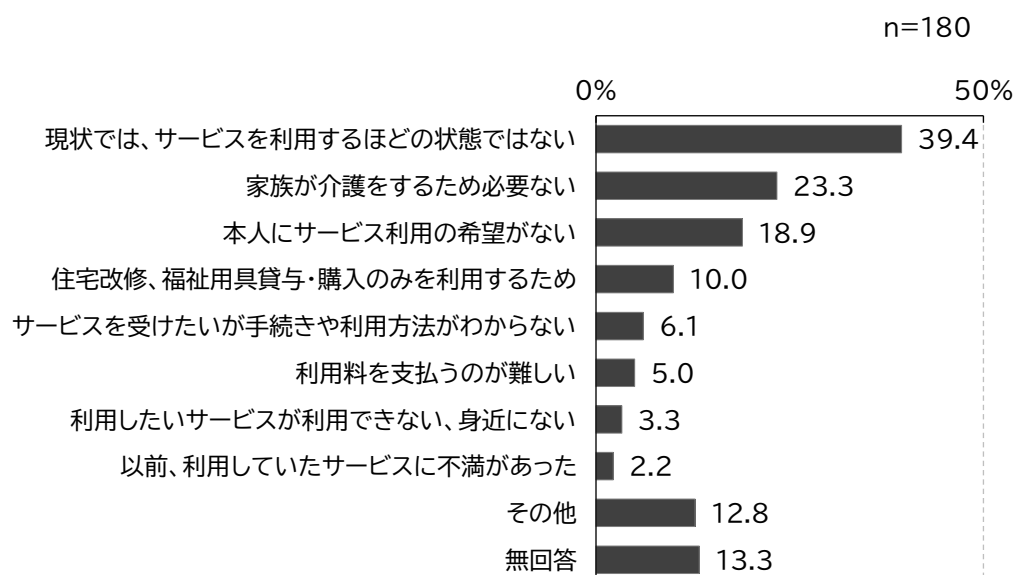
「利用している」の割合は、性別ではわずかに男性の方が高く、年齢別では 75～79 歳が 61.5%と最も高くなっています。要介護状態区分別では要介護 3 が 66.1%と最も高く、次いで要介護 2 が 57.4%となっています。圏域別では挾間圏域が 54.9%と最も高くなっています。



問 13 で「利用していない」を選択した方

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか【複数回答】

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 39.4%と最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が 23.3%、「本人にサービス利用の希望がない」が 18.9%、「その他」が 12.8%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が 10.0%となっています。

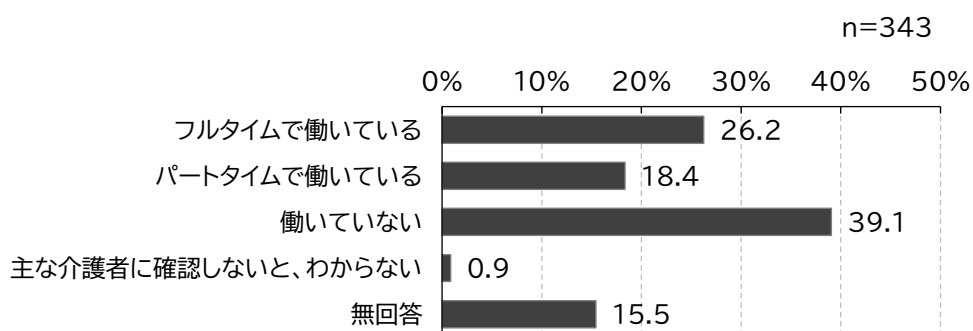


A 票問2で「ない」以外を選択した(家族や親族が介護をしている)方

B票 主な介護者の方についてうかがいます

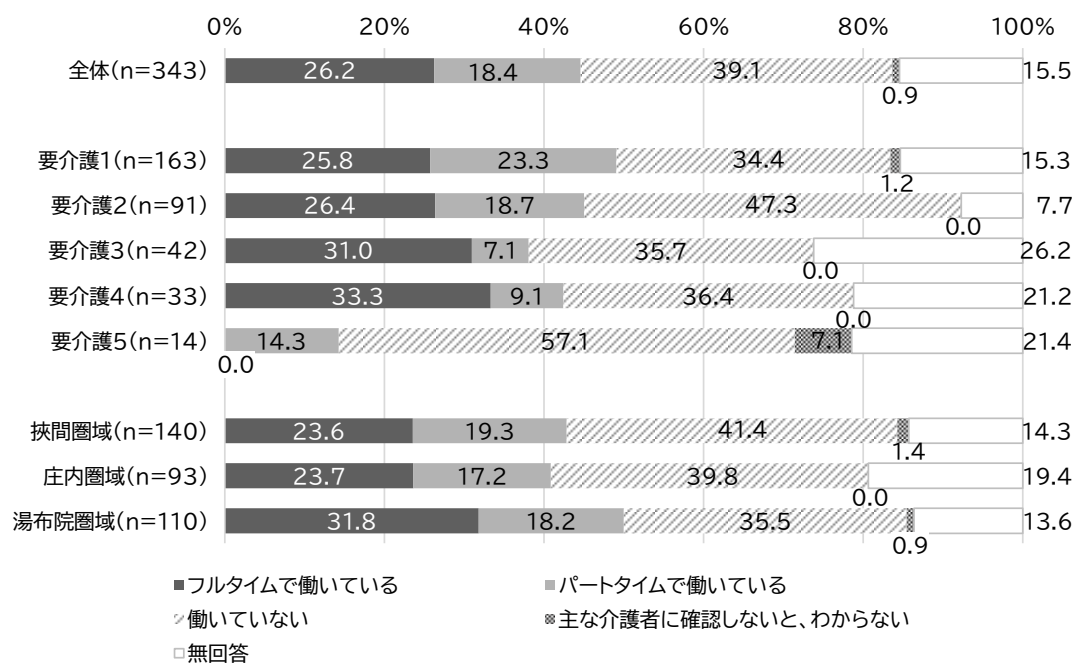
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について教えてください

「働いていない」が39.1%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が26.2%、「パートタイムで働いている」が18.4%となっています。



要介護状態区分別・圏域別

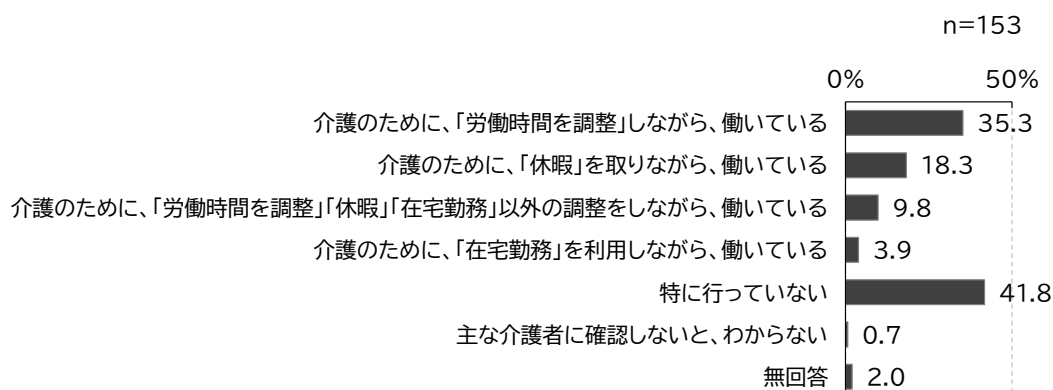
要介護状態区分別でみると、要介護1ではフルタイムあるいはパートタイムのいずれかで『働いている』介護者の割合が全体より高くなっています。圏域別でみると、『働いている』介護者の割合が全体より高くなっているのは湯布院圏域となっています。



問2～問4は、問1で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」(働いている)を選択した方

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
【複数回答】

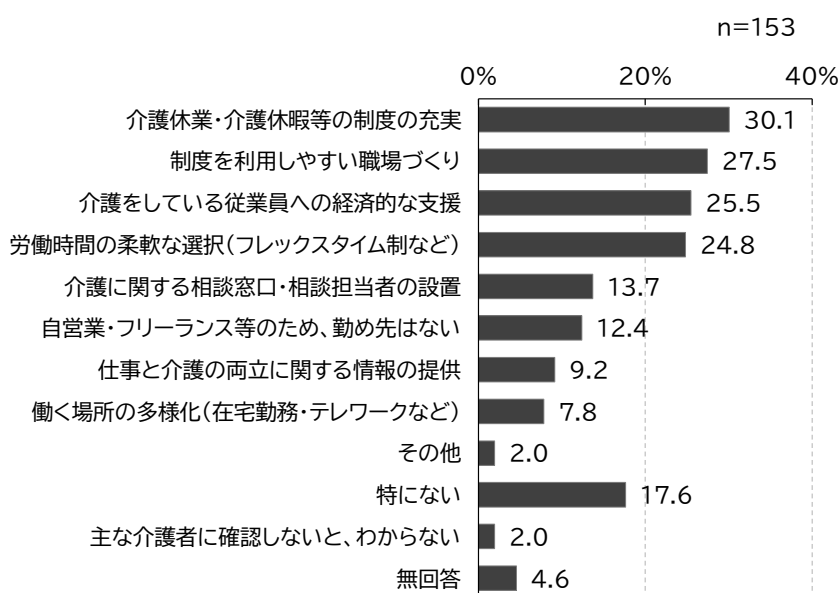
「特に行っていない」が41.8%と最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が35.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が18.3%、「介護のために、「労働時間を調整」「休暇」「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」が9.8%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が3.9%となっています。



問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか【複数回答】

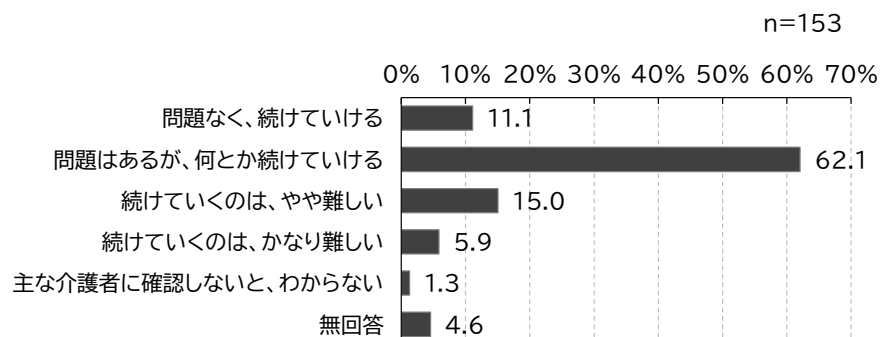
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が30.1%と最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が27.5%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が25.5%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.8%、「特にない」が17.6%となっています。

※「3つまで選択」の設問だが、4つ以上選択した回答者が多かったため【複数選択】として集計。



問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

「問題はあるが、何とか続けていける」が62.1%と最も多く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が15.0%、「問題なく、続けていける」が11.1%、「続けていくのは、かなり難しい」が5.9%、「主な介護者に確認しないと、わからない」が1.3%となっています。



要介護状態区分別

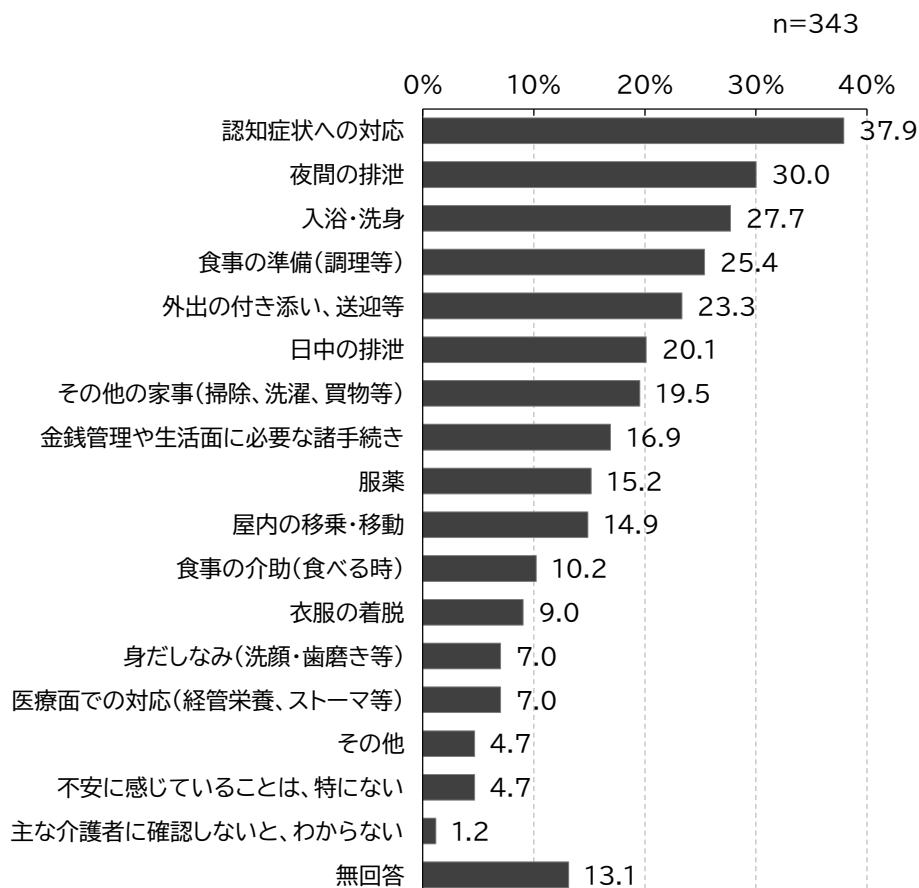
要介護状態区分別にみると、「問題なく、続けていける」の割合が全体の11.1%より高いのは、要介護3、要介護4となっています。「続けていくのは、かなり難しい」の割合は、全体が5.9%で、それより高いのは要介護1、要介護3、要介護4となっていますが、要介護5の介護者（2名）が「問題はあるが、何とか続けていける」と回答し、「続けていくのは、かなり難しい」が0.0%となっていることにより、全体の割合が押し下げられていることによると考えられます。

(%)		問題なく、続けていける	問題はあるが、何とか続けていける	続けていくのは、やや難しい	続けていくのは、かなり難しい	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
	n(回答数)						
全体	153	11.1	62.1	15.0	5.9	1.3	4.6
要介護1	80	10.0	58.8	15.0	7.5	2.5	6.3
要介護2	41	9.8	68.3	19.5	2.4	0.0	0.0
要介護3	16	12.5	62.5	18.8	6.3	0.0	0.0
要介護4	14	21.4	57.1	0.0	7.1	0.0	14.3
要介護5	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について教えてください(現状で行っているか否かは問いません)【複数回答】

「認知症状への対応」が 37.9%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が 30.0%、「入浴・洗身」が 27.7%、「食事の準備（調理等）」が 25.4%、「外出の付き添い、送迎等」が 23.3%となっています。

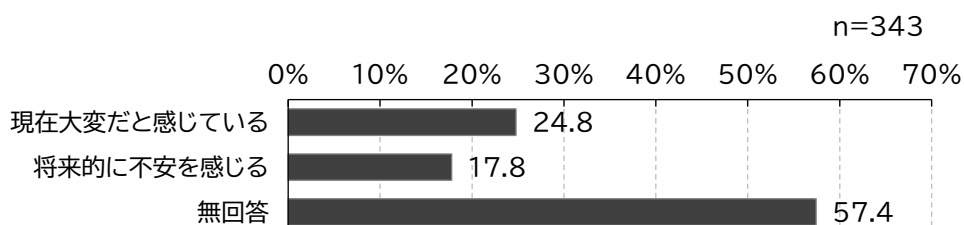
※「3つまで選択」の設問だが、4つ以上選択した回答者が多かったため【複数選択】として集計。



問6 主な介護者の方が介護をするにあたり「現在、大変だと感じている」こと、「将来的に不安を感じる」ことは何ですか。

①物忘れによる言動(同じことを何度も聞く、同じ話を繰り返す等)

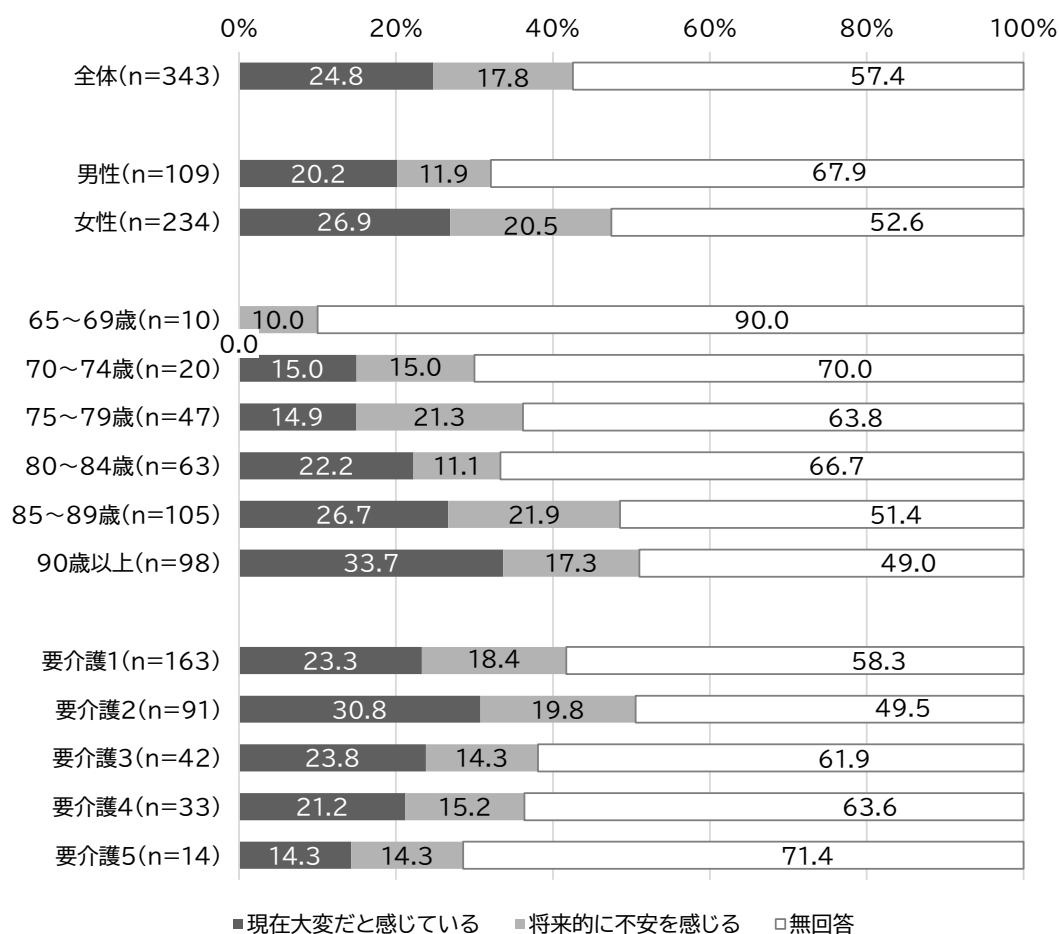
「現在大変だと感じている」が 24.8%、「将来的に不安を感じる」が 17.8%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別

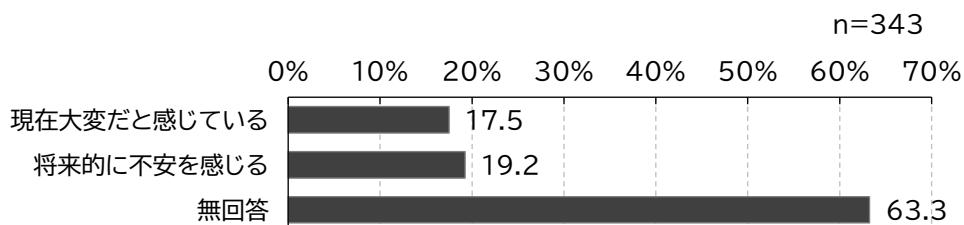
「現在大変だと感じている」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では 85～89 歳、90 歳以上、要介護状態区分別では要介護 2 となっています。

「将来的に不安を感じる」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では 75～79 歳、85～89 歳、要介護状態区分別では要介護 1、要介護 2 となっています。



②物忘れによる行動(物をなくす、同じ物をたくさん買ってしまう等)

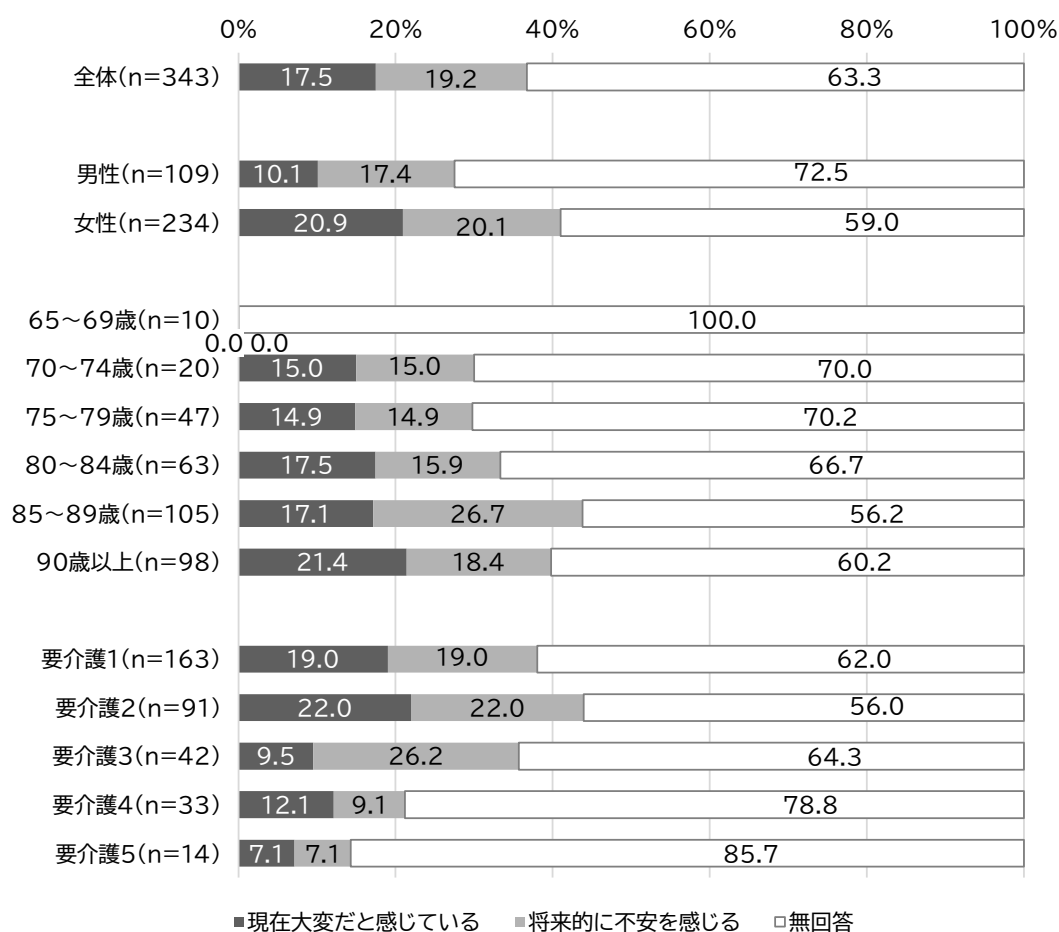
「現在大変だと感じている」が 17.5%、「将来的に不安を感じる」が 19.2%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別

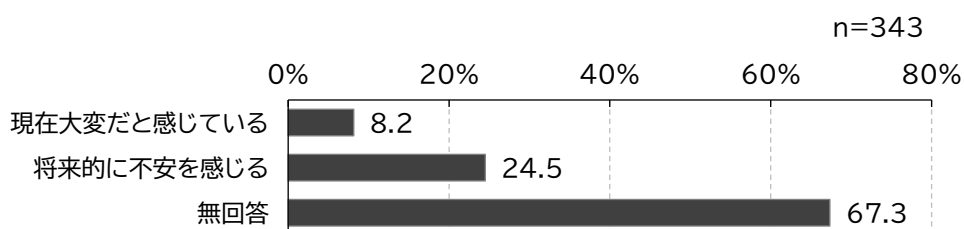
「現在大変だと感じている」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では 90 歳以上、要介護状態区分別では要介護 1、要介護 2 となっています。

「将来的に不安を感じる」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では 85～89 歳、要介護状態区分別では要介護 2、要介護 3 となっています。



③目が離せない(外出先でいなくなる、家から出て行ってしまう等)

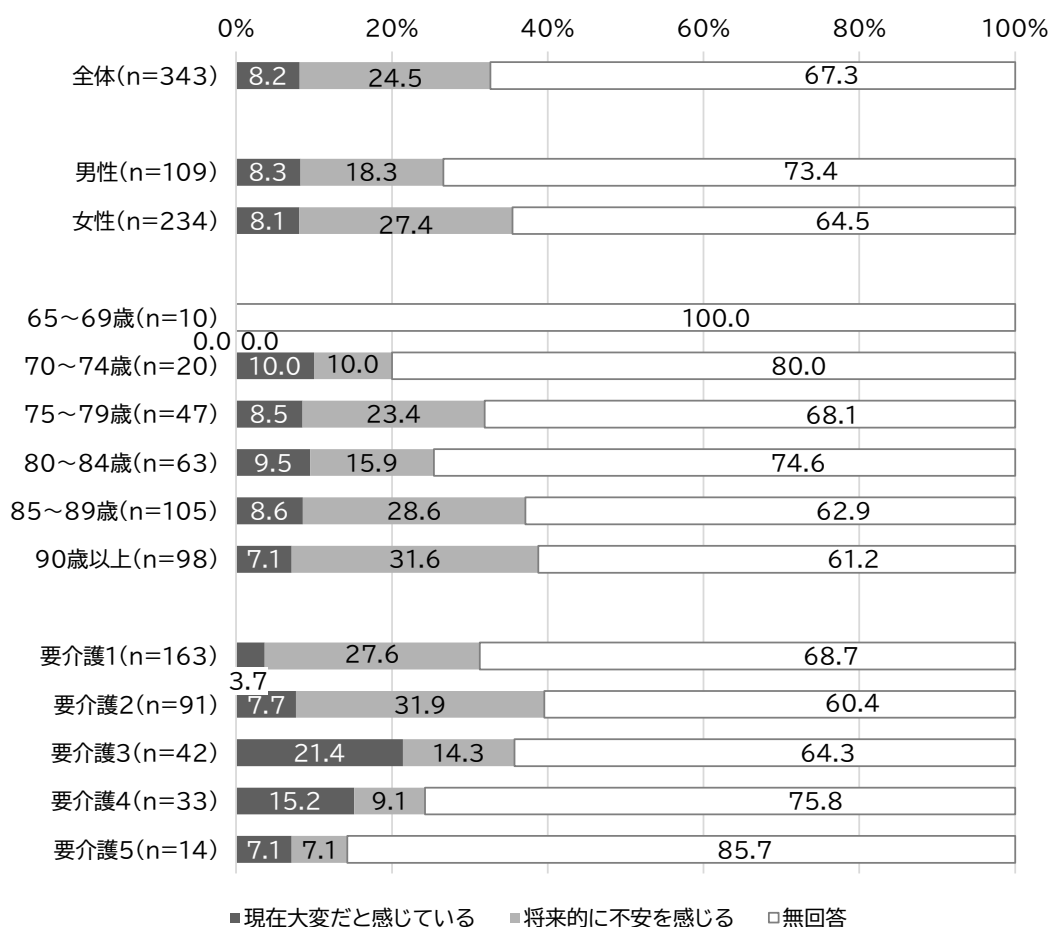
「現在大変だと感じている」が8.2%、「将来的に不安を感じる」が24.5%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別別

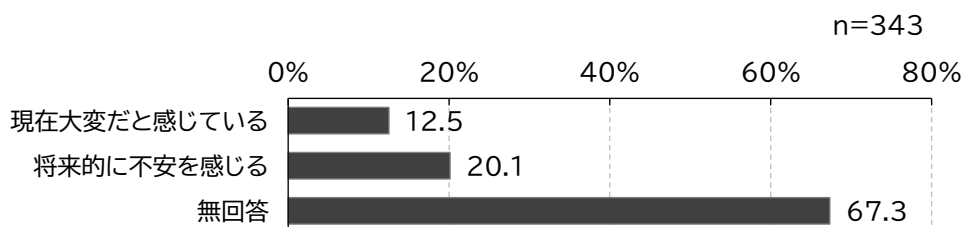
「現在大変だと感じている」の割合が全体より高いのは、性別ではわずかに男性、年齢別では70～74歳、75～79歳、80～84歳、85～89歳、要介護状態区分別では要介護3、要介護4となっています。

「将来的に不安を感じる」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では85～89歳、90歳以上、要介護状態区分別では要介護1、要介護2となっています。



④性格の変化で感情の起伏が激しい(怒りっぽい、すぐ泣く等)

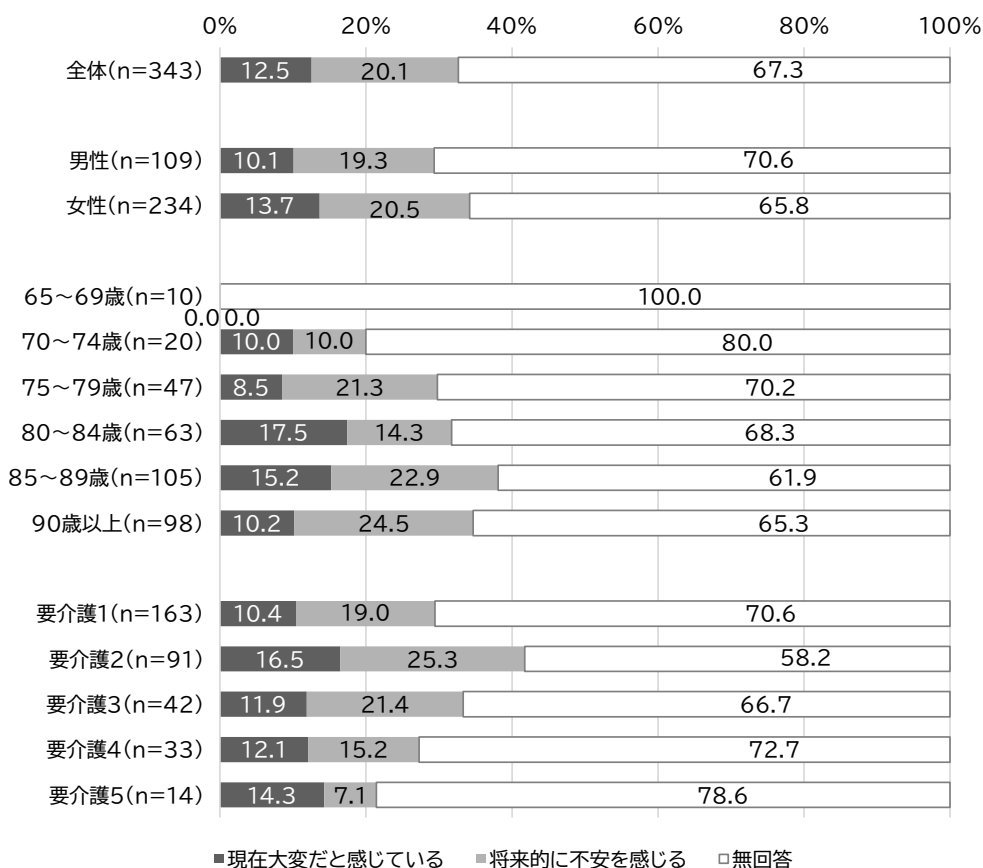
「現在大変だと感じている」が 12.5%、「将来的に不安を感じる」が 20.1%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別

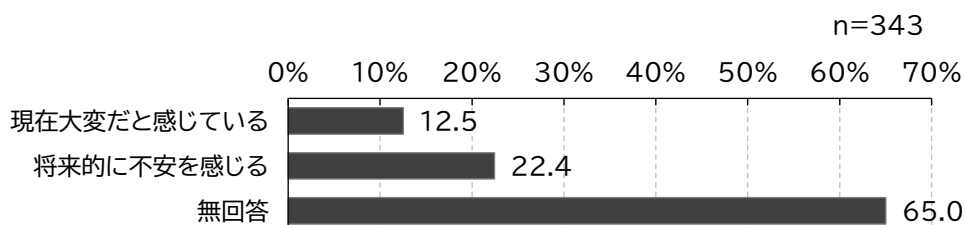
「現在大変だと感じている」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では 80～84 歳、85～89 歳、要介護状態区分別では要介護 2、要介護 5 となっています。

「将来的に不安を感じる」の割合が全体より高いのは、性別ではわずかに女性、年齢別では 75～79 歳、85～89 歳、90 歳以上、要介護状態区分別では要介護 2、要介護 3 となっています。



⑤思いこみや妄想が激しく、意思疎通がスムーズにできない

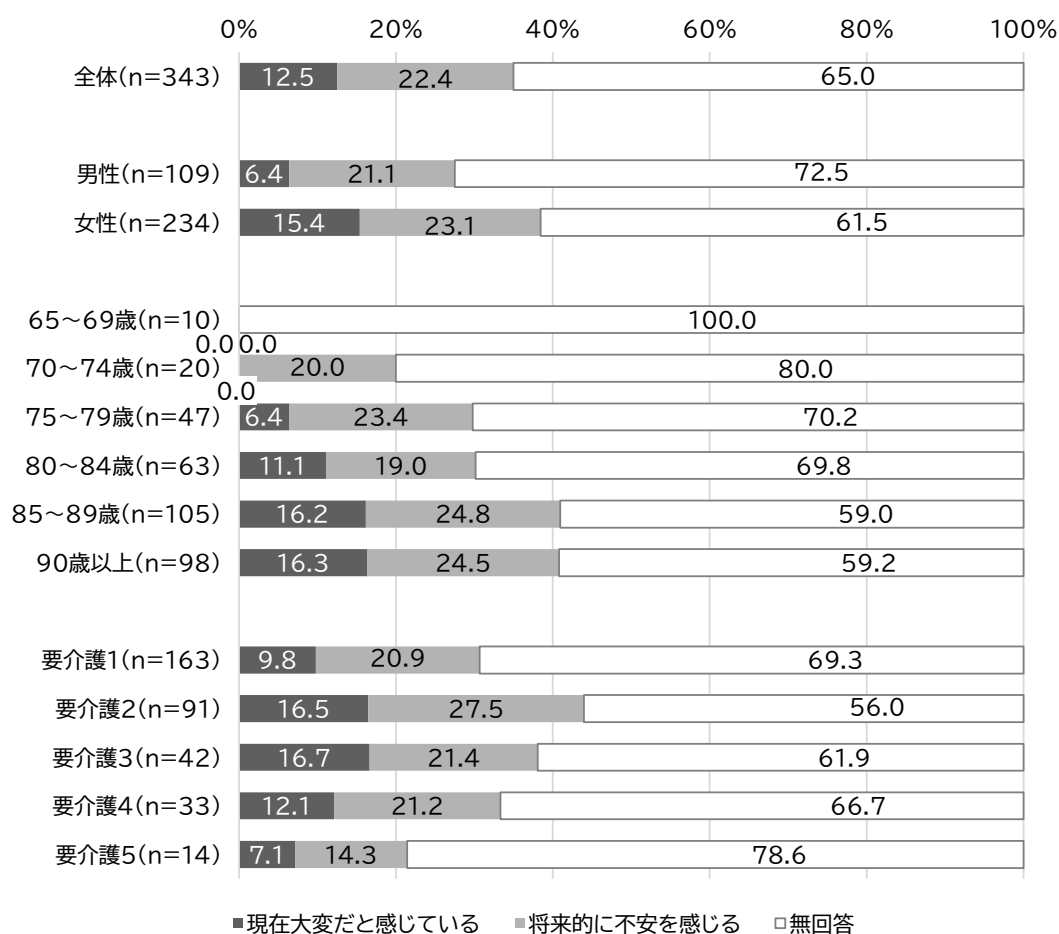
「現在大変だと感じている」が 12.5%、「将来的に不安を感じる」が 22.4%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別

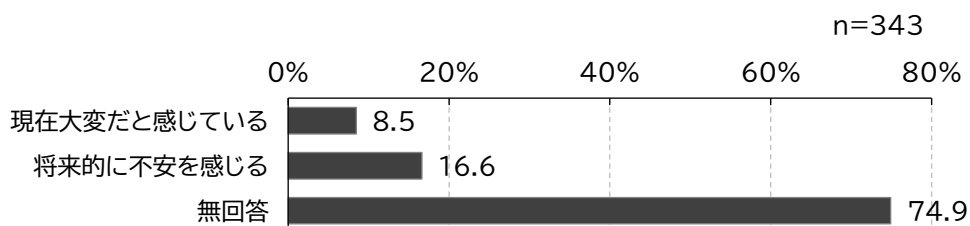
「現在大変だと感じている」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では 85～89 歳、90 歳以上、要介護状態区分別では要介護 2、要介護 3 となっています。

「将来的に不安を感じる」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では 75～79 歳、85～89 歳、90 歳以上、要介護状態区分別では要介護 2 となっています。



⑥その他(介護拒否、幻覚症状、昼夜逆転、閉じこもり等)

「現在大変だと感じている」が8.5%、「将来的に不安を感じる」が16.6%となっています。



性別・年齢別・要介護状態区分別

「現在大変だと感じている」の割合が全体より高いのは、年齢別では85～89歳、90歳以上、要介護状態区分別では要介護2、要介護3、要介護4となっています。

「将来的に不安を感じる」の割合が全体より高いのは、性別では女性、年齢別では75～79歳、85～89歳、90歳以上、要介護状態区分別では要介護2、要介護3となっています。



由布市
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査
在宅介護実態調査
結果報告書

発行年月	令和8年3月
発行	由布市
編集	由布市 高齢者支援課 介護保険係
住所	〒879-5498 大分県由布市庄内町柿原 302 番地
T E L	097-529-7349